

リアホナ

総大会の説教

ネルソン大管長、主の声を聞くよう
聖徒たちを励ます

ネルソン大管長、
回復の200周年の宣言を発表する

救い主が教会の中心であることを
強調するシンボルを
教会が採用する

新しい中央幹部七十人と
中央若い男性会長会が
支持される

8つの新しい神殿が
発表される



イエス・キリストの完全な福音の回復

200周年の世界への宣言

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会ならびに十二使徒評議会

わたしたちは厳粛に宣言します。神は世界のすべての国にいる御自分の子供たちを愛しておられます。父なる神は、愛する御子イエス・キリストの降誕と、その比類ない生涯と無限の贖いの犠牲を、わたしたちのために備えてくださいました。御父の力によって、イエスはよみがえり、死に対して勝利を得られました。イエスはわたしたちの救い主であり、模範であり、贖い主です。

200年前、1820年の美しい春の朝に、少年ジョセフ・スミスは、どの教会に加わるべきか知りたいたいと思い、アメリカ合衆国ニューヨーク州北部の自宅近くの森へ行き、祈りました。自分の魂の救いについて尋ねたいことがあり、神が導いてくださると信じていたのです。

わたしたちは、父なる神とその御子イエス・キリストが、ジョセフ・スミスの祈りにこたえて彼に御姿を現し、聖書で予告されているように「万物更新」を開始されたことをへりくだり宣言します（使徒行伝3章21節）。この示現によって、ジョセフは、新約聖書の時代にあったキリストの教会が最初の使徒たちの死後に地上から失われたことを知りました。ジョセフは、その回復に貢献する者となるのです。

御父と御子の指示の下、天の使者がジョセフを訪れ、イエス・キリストの教会を再び設立するために指示を与えたことを、わたしたちは断言します。復活したバプテスマのヨハネが、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマを施す権能を回復しました。さらに、最初の12人の使徒のうちの3人、ペテロ、ヤコブ、ヨハネが、使徒職と神権の権能の鍵を回復しました。そのほかに訪れた使者の中には、死を超えて永続する関係を持てるよう家族を一つにつなぐ権能を回復したエリヤもいました。

さらにわたしたちは、古代の記録である『モルモン書—イエス・キリストについてのもう一つの証』を翻訳するために、ジョセフ・スミスに神の賜物と力が与えられたことを証します。この神聖な書物には、復活後間もないイエス・キリストが西半球の民の間で親しく務めを果たされたことについても記されています。またこの聖典は、

人生の目的を教え、その目的の中核を成すキリストの教義を説明しています。聖書と対を成す聖典として、モルモン書は、すべての人が愛にあふれた天の御父の息子や娘であること、御父がわたしたちの人生について神聖な計画をお持ちであること、そして御子イエス・キリストが昔と同様に今日も語りかけておられることを証しています。

わたしたちは宣言します。1830年4月6日に組織された末日聖徒イエス・キリスト教会は、新約聖書の時代にあったキリストの教会が回復されたものです。この教会は、隅のかしら石であるイエス・キリストの完全な生涯と、主の無限の贖罪と文字どおりの復活をその基盤としています。イエス・キリストは再び使徒たちを召して、神権の権能を与えられました。そして、御自分のもとに来て、御自分の教会を訪れ、聖霊と救いの儀式を受け、永続する喜びを得るよう、わたしたち全員を招いておられます。

父なる神と愛する御子イエス・キリストによってこの回復が始まってから、現在200年が経過しました。世界中で何百万もの人が、これらの預言されていた出来事を知り、受け入れてきました。

わたしたちは喜んで宣言します。約束された回復は、絶えざる啓示によって進められていきます。神が「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ」られるので（エペソ人への手紙1章10節）、地は決して再び前の状態に戻ることはありません。

敬虔の念と感謝をもって、わたしたちは主の使徒として、天が開かれていることを一わたしたちと同じように一知ってくださるよう、すべての人にお勧めします。わたしたちは、神が御自分の愛する息子たちや娘たちに対する御心を明らかにしておられると断言します。祈りをもって回復のメッセージを研究し、信仰により行動する人には、回復が神の御心であり、その目的がわたしたちの救い主である主イエス・キリストの約束された再臨のために世を備えることにあるとの確信が授けられることを証します。

リアホナ 2020年5月号 目次

第22巻・5号

土曜午前の部会

- 6 開会の言葉
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 8 このような偉大な大義において
前進しようではありませんか
M・ラッセル・バラード会長
- 12 義にかなった裁きを確かなものとする
ジェームズ・R・ラズバンド長老
- 15 特別に気高い召し
ジョイ・D・ジョーンズ
- 18 人生にとって霊的に重要な記憶
ニール・L・アンダーセン長老
- 23 心に深く
ダグラス・D・ホームズ
- 27 信仰の祈り
ヘンリー・B・アイリング管長

土曜午後の部会

- 30 中央幹部、地域七十人、ならびに
中央役員の支持
ダリン・H・オークス管長
- 31 2019年度教会監査部報告
ケビン・R・ジャーゲンセン
- 32 モルモン書の出現
ウリセス・ソアレズ長老
- 36 キリストのもとに来る ——
末日聖徒として生きる
ジョン・A・マキューン長老
- 38 生けるキリストの生ける証人
ジェラルド・コセービショップ
- 41 神の慈しみと偉大さを深く考える
デール・G・レンランド長老
- 45 改心におけるモルモン書の力
ベンジャミン・M・Z・タイ長老
- 48 未来に備えてよい土台を
ゲーリー・E・ステイーブソン長老

土曜夜の部会

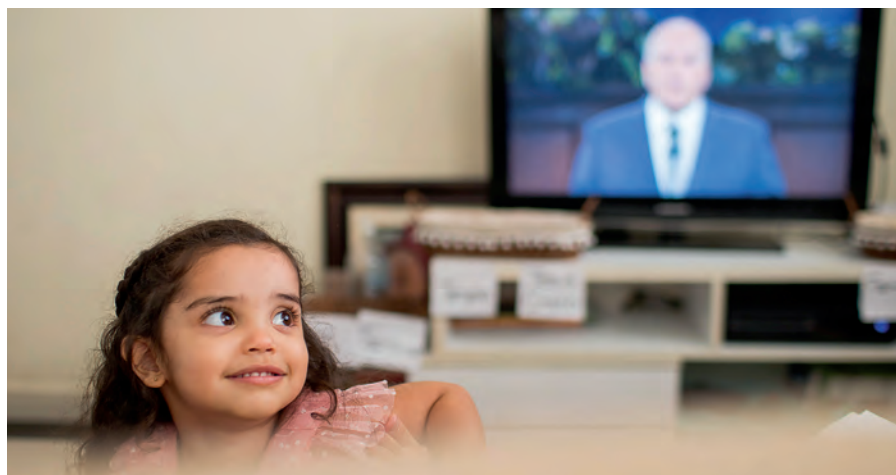
- 52 ホサナ、ハレルヤ —— 生けるイエス・
キリスト：回復と復活祭の中心
ゲレット・W・ゴング長老
- 56 神権は青少年をどのように祝福するか
ラウディ・ルース・カオク
- 58 神権は青少年をどのように祝福するか
エンツォ・セルゲ・ベテロ
- 60 一致して神の業を成し遂げる
ジーン・B・ビンガム
- 66 主はわたしたちの前を行き
ヘンリー・B・アイリング管長
- 69 メルキゼデク神権とその鍵
ダリン・H・オークス管長
- 72 助けを求めて天を開かん
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午前の部会

- 75 預言の成就
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 78 彼らにも見えるように
ボニー・H・コードン
- 81 完全な希望の輝き
ジェフリー・R・ホランド長老
- 84 わたしの名のために
この家を建てなさい
デビッド・A・バドナー長老
- 88 彼に聞きなさい
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 92 ホサナ斉唱
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 93 偉大な計画
ダリン・H・オークス管長
- 96 人生を導く、預言者への絶え間ない啓
示と個人の啓示の祝福
クエンティン・L・クック長老
- 101 人生の嵐の避け所を見つける
リカルド・P・ヒメネス長老
- 104 来て一員となる
ディーター・F・ワークトドルフ長老
- 107 最高級の家
L・ホイットニー・クレートン長老
- 110 回復と復活のメッセージを分かち合う
D・トッド・クリストファーソン長老
- 114 信仰をもって前進する
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 64 末日聖徒イエス・キリスト教会の
中央幹部と中央役員
- 116 2019年度統計報告
- 117 教会のニュース
- 127 『わたしに従ってきなさい』——
総大会のメッセージから学ぶ



ブラジル、サンパウロ

第190回年次総大会の概要

2020年4月4日、土曜午前の部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——リチャード・J・メインズ長老
閉会の祈り——ミッシェル・クレグ
音楽——テンプルスクウェア・タバナクル合唱団*：「目覚めよ、起て」『賛美歌』7番；「夜明けだ、朝明けだ」『賛美歌』1番、ウィルバーク編曲；「安けさは川のごとく」、スバッフオード、グリス、ウィルバーク編曲；「来たれ、主の子ら」『賛美歌』31番；「麗しき朝よ」『賛美歌』18番；“Come, Thou Fount of Every Blessing,” Robinson/American folk melody, ウィルバーク編曲。

2020年4月4日、土曜午後の部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——ミルトン・カマルゴ
閉会の祈り——ルーベン・V・アリオード長老
音楽——テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；「山の上に」『賛美歌』2番、ウィルバーク編曲；「われみ言葉読む」『賛美歌』177番、マーフィー編曲；「喜べ、主を」『賛美歌』32番；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番、ウィルバーク編曲。

2020年4月4日、土曜夜の部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——カイル・S・マッケイ長老
閉会の祈り——クリスティーナ・B・フランコ
音楽——テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；“Let Zion in Her Beauty Rise,” *Hymns*, no. 41, arr. Kasen；「取り巻く闇の中を」『賛美歌』52番、ウィルバーク編曲；「神の子です」『賛美歌』189番；「天よりの声聞け」『賛美歌』166番、ウィルバーク編曲。

2020年4月5日、日曜午前の部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——ブルック・P・ヘイルズ長老
閉会の祈り——ピーター・M・ジョンソン長老
音楽——テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；“Truth Eternal,” *Hymns*, no. 4；「主のみ言葉は」『賛美歌』46番、ウィルバーク編曲；“This Is My Beloved Son”, *Children's Songbook*, 76, arr. Cardon；「いざ救いの日を楽しまん」『賛美歌』5番；「悩めるイスラエル」『賛美歌』6番、ウィルバーク編曲；「ホサナ賛歌／主のみたまは火のごと燃え」ステイブンス、『賛美歌』3番、ステイブンス編曲。

2020年4月5日、日曜午後の部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——ケビン・R・ダンカン長老

閉会の祈り——リン・G・ロビンス長老
音楽——テンプルスクウェア・タバナクル合唱団；「たたえよ、主の召したまいし」『賛美歌』16番、ウィルバーク編曲；「明けゆく空」『賛美歌』28番、マーフィー編曲；「主は生けりと知る」『賛美歌』75番；「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番、ウィルバーク編曲。

*各部会の音楽は、様々な指揮者と様々なオルガニストの伴奏によって事前に収録されたものである。閉会の賛美歌は、タバナクル合唱団と以下に挙げる6つの聖歌隊によって収録された：ガーナ・アクラ、メキシコ・メキシコシティー、韓国・ソウル、ブラジル・サンパウロ、ドイツ・フランクフルト、ニュージーランド・オークランド。

総大会の説教の入手

様々な言語に訳された総大会の説教をオンラインで聞くことができます。インターネットでChurchofJesusChrist.orgにアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。通常、総大会後6週間以内に、英語による大会の映像と音声録音したものが配送センターを通じて入手できるようになります。障がいのある会員が利用できる形式の総大会に関

する情報は disability.ChurchofJesusChrist.org で入手できます。

表紙

表紙——絵／「最初の示現」ダン・バー画
裏表紙——写真／メソン・コーバリー

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コーディー・ベル、ジャネイ・ビンガム、メソン・コーバリー、ウェストン・コルトン、ブライアン・ニコルソン、レスリー・ニルソン。その他の写真／アレクサンドル・ボーガス、マーク・ブランソン、ニコラス・サリー・ブスタマンテ、アネット・キャンベル、カリサ・クレエ、キャシー・フロスト、アレハンドロ・グティエレス、ナタリア・ヘップワース、コリー・ナイト、アシュリー・ラーソン、ブルーノ・リマ、アシュリー・マリリ、メラニー・ミザ、ケンドリック・ナヴァロ、アーサー・オジジャ、ヴェロニカ・オルソン、アレン・パーマー、メラニー・ポーター、ジョナス・レビッキ、マーク・ロメサー、エリザベス・トンプソン、チャン・ホー・ツァイ、エミリー・ウチカンスキー、マルコ・ヴァーガス、クリストファー・ウォーカー、デーブ・ワード、ジョナサン・ウィング、ジャスティン・ライト。



アメリカ合衆国、ユタ州ウェストジョーダン

リアホナ 2020年5月号
第22巻5号(16720 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オクス、ヘンリー・B・ア
イリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、デー
ター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ペドナー、クエンティン・L・クック、
D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラ
ズバンド、ゲリー・E・スティープソン、デール・G・レンランド、ゲレ
ット・W・ゴング、ウリセス・ソアレ

編集長: ランディー・D・ファンク

顧問: ベッキー・クレブ、シャロン・ユーバンク、クリスティナ・B・フ
ランコ、ウォルター・F・ゴンザレス、ラリー・S・ケーチャー、ジャン・E・
ニューマン、アドリアン・オチョア、マイケル・T・リングウッド、バーン・P・ス
タンフィ

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーグ

ビジネスマネージャー: ガフ・キャン

編集主幹: アダム・C・オルソン

編集主幹補佐: マリッサ・ウイティソン

出版補佐: エニシュ・C・ダビラ

執筆・編集: ライアン・カー、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワ
ーズ、マシュー・フリット、ギャレット・H・ガース、シャーロット・ラーカバ
ル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、リチャード・M・ロム
ニー、ミンディー・セル、ロリー・フラー、ソウサ、チャケル・ワードレイ

編集インターン: カイリー・グレース・パリッシュ、レイチェル・ジョイ
ウィット

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: デビッド・S・グリーン、コリン・ヒンクレ、エリック・P・ジョ
ンソン、スーザン・ロフグレン、スコット・ムーイ、アレニ・レガー

デザインインターン: ジェンナ・バラシオス

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

制作: アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーデット、ホセ・チャベス、フ
ライアン・W・ギョキ、アンモン・ハリス、キニー・J・ニルソン、マリッサ・
M・スミス

製版: ジョシュア・デニス

印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター: ネルソン・ゴンザレス

日本語版翻訳課長: 大森陽子

郵便宛先: Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City,
UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙]でお申し込みになるが、郵便振替(口
座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00150-0-
604351)にて教会管理本部配送センターへ送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み/配送についての問い合わせ
……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キ
リスト教会管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話: 03-3440-2351

年間購読: 国内 1,090 円(送料込み)

海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへ
のお申込みをお勧めします。
普通号/大会号 110 円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)
は、以下の言語で出版されています。

アルバーニア語、アルメニア語、ピスマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブ
アノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オラ
ンダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ
語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、
日本語、キリリス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マ
ンダリン語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア
語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン
語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベ
トナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2020 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、
個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複製する
ことができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料
に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないこ
とがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office,
50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に
郵送するか、電子メール cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:
May 2020 Vol. 44 No. 5. LIAHONA (USPS 311-480) English
(ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus
Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City,
UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada,
\$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt
Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address.
Include address label from a recent issue; old and new address
must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt
Lake Distribution Center at address below. Subscription help line:
1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover,
MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org.
(Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)
POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DM 507.1.5.2).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes
to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt
Lake City, UT 84126-0368, USA.



アメリカ合衆国、ユタ州サンディー

話者リスト (50音順)

アイリング、ヘンリー・B	27, 66
アンダーセン、ニール・L	18
ウークトドルフ、データー・F	104
オクス、ダリン・H	30, 69, 93
カオク、ラウディ・ルース	56
クック、クエンティン・L	96
クリストファーソン、D・トッド	110
クレイトン、L・ホイットニー	107
コードン、ボニー・H	78
コセー、ジェラルド	38
ゴング、ゲレット・W	52
ジャーゲンセン、ケビン・R	31
ジョーンズ、ジョイ・D	15
スティープソン、ゲリー・E	48
ソアレ、ウリセス	32
タイ、ベンジャミン・M・Z	45
ネルソン、ラッセル・M	6, 72, 88, 92, 114
バラード、M・ラッセル	8
ヒメネス、リカルド・P	101
ビンガム、ジーン・B	60
ベテロ、エンツォ・セルゲ	58
ペドナー、デビッド・A	84
ホームズ、ダグラス・D	23
ホランド、ジェフリー・R	81
マキューン、ジョン・A	36
ラズバンド、ジェームズ・R	12
ラズバンド、ロナルド・A	75
レンランド、デール・G	41

テーマ別索引

あ愛	18, 23, 36, 81, 110
証	18, 32, 48
アダムとエバ	60
憐れみ	12
安息日	28
イエス・キリスト	6, 12, 36, 38, 41, 45, 48, 52, 66, 69, 72, 78, 81, 84, 88, 101, 104, 110, 114
イスラエルの集合	66, 78
一致	23, 60
祈り	27, 72
癒し	12
恐れ	6
か改心	45
回復	8, 15, 27, 52, 60, 66, 69, 75, 81, 88, 110, 114
鍵	93
家族	93
家族歴史	84, 88
家庭	107
感謝	41
儀式	84, 93
犠牲	23, 110
希望	81
逆境	6, 8, 32, 36, 38, 56, 69, 88, 101, 107
教会指導者	30
教会の名称	72
教会の召し	96
キリストの光	78
悔い改め	23, 45, 104
啓示	15, 23, 88, 96
結婚	69
個人の啓示	18, 88, 96
個人の成長	15, 45, 69
さ最初の示現	6, 8, 15, 18, 27, 92, 93
裁き	12, 69
祝福	58
祝福師の祝福	56
殉教	8
贖罪	12, 38, 41, 52, 56, 69, 101

女性	15, 60
ジョセフ・スミス	6, 8, 15, 18, 27, 32, 58, 60, 66, 75, 84, 88, 96, 101, 104, 110
神権	15, 58, 60, 66, 84
神権の祝福	56
信仰	27, 48, 72, 101, 114
神殿	48, 56, 75, 88, 92, 114
神殿の業	52, 66, 81, 84, 114
過越	52
真理	93
救いの計画	69
正義	12
聖文	88
聖文研究	107
聖約	84
聖霊	88, 96
選択の自由	23, 69
備え	6
た断食	72
男性	60
力	27
知識	18
弟子としての務め	104, 107
伝道活動	27, 66, 75, 104, 110
天の御父	18, 41, 81, 88
な人間関係	23
は迫害	8
繁栄	107
広い心	41
ふさわしさ	58
扶助協会	60
復活	52, 69, 110
復活祭	52
平安	6, 12, 36
ま学び	104
メルキゼデク神権	93
模範	78, 110
モルモン書	12, 32, 38, 45, 110
や喜び	101
らリーダーシップ	23
霊性	48, 107

第190回年次総大会の見どころ



ラッセル・M・ネルソン大管長が総大会で明確に伝えたメッセージがあります：「彼に聞きなさい」

ネルソン大管長は次のように教えています。「わたしたちも自分にできるあらゆる方法で、聖霊の力と働きを通して語られるイエス・キリストに聞くよう努めるのです。」

今日の大会やすべての総大会の目的は、わたしたちが主に聞くのを助けることです。」(7ページ)

最初の示現と回復に焦点が当てられた今大会において、ジョセフ・スミスが聖なる森で主の声を聞いたように、わたしたちも主の声を聞くことができることを学びました。何百万もの人々に影響を及ぼしている世界規模のパンデミックの影響に囲まれながらも、わたしたちは問題のただ中で導きを得るために主に聞くことを学びました。教会とわたしたち個人の明るい未来に目を向けながら、わたしたちは主に聞き従うという取り組みを改める必要があることを学びました。

ネルソン大管長はこのように述べています。「2020年4月のこの総大会の多くの霊的な諸要素……は、『彼に聞きなさい』という神の言葉にまとめられるでしょう。皆さんがこの言葉を述べられた天の御父と御子イエス・キリストに心に向けた思い出が、どの出来事にも増して皆さんの記憶に深く刻まれるよう祈ります。」

この大会のメッセージを研究し、「救い主の言葉を聞き、耳を傾け、心に留め」ようとするとき、生活において「恐れは薄れ、信仰は増す」という預言者の約束が成就するのを目の当たりにするでしょう。

- ネルソン大管長は教会の新しいシンボルを発表しました。(73ページ)
- ネルソン大管長は回復の宣言を発表しました。(91ページ)
- ネルソン大管長は世界的規模の聖会を指揮しました。(92ページ)
- ネルソン大管長は8つの新たな神殿の建設を発表しました。(115ページ)
- 人々が「主に聞く(#HearHim)」ことができるよう助ける方法については、HearHim.ChurchofJesusChrist.orgでさらに学んでください。■

今月号の画像

わたしたちは公開する画像を通して各総大会を記録するようにしています。総大会は毎回独特な要素がありますが、今月号の画像は今大会が幾つかの点において稀な状況下で行われたことを示しています。

放送時の画像に加え、(新型コロナウイルスと工事によって珍しく人けのない) 美しいテンプルスクウェアの写真や、福音の回復に関連する絵、世界中で大会に参加する様子を会員が撮影し送ってきた写真も目にするでしょう。



「わがたしの名を呼び」ウォルター・レーン画



末日聖徒イエス・キリスト教会 大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

開会の言葉

わたしたちも自分にできるあらゆる方法で、聖霊の力と働きを通して語られるイエス・キリストに聞くよう努めるのです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、末日聖徒イエス・キリスト教会の2020年4月のこの歴史的な総大会に、皆さんを歓迎します。御存じのように、わたしの前には聴衆が一人もいません。

この4月の大会が「記念になるだけでなく、記憶に残るものになるでしょう」と、2019年10月の総大会で約束したときは、思いもよらなかったのですが、こうして10人もいない会衆の前で話すことになり、この大会はわたしにとっていつまでも忘れられないものになるでしょう。しか

し、皆さんが電子通信を通して参加していることを知り、また聖歌隊による「安けさは川のごとく」という賛美歌の美しい演奏を聴いて、わたしの心は深い慰めを感じています。

御存じのように、わたしたちはよきグローバル市民でありたい、また、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために最善を尽くしたいという願いから、この総大会への出席が厳しく制限されました。このウイルスは世界中で猛威を振るっています。しばらくの間、教会の集会や伝

道活動、神殿活動においても変更を余儀なくされています。

現在の制限は毒性のあるウイルスに関係していますが、人生における個人の試練は、このパンデミックをはるかに超えて広がっています。将来の試練は、事故や自然災害、あるいは予期しない心痛から起こるかもしれません。

どうすればそのような試練に耐えられるでしょうか。主はわたしたちに、「備えていれば恐れることはない」と言われました。¹ もちろん、わたしたちは食糧や水を蓄え、貯金をすることができます。しかし、同じように重大なのは、個人の霊的な貯蔵庫を、信仰、真理、証で満たすことです。

人生における究極の目的は、わたしたちの創造主にお会いする備えをすることです。わたしたちは救い主イエス・キリストに似た者になれるよう毎日努力して、この備えをします。² また、毎日悔い改めて、清めと癒しと強さをもたらす主の力を受けるときにそれをを行います。そうすれば、荒れ狂う時代にあっても、永続する平安



と喜びを感じることができます。主が「聖なる場所に立ち、動かされないようにしなさい」と命じられたのは、まさにこの理由のためです。³

わたしたちは今年、世界の歴史上、最も重要な出来事の一つ、すなわち父なる神とその愛する御子イエス・キリストがジョセフ・スミスに現れてから200周年を祝います。この驚くべき示現の中で、父なる神はイエス・キリストを指して、「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい」と言われました。⁴

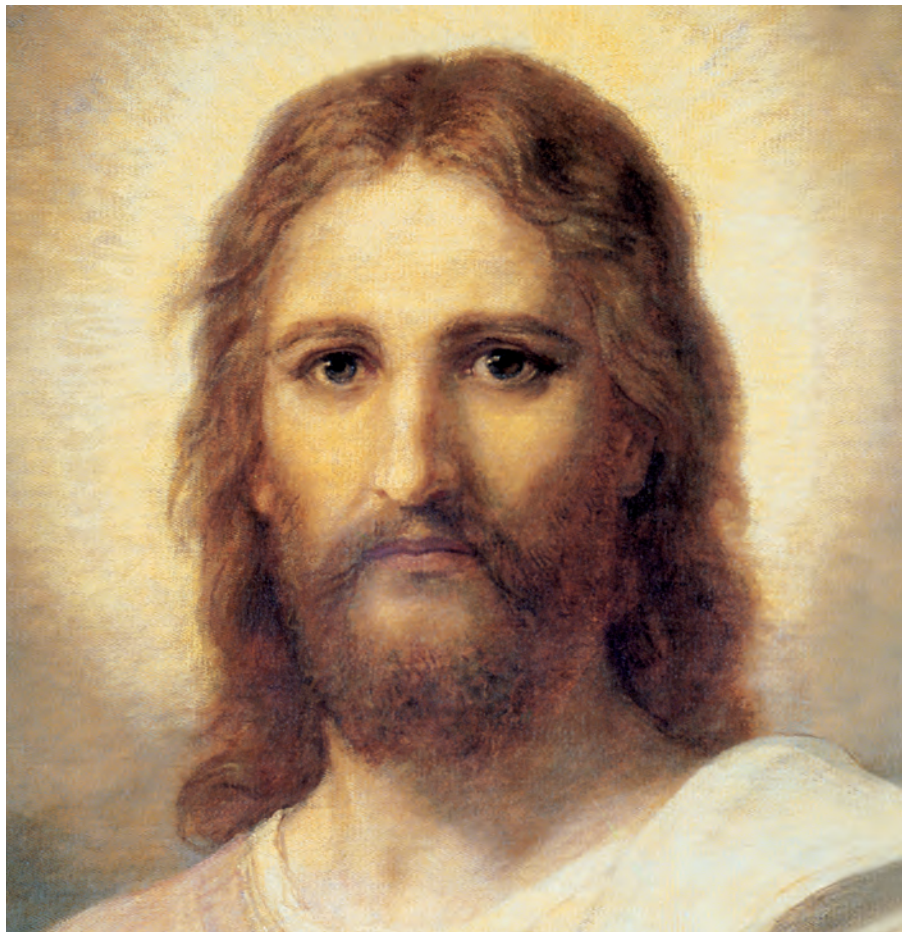
ジョセフに与えられたこの勧告は、わたしたち一人一人に当てはまります。わたしたちも自分にできるあらゆる方法で、聖霊の力と働きを通して語られるイエス・キリストに聞くよう努めるのです。

今日の大会やすべての総大会の目的は、わたしたちが主に聞くのを助けることです。主の御霊が豊かに注がれて、救い主があなたのために特別に用意されたメッセージ、つまりあなたの心に平安をもたらすメッセージを聞くことができますよう、わたしたちは祈ってきました。皆さんもそのように祈るようお勧めします。そのメッセージが皆さんの打ち砕かれた心を癒し、皆さんの思いを照らし、混乱と試練の時にも前進するためになすべきことを知らせてくれますように。

わたしたちは、皆さんが聞くメッセージと特別な発表により、また、一緒に参加するよう招かれる経験によって、この大会が「記念となり、記憶に残るもの」となるよう祈っています。

その一つとして、日曜午前の部会の最後で、世界的規模の聖会を開催し、わたしは神聖なホサナ斉唱を指揮します。世界中の人が声を合わせて、この特別な方法で父なる神とその愛する御子を賛美し、御二方への心からの感謝を表すことが、皆さんにとって霊的なハイライトとなるように祈っています。

この神聖な経験で、わたしたちは清潔



「キリストの絵」ハインリッヒ・ホフマン画

な白のハンカチを使います。しかし、持っていない人は、手を振るだけでもけっこうです。ホサナ斉唱の後、会衆は聖歌隊とともに「主のみたまは火のごと燃え」を歌います。⁵

愛する兄弟姉妹の皆さん、この大会はすばらしいものになるでしょう。今年は、救い主と回復された主の福音に熱心に目を向けることで、すばらしい年となるでしょう。この歴史的な大会の最も大切な永続する効果は、わたしたちの心が変わり、主に聞くという生涯にわたる探求を始めるときに現れます。

2020年4月の総大会へようこそ！天の父なる神とその御子イエス・キリストは、わたしたちを心に留めておられます。わたしたちが御父と御子にさら

に近づき、賛美しようとするとき、御二方はこの栄えある2日間、わたしたちとともにいてくださるでしょう。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 38 : 30
2. 3ニーファイ 27 : 27 参照
3. 教義と聖約 87 : 8
4. ジョセフ・スミス—歴史 1 : 17
5. 『賛美歌』3番



ブラジル、パラナ、クリチバ



十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

このような偉大な大義において前進しようではありませんか

わたしたちは、教会を築いてきたその他多くの忠実な男女、子供たちとともに、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスの払った代価を常に覚えておかなければなりません。

大管長、素晴らしい開会をありがとうございます。兄弟姉妹、215年前、ジョセ

フ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスに男の子が生まれました。アメリカ



アルゼンチン、ブエノスアイレス

合衆国北東部のバーモント州にある「ニューイングランド」として知られる地域でのことです。

ジョセフとルーシーはイエス・キリストを信じ、聖文を研究し、心を込めて祈り、神を信じながら生活していました。

彼らは生まれたばかりの息子をジョセフ・スミス・ジュニアと名付けました。

スミス家族について、ブリガム・ヤングはこう言っています。「主は〔ジョセフ・スミス〕のうえに、彼の父親のうえに、彼の父親の父親のうえに、そしてアブラハムに至るまで、彼の先祖に目を注がれました。そして、アブラハムからさらにさかのぼって洪水の時代、洪水の時代からエノク、エノクからアダムに目を注いでこられました。主はこの家系を見守り、この家系の血統が始祖からこの人の誕生まで継承されるのを見守ってこられました。〔ジョセフ・スミス〕は……永遠に予任されていたのです。」¹

ジョセフ・ジュニアは家族から愛されていましたが、とりわけ、ジョセフが生まれたときにもうすぐ6歳だった兄ハイラムとは仲良しでした。

去年の10月、わたしは、ジョセフが生まれたバーモント州シャロンにあるスミス家族の小さな家で、暖炉の横に腰かけました。ジョセフへのハイラムの愛を感じ、赤ん坊だったジョセフを抱いたり、歩き方を教えたりしたのだらうと思いました。

スミス家族の父と母は挫折を繰り返し、家族を連れて何度も転居せざるを得ませんでした。そして最終的にはニューイングランドを出てさらに西のニューヨーク州に移るといふ、勇気ある決断を下したのです。

家族は結束していたので、この試練に立ち向かい、気の遠くなるような作業に一致協力して取り組みました。ニューヨーク州パルマイラ近くのマンチェスターにある100エーカー（0.4km²）もの山林で、一からやり直したのです。

このような土地で一から始めることに
対してスミス家族が感じた物理的、心理
的な負担を、わたしたちの多くは理解して
いないのではないのでしょうか。木を伐採
し、果樹園や畑を作り、丸太作りの小さな
家屋や農業に必要なそのほかの建物を建
て、日雇労働者たちを雇い、町で売る家
庭用雑貨を作ったのです。

スミス家族がニューヨーク州西部に到
着したころ、そこでは「第二次大覚醒」と
して知られる布教活動が非常に過熱して
いました。

教派間で論争と衝突が繰り返されて
いたこの時期に、ジョセフは今日「最初
の示現」として知られる驚くべき示現を
見ます。この示現については、恵まれたこ
とに、本人による4つの記述があります
ので、そこから引用しましょう。²

ジョセフはこう記録しています。「この
ひどい〔宗教的な〕騒ぎの間、わたしは心
の中で深く考えさせられ、大きな不安を感
じないではいられなかった。しかし、わた
しの気持ちに深く、またしばしば痛烈に
感じるものがあつたにもかかわらず、なお
わたしはこれらすべての教派から遠ざかっ
ていた。それでも、機会があるごとに、彼
らのいろいろな集まりには出席した。……
しかし、様々な教派間の混乱と争いが非
常に激しかったので、わたしのように若
く、世間のことを知らない者にとって、だ
れが正しく、だれが間違っているか、確か
な結論を出すことは不可能であつた。」³

ジョセフは疑問の答えを見つけようと
聖書を開き、ヤコブの手紙第1章5節を
読みました。「あなたがたのうち、知恵に
不足している者があれば、その人は、とが
めもせずに惜しみなくすべての人に与え
る神に、願い求めるがよい。そうすれば、
与えられるであろう。」⁴

ジョセフはこう書いています。「この聖
句が、このとき、かつて人の心に力を与え
たいかなる聖句にも勝って、わたしの心に
力強く迫ってきたのであつた。それはわ



たしの心の隅々に大きな力で入り込んで
来るように思われた。……わたしはこの
言葉を再三再四思い巡らした。」⁵

人が人生で抱く疑問の答えがすべて
聖書の中にあるわけではないことを、ジョ
セフは知りました。むしろ聖書は、祈り
を通して神と直接話すという、疑問の答え
を見いだすことのできる方法を、人々に教
えていたのです。

ジョセフの話は続きます。「そこで、神に
願い求めるというこの決心に従って、わた
しはこれを実行するために人目を避けて森に
入って行った。それは千八百二十年の早
春、美しい晴れた日の朝のことであつた。」⁶

その直後に起こったことについて、ジョ
セフはこう書いています。「光〔の柱〕が
わたしの上にとどまったとき、わたしは筆
紙に尽くし難い輝きと栄光を持つ二人の
御方がわたしの上の空中に立っておられ
るのを見た。すると、そのうちの御一方が
わたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別
の御方を指して、『〔ジョセフよ、〕これは
わたしの愛する子である。彼に聞きなさい』
と言われた。」⁷

次に、救い主はこう言われました。「わ
たしの息子、ジョセフよ。あなたの罪は赦
された。あなたの道を行き、わたしの定
めに歩み、わたしの戒めを守りなさい。
見よ、わたしは栄光の主である。わたし
の名を信じるすべての者が永遠の命を得
られるように、わたしは世の人々のために
十字架につけられた。」⁸

ジョセフは、こう付け加えています。
「そこで、わたしは我に返って物を言える

ようになるやいなや、わたしの真上で光の
中に立っておられた方々に、すべての教派
のうちのどれが正しいか……を伺った。」⁹

そしてこのように振り返っています。
「御二方はわたしに、すべての教派は誤っ
た教義を信じており、神が御自分の教会
と王国として認めているものはないと告
げられた。そして……また同時に、将来
いつか完全な福音がわたしに知らされる
という約束を〔わたしは〕受けた。」¹⁰

ジョセフは、「この示現の中でわたしは
多くの天使を目にした」¹¹とも書いています。

この輝かしい示現の後でジョセフは、
「わたしの心は愛で満たされ、何日もの
間、大きな喜びに包まれた。主はわたしと
ともにおられた」¹²と書いています。

ジョセフは聖なる森から出ると、神の預
言者になるための備えを始めました。

それと同時に、古代の預言者たちが経
験した拒絶やひどい扱い、迫害も、経験
するようになります。ジョセフは、自分
が見たり聞いたりしたことを宗教復興運動
に熱心な牧師の一人に話したときのこ
とを、こう書いています。

「わたしは彼の振る舞いにひどく驚い
た。彼はわたしの話を軽くあしらっただ
けでなく、ひどく軽蔑した調子で、それは
すべて悪魔から出たものであつて、この時
代に示現や啓示のようなものではなく、そ
のようなものはすべて使徒たちで終わっ
ており、今後決してそのようなものはない、
と言った。

しかし、それから間もなく、わたしがそ
の話をしたことが、信仰を告白する人々の

間にわたしに対する大きな偏見を引き起こし、ひどい迫害の原因となったことを、わたしは知った。そして、迫害は増し続けた。……これはすべての教派に共通したことで、すべてが連合してわたしを迫害したのであった。」¹³

3年後の1823年に、再び天が開きます。それは、末日におけるイエス・キリストの福音の、今なお続く回復の一環でした。モロナイという天使が現れてこう言ったとジョセフは書いています。「神がわたしのなすべき業を備えておられ……金版に記された書が隠されてい[て]……それには救い主がその昔の[アメリカ大陸の]住民に述べられたままに完全な永遠の福音が載っている……。」¹⁴

やがてジョセフは、現在モルモン書として知られている古代の記録を手に入れて、翻訳し、出版します。

兄のハイラムは、この金版の証人の一人です。そして、特にジョセフが甚だしい痛みを伴う命がけの足の手術を1813年に受けて以来、常にジョセフを支えました。また、イエス・キリストの教会が1830年に組織されたときの6人の会員の一人でもありました。

ジョセフとハイラムは、その人生で、暴徒や迫害と一緒に立ち向かいました。例えば、1838年から1839年の厳冬の中、ミズーリ州リバティーの監獄で5か月間、最悪の環境の中で悲惨な生活を送りました。

1839年4月にジョセフは妻エマに、リバティーの監獄の状況を次のように書き送っています。「わびしく、暗く、汚い牢獄で、壁や鉄格子、鉄の扉のきしむ音に囲まれ、昼夜の別なくしかめっ面の看守の監視下に置かれるようになってから、5か月と6日になると思います。……いずれわたしたちはこの[場所]から出るようになるのですから、その後どうなるかと、それはうれしいことです。これほどひどい穴倉に入れられることはあり得ませんから。……ミズーリ州クレイ郡のリバティー



を後にしたら、二度と戻りたくありません。もう、うんざりです。」¹⁵

迫害を受けたとき、ハイラムは主の約束を信じる信仰を示しました。その約束には、望むならば敵の手から確実に逃れられるということも含まれていました。1835年にジョセフ・スミスの手からハイラムが受けた祝福の中で、主はハイラムにこう約束しました。「あなたは敵の手から逃れる力を持つであろう。あなたは執拗に命をつけねられるが、逃れるであろう。しかし、もしもあなたがそれを良しとし、あなたが望むのであれば、あなたは神に栄光を帰すために自分から命を捨てる力を持つであろう。」¹⁶

1844年6月、ハイラムは、生きることを選ぶか、それとも愛する弟ジョセフとともに神に栄光を帰すために命を捨てて「自らの血をもって自分の証を確実なものとする」ことを選ぶかという、岐路に立たされました。¹⁷

顔を塗り正体を隠した卑怯な武装集団に二人が冷酷に殺された、あのカーセージに向かう運命の旅に出る1週間前に、ジョセフはこう記録しています。「わたしは兄ハイラムに、次の便の蒸気船に乗ってシンシナチに行くようにと助言した。」

これに対してハイラムの返した言葉を思い出すと、わたしは今でも胸に込み上げるものがあります。「ジョセフ、あなたを離れることはできません。」¹⁸

こうして、ジョセフとハイラムはカーセージに行き、キリストの大義と御名のために殉教者となったのです。

「主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、……彼自身が神の賜物と力

によって翻訳して、両大陸で出版する仲立ちとなった『モルモン書』を出し、その書に載っている完全な永遠の福音を地の四方に送り出し、人の子らのために『教義と聖約』という本書を構成する数々の啓示と戒め、およびそのほか多くの知恵ある文書と指示を出し、何千人もの末日聖徒を集め、一つの偉大な都市を建設し、覆されることのあり得ない誉れと名声を残した。……そして、昔の、主の油注がれた者のほとんどがそうであったように、[ジョセフは、]自らの血をもって自分の使命と業を証明したのである。彼の兄ハイラムも同様であった。彼らは生前に分かたれることはなく、また死後も離れることはなかった。」¹⁹

殉教したジョセフとハイラムの遺体がノーブーに戻り、洗い清めと着替えが済むと、スミス家の人たちは愛する家族のなきがらと対面できるようになりました。亡き二人にとって大切な存在だった母親は、後にこう言っています。「わたしは長い時間、全神経をもって身構え、全身全霊を奮い立たせ、力を与えてくださるようにと神に祈り求めています。ところが部屋に入り、殺された息子の横たわる姿が二人同時に目に入り、家族のむせび泣く声やおえつ、妻や子供たち、兄弟姉妹たちの泣き叫ぶ声が耳に入ってくると、もう、こらえ切れなくなりました。わたしは崩れ落ち、苦しみもだえながら主に叫びました。『神よ！わたしの神よ！なぜわたしの家族をお見捨てになったのですか。』」²⁰

すると、この悲しみと苦悩のときに、彼女には、亡き息子たちがこう言うのが聞こえたのです。「お母さん、わたしたちのことで泣かないでください。わたしたちは、愛で世に勝ったのです。」²¹

確かに、彼らは世に勝ちました。ジョセフ・スミスとハイラム・スミスは、黙示録で描かれている忠実な聖徒たちのように「大きな患難をとおってき……て、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたので

ある。〔そして、〕神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。

彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。

御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるのである。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいとして下さるのである。」²²

最初の示現 200 周年を祝うこの喜びの時にあって、わたしたちは、教会を築いてきたその他多くの忠実な男女、子供たちとともに、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスの払った代価を常に覚えておかなければなりません。彼らのおかげで、今日皆さんもわたしも多くの祝福と、これらすべての啓示された真理を享受することができるのです。彼らの忠実さを、決して忘れてはなりません。

ジョセフとハイラムとその家族がなぜこれほどまでに苦しまなければならなかったのかと、わたしは度々疑問に思ってきました。この苦しみを通して、彼らは、この苦しみをなくしては知り得なかった神を知るようになったのかもしれませんが。この苦しみを通して、彼らは救い主のゲツセマネと十字架での苦しみを思い起こしたのです。パウロは言いました。「あなたがたはキリストのために、ただ彼を信じることだけではなく、彼のために苦しむことをも賜わっている。」²³

ジョセフは 1844 年に亡くなる前、聖徒たちに熱意あふれる手紙を書き送りました。それは行動を起こすようにとの呼びかけであり、教会は今日でも同じ呼びかけをしています。

「兄弟〔と姉妹〕たちよ、わたしたちはこのような偉大な大義において前進しようではありませんか。退かずに前に進んでください。兄弟〔と姉妹〕たちよ、勇気を出してください。勝利に向かって進み、進

んでください。……

したがって、わたしたちは教会として、また民として、また末日聖徒として、義をもってささげ物を主にささげましょう。」²⁴

今週末、この 200 周年の祭典の期間に、御霊に耳を傾け、義をもってどんなささげ物を主にささげるか、これから数日間よく考えてください。勇気を出して、信頼している人にそれを伝えてください。そして、これがいちばん大切なことですが、どうか、時間を取ってそれを実行してください。

わたしたちが義をもって心からのささげ物を差し出すときに救い主が喜ばれることを、わたしは知っています。それは、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスというすばらしい兄弟たちやそのほかあらゆる忠実な聖徒たちの忠実なささげ物を主が喜ばれたのと同じです。これらのことを、わたしたちの主イエス・キリストの神聖な御名により、厳粛に証します、アーメン。■

注

1. ブリガム・ヤングの言葉、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』544で引用。see also Brigham Young, "Remarks," *Deseret News*, Oct. 26, 1859, 266.
2. 最初の示現に関する本人による記述は4つある。"Joseph Smith's Accounts of the First Vision," josephsmithpapers.org を参照
3. ジョセフ・スミス—歴史 1:8

4. ジョセフ・スミス—歴史 1:11 参照
5. ジョセフ・スミス—歴史 1:12
6. ジョセフ・スミス—歴史 1:14
7. ジョセフ・スミス—歴史 1:17
8. In Joseph Smith, "History, circa Summer 1832," 3, josephsmithpapers.org; spelling, punctuation, and capitalization standardized.
9. ジョセフ・スミス—歴史 1:18
10. Joseph Smith, "Church History," *Times and Seasons*, Mar. 1, 1842, 707; see also josephsmithpapers.org.
11. Joseph Smith, "Journal, 1835-1836," 24, josephsmithpapers.org.
12. Joseph Smith, "History, circa Summer 1832," 3, josephsmithpapers.org; punctuation and capitalization standardized.
13. ジョセフ・スミス—歴史 1:21 - 22
14. ジョセフ・スミス—歴史 1:33 - 34
15. Joseph Smith, "Letter to Emma Smith, 4 April 1839," 1 - 2, josephsmithpapers.org; spelling, punctuation, and capitalization standardized.
16. Joseph Smith, in "Minute Book 1," 186, josephsmithpapers.org; emphasis added; punctuation standardized.
17. 教義と聖約 136:39 参照
18. Joseph Smith, "History of Joseph Smith," *The Latter-day Saints' Millennial Star*, Apr. 19, 1862, 248; emphasis added.
19. 教義と聖約 135:3, 強調付加
20. "Lucy Mack Smith, History, 1845," 312-13, josephsmithpapers.org; spelling and punctuation standardized.
21. "Lucy Mack Smith, History, 1845," 313, josephsmithpapers.org.
22. 黙示 7:14 - 17
23. ピリピ 1:29
24. 教義と聖約 128:22, 24, 強調付加



JOSEPH AND HYRUM SMITH STANDING BY RIVER. (川沿いでのジョセフとハイラム・スミスの肖像) by KENNETH S. TILGNER



七十人
ジェームズ・R・ラスバンド長老

義にかなった裁きを 確かなものとする

義にかなった裁きを確かなものとするために、救い主は無知のやぶと、人から傷つけられた苦痛のとげを取り払われたのです。

モルモン書はキリストの教義を教えている

昨年10月、ラッセル・M・ネルソン大管長は、「モルモン書から得た知識が突然取り去られたら」わたしたちの生活はどう変わるか考えるようにチャレンジしました。¹ わたしは、多くの皆さんが行ったように、この質問について考えてみました。一つの考えが繰り返し浮かんできました。モルモン書と、そこに明確に示されているキリストの教義や主の贖いの犠牲についての記録がなければ、どこに平安を見いだせるのでしょうか。

キリストを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物、そして最後まで堪え忍ぶという救いの原則と儀式から成るキリストの教義は、回復の聖典すべての中で繰り返し教えられています。モルモン書の中で特に力強く教えられています。² その教義はキリストを信じる信仰に始まり、ほかのすべての要素は主の贖いの犠牲にかかっています。

ネルソン大管長が教えているように、「モルモン書は、イエス・キリストの贖罪について、どんな書物よりも最も完全に最も信頼できる理解を与えています。」³ 救い主の高貴な賜物について理解すればするほど、さらに多くのことを思いと心で知るようになり、⁴ ネルソン大管長の次の

約束を実感することでしょう。「モルモン書の真理には人の心を癒し、慰め、回復し、救い、力づけ、元気づけ、喜びで満たす力があるのです」⁵

救い主の贖罪は正義の要求を満たす

救い主の贖罪への理解を深めるといふ、重要で、平安をもたらすモルモン書の役割は、キリストの憐れみの犠牲が正義のあらゆる要求を完全に満たしていると教えることにあります。アルマが説明したように、「神は憐れみの計画を成し遂げるため、正義の要求を満たすため、また御自分が完全に公正な神、憐れみ深い神であり続けるために、御自分で世の罪の贖いをされるので[す]。」「⁶ 御父の憐れみ



の計画は、⁷ 聖文では幸福の計画⁸ または救いの計画とも呼ばれますが、⁹ 正義の要求がすべて満たされなければ、達成することができません。

しかし、「正義の要求」とは一体何でしょうか。アルマ自身の経験について考えてみましょう。アルマが青年のときに「教会を滅ぼ……そうと」していたことを思い出してください。¹⁰ 実に、アルマは息子ヒラマンに告げたように、「神の子供たちを大勢……惑わして滅びに至らせ」て殺したために、「地獄の苦しみを味わ」いました。¹¹

アルマはヒラマンに、「イエス・キリスト[が]……世の罪を贖うために来られる」という父の教えが「心に……はっきりと浮かんできたとき」、ようやく平安がもたらされたと説明しました。¹² 深く悔いたアルマは、キリストの憐れみを嘆願し、その後、キリストが彼の罪を贖い、正義の求めるすべてを支払われたことを理解したとき、喜びと安らぎを感じたのです。¹³ さて、正義はアルマに何を求めたのでしょうか。アルマ自身が後に教えているように、「清くない者は決して神の国を受け継ぐことができません」¹⁴ したがって、アルマの安らぎには、憐れみの取り成しがなければ、天の御父のみもとに戻ってともに住むことが正義により妨げられていたという思いがあったに違いありません。¹⁵

救い主はわたしたちが癒すことのできない傷を癒される

しかし、アルマの喜びは自分自身に、つまり自分が罰を免れ、自分が御父のもとに帰れることだけに焦点を当てたものでしょうか。御存じのように、アルマは真理から引き離してしまった人々について苦悶しました。¹⁶ しかし、アルマ自身は迷わせたすべての人を癒すことや元に戻すことはできませんでした。また、彼らが公平な機会を得て、キリストの教義を学び、その喜びの原則を実践して祝福を受けること

を保証できませんでした。彼の偽りの教えにより欺かれたまま亡くなった人々を連れ戻すこともできません。

ボイド・K・パッカー会長はかつてこう教えました。「アルマを救った思いは、人が元に戻せないことを元に戻すこと、人が癒すことのできない傷を癒すこと、自分が壊して修復できないものを修復すること、それぞれ、キリストの贖罪の目的である、というものでした。」¹⁷ アルマの心に「はっきりと浮かんできた」喜びの真理は、彼自身が清くなれるということだけでなく、自分が傷つけた人々も癒されて完全になれるということでした。

救い主の犠牲は義にかなった裁きを確かなものとする

この安らぎをもたらす教義によりアルマが救われる何年も前に、ベニヤミン王は救い主の贖いの犠牲のもたらす癒しの広大さについて教えました。ベニヤミン王は、「神から遣わされた天使が……胸躍る大いなる喜びのおとずれを告げ知らせ」と宣言しました。¹⁸ この喜びのおとずれの中には、キリストがわたしたちの罪や過ちのために苦しんで命をささげ、「人の子らに義にかなった裁き」が下される」ようにしてくださったという真理があります。¹⁹

「義にかなった裁き」は一体何を要求するのでしょうか。次の節でベニヤミン王は、義にかなった裁きを確かなものとするために、救い主の血が「アダムの子のために墮落した者たちの中で、自分たちに関する神の御心を知らずに死んだ者たち、あるいは気づかないで罪を犯した者たちの罪も贖う」と説明しています。²⁰ ベニヤミン王が教えたように、義にかなった裁きは、幼い子供たちの罪を「キリストの血 [が] 贖う」ことも求めています。²¹

これらの聖句は輝かしい教義を教えています。救い主の贖いの犠牲は、無償の賜物として、気づかないで罪を犯した人や、ヤコブが述べたように「律法がないと



「リッセンの『痛むキリスト』(ハーマン・クレーメンツ画)

ころ」にいる人を癒すのです。²² 罪に対する責任は、与えられた光に応じて、また選択の自由を行使する能力によって決まります。²³ この癒しと慰めをもたらす真理は、モルモン書と回復のそのほかの聖文だけに記されています。²⁴

もちろん、律法が与えられ、神の御心に無知でなければ、わたしたちは責任を負います。ベニヤミン王はこのように強調しています。「自分が神に背いていることを承知している者は、災いである。悔い改めて、主イエス・キリストを信じるのでなければ、このような者には決して救いは与えられないからである。」²⁵

これもキリストの教義の喜びのおとずれです。救い主は気づかずに罪を犯した人を癒して回復するだけでなく、光に背いて罪を犯した人には、悔い改めと主を信じる信仰を条件に癒しを与えてくださいます。²⁶

アルマの心に、これら二つの真理が「はっきりと浮かんできた」に違いありません。キリストが自分だけを救い、自分が真理から遠ざけた人々を永遠に傷ついたら、アルマは「ほかにあり得ないほど麗し……い喜び」と表現した気持ちを感じたのでしょうか。²⁷ 感じなかったでしょう。アルマが完全な平安を感じるには、彼が傷つけた人々にも完全になる機会が必要でした。

しかし、わたしたちが傷つけた人々は

実際どのようにして、完全になるのでしょうか。わたしたちは救い主の贖いの犠牲が癒しと回復をもたらす神聖なメカニズムを完全に理解してはいませんが、義にかなった裁きを確かなものとするために、救い主は無知のやぶと、人から傷つけられた苦痛のとげを取り払われたのです。²⁸ これにより、主は神のすべての子供たちに、主に従って偉大な幸福の計画を受け入れることを選ぶ機会を、明確なビジョンとともに与えられました。²⁹

救い主はわたしたちの壊したものをすべて修復してください

これらの真理が、アルマに平安をもたらしました。そして、わたしたちにも深い平安をもたらしてくれます。生まれながらの人であるわたしたちは、だれもが揺れ動き、時には互いに衝突し、傷つけ合うことがあります。どの両親にも証できることですが、わたしたちの過ちに伴う苦痛には、自分自身の受ける罰に対する恐れだけでなく、子供の喜びを制限したり、何らかの方法で、真理を知って理解するのを妨げたりするかもしれないという恐れがあります。救い主の贖いの犠牲の輝かしい約束は、親として犯してしまうわたしたちの過ちに関しては、主が子供たちを罪のない状態にとどめ、彼らを癒してくださいというものです。³⁰ わたしたちが皆そうであるように、子供たちが光に反して罪を犯した場合で

も、主は憐れみの御腕を差し伸べて、³¹彼らが主を仰ぎ見るならば、彼らを贖ってください。 ³²

救い主は、わたしたちが元に戻せないことを直す力をお持ちですが、悔い改めの一部として、償うためにできることをすべて行うように命じておられます。³³ わたしたちの罪や過ちは、神との関係だけでなく、ほかの人との関係も損ないます。癒しと回復をもたらすための努力が謝罪という簡単な行為のこともあれば、償うために何年にもわたる謙遜な努力が求められることもあります。³⁴ しかし端的に言って、わたしたちは自分の罪や過ちの多くについて、傷つけた人々を完全に癒すことはできません。モルモン書や回復された福音の、平和をもたらす偉大な約束は、救い主がわたしたちの壊したものをすべて修復してくださいということ。 ³⁵ そして、信仰をもって主を仰ぎ見て、自分が引き起こした損害を悔い改めるならば、主はわたしたちも癒してください。 ³⁶ 主は完全な愛 ³⁷ ですべての人を愛しておられ、正義と憐れみの両方を尊重して義にかなった裁きを確かなものにされたので、これら二つの賜物を与えてくださるのです。このことが真実であることをイエス・キリストの御名により証します、アーメン。 ■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「結びの言葉」『リアホナ』2019年11月号、122
2. 2ニーファイ31章；3ニーファイ11：28、32、35、39-40；教義と聖約10：62-63、67-70；68：25；モーセ6：52-54；8：24；信仰簡条1：4 参照
3. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、62
4. 教義と聖約8：2-3 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」62
6. アルマ42：15
7. アルマ42：15 参照
8. アルマ42：8 参照
9. アルマ24：14；モーセ6：62 参照
10. モーサヤ27：8-10 参照
11. アルマ36：13、14
12. アルマ36：17、18

13. アルマ36：18 参照
14. アルマ40：26。1ニーファイ15：34；アルマ7：21；11：37；ヒラマン8：25も参照
15. 3ニーファイ27：19 参照；モーセ6：57も参照
16. アルマ36：14-17 参照
17. ボイド・K・バックナー、「輝かしい救いの朝」『聖徒の道』1996年1月号、21 参照
18. モーサヤ3：2、3
19. モーサヤ3：10；強調付加
20. モーサヤ3：11。2ニーファイ9：26も参照
21. モーサヤ3：16。モーサヤ15：25；モロナイ8：11-12、22も参照
22. 2ニーファイ9：25
23. 2ニーファイ2：26-27；ヒラマン14：29-30 参照
24. 信仰簡条1：2 参照；教義と聖約45：54も参照。死者のためのバプテスマの教義の詳細について、預言者ジョセフはかつてこう述べています。「人類が互いに無慈悲に裁き、罪に定めている一方で、宇宙の偉大な親である御方は、全人類を父親としての思いやりと心遣いをもって見ておられます。神は人類を御自分の子供たちとして見ておられるのです。……神は知恵ある立法者であって、人の偏狭な考えに〔よらずに〕……すべての人を裁かれます。また、神は『彼らが持っていないものに応じてではなく、持っているものに応じて』裁かれます。律法なしに生きた者は、律法なしに裁かれ、律法を持っている者は、その律法によって裁かれます。大いなるエホバの知恵と英知を疑うには及びません。エホバはすべての国民に、彼らが成し遂げた様々な功績、彼らが英知を得る手段、彼らを治めている律法、および正しい情報を得るために彼らに与えられている環境に応じて……裁きを行い、憐れみをお与えになります。そして……わたしたちは皆最終的に、全地の裁き主は公義を行われたと告白することになるでしょう。』（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』、404）
25. モーサヤ3：12 参照。2ニーファイ9：27も参照
26. モーサヤ3：12；ヒラマン14：30；モロナイ8：10；教義と聖約101：78 参照。人々が戒めや聖約を知らない場合や、選択の自由を行使できない状況にいる場合でも、キリストの光を受けているので、そのほかの状況において責任を問われる可能性があります（2ニーファイ9：25；モロナイ7：16-19 参照）。救い主はわたしたちの裁き主であり、義にかなった裁きを確かなものとされたので、これらの状況を判別されず（モルモン3：20；モーセ6：53-57 参照）。そして主は、前者については無条件で、後者については悔い改めを条件に、両者のた

めに代価を払われました。

27. アルマ36：21
28. モーサヤ3：11 参照；D・トッド・クリストファーソン「贖い」『リアホナ』2013年5月号、109；アルマ7：11-12（「神の御子は御自分の民の苦痛と病を身に受けられる……〔また、〕彼らの弱さを御自分に受けられる」）；イザヤ53：3-5（「まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった」）；61：1-3（「主がわたしに油を注いで、……心のいためる者をいやし、……シオンの中の悲しむ者に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え」）も参照。救い主が御自身のメシヤとしての使命を宣言したときにイザヤ書のこれらの聖句を引用されたことは、示唆に富んでいます。「この聖句は、あなたが耳にしたこの日に成就した。」（ルカ4：16-21 参照）
29. 霊界では「無知な者や悔い改めていない者、背いた者が束縛から解放されて、愛の深い天の御父がわたしたちのために備えておられる祝福に向かって進むことができるように、福音が宣べ伝えられます。」（ダリン・H・オークス、「主を信頼する」『リアホナ』2019年11月号、261；1ペテロ4：6；2ニーファイ2：11-16；教義と聖約128：19；137：7-9；138：31-35 参照）
30. モーセ6：54 参照。M・ラッセル・バラード会長は、自殺に関して次のような教義を教えてください。「ただ主だけがすべてを詳しく知っておられます。ですから、この地上におけるわたしたちの行動を裁くことがおできになるのは主だけなのです。主がわたしたちを裁かれるときには、あらゆる点を考慮されることでしよう。遺伝的な要素や体質、精神状態、知的能力、これまでに受けた教育、先祖からの受け継ぎ、健康状態などです。わたしたちは聖典を通じて、キリストの血が『自分たちに関する神の御心を知らずに死んだ者たち、あるいは気づかないで罪を犯した者たち』（モーサヤ3：11）の罪を贖ってくださいを知っています。」「自殺について分かっていること、分かっていること」「聖徒の道』1988年3月号、18）



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ



中央初等協会会長
ジョイ・D・ジョーンズ

- 31. モルモン書ヤコブ 6:5; モーサヤ 29:20; 3 ニーフай 9:14; 教義と聖約 29:1 参照
- 32. ヒラマン 8:15 参照
- 33. レビ 6:4-5; エゼキエル 33:15-16; ヒラマン 5:17; 教義と聖約 58:42-43 参照
- 34. アルマ自身が行ったのは、まさにこのような努力でした (アルマ 36:24 参照)。
- 35. ボイド・K・バッカー会長は、この概念を力強く教えています。

「壊したものを修復できない場合もあります。ずっと昔のことであったり、傷つけた相手があるあなたの償いを拒否する場合があります。また、傷があまりにも深すぎて、どれほど必死に願っても元に戻せないこともあります。

償いがないかぎり、あなたの悔い改めは受け入れられません。犯したことのやり直しが利かない場合、あなたは身動きができなくなります。そのとき、どれほど困った気持ちになり、諦めてしまいたくなるかは、容易に理解できるのではないのでしょうか。アルマがそうでした。……

どのようにしてすべてが償われるか、わたしたちには分かりません。現世で終わらないものもあるかもしれません。啓示や訪れなどから分かっていることは、主の僕たちは、幕の向こう側でも贖いの業を続けていけるということです。

この知識は、罪の有無にかかわらず、わたしたちにとって慰めになります。わたしが考えるのは、道をそれた子供たちの過ちのために堪え難い苦しみを味わい、希望を失っている父親、母親のことです。」「輝かしい救いの朝」『聖徒の道』1996年1月号、21)

- 36. 3 ニーフай 12:19 参照。マタイ 6:12; 3 ニーフай 13:11 も参照
- 37. ヨハネ 15:12-13; 1 ヨハネ 4:18; ディーター・F・ワークトドルフ「完全な愛は恐れを取り除く」『リアホナ』2017年5月号、104 参照

特別に気高い召し

信仰の女性として、わたしたちは預言者ジョセフの経験から、自らの啓示を受けるための洞察をもたらす真理の原則を見いだすことができます。

今日こうして、回復において女性が果たしていく役割に焦点を当ててお話しできることに感謝しています。天の御父の計画において、歴史を通して女性が特別な位置を占めてきたことは明らかです。ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「女性たちが、妻として、母として、祖母として、姉として、妹として、おばとして、また、教師として、指導者として、そして特に、模範を示す者として、敬虔な信仰の擁護者として、家の中のみならず、主の教会の中において及ぼす影響を測り知ることは不可能でしょう。」¹

178 年前、ノーブーにおける初期の扶助協会で、預言者ジョセフ・スミスは「〔自分

たちの〕特権にふさわしく生きる」よう姉妹たちに勧告しました。² わたしたちは今日、この姉妹たちの模範から学ぶことができます。この姉妹たちは一丸となって預言者の声に従い、イエス・キリストを信じる確固とした信仰をもって生き、わたしたちが今立っている土台を築く助けをしました。姉妹の皆さん、今度はわたしたちの番です。わたしたちには主から受けた神聖な用向きがあり、わたしたちの忠実で他に類を見ない貢献がきわめて重要なのです。

スペンサー・W・キンボール大管長は次のように説明しています。「救い主の再臨に先立つ、この地上における最後の時





期に義にかなった女性となることは、特別に気高い召しです。今日、義にかなった女性が持つ力と影響力には、もっと平穩であった時代に比べて10倍の威力があります。³

ネルソン大管長も同様にこう訴えています。「わたしは……教会の姉妹の皆さんに懇願します。前に踏み出してください！これまで以上に、家庭、地域社会、神の王国において皆さんの本来果たすべき役割を果たしてください。」⁴

最近わたしは、初等協会の子供たちと一緒に、ニューヨーク州パルマイラにある、復元されたスミス家族の家で、ラッセル・M・ネルソン大管長と会う特権にあずかりました。前に踏み出すために子供たちができることについて、わたしたちの愛する預言者が教える様子を御覧ください。

ジョーンズ姉妹：「みんなはネルソン大管長に尋ねたい質問があるかしら。ここに預言者と一緒に座っているわね。預言者にずっと聞きたいと思っていたことはありますか？ はい、パール。」

パール：「預言者でいるのは大変ですか？ すごく忙しいのでしょうか？」

ネルソン大管長：「もちろん大変だよ。すべてのこと、もっと救い主のようになるために行くことはどんなことも、大変なんだよ。例えば、神がモーセに十戒を与えたいと思われたとき、どこに行くようモーセに言われたと思う？ 山のとっぺん、シナイ山の頂上だったんだ。そこでモーセは、十戒を手に入れるために、山のとっぺんまでずっと歩いて行かなければならなかった。でも天のお父様は、『モーセ、君はそこから、わたしはここから行くから、中間地点で会おう』と言うこともできたんだ。でも、そうされなかったのは、主は努力することを大切にされるからだ。努力

なしには得られないものがあるんだよ。例えば、みんなはピアノのレッスンを受けたことはあるかい？」

子供たち：「はい。」

パール：「バイオリンを習ってるわ。」

ネルソン大管長：「練習はしてるのかな？」

子供たち：「はい。」

ネルソン大管長：「練習しないとどうなると思う？」

パール：「忘れちゃうわ。」

ネルソン大管長：「そうだね、うまくならないだろう？ だから、君への答えは『イエス』だよ、パール。努力やたくさんの練習、山ほどの勉強が必要で、終わりはない。でも、それは良いことだ。だって、わたしたちは常に成長していけるからね。来世でも、成長していけるんだよ。」

この貴い子供たちへのネルソン大管長の答えは、わたしたち一人一人にも当てはまります。主は努力を愛され、努力は報いをもたらします。続けて行っていきましょう。わたしたちが主に従う努力をしていく限り、常に成長していけるのです。⁵ 主は今日完璧であるよう求めてはおられません。わたしたちは自らのシナイ山に登り続けるのです。過去と同様に、わたしたちの旅にも確かに努力や勤勉さ、学習が必要ですが、成長するという決意が永遠の報いをもたらします。⁶

預言者ジョセフ・スミスと最初の示現から、努力や勤勉さ、学習について、さらにどのようなことが学べるでしょうか。最初の示現は、わたしたちが果たしていく特別な役割について導きを与えてくれます。信仰の女性として、わたしたちは預言者ジョセフの経験から、自らの啓示を受けるための洞察をもたらす真理の原則を見いだすことができます。例を挙げましょう。

- 難しい状況の下で努力する。
- 聖文を調べて、行動する知恵を得る。
- 神への信仰と信頼を示す。

- サタンの影響力を阻止してくださるよう、力を尽くして神に助けを請う。
- 心の願いを神に告げる。
- 神に頼るときにわたしたちに注がれ、人生の選択への導きを与えてくれる神の光に焦点を合わせる。
- 神はわたしたち一人一人を名前で御存じであり、わたしたちにはそれぞれ果たすべき役割があることを理解する。⁷

さらに、ジョセフ・スミスは、わたしたちには神のようになる可能性と永遠の価値があるという知識も回復しました。天の御父とそのような関係にあるからこそ、御父はわたしたちに御自身から啓示を受けるよう期待しておられるのだと思います。

主はエマ・スミスに「聖霊を受け」、多くのことを学び、「この世のものを捨てて、この世に勝る世のものを求め」、神と交わした「聖約を固く守[る]」よう教えました。⁸ 学習は成長に不可欠です。特に、聖霊を常に伴侶とすると、わたしたち一人一人が捨てる必要のあるもの一つまり、わたしたちの注意をそらしたり、成長を遅らせたりするようなもの一を教えてください。

ネルソン大管長はこのように述べています。「啓示を受ける霊的な能力を伸ばすように、切にお願いします。」⁹ 前に踏み出すための女性の能力についてわたしが深く考えている間、預言者の言葉がずっと心に残っていました。大管長が切に訴えているということは、重要度が高いということです。大管長は、啓示を受けてそれに従って行動することで、罪の蔓延する世界で霊的に生き残る方法をわたしたちに教えました。¹⁰ そうすることで、すなわち主の戒めを尊び、戒めに従って生きること、わたしたちはまさにエマ・スミスのように、「義の冠」を受けると約束されているのです。¹¹ わたしたちがこの生涯で歩んでいるのは、神が認められた道だと知るこの重要性を、預言者ジョセフは教えています。その知識がなければ、わたし

たちは「疲れ果て、気力を失ってしまうでしょう。」¹²

この大会において、わたしたちは自らの生活を変え、向上させ、清めるように促す真理を聞くことでしょう。個人で啓示を受けることによって、ここを後にする際にすべてを今やろうと強く決意することで起こる、いわゆる「総大会疲れ」と呼ばれる事態を防ぐことができます。女性は幾つもの役割を担っていますが、一度にすべてをこなすのは不可能であり、そうする必要もありません。御霊は、わたしたちが今日どの業に集中すればよいか決められるよう助けてくれます。¹³

聖霊を通して受ける主の愛に満ちた影響力は、わたしたちの成長のために主が重要視される事柄を知るうえで助けになります。個人的に受けた啓示を心に留めることは、*自分個人*の成長につながります。¹⁴わたしたちは耳を傾け、そして行動するのです。¹⁵主はこう言っておられます。「与えられると信じて、信仰をもって、わたしの名によって父に求めなさい。そうすれば、あなたがたは人の子らに必要なすべてのことを示す聖霊を受けるであろう。」¹⁶わたしたちが果たしていく役割とは、絶え

ざる啓示を受けることです。

その能力が高まっていくことにより、教え導き、救いと昇栄の業を達成するため—真に「この世のものを捨てて、この世に勝る世のものを求め[る]」¹⁷ため—に、個々の役割においてさらに力を授かることができます。そうすればもっと効果的に、若い世代に同じようにするよう促すことができます。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは皆、各々の生活において神の力を求めています。¹⁸今日神の業を成し遂げることに、男女間にはすばらしい一致があります。わたしたちはまずバプテスマの水の中で交わり、次に神聖な神殿内で交わす聖約を通して、神権の力にあずかります。¹⁹ネルソン大管長は次のように教えています。「神と聖約を交わしてそれを守るすべての男女と、ふさわしい状態で神権の儀式に参加する男女は皆、神の力に直接あずかることができます。」²⁰

今日告白しますが、わたしは女性として、自らの聖約を通して*自分が*神権の力にあずかれることを、人生のもっと早い時期に理解していたわけではありませんでした。²¹姉妹の皆さん、わたしたちが「[自らの] 聖

約を固く守」り、²²聖文にある真理を受け入れ、生ける預言者たちの言葉に耳を傾けるにつれ、神権の力を認め、大切にしていけるようにと祈ります。

「キリストを信じる確固とした信仰をもって……、人を救う力を備えておられるこの御方の功德にひたすら頼[り]」、²³天の御父と救い主への献身を大胆に宣言しましょう。自らの霊的な潜在能力を最大限まで高めることを目指し、また、愛や奉仕、指導力、思いやりを通して周りの人々が同じようにできるよう手助けをして、喜びをもってこの旅を続けましょう。

ジェームズ・E・タルメージ長老は、「女性と女性の地位を守る世界で最も偉大な擁護者は、イエス・キリストである」ことを優しく思い起こさせてくれています。²⁴結局のところ、女性が、そしてわたしたち全員が回復において果たしていく役割のうち、特に重要なのはどのような役割でしょうか。それは、主に*聞き*、²⁵主に従い、²⁶主を信頼し、²⁷主の愛を示す者になる²⁸ことであると証します。主が生きておられることを知っています。²⁹イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号、95–96
2. Joseph Smith, in “Nauvoo Relief Society Minute Book,” 38, josephsmithpapers.org.
3. 『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』217–218
4. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」97
5. 教義と聖約 58:26–28 参照
6. 教義と聖約 6:33 参照
7. ジョセフ・スミス—歴史 1:11–17 参照
8. 教義と聖約 25:8, 10, 13
9. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96
10. 2 ニーファイ 9:39 参照
11. 教義と聖約 25:15
12. Lectures on Faith (1985), 68.
13. 教義と聖約 42:61 参照
14. ヘンリー・B・アイリング管長は次のように述べています。
「では、もし皆さんとわたしが二人きりで話していて（そうできていたらよかったのですが）、聞きたいことを何でも自由に尋ねられるとした



チリ、サンティアゴ、サンベルナルド



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

人生にとって 靈的に重要な記憶

個人的な困難やどうすることもできない世の中の状況が人生の道を暗くするとき、命の書に記された靈的に重要な記憶は、まるで光る石のように道のりを照らします。

最初の示現の18年後、預言者ジョセフ・スミスは自身の経験を詳細に書き記しました。ジョセフは反対や迫害、嫌がらせ、脅迫、そして残酷な仕打ちを受けました。¹ それでもなお、ジョセフは最初の示現について雄々しく証し続けました。「わたしは

実際に光を見た。その光の中に二人の御方を見た。そして、その方々が実際にわたしに語りかけられたのである。たとえ示現を見たと言ったことで憎まれ、迫害されたとしても、それは真実であった。……わたしはそれを知っていた。神がそれを



アメリカ合衆国、ユタ州ソルトレーク・シティ

ら、皆さんはきっとこのようなことを言うのではないのでしょうか。「ええ、アイリング兄弟、わたしも兄弟が言われたことを一部、感じたことがあります。聖霊は時々、わたしの心や思いに触れてくださいました。でも、打ち負かされたり、欺かれたりしないようにするには、聖霊が常に必要なのですが、可能でしょうか。もし可能なのであれば、その祝福を受けるために、何が必要なのでしょうか。』

では、最初の質問から始めましょう。それは、可能です。その確信が必要なとき、わたしにもそのような時がありますが、いつでもわたしは二人の兄弟のことを思い出します。ニーファイとリーハイです。そして二人とともに働いたほかの主の僕たちも、激しい反対に遭いました。彼らはますます邪悪さを増す世界で伝道しており、ひどい欺きに対処しなければなりません。ですから、わたしは、また皆さんも、ヒラマン書の次の一節から勇気を得ることができます。その年に起こったこと全般の記録にその確信を見いだすことができますが、まるで著者にとっては当然のことに、文の一部にはめ込まれているのです。こうあります。

『ところが第七十九年に、多くの争いが始まりました。しかし、ニーファイとリーハイと、彼らの同僚たちの多くは、教義の真の要点について理解し、日々多くの啓示を受けていたので、人々に教えを説き、その年のうちに争いを鎮めた。』（ヒラマン 11：23）

彼らは「日々多くの啓示を受けて」いました。これは皆さんやわたしにとって、最初の質問への答えとなります。そうです。日々多くの啓示を受けられるよう、聖霊を伴侶とすることは可能です。簡単なことではありませんが、可能なのです。何が必要かは人によって異なります。皆人生で独自の経験を重ねてきたため、それぞれ今いる地点から始めるからです。』（“Gifts of the Spirit for Hard Times” [Brigham Young University fireside, Sept. 10, 2006], 3 - 4, speeches.byu.edu）

15. 2 ニーファイ 2：16 参照
16. 教義と聖約 18：18
17. 教義と聖約 25：10
18. 教義と聖約 121：26, 33, 41, 45 - 46 参照
19. 教義と聖約 84：19 - 21 参照
20. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」『リアホナ』2019年11月号, 77
21. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」76 - 79；ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号, 49 - 52；ヘンリー・B・アイリング「女性と家庭における福音学習」『リアホナ』2018年11月号, 58 - 60 参照
22. 教義と聖約 25：13
23. 2 ニーファイ 31：19
24. James E. Talmage, Jesus the Christ, 3rd ed. (1916), 475.
25. ジョセフ・スミス—歴史 1：17 参照
26. マタイ 4：19 - 20 参照
27. 箴言 3：5 - 6；教義と聖約 11：12 参照
28. ヨハネ 13：34；モロナイ 7：47 参照
29. 2 ニーファイ 33：6；教義と聖約 76：22 参照

御存じであるのを、わたしは知っていた。わたしはそれを否定でき……なかった。」²

困難の中にあつたとき、ジョセフは20年近く前の記憶をたどり、自身に対する神の愛が確かなものであることや、昔から預言されていた回復のために備えられていた出来事に思いをはせました。ジョセフは自身の霊的な旅を振り返りながらこう述べています。「だれかがわたしがしてきた経験を信じなかったとしても、責めることはしません。自分が実際に経験していなければ、わたし自身も信じなかったことでしょう。」³

しかし、その経験は現実のものであり、ジョセフはそれを決して忘れてたり否定したりせず、カーセージに向かう中、自分の証を静かに確認しました。「わたしはほふり場に引かれて行く小羊のように行く。しかし、わたしは夏の朝のように心穏やかである。わたしの良心は、神に対してもすべての人に対しても、責められることがない。」⁴

あなたにとっての霊的に重要な経験

預言者ジョセフ・スミスの経験にはわたしたちのための教訓が含まれています。聖霊から受ける平安な導きに加え、神は、わたしたちを御存じで愛しておられ、わたしたちを具体的かつ公に祝福してくださいということを、時折、わたしたちに力強く、非常に個人的に確信させてくださいます。そして、わたしたちが困難の中にあるとき、救い主はこれらの経験を思い出させてくださるのです。

自分の人生について考えてみてください。長年の間、わたしは世界中の末日聖徒から何千もの非常に霊的な経験を聞いてきました。それらによって、神がわたしたち一人一人を御存じで愛しておられ、わたしたちに御自身を現されることを切に望んでおられるのを、疑いようもなく確信しました。これらの経験は人生の重要な時期、あるいは一見平凡な出来事の中に

訪れるかもしれませんが、それらは神の愛に関するきわめて強い霊的な確認を必ず伴います。

人生にとって霊的に重要な経験を思い出すことによって、わたしたちはひざまずき、預言者ジョセフのようにこう宣言することでしょう。「わたしが受けたものは天からのものだった。わたしはそれを知っている。そして、わたしがそれを知っていることを神が御存じであるのを、わたしは知っている。」⁵

4つの例

皆さん自身の人生にとって霊的に重要な記憶を振り返ってみてください。その間、ほかの人の例を幾つか紹介したいと思います。

何年も前に、心臓の二つの弁に障がいのある年配のステーキ祝福師が、当時医師だったラッセル・M・ネルソン先生に手術を行ってほしいと懇願しました。しかし、当時、障がいのある二つ目の弁を外科的に治療する方法はありませんでした。ネルソン先生は最終的に手術を行うことに同意しました。ネルソン大管長の言葉は次のとおりです。

「一つ目の弁の狭窄を取り除いてから、二つ目の弁を調べました。弁膜自体に傷はありませんが、拡張して正常に機能していませんでした。よく調べているうちに、

一つのメッセージが心にはっきりと聞こえてきました。『リングを縮小しなさい。』わたしはそのメッセージを助手に伝えました。『もしリングをうまく縮小して正常な大きさにできれば、弁膜組織は十分残ります。』

でも、どうすればいいのでしょうか。……鮮明なイメージが心に浮かび上がってきて、どのように縫い合わせればよいのか、プリーツやタックをどこにつければよいのか……が分かったのです。そのとき心に浮かんだイメージを今でも思い出すことができます。どこを縫い合わせるべきかを示す点線まで完全に覚えています。手術は心に描いたとおりに終了しました。弁の調子を試してみましたが、血液の漏れは驚くほど減少していました。助手は言いました。『奇跡です。』⁶ その祝福師は何年も生き長らえました。

ネルソン先生は導かれました。そして、自分が導かれていると知っていることを神が御存じであると、知っていたのです。

キャシーとわたしがフランスでベアトリス・マグレに会ったのは30年前のことでした。ベアトリスは最近、10代でバプテスマを受けて間もないころに自分の霊的な生活に影響を与えた経験について話してくれました。彼女はこう話しました。

「わたしのワードの青少年は指導者とともに、ボルドーから1時間半のラカノー海



医師時代のラッセル・M・ネルソン大管長



ベアトリス・マグレ

岸に行きました。

家に帰る前、指導者の一人が最後にもう1回泳ごうと、眼鏡をかけたまま波の中へ飛び込みました。浮き上がって来たとき、眼鏡がなくなっていました。海の中に落としてしまったのです。

眼鏡がなければ彼は運転することができませんでした。家から遠く離れた場所に取り残されてしまいます。

信仰にあふれる姉妹が祈ることを提案しました。

わたしは祈っても何の役にも立たないとつぶやき、気は進みませんでしたが、グループに加わり、濁った海水に腰までつきながら公共の場で祈りました。

祈り終えたとき、わたしは皆に水をかけようと腕を伸ばしました。水面上で手を走らせていたとき、眼鏡が手の中に収まりました。神が実際に祈りを聞き、こたえてくださるのだという力強い思いが心を貫きました。⁷

45年たった後も、彼女はそれを昨日のこのように思い出しました。ベアトリスは祝福されました。そして、自分が祝福されたを知っていることを神が御存じであると知ったのです。

ネルソン大管長とマグレ姉妹の経験はまったく異なるものですが、二人とも神の愛に関する、人生にとって霊的に重要な忘れ難い記憶が胸に刻まれたのです。



フロリベス・ルチア・ダマシオ姉妹とアンダーセン長老

人生にとって重要なこれらの出来事は、回復された福音を学んだり、福音をほかの人と分かち合ったりするときに起こります。

この写真は2004年にブラジルのサンパウロで撮られたものです。ブラジル・イパチングステークのフロリベス・ルチア・ダマシオは114歳でした。ダマシオ姉妹は自らの改宗について話さず、自分の村にいた宣教師が重病の子供に神権の祝福を受け、奇跡的に快復したという話をしてくれました。彼女はもっと知りたいと思いました。宣教師のメッセージについて祈り、御霊による否定しようのない証によって、ジョセフ・スミスが神の預言者であることを確信しました。彼女は103歳のときにバプテスマを受け、104歳のときにエンダウメントを受けました。その後、彼女は毎年バスで14時間かけて移動し、神殿で1週間を過ごしました。ダマシオ姉妹は天からの確認を受けました。そして、その証が真実であることを自分が知っているということを神が御存じであると、知っていました。

48年前にわたしがフランスで初めて伝道に出たときの霊的な記憶を紹介したいと思います。

戸別訪問をしていたとき、ある年配の女性にモルモン書を渡しました。約1週間後に女性のアパートを再び訪れたとき、彼



アリス・オデュベールにバプテスマを施すアンダーセン長老

女はドアを開けました。彼女が口を開く前から、はっきりとした霊的な力を感じました。アリス・オデュベール夫人がわたしたちを迎え入れ、モルモン書を読んでそれが真実だと分かったと言ったときにも、その非常に強い気持ちは続いていました。その日、彼女のアパートを出たとき、わたしはこう祈りました。「天のお父様、わたしが先程感じた気持ちを忘れることのないように助けてください。」それを忘れることはありませんでした。

一見平凡な場面で、ほかの何百ものドアと同じようなドアの前でわたしは天の力を感じました。そして、天の窓が開いたことを自分が知っているということを神が御存じであると知っていました。

一人一人異なる、否定しがたい経験

人生にとって霊的に重要な瞬間は、わたしたち一人一人に合わせて様々な時に様々な方法で訪れます。

聖文の中で自分が好きな例について考えてみてください。使徒ペテロの話聞いていた人々は「強く心を刺され」ました。⁸ レーマン人の女性エービシは「父の驚くべき示現」を信じました。⁹ エノスの思いに語りかける声がありました。¹⁰

わたしの友人であるクレイトン・クリステンセンは、よく祈りながらモルモン書を読んでいたときの経験についてこう記しています。「美しく、温かく、愛にあふれた御霊が……わたしを取り囲み、心を貫き、想像もしなかったような愛の気持ちで包んでくださいました。〔そして、そのような気持ちを毎晩感じました。〕¹¹

時に、霊的な気持ちは火のように心の中にとり、思いを照らします。ジョセフ・スミスは、わたしたちに時々「突然様々な考えがわいてくる」ことや、時折「純粋な英知が流れ込んで」くることがあると説明しています。¹²

ダリン・H・オークス管長は、今までそのような経験をしたことがないと主張する

誠実な男性に答えて次のように勧告しました。「恐らくあなたの祈りは何度もこたえられています、偉大なしるしや大きな声を期待しているがために、答えが得られていないと思っているのです。」¹³ 救い主は、「火と聖霊に〔よって祝福されたが、〕……それを知らなかった」、大いなる信仰を持つ人々について自ら語られました。¹⁴

あなたは主の声をどのように聞くことができますか

ラッセル・M・ネルソン大管長は最近、このように述べました。「次の重要な質問を深くまた頻繁に考えてください。あなたは主の声をどのように聞くことができますか？ また、より鮮明で頻繁に主の声を聞くために行動してください。」¹⁵ 大管長は今朝、その招きを繰り返しました。

わたしたちは、祈りや家庭、聖文、賛美歌の中で、また、ふさわしい状態で聖餐を受けるときや自分の信仰を宣言するとき、周りの人に仕えるとき、信者の仲間とともに神殿に参入するときに主の声を聞きます。人生にとって霊的に重要な瞬間は、よく祈りながら総大会の話を書くとき、また、戒めをよりよく守るときに訪れます。そして子供の皆さん、このような経験は皆さんのためのものでもあります。イエスが「子供たちを……教え導き、……子供た



祈ることや聖約を守ること、そして聖霊が人生という旅路を歩む助けとなる。

ちは大いなる驚くべきことを……語った」ことを思い出してください。¹⁶ 主は言われました。

「〔この知識〕は、わたしの御霊によってあなたがたに与えられている……。わたしの力によらなければ、あなたがたは〔これ〕を得ることはできない。

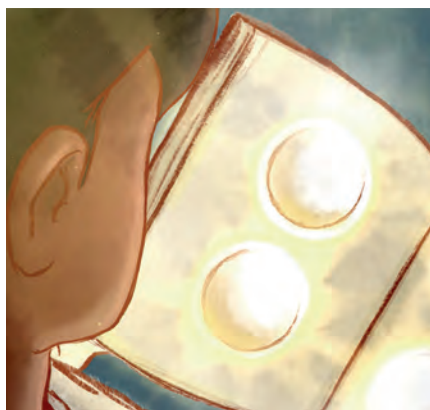
そのために、あなたがたは、わたしの声を聞いたこと、そしてわたしの言葉を知っていることを証できるのである。」¹⁷

救い主の比類のない贖いの祝福のおかげで、わたしたちは「主の声を聞く」ことができるのです。

人生にとって重要な瞬間が訪れる時期を自分で選ぶことはできませんが、それに備えることについてヘンリー・B・アイリング管長は次のように助言しています。「今晚と明日の晩、皆さんは祈り、深く考えながら、次の質問を自分に問かけるかもしれません。『神はわたし個人に向けてメッセージを送られたらどうか。自分自身や〔家族〕の生活に神の御手を見ただろうか。』」¹⁸ 信仰、従順、謙遜、誠意によって天の窓は開かれます。¹⁹

思い描く

自分の霊的な記憶について次のように考えるといいでしょう。常に祈ることや聖約を守る決意をすること、そして聖霊の賜



霊的な記憶はまるで光る石のように道のりを照らす。

物によって、わたしたちは人生という旅路を歩みます。個人的な困難や疑い、落胆がその道を暗くするとき、あるいは自分ではどうすることもできない世の中の状況によって将来に不安を抱くようになったとき、命の書に記された人生にとって霊的に重要な記憶は、まるで光る石のように道のりを照らし、神がわたしたちを御存じで愛しておられ、みもとに戻ることができるように御子イエス・キリストを遣わされたことを確信させてくれます。また、だれかが人生にとって重要な記憶を顧みず、道に迷い、混乱しているとき、わたしたちは自分の信仰と記憶を分かち合うことによって彼らの心を救い主に向け、かつて大切にしていた貴重な霊的な瞬間を思い出すのを助けます。

経験の中には、とても神聖なためにそれらを霊的な記憶の中にしまい、分かち合うことをしないものもあります。²⁰

「天使は聖霊の力で語る。したがって、天使はキリストの言葉を語る。」²¹

「また天使たちも人の子らに働きかけることをやめてはいない。

見よ、天使はキリストに従っており、深い信仰と確固とした心をもって、あらゆる方法で神を敬う者に自分自身を示し、キリストの命じられる……とおりに教え導いている。」²²



自分の信仰と記憶を分かち合うことによって、道に迷っている人の心を救い主に向ける。



そして、「助け主、すなわち、……聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、……ことごとく思い起させるであろう。」²³

神聖な記憶を大切にしてください。それらを信じ、書き留め、家族と分かち合ってください。それらが天の御父とその愛する御子によってもたらされると信じてください。²⁴ 疑いの中に忍耐が、困難の中に理解がもたらされるようにしてください。²⁵ 人生において霊的に重要な出来事を大事に心にとどめておくならば、そのような出来事がさらにもたらされることを約束します。天の御父は皆さんを御存じで愛しておられます。

イエスはキリストであり、主の福音は回復され、忠実であるならば、わたしたちは永遠に主のものとなると証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻、「真理の旗」1815-1846年(2018年) 147-149; Joseph Smith, "History, 1838-1856, volume A-1 [23 December 1805-30 August 1834]," 205-9, josephsmithpapers.org; 『聖徒たち』第1巻, 347-348も参照
2. ジョセフ・スミス—歴史 1: 25
3. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』(2007年), 525
4. 教義と聖約 135: 4
5. 「ジョセフ・スミス—歴史」の次の言葉にわたしはいつも感銘を受けてきました。「わたしは示現を見た。わたしはそれを知っていた。神がそれを御存じであるのを、わたしは知っていた。」(ジョセフ・スミス—歴史 1: 25) ジョセフは神の前に立ち、聖なる森での出来事が現実起きたものであり、それによって人生が完全に変わるのだということを受け入れなければなりません。約25年前、わたしはニール・A・マックスウェル長老からこれに似た言葉を初めて聞きました。マックスウェル長老は次のような例を挙げました。「昔、
6. ラッセル・M・ネルソン「祈りがもたらす穏やかな力」『リアホナ』2003年5月号, 8
7. ペアトリス・マクレがアンダーソン長老に分ち合った個人的な話, 2019年10月29日; 2020年1月24日に送られたEメール
8. 使徒 2: 37
9. アルマ 19: 16
10. エノス 1: 5 参照
11. クレイトン・M・クリステンセン「最も役立つ知識」『リアホナ』2009年1月号, 23
12. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』132 参照
13. Dallin H. Oaks, *Life's Lessons Learned: Personal Reflections* (2011), 116-69.
14. 3 ニーファイ 9: 20
15. ラッセル・M・ネルソン「主の声をどのように聞くことができますか?」特別な招き, 2020年2月26日, blog.ChurchofJesusChrist.org
16. 3 ニーファイ 26: 14
17. 教義と聖約 18: 35 - 36 霊的な知識には必ず感情が伴います。「あなたがたは罪悪を行うのは早いけれども、主なるあなたがたの神を

思い起こすのは遅い。あなたがたは一人の天使に会い、その天使はあなたがたに語りかけました。まことに、あなたがたはその声を時々聞いています。天使は静かな細い声で語りかけましたが、あなたがたは心が鈍っていたので、その言葉を感じるできませんでした。」(1 ニーファイ 17: 45)

18. ヘンリー・B・アイリング「記憶にとどめ、覚えておきなさい」『リアホナ』2007年11月号, 69
19. 2 ニーファイ 31: 13; モロナイ 10: 4 参照。1991年にダリン・H・オックス管長は、フランス・ボルドーにあるわたしたちの伝道部を訪問しました。オックス長老が伝道部の宣教師に説明したところによると、「誠心誠意」とは、人が祈るとき、主に対して次のように言うことです。「わたしは好奇心からお尋ねするものではありません。うそ偽りのないまったくの真心をもって、祈りの答えに従って行動するために伺っています。もしこの祈りにこたえてくださるのなら、わたしは自分の生活を変えるために行動し、主の御心に従います。」
20. 「神の奥義を知ることは多くの人に許されている。しかしこれらの人々は、神が人の子らに授けておられるだけの御言葉しか伝えてはならないという、厳しい命令を受けている。神の御言葉は、人の子らが神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて与えられる。」(アルマ 12: 9)
ニール・A・マックスウェル長老はこう述べました。「〔霊的な経験〕を分かち合うべき時を知るには霊感が必要です。マリオン・G・ロムニー管長の機知と知恵に富んだ言葉を思い出します。『霊的な経験についてあまり話さないようにすれば、それをもって得ることができましょう。』」("Called to Serve" [Brigham Young University devotional, Mar. 27, 1994], speeches.byu.edu.)
21. 2 ニーファイ 32: 3
22. モロナイ 7: 29 - 30
23. ヨハネ 14: 26
24. 福音の真実性を知る機会はすべての人に与えられています。総大会の1週間前、自分の説教が完成した後のことです。かつて中央幹部七十人として奉仕したジェラルド・N・ランドによって記された *Divine Signatures: The Confirming Hand of God* (2010年) という本に、わたしは霊的に引かれるものを感じました。うれしいことにランド兄弟の言葉は、この総大会で話された原則に対するすばらしい二つ目の証であり、霊的に重要な記憶についてさらに学びたいという望みを持つ人にとって喜びを感じられるものとなるでしょう。
25. トーマス・S・モンソン大管長が好きな引用の一つに、スコットランドの詩人ジェームズ・M・バリーのものがあります。「神はわたしたちに記憶を与えてくださった。それは、人生のつらい冬の時期に、6月のばら雪を心の中に思い描けるようにするためだ。」(トーマス・S・モンソン「常に感謝する」『リアホナ』1999年1月号) 霊的な記憶についても同じことが言えます。それらは、「6月」の霊的な記憶が必要となる、人生の寒くつらい時期に最も役立つしてくれることでしょう。



前若い男性中央会長会第一顧問
ダグラス・D・ホームズ

心に深く

主はわたしたち全員の心に主の福音が深く根付くように助けようとしておられます。

兄弟姉妹、わたしたちは何とすばらしい時代に生きているのでしょうか。「回復」の始まりを祝うとき、わたしたちが目にしていく進行中の「回復」を祝うこともまた適切なことです。わたしは皆さんとともに、この時代に生きていることに喜びを感じます。¹ 主は引き続き、御自分の預言者たちを通して、わたしたちが主をお迎えする備えをするのに必要なすべてのものを整えてくださいます。²

そうした必要なものの一つが、新しい「子供と青少年」の取り組みです。皆さんの多くはこのプログラムが目標設定や、所属を表す新しいエンブレム、およびFSYカンファレンスを強調していることを御存じかと思えます。しかし、わたしたちはこれらの事柄のために、このプログラムが基を置いている原則とその目的、すなわち、イエス・キリストの福音が子供と青少年の心に深く根付くのを助けるということを見失わないようにしなければなりません。³

これらの原則がよりはっきりと見えてくるとき、これが8歳から18歳までの会員のためのプログラム以上のものであることが分かります。わたしは信じています。主の福音がわたしたち全員の心に深く根付くために、主がどのように助けようとしておられるかが見えてきます。わたしたちがともに学べるよう聖霊が助けてくださるよう祈ります。

関係を育む——「彼らとともにいる」⁴

最初の原則は、関係を育むことです。人との関係を育むことはイエス・キリストの教会のとても自然な部分なので、時々わたしたちは、今歩んでいる、キリストのもとに行く旅において、人のかかわり合いが持つ重要性を忘れてしまうことがあります。わたしたちは独りで聖約の道を見いだしたり歩んだりするには期待されていません。わたしたちは同じように聖約の道を歩んでいる両親、家族、友人や指導者からの愛と支援を必要としています。

関係を育むには時間が必要です。ともにいる時間。ともに笑い、祈り、学び、仕える時間。互いの関心や困難を理解し合う時間。ともにより良くなるために努力する際、互いに心を開き、正直になる時間。

このような関係を育むことが、家族や、定例会やクラス、ユニットで集まる主要な目的の一つです。これが効果的なミニスタリングの基となります。⁵

デール・G・レンランド長老は、こうした関係を育むための鍵をわたしたちに教えています。「人々に効果的に奉仕するには、……天の御父の目を通して人々を見なければな〔りません〕。そうして初めて、人の真の価値を理解し始め、天の御父が御自身のすべての子らに対して抱いておられる愛を感じることができます。」⁶

神が御覧になるように人々を見ることは賜物です。わたしたち皆がこの賜物を求めるようお勧めします。わたしたちの目が開かれて見えるようになると、⁷わたしたちはほかの人々を、神が御覧になっているように自分自身を見るよう助けることもできるようになります。⁸ ヘンリー・B・アイリング管長は、このことが持つ力を強調して次のように述べています。「最も大切なことは、〔ほかの人々〕が自分がほんとうは何者で、どのような人になることができるかについて〔皆さん〕から学ぶことです。わたしが思うに、彼らはそのことを講義ではあまり学びません。皆さんがどのような人であって、彼らのことをどのような人であり、どのような人になれるかについて、**感じる**ことから学ぶのです。」⁹





ほかの人々が自分はほんとうは何者でどんな目的を持っているかを理解できるよう助けることは、わたしたちが贈ることのできる最もすばらしい贈り物であり、¹⁰ 神が御覧になるように人々と自分自身を見ることで、わたしたちの心は「和合し、愛し合って」結ばれるのです。¹¹

かつてないほど増しているこの世の力がわたしたちを引き寄せようとする中、わたしたちには愛にあふれた関係からもたらされる強さが必要です。ですから、わたしたちが活動や集会、そのほかの集まりを計画する際、これらの集まりの重要な目的を覚えておきましょう。それはすなわち、わたしたちを一つにし、イエス・キリストの福音をわたしたちの心に深く根付かせるよう助けてくれるすばらしい関係を築くことです。¹²

啓示、選択の自由、悔い改め——「彼らと天とつなぐ」¹³

もちろん、人とつながるだけでは十分ではありません。様々な目的の下で一致しているグループや組織はたくさんあります。しかし、わたしたちが求めている一致は、キリストにあって一つとなること、わたしたち自身を主とつなぐことです。¹⁴ わたしたちの心を天とつなぐには、アンダーセン長老が話したように、わたしたちは個人として霊的な経験が必要です。¹⁵ そのような経験は、聖霊が神の言葉と愛をわたしたちの思いと心に伝えてくださるときに訪れます。¹⁶

この啓示は、聖文、特にモルモン書を通して、生ける預言者やそのほかの忠実な弟子たちの靈感による言葉を通して、そして静かな細い声を通してもたらされます。¹⁷

これらの言葉は活字や耳に聞こえる音、あるいはわたしたちの思いや心に浮かぶ考えや感情以上のものです。神の言葉は霊的な力です。¹⁸ 真理であり光です。¹⁹ それがわたしたちが主の声を聞く方法なのです。その言葉はキリストを信じるわたしたちの信仰を生じさせ、増し加え、もっと救い主のようになりたい、すなわち、悔い改めて聖約の道を歩みたいという望みをわたしたちの内に育んでくれます。²⁰

昨年の4月、ラッセル・M・ネルソン大管長はこの啓示の旅において悔い改めが果たす中心的な役割について教え、²¹ 次のように述べています。「悔い改めを選ぶとき、わたしたちは変わることを選びます。自らを救い主にゆだねて、最高の自分に変えていただくのです。……悔い改めを選ぶとき、もっとイエス・キリストのようになることを選んでいるのです。」²² この変化のプロセスを、神の言葉に促されながら経験することが、わたしたちが天とつながる方法です。

ネルソン大管長による悔い改めへの招きの根底にあるのが、選択の自由の原則です。わたしたちは自分で悔い改めを選ぶ必要があります。福音を強制的に心に根付かせることはできません。レンランド長老も次のように述べています。「天の御父の子育ての目標は、子供たちに正しいことを行うようにさせることではありません。正しいことを行って最終的に御父のようになることを選ぶようにさせることなのです。」²³

「子供と青少年」が導入される前のプログラムでは、様々な表彰を受けるために修了しなければならぬ要件が500以上ありました。²⁴ 現在は、本質的に一つです。

それは、もっとキリストのようになることを選ぶようにという招きです。わたしたちは聖霊を招いて神の言葉を受け、自らをキリストにゆだねて「最高の自分」に変えていただくことによって、これを行っていきます。

これは目標設定や自己改善の訓練をはるかに超えるものです。目標は単なる一つの道具であって、わたしたちが啓示と選択の自由と悔い改めを通じて天とつながるのを助けてくれるものです。キリストのもとに来て、キリストの福音を心に深く受け入れるのを助けてくれるのです。

携わり、犠牲を払う——「彼らに導いてもらう」²⁵

最後に、イエス・キリストの福音をわたしたちの心に深く根付かせるには、福音に積極的に携わる、すなわち、自分の時間と才能を使い、犠牲を払う必要があります。²⁶ わたしたちは皆、意義ある人生を送りたいと思っています。そして、これは若い世代の人に特に言えます。彼らは大義を欲しています。

イエス・キリストの福音は世界で最も大いなる大義です。エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように述べています。「わたしたちは、この福音を全世界に宣傳できるように神から命じられています。わたしたちは今日、この大義において一つとならなければなりません。自ら崩壊の道をたどっている世界を救うことができるのはこの福音をおいてほかにありません。福音だけが、あらゆる人種、あらゆる国籍の人々を平和のうちに一つにするのです。福音だけが、人類という家族に喜びと幸福と救いをもたらすのです。」²⁷

デビッド・A・ベドナー長老は次のように述べています。「青少年を招いて行動させてあげることによって彼らに力を与えるとき、教会は奇跡的な方法で前進するでしょう。」²⁸ わたしたちはこれまで、青少年を招いて彼らがキリストのこの偉大

な大義のために犠牲を払えるようにしてあげないことがあまりにも多くありました。ニール・A・マックスウェル長老は次のように述べました。「もし〔わたしたちの〕青少年が〔神の業を〕あまりに退屈に感じるようであれば、彼らは世の勢いのみ込まれる可能性が高くなります。」²⁹

「子供と青少年」のプログラムは青少年に物事を行う力を与えることに焦点を当てています。彼らは自分で目標を選びます。定員会とクラスの会長会はそれぞれが適切な役割を果たすように置かれています。ワード青少年評議会は、ワード評議会と同じように、救いと昇栄の業に焦点を当てます。³⁰ そして、定員会とクラスでは、神から与えられた業をどのように行うかについて評議することで集会を始めます。³¹

ネルソン大管長は教会の青少年に向けて次のように述べています。「皆さんが自ら選び、望むならば、……重要で、崇高で、偉大な御業において、重大な役割を果たせるのです。……皆さんは主がこれまでにこの地上に送ってこられた人々の中でも選りすぐりの人々です。皆さんは、これまでのどの世代よりも、より賢明で、より思慮深くなる可能性を備えており、世の中により大きな影響力を与えることができます。」³² 別の機会に、ネルソン大管長は青少年に次のように話しました。「わたしは皆さんを心から信頼し、愛しています。

主も愛しておられます。わたしたちは、神聖な業とともに携わる主の民です。」³³ 若人の皆さん、ネルソン大管長が皆さんに対して抱いている信頼と、皆さんがこの業にとってどれほど重要な存在かを感じることができますか。

両親の皆さんと成人の指導者の皆さん、青少年をネルソン大管長が御覧になっているように見るよう、皆さんをお招きします。青少年が皆さんの愛と信頼を感じ、皆さんが彼らを励まし、導く方法を教え、彼らのじゃまにならないように道を空けてあげるとき、皆さんは彼らの洞察、能力、および福音に対する決意に驚かされるでしょう。³⁴ 彼らはキリストの大義に積極的に携わり、犠牲を払うという選に喜びを感じるでしょう。主の福音は彼らの心の中により深く根付き、業は奇跡的な方法で前進するでしょう。

約束と証

皆さんに約束します。わたしたちがこれらの原則、すなわち、関係を育むこと、啓示、選択の自由、悔い改め、そして犠牲に焦点を当てるとき、イエス・キリストの福音はわたしたち全員の心の中により深くしみ込むでしょう。わたしたちは回復がその究極の目的であるイスラエルの贖いとシオンの確立に向けて前進するのを目にしましょう。³⁵ そしてキリストが王の王として統治されるのです。

神は御自分の民をその日に備えさせるために必要なあらゆることを引き続き行われることを証します。わたしたちが皆、「キリストのもとに来て、キリストによって完全にな〔る〕」ために努力する中で、この栄えある業におい

て主の手を見ることができようになります。³⁶ イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 45:12 参照。ネルソン大管長は次のように述べました。「この業への高まる思いと緊急性について考えてみてください。アダムに始まるすべての預言者がわたしたちの時代を見てきたのです。それぞれの預言者が、わたしたちの時代、すなわちイスラエルが集合し、世界が救い主の再臨に向けて備える時代について話してきたのです。そのことについて考えてみてください！これまで地球上に暮らしてきたすべての民の中で、わたしたちがこの最後の偉大な集合の業に参加するのです。何とすばらしいことでしょう！」〔「シオンのつわもの」〔青少年対象のワールドワイド・ディポーショナル、2018年6月3日〕HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org〕

ジェフリー・R・ホランド長老は次のように教えました。「現代は何とすばらしい時代でしょう。」

イエス・キリストの福音は、地上においても天においても、この世においても永遠にわたっても、最も確かで、最も安全で、最も信頼でき、最も大きな報いをもたらす真理です。いかなるものも、すなわち何も、だれも、どんな影響力も、この教会がその使命を果たし、創世の前から宣言されてきたその行く末を実現するのを妨げることはありません。……将来について恐れる必要も、不安を抱く必要もありません。

これまでのすべての時代と異なり、この神権時代は組織的な背教を経験することはありません。神権の鍵が失われるのを目にすることも、全能の神の声による啓示がやむこともありません。……何という時代に生を受けていることでしょう！

……お気づきでないかもしれませんが、わたしは末日について楽観的です。……信じてください。立ち上がってください。忠実であってください。そしてわたしたちの生きている驚くべき時代を満喫してください！」〔フェイスブックへの投稿、2015年5月27日。「恐れることはない。ただ信じなさい」〔CES宗教教育者への説教、2015年2月6日〕broadcasts.ChurchofJesusChrist.orgも参照〕

2. ヨハネ 1:12 参照

3. わたしたちが中央若い男性会長会として召されて間もなく、ヘンリー・B・アイリング管長は教会の青少年が今日直面している特有の困難と機会についてわたしたちと話し合いました。アイリング管長はわたしたちに、イエス・キリストの福音が青少年の心に深く根付く助けとなる事柄に焦点を当てるよう助言しました。その助言がわたしたち中央若い男性会長会にとってかがり火となりました。

4. See “Be with Them,” ChurchofJesusChrist.org/callings/aaronic-priesthood-quorums/my-calling/leader-instruction/be-with-them.

5. モーサヤ 18:25; モロナイ 6:5 参照

6. デール・G・レンランド「神の目を通して」〔リアホ



アメリカ合衆国、ユタ州ブラフデール



ナ] 2015年11月号, 94。モーセ1:4-6も参照
トーマス・S・モンソン大管長は次のように教
えています。「人を見るとき、現在の姿ではな
く、将来なれる姿を見る責任が〔わたしたち
には〕あるのです。周囲の人々について、どうか
このように考えるようお願いします。」「人が
将来なり得る姿を見る」『リアホナ』2012年
11月号, 70)
ニール・A・マックスウェル長老は次のように
教えています。「若人が教会の標準を外見上
守っていないことや、敵対的に思える質問や、
疑いを表明したことで、その若人にすぐにレッ
テルを貼ってしまうことがあまりに多くありま
す。その結果、距離を置いたり、時には関係を
断ったりすることも起こり得ます。真の愛は
レッテルを貼ることを嫌います。」「(Unto the
Rising Generation, "Ensign, Apr. 1985, 9)
7. 列王下6:17参照
8. 大管長会の一員であったスティーブン・L・リ
チャーズ管長は次のように述べています。「識
別力を最も高い次元まで伸ばすなら、人の内
にある善い性質や内在する美徳に気づき、それを
明らかにすることができます。」「(in Conference
Report, Apr. 1950, 162; デビッド・A・ベド
ナー「観察が鋭い」『リアホナ』2006年12月
号, 18で引用) 列王下6:17も参照
9. Henry B. Eyring, "Teaching Is a Moral Act"
(address at Brigham Young University,
Aug. 27, 1991), 3, speeches.byu.edu; em-
phasis added. ヘンリー・B・アイリング「高
い目標を持てるよう青少年を助ける」『リアホ
ナ』2012年11月号, 60-67も参照
10. モーセ1:3-6参照
11. モーサヤ18:21。モーセ7:18も参照
12. 「若い男性が活発な〔末日聖徒の〕家族や同
年代の仲間、指導者と強い良好な関係があり、
彼らの助けを受けながら天の御父との関係を
築けるなら、活発であり続ける可能性が最も高
くなります。日曜日の教科課程や若い男性の
活動プログラム、個人が達成するよう期待され
ている事柄など特定のプログラムの内容は、
それらの関係がなければほとんど効果はない
かもしれません。……重要なのは、特定のプ
ログラムの内容をいかに完璧に行うかではなく、
〔末日聖徒の〕若い男性の宗教的なアイデ
ンティティーを強める良好な関係を築くうえで
それらがどのように貢献するかです。」「(Be
with Them, "ChurchofJesusChrist.org/
callings/aaronic-priesthood-quorums/
my-calling/leader-instruction/be-with-
them)
13. See "Connect Them with Heaven," Churchof
JesusChrist.org/callings/aaronic-priest-
hood-quorums/my-calling/leader-instruc-
tion/connect-them-with-heaven

14. ヨハネ15:1-5; 17:11; ペリピ4:13; 1ヨ
ハネ2:6; モルモン書ヤコブ1:7; オムナイ
1:26; モロナイ10:32参照
15. これに関して聖文には多くの例があります。
二つだけ紹介します。1ニーファイ2:16; エ
ノス1:1-4
16. ルカ24:32; 2ニーファイ33:1-2; モルモ
ン書ヤコブ3:2; モロナイ8:26; 教義と聖
約8:2-3参照
17. 2テモテ3:15-16; 教義と聖約68:3-4;
88:66; 113:10参照
18. 1テサロニケ1:5; アルマ26:13; 31:5; ヒ
ラマン3:29; 5:17; 教義と聖約21:4-6;
42:61; 43:8-10; 50:17-22; 68:4参照
19. ヨハネ6:63; 17:17; アルマ5:7; 教義と
聖約84:43-45; 88:66; 93:36参照
20. ヨハネ15:3; 1ペテロ1:23; モーサヤ1:5;
アルマ5:7, 11-13; 32:28, 41-42; 36:
26; 62:45; ヒラマン14:13参照
21. 2ニーファイ31:19; 32:3, 5参照
22. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より
良くなれます」『リアホナ』2019年5月号, 67
23. デール・G・レンランド「きょう、選びなさい」
『リアホナ』2018年11月号, 104
24. この数字には最近まで、おもにアメリカ合衆国
とカナダにおいて、少年と若い男性のための
教会の活動プログラムの一部であったスカウ
トプログラムの達成要件も含まれています。
スカウト活動に参加していなかった地域にお
いては、達成要件の数は200以上でした。さ
らに、少年、少女、若い男性、若い女性の様々
な活動プログラムは異なった構成になってい
たため、家族にとってより複雑なものとなっ
ていました。
25. See "Let Them Lead," ChurchofJesusChrist.
org/callings/aaronic-priesthood-quo-
rums/my-calling/leader-instruction/let-
them-lead
26. オムナイ1:26; 3ニーファイ9:20; 12:19;
教義と聖約64:34参照。「あらゆるものを犠
牲とすることを求めない宗教は、命と救いを得
るために必要な信仰を人々に持たせることは
できない。」「(Lectures on Faith [1985], 69)
27. Ezra Taft Benson, *The Teachings of Ezra
Taft Benson* (1988), 167; in *Preach My
Gospel: A Guide to Missionary Service*
(2019), 13. ラッセル・M・ネルソン「シオン
のつわもの」HopeofIsrael.ChurchofJesus
Christ.orgも参照
28. デビッド・A・ベドナー長老との集会。「2020
年神殿・家族歴史指導者訓練」2020年2月
27日, ChurchofJesusChrist.org/family-his-
toryも参照
29. Neal A. Maxwell, "Unto the Rising
Generation," 11。マックスウェル長老は次の

ように続けています。「役割に関して、どれだ
け多くの執事定員会や教師定員会の会長会
が、単に祈りや聖餐のパスをだれかにお願いす
るだけになってしまっているでしょうか。兄弟
の皆さん、彼らは特別な霊たちであり、機会が
与えられれば素晴らしいことを行えるのです。』
30. See *General Handbook: Serving in The
Church of Jesus Christ of Latter-day
Saints*, 2.2, ChurchofJesusChrist.org.
31. 青少年が指導できるよう助けるために、「福音
ライブラリー」にいくつかのリソースが用意され
ています。「定員会およびクラス会長会のリ
ソース」, 「〔わたしに従ってきなさいーアロン
神権定員会と若い女性クラス用〕を活用する」,
さらに「ワードと支部の召し」の若い女
性クラスとアロン神権定員会のためのリソース
にもあります。
32. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」
HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org.
このディボーションで、ネルソン大管長は次
のように述べています。「天の御父は、恐らく
最もすぐれたチームと言え、最も高貴な霊た
ちの多くをこの最後の時のために取っておか
れました。この高貴な霊たち、最もすぐれた選
手たち、このヒーローこそが皆さんなのです。』
33. ラッセル・M・ネルソン「子供と青少年: ゲレ
ット・W・ゴング長老とのFace to Faceイベント」
での開会のあいさつ, 2019年11月17日,
broadcasts.ChurchofJesusChrist.org
34. ネルソン大管長は次のように述べています。
「若い人たちに指導してもらう必要がありま
す。特に、クラス会長会や定員会の会長会
での奉仕に召され、任命されている人々です。
彼らには神権の権能が委任されています。彼
らはクラスや定員会を導く中で、啓示を受ける
方法を学ぶことでしょう。」「〔子供と青少年〕
紹介ビデオのプレゼンテーション」2019年
9月29日, ChurchofJesusChrist.org)
クエンティン・L・クック長老は次のように述
べています。「教会の青少年は、自分でできるこ
とを親や指導者に代わりにしてもらうことなく、
若いときからもっと個人の責任を引き受けるよ
う求められています。」「〔青少年を強めるた
めの変更〕『リアホナ』2019年11月号, 40)
35. ジョージ・Q・キャンノン管長はこのように教
えています。「神がこの神権時代のために取
っておかれた霊は、勇気と固い決意をもってこの
世に立ち向かい、邪悪な者であるサタンが目
に見える所と見えない所で振るう力に対抗し、福
音を宣べ伝え、真理を守り、いかなる結果が伴
おうとも恐れずに神のシオンを確立し、築き上
げます。神はこのような霊を今の若者の世
代に送り込んでおられるのです。それはシオン
の基をしっかりと据えて二度と覆されないよう
にするためであり、義のうちに生き、神を何よりも
尊んで、いかなる状況に置かれても神に従う子
孫を育てるためです。」「(Remarks, "Deseret
News, 1866年5月31日付, 203); 『歴代大
管長の教えージョセフ・スミス』(2007年) 186
も参照
36. モロナイ10:32



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

信仰の祈り

信仰を込めて祈るとき、主が再臨に向けて世界を備えられる際に、わたしたちは重要な役割を果たすことができるでしょう。

総大会のこの最初の部会の冒頭でメインズ長老がささげた開会の祈りは、こたえられつつあります。すばらしいメッセージと美しい音楽を通じてわたしたちは靈感を受けています。今回の大会は記憶に残るものとなるというネルソン大管長の約束は、すでに果たされ始めています。

ネルソン大管長は今年を、「父なる神とその愛子イエス・キリストが示現の中でジョセフ・スミスに御姿を現わされてから200周年を記念する期間」に定め、この歴史的な大会に向けて自分自身を備えるために個人的に計画を立てるよう勧めました。またその記念すべき大会は、「教会歴史における重要な時期であり、皆さんが果たす役割はきわめて重要【です】と述べています。¹

皆さんもわたしと同じように、このメッセージを聞き「自分はどのように重要な役割を果たすのだろうか」と考えたかもしれません。回復の出来事について読み、祈ったかもしれません。父なる神が御子イエス・キリストを紹介された驚くべき出来事について、改めて読んだかもしれません。あるいは、救い主がその後天の御父の子供たちに語りかけられた時の話を読んだかもしれません。わたしはこれらすべて、そしてほかにも行いました。

読んでいるときに、神の神権と神権時代の幕開けについての記述を見つけました。そしてこの大会への準備がわたし個

人の歴史の重要な転換点であることに気づき、へりくだる思いがしました。わたしは心の変化を感じました。感謝が深まりました。今なお続いている回復とともに祝うよう招かれていると思うと、喜びに満たされました。

念入りな準備により、さらに喜びを感じ、楽観的になり、主が必要とされるあらゆる奉仕を行う決意を強めた人もいますでしょう。

わたしたちが祝うこの並外れた出来事は、預言されていた最後の神権時代の幕開けであり、この時代に主は御自身の教会と主の御名を受ける主の民が、主を受け入れるように備えておられるのです。再臨への備えの一環として、主はわたしたち一人一人を引き上げ、人類史上類を見ない霊的な試練と機会に堪えられるように高めてくださるでしょう。

1840年9月に、預言者ジョセフ・スミスとその顧問は次のように宣言しました。「この終わりの時における主の業は、非常に重要であって、死すべき者の理解をほとんど超えています。その栄光は筆舌に尽くし難く、その壮大さはあらゆるものをしのいでいます。これこそ、世の創造以来今日に至るまでのすべての世代を通じて、預言者や義人たちが胸を高鳴らせたテーマです。今は確かに時満ちる神権時代です。天であれ地上であれ、キリスト・イエスにあるすべてのものが主に

あって集められる時であり、世の初めからすべての聖なる預言者たちによって語られてきたように、万物が回復される時です。先祖に与えられた数々の約束が栄光のうちに成就し、いと高き者の大いなる、輝かしい、崇高な力が現されるでしょう。」

そしてこう続けています。「……わたしたちは目標に向かって前進し、完全で栄光に満ちた王国を築き上げ、神権を確立するために力を合わせたいと思います。終わりの時に成し遂げるべき業は非常に重要であって、預言者〔ダニエル〕が述べた栄光と威光を帯びてその業が転がり進むように、聖徒たちは精力と技術と才能と能力を用いることを求められるでしょう〔ダニエル2:34-35, 44-45参照〕。したがって、そのような重要で壮大な業を成し



ミスコ、グアテマラ



遂げるために、聖徒たちは専心することを求められるでしょう。²

進行中の回復において、わたしたちが具体的にいつ何を行うかについて、多くはまだ明らかになっていません。しかし、初期の大管長会も、主がわたしたちの前に据えられた御業の広さと深さの幾分かを理解していました。これから起こると分かっている事柄の幾つかを紹介しましょう。

まず、主は聖徒たちを通じて、「あらゆる国民、部族、国語の民、民族」に福音の賜物を示されます。³ 力が増し続ける信仰によって仕える「人間をとる漁師」とともに、テクノロジーと奇跡は引き続きその一翼を担うでしょう。⁴

わたしたちは、激化する争いのただ中で、一つの民としてさらに一致するでしょう。わたしたちは福音の光に満ちた集団や家族として、霊的な強さのうちに集合するでしょう。

不信仰なこの世でさえ、末日聖徒イエス・キリスト教会と、そこに注がれる神の力を認めるでしょう。忠実で勇敢な弟子たちは、日々の生活の中で、恐れず、謙遜に、公然と、イエス・キリストの御名を受けましょう。

では、わたしたち一人一人はこの偉大で荘厳な業にどのように携わることができるのでしょうか。ネルソン大管長は、霊的な力を高める方法についてわたしたちに教えています。イエスがキリストであるという信仰が高まり、悔い改めを喜ばしい機会としてとらえるとき、また天の御父がわたしたちのすべての祈りを聞かれることを理解し、信じる時、そして戒めに従って生活しようと励むとき、絶えず啓示を受けられる力が増します。聖霊を常に伴侶とすることができ、わたしたちを取り巻く世界が暗さを増す時でさえ、絶えず光を感じられます。

ジョセフ・スミスはそのような霊的な力を増すことの模範です。ジョセフは、信仰の祈りこそが神から啓示を受ける鍵であることを示しました。父なる神が祈りにこたえてくださると信じながら、信仰を込めて祈りました。イエス・キリストを通してのみ罪に対する罪悪感から解放されると信じながら、信仰を込めて祈りました。そして、その赦しを得るためにイエス・キリストの教会を見つめる必要があると信じながら信仰を込めて祈りました。

預言者としての務めを通じて、ジョセ

フ・スミスは絶えず啓示を得るために信仰の祈りを用いました。今日の試練や、これから直面する試練に立ち向かうときに、わたしたちも同じ規範に倣う必要があります。ブリガム・ヤング大管長は「末日聖徒にとって、あらゆる瞬間に絶えず神に祈ること以外に、主から導きと指示を授かる方法をわたしは知りません」と言いました。⁵

聖餐の祈りの「いつも御子を覚え」という言葉が、わたしたちの日常生活を表す言葉となるべきです。「御子」はイエス・キリストを指します。その次の、「御子が与えてくださった戒めを守る」という言葉は、主を覚えることの意味を示唆しています。⁶ イエス・キリストを常に覚えるとき、心の中で「主はわたしに何をしよう望んでおられるだろうか」と祈るかもしれません。

イエス・キリストを信じる信仰をこめてささげられたそのような祈りが、最後の神権時代の扉を開きました。そして、それこそが、この進行中の回復においてわたしたち一人一人が果たすべき中心的な役割です。皆さんと同じようにわたしも、そのようなすばらしい祈りの模範を知っています。

最初は、ジョセフ・スミスです。ジョセフは幼子のような信仰により、主が何を望んでおられるか尋ねました。主の答えは、世界の歴史を変えました。

わたしにとって重要な教訓は、ジョセフがひざまずいて祈ったときのサタン攻撃に対するジョセフの反応から学びました。

わたしは自分の経験から、サタンとその使いは、祈らないように教えることを知っています。ジョセフ・スミスが全力で神を呼び求め、ジョセフを縛ろうとしていた力から救い出してくださいるように願ったとき、助けを求める祈りはこたえられ、天の御父とイエス・キリストが御姿を現されました。

回復が始まるのを妨げようとするサタンの企ては激しいものでした。ジョセフの祈りがきわめて重要だったからです。皆さんとわたしがこの進行中の回復の業に

において担う役割は、ジョセフよりは小さなものでしょう。それでも、この回復の業の敵はわたしたちが祈るのを阻止しようとしてきます。ジョセフの信仰と確固たる意志の模範は、わたしたちの決意を強めてくれます。わたしが祈りの中で、ジョセフ・スミスについて天の御父に感謝するのを含めるのはそのためです。

進行中の回復の業で自分の役割を果たそうとして、信仰を込めて祈るとき、わたしにとってもう一つの手本は、モルモン書のエノスです。皆さんも、その役割が何であれ、エノスを自分の師と仰ぐことができます。

ジョセフのように、エノスも信仰をもって祈りました。エノスは自身の経験をこのように表現しています。

「すると、わたしの霊は飢えを感じた。それで、わたしは造り主の前にひざまずき、自分自身のために熱烈な祈りと懇願をもって造り主に叫び求めた。わたしは一日中造り主に叫び求めた。また夜になっても、声が天に届くように、まだ大きな声を上げていた。

すると、わたしに声が聞こえた。『エノスよ、あなたの罪は赦された。あなたは祝福を受けるであろう。』

わたしエノスは、神は偽りを言われるはずがないので、わたしの罪がすでにぬぐい去られたのを知った。

それでわたしは、『主よ、それはどうしてですか』と尋ねた。

そこで、主はわたしに言われた。『あなたが、これまでに声を聞いたことも見たこともないキリストを信じているからである。多くの歳月が過ぎた後、キリストは肉にあって自分自身を現すであろう。それゆえ、行きなさい。』⁷

次の言葉に、わたしに祝福をもたらした教訓が含まれています。「あなたが、これまでに声を聞いたことも見たこともないキリストを信じているからである。」

ジョセフは、キリストへの信仰があった

ので、森に入り、サタンの力から解放されるよう祈りました。まだ御父と御子を目にはしていませんでしたが、ジョセフは信仰と熱意を込めて祈りました。

エノスの経験からも、同じ貴重な教訓を学ぶことができます。信仰をもって祈るとき、救い主が御父に対する弁護者となってくださり、自分の祈りが天に届いていると感じます。答えが来ます。祝福もたらされます。困難なときでも、平安と喜びがあります。

わたしが十二使徒定員会の最も新しい会員であったときに、デビッド・B・ヘイト長老とともにひざまずいて祈ったのを覚えています。ヘイト長老は、今のわたしと同じくらいの年齢で、今のわたしと同じ試練を抱えていました。ヘイト長老が祈ったときの声を覚えています。目を開いて見たわけではありませんが、ヘイト長老がほほえんでいるように聞こえました。喜びの声で天の御父と話していたのです。

「イエス・キリストの御名によって」と言ったときのヘイト長老の喜びの音が脳裏によみがえります。ヘイト長老はそのとき、救い主が祈りの内容を承認しておられるのを感じているようでした。その祈りはきつと、ほほえみとともに受け入れられたはずでした。

救い主イエス・キリストと、愛にあふれる天の御父に対する信仰が増すときに、このすばらしい進行中の回復の業に、重要な貢献をする能力が増すでしょう。信仰を込めて祈るとき、主が再臨に向けて世界を備えられる際に、わたしたちは重要な役割を果たすことができるでしょう。主の招きに従い、一人一人がその業を担うときに喜び

を見いだせるよう祈ります。

イエス・キリストが生きておられることを証します。この教会は主の教会であり、地上の主の王国です。ジョセフ・スミスは回復の預言者です。ラッセル・M・ネルソン大管長は今日の地上における主の預言者です。ネルソン大管長は末日聖徒イエス・キリスト教会におけるすべての神権の鍵を持っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. Russell M. Nelson, "My 2020 Invitation to You: Share the Message of the Restoration of the Savior's Gospel," Jan. 1, 2020, blog, ChurchofJesusChrist.org [訳注:「ニュースルーム」news-jp.churchofjesuschrist.org, 2020年1月5日も参照]
2. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』512-513
3. モーサヤ15:28
4. マタイ4:19
5. *Discourses of Brigham Young*, sel. John A. Widtsoe (1954), 43-44.
6. 教義と聖約20:77
7. エノス1:4-8



アメリカ合衆国、ユタ州サンディー



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

中央幹部， 地域七十人，ならびに 中央役員の支持

兄弟姉妹の皆さん、これから教会の中央幹部、地域七十人、および中央役員の名前を、皆さんの賛意の表明を頂くために提示いたします。

皆さんがどこにしようと、これまでと同様の方法で表明をしてください。提議のいずれかに反対の方がいらっしゃれば、御自分のステーク会長に連絡してください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン、また、大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オークス、大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・H・オークスを、十二使徒定員会会長代理として、M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ワークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・

アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲリー・E・スティーブソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方は、その意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。
もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

次の各長老を地域七十人から解任するよう提議します：ホルヘ・T・ベセラ、マーク・S・ブライス、ジェレミー・R・ジャギ、ケリー・R・ジョンソン、アデインカ・A・オジェディラン、モイセス・ピラヌエバ。

彼らの卓越した働きに対して、ともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

わたしたちは心からの感謝とともに、ステイーブン・W・オーウェンを中央若い男性会長会会長から、ダグラス・D・ホームズを第一顧問から、M・ジョセフ・ブラフを第二顧問から解任するよう提議します。

この兄弟たちのすばらしい奉仕に、ともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

次の方々を中央幹部七十人として支持するよう提議します：ホルヘ・T・ベセラ、マシュー・S・ホランド、ウィリアム・K・ジャクソン、ジェレミー・R・ジャギ、ケリー・R・ジョンソン、シエリー・K・ムトンボ、アデインカ・A・オジェディラン、シロ・シュマイル、モイセス・ピラヌエバ。

賛成の方は、その意を表してください。
反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは以下の兄弟たちを地域七十人として支持するよう提議します：ジェイ・D・アンダーセン、ファーピト・アウアパウ、フレデリック・K・バリ・ジュニア、ケビン・W・バーチ、ジョン・W・ボズウェル3世、J・フランシスコ・ビューラー、



ブラジル、パラナ、クリチバ

スチャット・チャイチャナ, マシュー・R・クラーク, L・ギド・クリストバル, エドマルク・R・デュマス, カルロス・A・ガバルドン, M・アンドリュウ・ガルト4世, クラーク・G・ギルバート, レオナルド・D・グリーア, ウラジスラフ・Y・ゴルノスターフ, D・マーティン・ゴーリー, リチャード・I・ヒートン, ブロック・C・ハイアット, デビッド・H・ハンツマン, ノーマン・C・インソング, ダニエル・カバソン, フェデリコ・M・カーンレイン, ジェフリー・J・カー, ヨンジュン・クワン, デビッド・G・ラフランクス, リカルド・C・レイテ, マルセロ・ロウザ, ホセ・G・マナリン, ジェレミア・J・モーガン, マーク・A・モーテンセン, エドワルド・F・オルテガ, ネイサン・D・ベイス, マイケル・M・パッカー, オマール・I・パラシオス, ホルヘ・W・ペレス, キリーロ・ポキルコ, セルジオ・A・ボンシオ, アーサー・ラスコン, ミゲル・A・レイノソ, グスタボ・G・レゼンデ, ロバート・G・リバララ, トンガ・J・サイ, ルチアーノ・サンカリ, ロセンド・サントス, ヘンリー・サブストローム, J・マシュー・スコット, ジェームズ・E・スローター, ロバート・T・スミス, リカルド・A・スペンサー, コリン・C・スタウファー, デビッド・C・ステュアート, ジェレド・W・ストーン, アーレン・M・テュマリウアン, マーティン・J・ターベイ, ヤン・C・ベガ, ポール・B・ウィッピー, チャド・R・ウィルキンソン, ダウ・R・ウィルソン。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは新たに中央若い男性会長会会長として、ステイーブン・J・ランドを、第一顧問としてアーマド・サリーム・コービットを、第二顧問としてブラッドリー・レイ・ウィルコックスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

そのほかの中央幹部、地域七十人、ならびに中央役員を現在のまま支持するよう

提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

これまでの提議のいずれかに反対の方

は御自分のステーク会長に連絡してください。

皆さんの変わらぬ信仰と教会の指導者のための祈りに感謝します。■

2019年度 教会監査部報告

教会監査部実務運営ディレクター

ケビン・R・ジャーゲンセン提出

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会に対する報告

愛する大管長会の皆さん、教義と聖約第120章に記録されている啓示によって指示されているとおり、大管長会、十二使徒定員会、および管理ビショップリックで構成される什分の一配分評議会が教会基金の支出の承認を行います。教会の各部門は承認された予算、方針および手続きに従って基金を使います。

教会監査部門は、資格のある専門家によって構成され、教会の他のあらゆる部門および組織から独立しており、受領した献金、支出および教会資産の保全に関して合理的な保証を提供するという目的のために監査を行う責任があります。

監査の結果、教会監査部の見解によると、2019年に受領した献金、支出、および教会資産は、あらゆる重要な点で、教会の承認された予算、方針および会計実務に従って記録され、管理されています。教会は、予算内で賄い、負債を避け、必要時に備えて貯蓄するという、教会員に対して教えられている慣行に従っています。

以上、謹んでご報告いたします。

教会監査部

ケビン・R・ジャーゲンセン

実務運営ディレクター ■



十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

モルモン書の出現

モルモン書の歴史的事実と特別な証人が、モルモン書の出現はまさに奇跡であったことを証しています。

あるとき、教会の長老たちとの集会で預言者ジョセフ・スミスは次のように宣言しました。「モルモン書とそれらの啓示を取り去ったならば、わたしたちの宗教はどこにあるでしょうか。どこにもありません。」¹ 愛する兄弟姉妹の皆さん、「最初の示現」に続く、モルモン書の奇跡的な出現は、この神権時代におけるイエス・キリストの福音の回復を示す第二の重要な出来事です。モルモン書は、神がその子供たちへ抱いておられる愛と、御自身を顧みない主イエス・キリストの貴い贖いの犠牲を証し、主が復活されて間もなくニーファイ人の中で栄えある教導の業を行われたことを証しています。² また、イスラエルの家の残りの者たちが末日における主の業に

よって一つとなり、とこしえに捨てられることがないことを証しています。³

末日におけるこの聖なる書物の出現について学ぶとき、わたしたちはその過程すべてが奇跡であったことに気づきます。預言者ジョセフが聖なる天使から金版を受け取ったことに始まり、「神の賜物と力」⁴ によって翻訳され、主によって版が守られ、出版されるまで、すべてが奇跡なのです。

モルモン書の出現は、ジョセフ・スミスが天使モロナイの手から金版を受け取るずっと前に始まっていました。昔の預言者たちは、この時代に聖なる書物が到来することを預言していました。⁵ イザヤは封じた書物のことについて話し、それが出現するときは、人々が神の言葉について

争うだろうと述べています。これは、どのような状況で神が「不思議な驚くべきわざ」を行われるのかを教えてください。そのとき、「彼らのうちの賢い人の知恵は滅び、さとい人の知識は隠される」、しかし柔和な者は「主によって新たなる喜びを得、人なかの貧しい者はイスラエルの聖者によって楽しみを得る」のです。⁶ エゼキエルはユダの木（聖書）とエフライムの木（モルモン書）が一つの木となると述べています。（旧約聖書の）エゼキエルと、（モルモン書の）リーハイはともに、二つの木が「一つにな[り]」偽りの教義を打ち破り、平和を確立し、聖約についても知らせると指摘しています。⁷

最初の示現を経験してから3年半後の1823年9月21日の夜、心から祈っていたジョセフは、古代アメリカ最後のニーファイ人の預言者であった天使モロナイの訪れを三度にわたって受けます。一晚中続いたその訪れの中でモロナイは、ジョセフがなすべき驚くべき業を神が備えておられることを告げました。それは、アメリカ大陸の昔の預言者たちの靈感された言葉を翻訳し、出版して世に出すことでした。⁸ 翌日、ジョセフは、家からさほど離れていない、何世紀も前にモロナイが命尽きる前に版を隠した場所へ行ってみました。ジョセフはそこで再びモロナイの訪れを受け、将来、版を受け取る時のために自らを備えるよう指示されました。

それから4年間、毎年9月22日に、ジョセフはモロナイから、主の王国が末日にどのように治められるかに関して、さらなる教えを受けました。また、備えとしてジョセフは神の天使たちの訪れも受けました。それによって、この神権時代に起こる威厳と栄光に満ちた出来事が明らかにされたのです。⁹

1827年のエマ・ハイルとの結婚もその備えの一環でした。エマは、預言者の生涯とその務めにおいて彼を助け、重要な役割を果たしました。実際、1827年9月



アメリカ合衆国、ユタ州バウンティフル

に、エマはジョセフと一緒に版が隠されている丘へ行き、天使モロナイがジョセフの手に記録を託している間、待っていたのです。ジョセフは、版を保存するためにあらゆる努力を尽くすならば、それを再びモロナイの手に戻すべきときまで版は守られるとの約束を受けました。¹⁰

福音の友である皆さん、今日、古の時代から発見されるものの多くは、考古学の発掘調査や建設工事でたまたま見つかったものです。しかし、ジョセフ・スミスは天使によって導かれ、版を得たのです。それ自体が奇跡でした。

モルモン書の翻訳プロセスも奇跡でした。この神聖な古代の記録は、学者が古代の言語を学んで古文書を読み解くという伝統的な方法で翻訳されたものではありません。言語の知識によって「翻訳」するのは対照的に、主から授かった手に取れる道具の助けを借りて「啓示」を受けるようなプロセスだったと考えるべきです。ジョセフは神の力によって、「象形文字……、そ[の]……知識が世から失われた文字から、モルモン書を翻訳し[た]」と宣言しています。「そのすばらしい出来事の中で、無学な若者であるわたしはたった独りで立ち、この新たな啓示を携えて、この世の知恵と、そして18世紀もの間蓄積された無知と闘った」と語りました。¹¹ ジョセフ・スミスが奇跡的に短期間で翻訳を終えたことを考えても、そこに主の助け、いわば啓示があったことは明らかです。¹²

ジョセフの筆者たちは、モルモン書の翻訳に携わっている間に神の力が示されたと証しました。オリバー・カウドリはかつてこう述べています。「これらの日々は、決して忘れられないものであった。天の靈感によって語られた声、この胸にこの上ない感謝の念を呼び起こした声の下に座していたのである。彼が……モルモン書……を翻訳するまに、わたしは、来る日も来る日も、彼の口から出る言葉を絶



ANDREW MATHIAS ARTIST

え間なく書き続けた。」¹³

ジョセフが1827年に版を受けるやいなや、それを奪おうとする試みが何度もなされたことは史料から明らかです。ジョセフは、「わたしから[版]を奪おうとするあらんかぎりの努力が払われ」「思いつくかぎりのあらゆる策略が実行に移された」と記しています。¹⁴ やがて、ジョセフとエマはニューヨーク州のマンチェスターからペンシルベニア州のハーモニーに移らざるを得なくなりました。翻訳の業を始めるために、版を奪おうとする暴徒や個人のいない安全な場所が必要だったからです。¹⁵ ある歴史家はこう記しています。「このようにして、版の保護を託されたジョセフの最初の難局は終わりを告げた。……記録は守られた上に、必死で守る中で、ジョセフは神と人の手法について多くを学び、それが後に大いに役に立ったことは疑いの余地はない。」¹⁶

モルモン書を翻訳している間、ジョセフは主が版を見せる証人を選ばれることを

知ります。¹⁷ これは「ふたりまたは三人の証人の口によって、すべてのことがらが確かめられる」とあるように、主御自身が定められたことでした。¹⁸ この神権時代に神の驚くべき業を打ち立てるよう働いたジョセフの初めの協力者である、オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、マーティン・ハリスが、モルモン書を世に証する特別な証人として最初に召されました。彼らは主のみもとから降^{くだ}って来た天使によって古代の記録を見せられ、その版に刻まれている文字を見たことを証しました。また、その古代の記録が神の賜物と力によって翻訳されたことを天から宣言する神の声を聞いたと証しました。それから三人は、全世界に向けて、そのことを証するように命じられたのです。¹⁹

主は、奇跡的に、ほかの8人の証人を召し、金版を実際に目にして、『モルモン書』が神から与えられた真実の書物であることを世に証する特別な証人として立てられました。彼らは版とそこに彫られ

た文字を見て、注意深く確認したことを証しました。逆境、迫害、あらゆる困難にあっても、また後に何人かは信仰から遠ざかりましたが、それでもこの選ばれた11人のモルモン書の証人の中で、版を見たという証を否定した人は一人もいませんでした。モロナイの訪れと金版について知る者は、もはやジョセフ・スミスだけではなくたのです。

証人たちに版が見せられた後で、ルーシー・マック・スミスは息子が大喜びで帰宅したと記録しています。ジョセフは両親にこう説明しました。「自分にはとても堪えられない大きな重荷を取り除かれたような気分です。もう自分がこの世でまったくの一人きりではないことが、心からうれしいのです。」²⁰

翻訳が終わりに近づき、印刷する段になって、ジョセフ・スミスは大きな困難に直面しました。そこで、マーティン・ハリスが、大いなる信仰と犠牲によって自分の農場を印刷費用の抵当に入れたことにより、ジョセフはニューヨーク州パルマイラの印刷業者エグバート・グランディンを説得することができました。モルモン書の出版後も反発が続いたこともあり、マーティン・ハリスは忠実に自分の農場から61ヘクタール(0.6km²)を売却して印刷費用を完済したのでした。ジョセフ・スミスに与えられた啓示を通して、主はマーティン・ハリスに対して「真理と神の言葉」が載っている書物を印刷するために自分の財産をむさぼってはならないと教えています。²¹ 1830年3月、モルモン書の最初の5000冊が出版されました。そして、これまで、100以上の言語で1億8000万冊以上も出版されてきました。

モルモン書の歴史的事実と特別な証人が、モルモン書の出現はまさに奇跡であったことを証しています。しかし、この書物の力は単にその壮大な歴史だけではありません。わたしを含む数えきれない人の人生を変えてきた、そのたぐいがない、力強

いメッセージにあるのです。

若いセミナーの生徒だったときに初めて、モルモン書を読み通しました。教師に勧められたとおりに、まず序文から読み始めました。モルモン書の序文に書かれている約束は今でも心に響きます。「〔自らの〕心の中で深く考え、そして、この書物が真実かどうか、キリストの名によって……〔信仰をもって〕神に問うようにお勧めする。この手順を踏〔む〕……人々は、『モルモン書』が神から与えられた真実の書物であるという証を、聖霊の力によって得るであろう。」²²

この約束を念頭に、わたしはそれが真実であることをもっと知りたいと熱心に求めつつ、祈りの気持ちで読みました。毎週割り当てられたセミナーのレッスンに従い、少しずつモルモン書を学んだのです。アルマが民に神の言葉を説いた際に述べたように、わたしの心の中に暖かい気持ちが徐々にふくらみ始め、心を満たし、理解を深め、ますます喜びに満ちたことを、昨日のここのように覚えています。²³ その気持ちがゆくゆくは心に根差した知識に変わっていき、この聖なる書物に記録されている教えと重要な出来事に対する証の基となりました。

このような貴重な体験やそのほかの個人的な経験を通して、モルモン書は確かにイエス・キリストを信じるわたしの信仰と主の福音の教義に対する証を支えるかなめ石となりました。モルモン書は、キリストの貴い贖いの犠牲に対するわたしの証を支える柱の一つとなったのです。またこれまで、信仰を弱め、不信仰の種を心に植え付けようとするサタンの企てから守る盾となり、救い主の証を世に宣言する勇氣を与えてくれました。

親愛なる友人の皆さん、わたしのモルモン書の証は、教えに教えを重ね、²⁴ 奇跡として心に与えられたものです。今日に至るまで、この証は成長し続けています。この驚くべき聖典に含まれる神の言葉をよ

り完全に理解しようと誠心誠意探求し続ける間、その成長は続きます。

今日わたしの声を聞いている皆さんにお勧めします。どうぞ、この驚くべきモルモン書の出現をあなた自身の人生の一部にしてください。モルモン書の言葉を祈りを込めて一貫して学ぶことによって、その約束と豊かな祝福をあなたの人生に取り入れることができるとお約束します。この書物に繰り返されている約束を再度断言したいと思います。もしあなたが「これが真実かどうかキリストの名によって永遠の父なる神に問う〔ならば、〕……もしキリストを信じながら、誠心誠意問うならば、神は〔憐れみをもって〕これが真実であることを、聖霊の力によってあなた……に明らかにしてくださる」でしょう。²⁵ 神はあなたにとっても個人的な方法で答えを与えられることをお約束します。わたしだけでなく、世界中の多くの人々にそうしてくださったからです。その経験は、皆さんにとって栄光に満ちた神聖なものとなるでしょう。それはジョセフ・スミスの経験が彼にとって、また最初の証人たちにとって、そしてこの神聖な書物の完全性と信頼性について証を求めてきたすべての人にとってそうだったのと同じです。

モルモン書が確かに神の御言葉であることを証します。また、この神聖な記録が「福音の教えを宣言し、救いの計画の概要を説き、人がこの世で平和を得、後の世で永遠の救いにあずかるには何をしなければならないかを告げている」ことを証します。²⁶ モルモン書が、現代におけるイスラエルの集合をもたらし、人々が御子イエス・キリストを知ることができるようにするための神の道具であることを証します。神が生きておられ、わたしたちを愛しておられること、そして御子イエス・キリストが世の救い主であられ、わたしたちの宗教の隅のかしら石であることを証します。わたしたちの贖い主、教師、主であられるイエス・キリストの御名により、

アーメン。■

注

1. Joseph Smith, in "Minute Book 1," 44, josephsmithpapers.org; also at Church History Library, Salt Lake City; capitalization standardized.
2. 3 ニーファイ 11 - 26 章参照
3. エゼキエル 37:21 - 28:1 ニーファイ 13:34 - 41:3 ニーファイ 20:46:21:1 - 11:モルモン書タイトルページ参照
4. モルモン書序文
5. 黙示録 14:6 - 7:1 ニーファイ 19:21 参照
6. イザヤ 29:14, 19。11 - 13 節も参照
7. エゼキエル 37:16 - 17:2 ニーファイ 3:12 参照
8. ジョセフ・スミス—歴史 1:27 - 47 参照。教義と聖約 27:5: Joseph Smith, "History, 1838-1856, volume A-1 [23 December 1805-30 August 1834]," 5, josephsmithpapers.org. も参照
9. ジョセフ・スミス—歴史 1:54 参照。see also Joseph Smith, "Church History," *Times and Seasons*, Mar. 1, 1842, 707, josephsmithpapers.org.
10. ジョセフ・スミス—歴史 1:59:『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』57 - 59 参照
11. Joseph Smith, "History, 1838-1856, volume E-1 [1 July 1843-30 April 1844]," 1775, josephsmithpapers.org; also at Church History Library, Salt Lake City; punctuation standardized. See also Joseph Smith, "Letter to James Arlington Bennet, 13 November 1843," 1, josephsmithpapers.org; also at Church History Library, Salt Lake City.
12. See John W. Welch, "Timing the Translation of the Book of Mormon: 'Days [and Hours] Never to Be Forgotten,'" *BYU Studies*, vol. 57, no. 4 (2018), 11-50.
13. Oliver Cowdery, quoted in Joseph Smith—History 1:71, footnote; see also *Latter Day Saints' Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 14.
14. ジョセフ・スミス—歴史 1:60
15. ジョセフ・スミス—歴史 1:60 - 62 参照
16. Andrew H. Hedges, "'All My Endeavors to Preserve Them': Protecting the Plates in Palmyra, 22 September-December 1827," *Journal of Book of Mormon Studies*, vol. 8, no. 2 (1999), 23.
17. 2 ニーファイ 27:12 - 14; エテル 5:1 - 3 参照
18. マタイ 18:16
19. モルモン書「三人の証人の証」参照
20. Joseph Smith, in Lucy Smith, *Biographical Sketches of Joseph Smith, the Prophet, and His Progenitors for Many Generations* (1880); see also "Lucy Mack Smith, History, 1845," 154, josephsmithpapers.org.

21. 教義と聖約 19:26
22. モルモン書序文。モロナイ 10:3 - 5 も参照
23. アルマ 32:41 - 43 参照
24. 2 ニーファイ 28:30 参照
25. モロナイ 10:4
26. モルモン書序文



チリ, マルガ・マルガ, オルムエ



七十人
ジョン・A・マキューン長老

キリストのもとに来る— 末日聖徒として生きる

わたしたちも困難な事柄を成し遂げたり、ほかの人々が同じようにできるような助けたりすることができます。なぜなら信頼できるのはどなたであるかを知っているからです。

ソアレス長老、モルモン書についての力強い使徒の証をありがとうございます。先日、モルモン書の原稿の一枚に触れるという貴重な経験をしました。このページには、ニーファイの力強い次の言葉が、この神権時代にとって初めて記録されていました。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それだけでなく、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」¹

原稿を手にしたとき、「神の賜物と力」²によってモルモン書を翻訳した23歳のジョセフ・スミスが払った努力に対する心からの感謝で満たされました。そして、ラバンから真鍮の版を手に入れるために大変困難な任務を果たすよう命じられた若きニーファイの言葉にも感謝の気持ちを覚えました。

ニーファイは、常に主に焦点を当て続けるならば、主が命じられたことを果たすうえで成功を取られることを知っていました。ニーファイは誘惑や身体的な試練、一部の肉親の裏切りに苦しみながらも、生涯を通じて救い主に焦点を合わせ、ぶれませんでした。

信頼できるのはどなたであるかをニーファイは知っていたのです。³「わたしは何と惨めな人間なのだろう。……まことに、わたしの心はわたしの肉のために苦惱[する]」⁴と叫んだ直後に、ニーファイは次のように述べました。「わたしを支えてこられたのは神である。神はわたしが荒れ野で苦難に遭っていたときに、いつもわたしを導き、また底知れない深みの海の上でも、わたしを守られた。」⁵

キリストに従う者として、人生の困難や試練を回避することはできません。一人で試みるには圧倒されるような、あるいは

不可能とも思えるような困難な事柄を行うよう求められることもしばしばです。「わたしのもとにきなさい」⁶という救い主の招きを受け入れるとき、主がニーファイやジョセフにされたように、主は必要な支援と慰め、そして平安をお与えになります。最もつらい試練の只中でさえ、わたしたちが主を信頼し御心を受け入れるとき、主の愛の温かな慰めを感じることができるのです。主の忠実な弟子たちにとっておかれた喜びを感じることができます。なぜなら「キリストは喜び」⁷だからです。

2014年、伝道の奉仕をしていた際、わたしたち家族は予期せぬ出来事を経験しました。急な坂道をスケートボードで降りていた我が家の末息子が転倒し、生死にかかわる損傷を脳に負ったのです。容体は悪化し、医療スタッフは急いで息子の緊急手術に臨みました。

わたしたち家族は病院の一室の床にひざまずき、心を注ぎ出して神に祈りました。複雑で悲痛な時を過ごす中、わたしたちは天の御父の愛と平安に満たされました。

どのような未来が待ち受けているか、つまり息子が生きてまた会うことができるか分かりませんでした。非常にはっきりと分かっていたことは、息子の命は神の御手に委ねられており、その結果は永遠の観点から見れば、神にとってもわたしたち



アメリカ合衆国、ユタ州ミルクリーク

にとっても良い方向に働くということでした。御霊の賜物を通して、わたしたちはどのような結果も完全に受け入れる覚悟ができたのです。

それは簡単なことではありませんでした。事故のため、2か月間病院にいながら、400人の専任宣教師を管理するという生活を余儀なくされました。息子は重度の記憶喪失を経験しました。回復のためには長期にわたる難しい理学療法、言語療法、作業療法セッションを要しました。困難は続きましたが、わたしたちは幾度となく奇跡を目にしました。

わたしたちが直面するあらゆる試練にわたしたちの望むような結果が伴うとは限らないことをはっきりと理解しています。しかしながら、キリストに焦点を当て続けるとき、わたしたちは平安を感じ、神の奇跡を目にします。どのような状況であれ、主の時に、主の方法で奇跡が起こるのです。

どう考えても現状が丸く収まるようには思えず、ニーファイが表現したように「わたしの心はわたしの肉のために苦悩〔する〕」⁸ ようなときが訪れるかもしれません。わたしたちの唯一の望みがイエス・キリストの内にしかないときが訪れるかもしれません。そのような望みや信頼をキリストの内に抱くことができるとは何という祝福でしょうか。キリストは常に御自分のなされた約束を守られる御方です。主の安息は、キリストのもとに来る者すべてに保証されています。⁹

救い主イエス・キリストに信頼を寄せ、焦点を当てることによってもたらされる平安と慰めを皆が感じられるようにと、指導者は心から願っています。

生ける預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長は、この世とキリストの教会の会員に対する主のビジョンを伝えています。「わたしたちが世に伝えるメッセージは簡潔で心からのものです。幕の両側にいるすべての神の子供たちに、**救い主のもとに来て**、聖なる神殿の祝福を受け、永続す



る喜びを得、永遠の命を受けるふさわしさを身につけるようお勧めします。¹⁰

この「キリストのもとに来なさい」という招きは、末日聖徒にとって**明確な**意味合いを持っています。¹¹ 救い主の教会の会員として、わたしたちは主と聖約を交わし、霊的な意味で主から生まれた息子および娘となるのです。¹² わたしたちはまた、キリストのもとへ来るよう人々を招くうえで主とともに働く機会に恵まれています。

キリストとともに働くとき、わたしたちが最も力を注ぐべき取り組みはわたしたち自身の家庭の中にあるべきです。家族や親友が困難に直面するときに訪れるでしょう。世の声や自らの願望のために、真理に疑いを抱くようになるかもしれません。その人々に対する救い主の愛とわたしたちの愛を感じてもらえるように、できることをすべて行わなければなりません。親しみある賛美歌、「共に愛し合え」でも教えている聖句が浮かんできます。「互いに愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」¹³

真理に疑問を抱いている人々に愛を示そうとするときに、あらゆる喜びの敵は、**わたしたちが** 続けて完全な福音に従って生活したり、福音の真理を教えたりすることが、愛する人々を裏切ることになると思わせるかもしれません。

人々がキリストのもとに来る、あるいは

戻るための助け手にわたしたちがなれるかどうかは、聖約の道にとどまるという個人の決意を通して示すわたしたちの模範に大きく左右されます。

もしわたしたちの真の望みが愛する人々をレスキューすることにあるならば、わたしたちは主の教会と完全な福音を受け入れることにより、キリストのもとにしっかりとどまらなければなりません。

ニーファイの話に戻ると、主を信頼するニーファイの性向は、主への信頼や聖約を守る模範といったニーファイの両親の性質に影響されていたことが分かります。このことは、リーハイの命の木の示現の中で見事に例示されています。甘く、喜びを満たす命の木の実を食べた後、リーハイは「自分の家族もいるのではないかと辺りに目をや〔りました〕。」¹⁴ サライア、サム、ニーファイが立っているのが見えたが、「彼らは、どちらへ行ったらよいか迷っているかのよう」でした。¹⁵ その後リーハイはこのように述べています。「わたしは手招きをして、わたしのところに来て、……その実を食べるように、大声で言った。」¹⁶ リーハイが命の木から離れなかった点に注目してください。リーハイは霊的な意味で主のもとにとどまり、リーハイ**自身**がその実を食べた場所へ来るよう家族を招いたのです。

サタンは、キリストの教えを主の教会から切り離すことで、福音がもたらす喜びから離れるよう人々を誘惑するでしょう。自分の力で、自分の霊性によって、教会に依存せずとも聖約の道にしっかりとどまることができると信じ込ませようとするでしょう。

この末日において、キリストの聖約を交わした子供たちが聖約の道にとどまることができるよう助けるためにキリストの教会は回復されました。

教義と聖約には次のようにあります。「見よ、これはわたしの教義である。すなわち、だれでも悔い改めて**わたしの**もとに



管理ビショップ
ジェラルド・コセー ビショップ

生けるキリストの 生ける証人

来る者は、わたしの教会である。」¹⁷

キリストの教会を通して、わたしたちは聖徒の共同体として経験により強められるのです。わたしたちは主の預言者、聖見者、啓示者を通して主の声を聴きます。最も重要なことは、キリストの贖いがもたらす欠くことのできない祝福はすべて、主の教会を通して与えられ、それらの祝福は神聖な儀式に参加することを通してのみ実現するということです。

末日聖徒イエス・キリスト教会は地上におけるキリストの教会であり、この末日において、神のすべての子供たちの益となるよう回復されました。

キリストのもとに来て、末日聖徒として生きるとき、主の愛、喜び、平安がさらに豊かに注がれるという祝福を受けることを証します。ニーファイのように、わたしたちも困難な事柄を成し遂げたり、ほかの人々が同じようにできるよう助けたりすることができます。なぜなら信頼できるのはどなたであるかを知っているからです。¹⁸キリストはわたしたちの光であり、命であり、救いであられます。¹⁹ イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ニーファイ 3:7
2. モルモン書のタイトルページ。モルモン書の序文も参照
3. 2 ニーファイ 4:19 参照
4. 2 ニーファイ 4:17
5. 2 ニーファイ 4:20
6. マタイ 11:28
7. ラッセル・M・ネルソン「喜び一霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号、82
8. 2 ニーファイ 4:17
9. マタイ 11:28 - 30 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「神のみ業に進みて」『リアホナ』2018年5月号、118、強調付加
11. 教義と聖約 20:59 参照
12. モーサヤ 5:7 参照
13. ヨハネ 13:35。「共に愛し合え」『賛美歌』192番も参照
14. 1 ニーファイ 8:13
15. 1 ニーファイ 8:14
16. 1 ニーファイ 8:15
17. 教義と聖約 10:67; 強調付加
18. 2 ニーファイ 4:19 参照
19. 詩篇 27:1 参照

2017年のある晴れた春の日、フランス・パリ神殿のオープンハウスが順調に行われていました。そのとき、一人のツアーガイドのもとへ、悲しみに顔を曇らせた男性が近づいてきました。彼は神殿の隣りに住んでいると言い、神殿の建設に反対していたことを認めました。ある日、アパート

の窓から外を眺めていると、大型クレーン車が、空からイエスの像をおろしていき、神殿の敷地に静かに置く様子を目にしました。その男性は、この経験が教会に対する彼の気持ちを完全に变えてくれたのだと力説しました。わたしたちがイエス・キリストに従っていることに気づき、男性はこれまで損害を与えてしまったかもしれないことに対して赦しを求めたのです。

クリスタス像は、パリ神殿や教会のそのほかの施設にも設置されていて、救い主に対するわたしたちの愛を証しています。オリジナルの大理石像は、デンマークの彫刻家バルテル・トルバルセンの作品で、最初の示現と同じ1820年に作られました。その像は、当時のほとんどの芸術的表現、すなわち十字架上で苦しむキリストを主体にして描いたものとはまったく対照的でした。トルバルセンの作品は、死に勝利し、腕を広げ、すべての人を御自身のもとに招いておられる生けるキリストを表現しています。全人類を救うために主が耐えられた、筆舌に尽くし難い激しい苦痛を証しているのは、主の手足にある釘の跡と脇腹の傷だけです。

恐らく、末日聖徒イエス・キリスト教会の



アメリカ合衆国、ユタ州サンディー



会員がこの像を愛する理由の一つは、救い主がアメリカ大陸を訪れられたモルモン書の記述を思い起こさせるからでしょう。

「すると見よ、天から一人の男の方が降って来られるのが見えた。この御方は白い衣を着ておられ、降って来て群衆の中に立たれた。……

そこでこの御方は、片手を差し伸べて人々に言われた。

『見よ、わたしはイエス・キリストであ[る]……。』

……わたしは、父がわたしに下さったあの苦い杯から飲み、世の罪を自分に負うことによって父に栄光をささげた。』¹

それから主はすべての男女と子供に、自分のもともと来て、脇腹に手を差し入れ、両手と両足の釘跡に触れることで、主が確かに待ち望んでいたメシヤであるという個人の証を得るように招かれました。²

この崇高な場面は、モルモン書のまさに最高潮です。福音の「よきおとずれ」全体が、この救い主の像に込められています。「憐れみの御腕」³を優しく差し伸べ、主のもとに来て主の贖いの祝福を受けるように、一人一人を招いておられるのです。

モルモン書の中心となるメッセージは、

人類の救いと昇栄におけるイエス・キリストの重要な役割について、真の知識を回復することです。このテーマは、モルモン書の最初のページから最後の章の最後の言葉にまで反映されています。背教と霊的混乱の数世紀を通して、キリストがゲツセマネとゴルゴダで行われたことのより深い意味は失われるか、改悪されてしまいました。ニューファイ第一書を翻訳していたジョセフ・スミスは、次のすばらしい約束を発見したとき、どんなに胸を躍らせたことでしょうか。「……それら後の方の記録〔モルモン書〕は……初めの記録〔聖書〕が真実であることを立証し、またその中から取り去られた分かりやすくて貴い部分を明らかにする。またそれらの記録は、神の小羊が永遠の御父の御子であって、世の救い主であられること、すべての人はこの救い主のみもとに來なければならず、そうしなければ救われないことを、すべての部族、国語の民、民族に知らせる。』⁴

救い主の贖罪についての分かりやすくて貴い真理は、モルモン書全体に鳴り響いています。それらの真理を幾つかリストアップしますので、それがいかに自分の生活を変えてきたか、あるいは変えることができるかよく考えてください。

1. イエス・キリストの贖罪は、地上に生きてきた人、現在生きている人、そして今後生まれてくる人全員に無料で与えられる贈り物です。⁵
2. キリストは、わたしたちの罪の重荷を負うことに加えて、わたしたちの悲しみや弱さ、苦しみ、病、そして人が死すべき世で経験するあらゆる苦痛を御自分に受けられました。主がわたしたちのために経験されなかった苦悩や苦痛、悲しみはありません。⁶
3. 救い主の贖いの犠牲により、わたしたちは、肉体の死を含む、アダムの墮落の否定的な結果を克服できます。キリストのゆえに、この地上に生まれた神の子供たちは皆、義の状態がどうあれ、復活の力によって霊と肉体が再び結合し、⁷「自分の行い……に応じて裁かれる」⁸のために、主の御前に連れ戻されます。
4. その一方で、救い主の贖罪の完全な祝福を受けるには⁹「キリストの教義」¹⁰に従って熱心に生活することが条件とされます。リーハイは夢の中で、命の木に至る「細くて狭い道」¹¹を見ました。その実は、キリストの贖罪の至高の祝福を通して経験する神の愛を表わし、「非常に貴く、……好ましいもので、……神のあらゆる賜物の中で最も大いなるもの」です。¹² この実を味わうには、イエス・キリストを信じる信仰を行使し、悔い改め、「神の言葉に聞き従って」、¹³ 必要な儀式を受け、生涯を終えるまで神聖な聖約を守らなければなりません。¹⁴
5. イエス・キリストは贖罪を通して、わたしたちの罪を洗い流すだけでなく、**能力を授ける** 恵みの力を与えてくださいます。主の弟子たちはその力により、「生まれながらの人を捨て」、¹⁵「教えに教え」¹⁶を受けて成長し、聖さを増し加え、¹⁷ いつの日かキリストの面影を持った完全な者となって、¹⁸ 再び神とともに住む資格



を得て、¹⁹ 天の王国のあらゆる祝福を受け継ぐのです。²⁰

モルモン書に記されている、慰めとなるもう一つの真理は、主の贖罪が、無限で万人に及ぶにもかかわらず、非常に個人的で私的な賜物であり、わたしたち一人一人に当てはまるということです。²¹ イエスがニーファイ人の弟子たち一人一人を招いて御自分の傷跡に触れさせたように、主はあたかも皆さんやわたしが地上で唯一の人であるかのように、わたしたち一人一人のために亡くなられたのです。主は御自分のもとに来て、主の贖罪の驚くべき祝福を受けるよう、個人的に招いておられます。²²

個々人に当てはまるというキリストの贖罪の性質は、モルモン書の中の卓越した男女の模範について考えるとき、よりいっそう現実のものになります。その中には、エノス、アルマ、ゼーブロム、ラモーナイ王とその妻、ベニヤミン王の民がいます。彼らの改宗談と力強い証は、主の無限の慈しみと憐れみを通して、いかに人の心が変わり、生活が変化するかを示す生きた証言です。²³

預言者アルマは民に次のような熱烈な質問をしています。「もしあなたがたが心の変化を経験しているのであれば、また、贖いをもたらす愛の歌を歌おうと感じたことがあるのであれば、今でもそのように感じられるか尋ねたい。」²⁴ この質問は今日でもきわめて重要です。なぜなら、主の弟子としてわたしたちは、日々共にあり、動機づけ、わたしたちを変えてくれる

主の贖いの力を必要としているからです。

アルマの質問は次のように言い換えることもできます。あなたの生活で、救い主の贖罪の優しい力を最後に感じたのはいつですか。それは、罪が赦されたという証を心に得られ、「麗しく、また快い喜び」²⁵ を味わうときです。または、つらい試練が突然軽くなり負いやすくなる時、あるいは心が和らいで、自分を傷つけた人に赦しを伝えられるようになる時に感じます。もしくは、人を愛し奉仕する力が増したことに毎回気づくときや、聖めのプロセスで、救い主の模範に倣って人柄が変わっていくときにもかもしれません。²⁶

わたしは証します。これらすべての経験が真実であり、イエス・キリストと主の贖罪を信じる信仰を通して生活が変わり得ることの証拠です。モルモン書は、この高貴な賜物についてのわたしたちの知識を明確にして、広げてくれます。この書物を研究するとき、皆さんは主のもとに来るように招く生けるキリストの声を聞くでしょう。この招きを受け入れ、主の模範に倣って生活するならば、主の贖いの力が皆さんの生活にもたらされると、わたしは約束します。皆さんが「ついには真昼」²⁷ の輝きのようになる、つまり、主の宣言のように、「〔主〕の顔を見て、〔主〕がいることを知る」²⁸ ときまで、日々聖霊の力を通して主は皆さんを変えてくださいます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 3ニーファイ 11:8-11
2. 3ニーファイ 11:14-15 参照

3. アルマ 5:33
4. 1ニーファイ 13:40
5. 2ニーファイ 9:21; 26:24-27; モーサヤ 3:13 参照
6. アルマ 7:11-12 参照
7. 2ニーファイ 10:25 参照
8. モーサヤ 3:24。2ニーファイ 2:4, 10, 26; 9:6-7, 12-13, 15, 22; モーサヤ 3:12; 16:7-8; アルマ 11:41-44; 42:6-8, 23; ヒラマン 14:16; モルモン 9:12 も参照
9. 2ニーファイ 9:21; モーサヤ 3:12; ヒラマン 5:11; 14:18 参照
10. 2ニーファイ 31:21。3ニーファイ 27:20-21 も参照
11. 1ニーファイ 8:20
12. 1ニーファイ 15:36
13. 1ニーファイ 15:24
14. 2ニーファイ 31章 参照
15. モーサヤ 3:19
16. 2ニーファイ 28:30
17. モーサヤ 3:19 参照
18. 3ニーファイ 27:27; モロナイ 10:32-33 参照
19. 2ニーファイ 2:8; モーサヤ 2:41 参照
20. アルマ 11:37 参照
21. 2ニーファイ 9:21 参照
22. オムナイ 1:26; アルマ 5:33; モロナイ 10:32-33 参照
23. エノス 1章; モーサヤ 5章; アルマ 12章:18-19章; 36章 参照
24. アルマ 5:26; 強調付加
25. アルマ 36:21
26. モーサヤ 3:19 参照
27. 教義と聖約 50:24
28. 教義と聖約 93:1



十二使徒定員会
デール・G・レンランド長老

神の慈しみと偉大さを 深く考える

天の御父とイエス・キリストの偉大さと、御二方が自分のためにしてくださったことを毎日思い起こすよう皆さんにお勧めします。

神の偉大さを覚え、神がわたしたち個人や家族、民のためにしてこられたことについて深く考えるようにと、預言者はいつの時代でも、特に困難な時にこそ、人々に勧めてきました。¹ この勧めは聖典の至るところに出てきますが、モルモン書では特に顕著です。モルモン書の目的の一つは「イスラエルの家の残りの者に、主が彼らの先祖のためにどのような偉大なことを行われたかを示す」ことだという説明がタイトルページにあり、² モルモン書の締めくくりには、モロナイのこのような訴えが載っています。「見よ、わたしはあなたがたに勧めたい。……あなたがたはこれを読むときに、……主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こし、それを心の中で深く考えてほしい。」³

神の慈しみについて深く考えるようにと、預言者たちが一貫して訴えていることには驚かされます。⁴ 天の御父は、神とその愛する御子の慈しみを思い起こすことをわたしたちに望んでおられますが、それは御二方の満足のためではなく、それを思い起こすことによってわたしたちに影響があるからなのです。御二方の慈しみを思うと、視野が開け、理解の幅が広がります。御二方の憐れみについて思い巡らすと、わたしたちはより謙遜になり、よく祈

るようになり、確固とした者となることができます。

わたしは、以前受け持った患者との心に焼きついている経験があります。それは寛大さと憐れみに対する感謝がいかんにか人を変えるかを示すものでした。1987年、わたしは心臓移植を必要とする、トーマス・ニールセンというすばらしい人と知り合いました。彼は63歳で、アメリカ合衆国ユタ州ローガンに住んでいました。第二次世界大戦に従軍した後、ドナ・ウィルクスとユタ州ローガン神殿で結婚しています。レンガ職人になって精力的に働き、成功を取っていました。後年は特に、学校の長期休暇の間、初孫のジョナサンと一緒に働くことに喜びを感じていました。二人は特別なきずなを深めていきました。それは一つには、トム〔訳注トーマスの愛称〕がジョナサンの中に自分との共通点をたくさん見つけていた

からです。

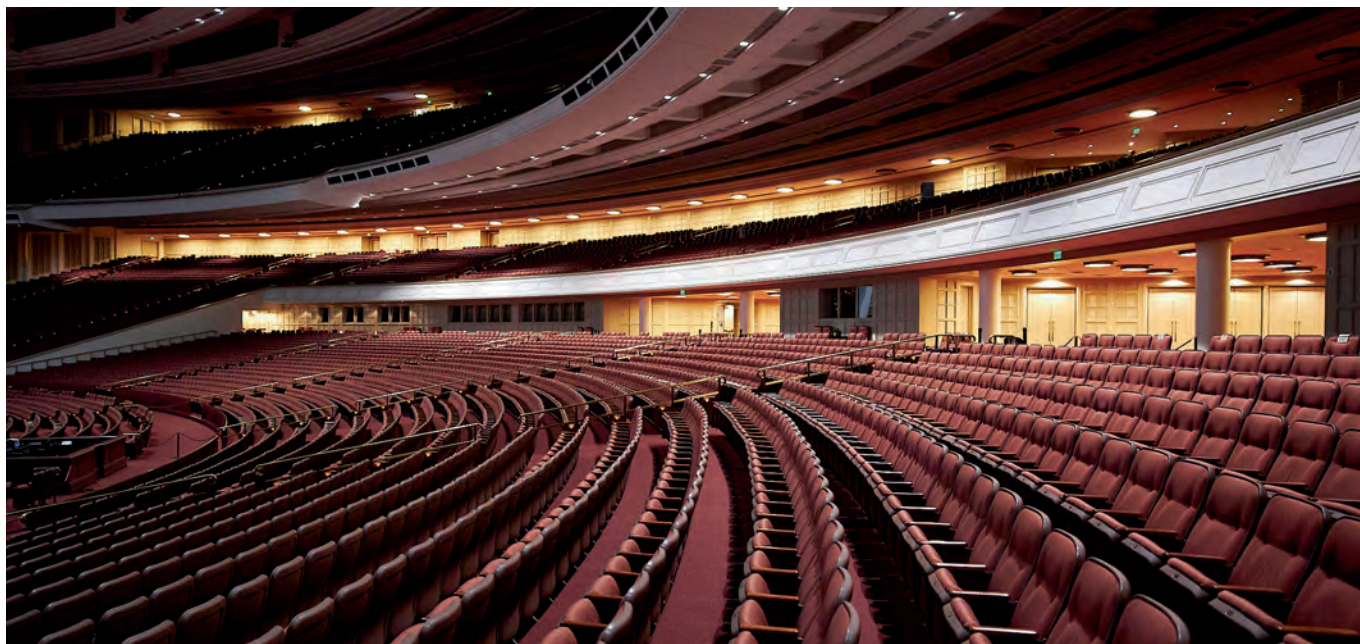
トムは、心臓の提供者がなかなか見つからないのをもどかしく感じていました。彼は特に忍耐強い方ではなく、これまでには常に目標を設定して、努力と断固たる決意でそれを成し遂げることができていたのです。心臓病で苦しみ、人生が停滞してしまっていたトムは、事態の進展のためにどんなことをしているのかと時々わたしに聞いてきました。心臓の提供者を早く見つけるためにわたしにできることを、冗談交じりに提言したりしていたのです。

そんなある日、理想的な心臓が見つかりました。それは朗報であると同時に悲報でもありました。大きさも血液型も適合しており、提供者はわずか16歳という若さです。その心臓は、トムの愛する孫、ジョナサンのものでした。その日、車を運転していたジョナサンは、通過する電車と衝突して致命傷を負ったのでした。

わたしがトムとドナに病院で会ったとき、二人とも打ちひしがれていました。どんな思いをしていたのか想像できるでしょうか。トムは孫の心臓を使うことによって生きながらえることができるのです。悲しむ親である娘と義理の息子から、ジョナサンは心臓を提供したいという申し出を受けたとき、最初トムとドナは、そ



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ



のことを考えようとしませんでした。しかし、ジョナサンが脳死状態にあることを知り、ジョナサンが事故に遭ったのは心臓の提供者を求めてトムが祈ったせいではないことが理解できるようになってきました。そうではなく、ジョナサンの心臓は、必要なときにトムを祝福するために届いた贈り物だったのです。二人はこの悲劇から何か良いことが起こるかもしれないと考えて、移植することにしました。

移植手術は成功しました。それ以来、トムは別人になりました。その変化は、健康になったとか、感謝の念が深まったとかという以上のものでした。トムは毎朝ジョナサンのことを考え、娘と義理の息子のことを思い、受け取った贈り物とそれに対する責任について考えていると、わたしに言いました。わたしが見たところ、トムは持ち前の笑いのセンスと根性が健在なだけでなく、貫録が出て思いやりが深く、情に厚くなっていました。

トムは移植手術の後13年生きました。手術なしでは生きられなかった年月です。追悼文には、この年月にトムは家族その他の人生に寛容と愛で影響を与えることができたこととありました。私財を寄付し、楽天主義と固い決意の模範となっていました。

トムと同じように、だれもが自分の力では得られない賜物を頂いています。それは、イエス・キリストの犠牲による贖罪を含む、天の御父とその愛する御子からの

賜物です。⁵ わたしたちはこの世で命を受け、次の世で再び肉体を得て、その選択をするなら永遠の救いと昇栄を受けます。これはすべて、天の御父とイエス・キリストのおかげなのです。

この賜物を用い、その恩恵にあずかる度に、またはその賜物について考えるときにすら、それをくださった御方の犠牲と寛大さと憐れみについて深く考えなければなりません。その御方に対する畏敬の念を抱くと、感謝の気持ちが湧き上がるだけではありません。御二方からの賜物を使うと人は変わることができますし、変わるはずなのです。

驚くべき変化を遂げた一つの例は、息子アルマです。アルマが「神に背いて歩き回ってい[る]」と、⁶ 天使が現れ、「雷のような声」をとどろかせて、⁷ 教会を迫害したり「民の心を奪っ[たりし]て」⁸ はならないと叱責しました。天使はさらにこう訓戒します。「あなたの先祖が……囚われの状態にあったことを思い出しなさい。また、神があなたの先祖のために、どれほど大なることを行われたかを思い起こしなさい。」⁹ 考えうるあらゆる勧告の中で天使が強調したのが、これでした。

アルマは悔い改め、思い起こしました。後にアルマは、天使のこの訓戒を息子ヒラマンに伝えて、こう勧告しています。「あなたはわたしと同じように、わたしたちの先祖が囚われの身にあったことを思い起こしてもらいたい。わたしたちの先祖は奴隷の状態にあり、アブラハム……、イサク……、ヤコブの神のほかにはだれも彼らを救い出せなかった。そして神は、確かに苦難の中にいる彼らを救い出された。」¹⁰ アルマは「わたしは神を信頼している」¹¹ と簡潔に言いました。束縛から解放され、「あらゆる試練と災難」¹² の中で支えられたことを思い起こすことによって神を知り、神の約束が必ず果たされることを知るようになることを、アルマは理解していたのです。

アルマほど劇的な経験をやる人はほとんどいませんが、同じように心の底から変



チリ、サンティアゴ、サンベルナルド

わることはできます。救い主は昔、次のように固く約束されました。

「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、……石の心を除いて、肉の心を与える。

わたしはまたわが霊をあなたがたのうちに置いて、……

あなたがたは……わが民となり、わたしはあなたがたの神となる。」¹³

復活した救い主は、この変化がどのようにして始まるかをニーファイの民に告げられました。天の御父の計画に不可欠な要素を指摘されたのです。

「父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。十字架に上げられた後で、わたしはすべての人をわたしのもとに引き寄せた。……

このために、わたしは上げられたのである。それで、父の力によってすべての人をわたしのもとに引き寄せ[る]。』¹⁴

皆さんが救い主のもとに引き寄せられるためには、何が必要ですか。イエス・キリストが御父の御心に従い、死に打ち勝ち、皆さんの罪と過ちを負い、皆さんのために取りなしをする力を御父から受け、究極的に皆さんを贖ってくださったことについて、深く考えてください。¹⁵ 皆さんがみのもとに引き寄せられるために、これでは不十分ですか。わたしにとっては十分です。イエス・キリストは「両腕を広げて立ち、喜んで〔皆さんとわたしを〕癒し、赦し、汚れを取り、強め、清め、聖くし〔て〕」くださいます。¹⁶

これらの真理はわたしたちに新しい心を与え、天の御父とイエス・キリストに従おうという気持ちを起こさせてくれるはずですが、しかし、新しい心ですら「さまよひやすく、……愛してくださる神を離れがち」になることがあります。¹⁷ この性向に打ち勝つために、わたしたちは受けてきた賜物とそれに対する責任について日々思い巡らす必要があります。ベニヤミン王は言いました。「神の偉大さと……あな



たがたに対する神の慈しみと寛容、これらを覚えて、いつも記憶にとどめておくようにしてほしい。」¹⁸ そうするとき、天からの驚くべき祝福を受ける資格を得るのです。

神の慈しみと憐れみについて思い巡らすと、御霊を受けやすくなります。そして、御霊を受けやすくなると、聖霊の力によってすべてのことの真理を知ることができるようになります。¹⁹ これには、モルモン書が真実だという証と、イエスがキリストであって自分の救い主であり贖い主であるという知識、主の福音がこの末日に回復されたことを受け入れることが含まれます。²⁰

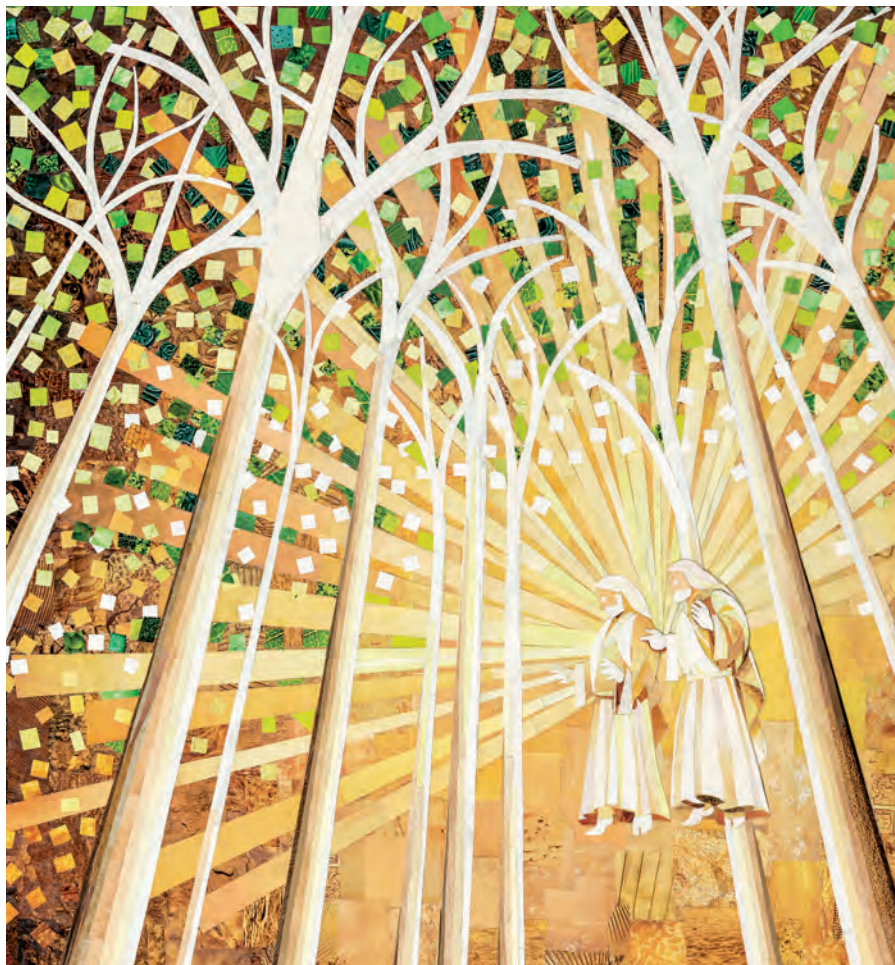
天の御父とイエス・キリストの偉大さと、御二方が自分のためにしてくださったことを覚えるならば、それを当然と思うことはなくなります。トムがジョナサンの心臓を当然のものと考えなかったのと同じです。トムは毎日、自分の寿命を延ばすことにつながった悲劇を、喜びと敬虔な思いで思い起こしていました。わたしたちは、救いと昇栄が得られる可能性があることを喜ぶ一方で、その救いと昇栄が大きな代価の下に与えられることを覚えておく必要があります。²¹ 天の御父が与えることのおできになる最も大いなる賜物は、イエス・キリストなくしてはあり得なかったことを認識するとき、わたしたちは敬虔な思いの中で喜びを感じられるのです。²² 実際に、この敬虔さがあれば「この世に

おいて永遠の命」の約束を享受し、いずれ次の世で「永遠の命、すなわち不死不滅の栄光」を受けることができるようになります。²³

天の御父とイエス・キリストの慈しみと偉大さについて深く考えると、御二方への信頼は深くなります。神が自分の父であり、自分が神の子であることが分かるので、祈りも変わってきます。主の御心を変えようとするのではなく、自分の思いを主の御心に沿わせ、求める者に主が与えようとしておられる祝福を受けるようになるのです。²⁴ へりくだり、汚れをなくして、確固としたキリストのような者になることを切望するようになります。²⁵ そのように変わっていくと、天からの祝福をさらに受けるのにふさわしい者になります。

すべての良いことがキリストから来ることを認めるならば、わたしたちは自分の持つ信仰をもっとうまく人に伝えられるようになります。²⁶ 不可能に見える作業や状況に直面しても、勇気が湧いてきます。²⁷ 救い主に従うという聖約を守る決意が固くなります。²⁸ 神の愛に満ち、困っている人を裁くことなく助けたいと思うようになり、自分の子供を愛して義の内に育て、罪の赦しを保ち、常に喜ぶようになります。²⁹ 以上が、神の慈しみと憐れみを覚えておくことから得られるすばらしい祝福です。

反対に、救い主はこう警告されました。「すべてのことの中に神の手を認めない者



……のほかに、人はどのようなことについても神を怒らせることはない、すなわち、ほかのどのような人に向かっても神の激しい怒りは燃えない。」³⁰ わたしたちが神を忘れても神を侮辱したことにはならないと、わたしは思います。むしろ、神は深く失望されるでしょう。神とその慈しみを覚えるならば神に近づくことができるのに、その機会をわたしたちが自ら失っていることを、神は御存じなのです。神を忘れるならば、神が近づいてくださることも、神が約束しておられる具体的な祝福を頂くこともなくなります。³¹

天の御父とイエス・キリストの偉大さと、御二方が自分のためにしてくださったことを毎日思い起こすよう皆さんにお勧めします。御二方の慈しみを考えることで、揺らぎやすい心を御二方に固くつなぎ留めてください。³² 御二方の哀れみ深い心を思うならば、皆さんは祝福されてさらに御霊を受けやすくなり、さらにキリストのような者になるでしょう。御二方の憐れみ

を深く考えるならば、皆さんは「最後まで」、すなわち「天に迎えられ」て「決して終わりのない幸福な状態で神とともに住〔む〕」ときまで、「忠実であり続ける」³³ことができるでしょう。

天の御父は、御自分の愛する子を指して、「彼に聞きなさい」³⁴と言われました。この言葉に従って行動し、主の声に耳を傾けるならば、皆さんが自分では回復できないことを主は喜んで回復し、皆さんが自分では癒せない傷を主は喜んで癒し、修復不能なものを喜んで修復し、³⁵皆さんが受けたどんな不公平な扱いをも正し、³⁶粉々に打ち砕かれた心をも喜んで永遠に癒してください。³⁷ このことを、喜びと敬虔な思いをもって覚えておいてください。

わたしは天の御父とイエス・キリストから頂いた賜物について深く思い巡らして、この御二方の無限の愛と、天の御父のすべての子供たちに対する計り知れない憐れみを知るようになりました。³⁸ これを知って、わたしは変わりました。皆さんも

変わります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 例えば、アブラハム 2:16; 出エジプト 13:3; ヨシュア 4:6-9; サムエル上 7:11-12 参照
2. モルモン書のタイトルページ
3. モロナイ 10:3
4. 例えば、申命 6:12; 11:18; ヨシュア 4:21-24; サムエル上 7:12; ローマ 2:4; 11:22; 2 ニーファイ 9:10; 33:14; モルモン書 ヤコブ 1:7; モーサヤ 5:3; 25:10; 27:22; アルマ 34:4; ヒラマン 12:2; 3 ニーファイ 4:33; 18:11-12; モルモン 2:13; 教義と聖約 133:52; 138:2 参照
5. イザヤ 53:3-12; ルカ 22:44; ヨハネ 3:16; ガラテヤ 2:20; モーサヤ 3:5-11; アルマ 7:10-13; 教義と聖約 19:16-19 参照
6. モーサヤ 27:11
7. モーサヤ 27:11
8. モーサヤ 27:9。13 節も参照
9. モーサヤ 27:16
10. アルマ 36:2
11. アルマ 36:27
12. アルマ 36:27-29 参照
13. エゼキエル 36:26-28
14. 3 ニーファイ 27:14-15; 強調付加。ヨハネ 12:32; 2 ニーファイ 26:24 も参照
15. モーサヤ 15:7-9; 黙示 21:4 参照
16. ラッセル・M・ネルソン「行いを改善し、より良くなります」『リアホナ』2019年5月号, 67
17. “Come, Thou Fount of Every Blessing,” ymns (1948), no. 70.
18. モーサヤ 4:11。アルマ 36:2, 28-29; エテル 7:27; 10:2; モロナイ 9:25 も参照
19. モロナイ 10:4-5 参照
20. モルモン書のタイトルページと序文参照
21. 教義と聖約 19:18-19 参照
22. 教義と聖約 14:7 参照
23. モーセ 6:59。アルマ 36:28 も参照
24. 『聖句ガイド』「祈り」の項参照
25. 「さらに聖くお努めん」『賛美歌』74 番参照
26. ビレモン 1:6 参照
27. サムエル上 17:37; 1 ニーファイ 4:2 参照
28. アルマ 5:6, 13, 26-28 参照
29. モーサヤ 4:11-26 参照
30. 教義と聖約 59:21
31. 教義と聖約 88:63-64 参照
32. See “Come, Thou Fount of Every Blessing.”
33. モーサヤ 2:41
34. マタイ 17:5; マルコ 9:7; ルカ 9:35; 3 ニーファイ 11:7; ジョセフ・スミス—歴史 1:17 参照
35. ボイド・K・バックー「輝かしい救いの朝」『聖徒の道』1996年1月号, 21 参照
36. 黙示 21:4 参照
37. 詩篇 147:3 参照
38. 2 ニーファイ 26:33 参照



七十人
ベンジャミン・M・Z・タイ長老

改心における モルモン書の力

モルモン書は霊的な栄養を与え、アクションプランを処方し、聖なる御霊と交われるよう助けてくれます。

最近受けた健康診断の報告書を検討した結果、わたしの生活習慣を幾つか見直す必要があることが分かりました。医師は、わたしのために栄養と運動計画を指示してくれました。もしそのとおりに行えば、より健康な人間に変われるのです。

もしわたしたち一人一人が霊的な健康診断を受けたとしたら、自分自身についてのどのようなことが分かるでしょうか。霊的な医者には、わたしたちがどう変わるよう処方するでしょうか。わたしたちがなるべき人間になるには、自分が何をすべきかを知り、それを行うことが不可欠です。

イエス・キリストは偉大な医者であります。¹ 贖罪を通して、主はわたしたちの傷を包み、わたしたちの弱さを御自分に受けられ、打ち砕かれた心を癒して下さいます。² 主の恵みを通して、弱さが強さになるのです。³ 主に学び、主の言葉に耳を傾け、主の御霊の柔和な道を歩んで⁵ 従うよう、主は招いておられます。⁴ わたしたちを変えて永遠の喜びをもたらす⁷ この生涯をかけた改心の過程の中で、主が助けてくださると約束しておられます。⁶

改心を助ける強力なツールとして、救い主はモルモン書を与えて下さいました。モルモン書は霊的な栄養を与え、アクションプランを処方し、聖なる御霊と交われる

よう助けてくれます。この書物は、わたしたちのために書かれたものであり、⁸ 分かりやすい神の言葉が載っており、⁹ わたしたちの本質、目的、行く末について教えています。¹⁰ モルモン書は、聖書とともにイエス・キリストについて証し、¹¹ 真理を知って主の方法を教えています。

ソー・ポロ兄弟は58歳のとき、回復されたイエス・キリストの福音に出会いました。わたしが彼に会ったとき、彼は支部会長として数年間奉仕していましたが、それまでモルモン書を読んだ経験がないということでした。彼の母国語のビルマ語にまだ翻訳されていなかったからです。読んだことがないのでどのようにしてモルモン書が真実であると分かったか尋ねると、絵本のモルモン書物語を毎日学習したと答えました。イラストを見て、英単語を辞書で調べ、学んだことを細かくノートに書い

たそうです。こう説明してくれました。「学習するたびに学んだことについて祈ると、平安と喜びを感じ、思いが明瞭になり、心が和らぎました。それが真実であると聖霊がわたしに証しているのを感じました。わたしは、モルモン書が神の言葉であることを知っています。」

ソー・ポロ兄弟のように、わたしたち一人一人は自分の状況に合わせてモルモン書を学習することができます。信じようとする望みを持ち、書かれている教えを心の中で深く考えながら、それらの教えが真実かどうか信仰をもって神に尋ね求めることができます。¹² 知りたいと誠実に願い、真心から行うならば、神は聖霊を通じてわたしたちの心にこたえて下さいます。聖霊の力によって、わたしたちはすべてのことの真理を知るのです。¹³ モルモン書について神からの証を得るとき、イエス・キリストが世の救い主であられること、



アメリカ合衆国、ユタ州バウンティフル

ジョセフ・スミスが神の預言者であること、末日聖徒イエス・キリスト教会が神の回復された教会であることも、同じ力によって知ることができます。¹⁴

若いときに宣教師として奉仕するため、オーストラリア行きの飛行機に搭乗しました。とても孤独で不安で、自分が不十分だと感じながらも、奉仕する決意をもったわたしは、自分が信じていることが真実であるという確信を心底必要としていました。わたしは熱心に祈って聖文を読みましたが、飛行時間が経過していくにつれて自信のなさが増し、体の調子が悪くなりました。数時間葛藤した後、一人の客室乗務員が通路を歩いて来てわたしの席の横で立ち止まりました。彼はわたしが読んでいたモルモン書をわたしの手から取りました。表紙を見て、「すばらしい本だ!」と言うとわたしに返し、そのまま歩いていきました。彼に再び会うことはありませんでした。



彼の言葉がわたしの耳にこだまし、心にはっきりとこのように聞こえ、感じました。「わたしはここにおり、あなたがどこにいるか知っている。ただ最善を尽くし、あとはわたしに任せなさい。」太平洋上空の飛行機の中で、モルモン書の研究と聖霊の促しを通して、救い主はわたしが何者かを御存じで、福音は真実であるという個人的な証を受けました。

デビッド・A・ベドナー長老はこう教えました。「福音は真実であると知ることには、証の本質です。福音に一貫して忠実であることは、改心の本質です。」¹⁵ わたしたちは「ただ聞くだけの者」ではなく、「御言を行う人」にならなければなりません。¹⁶ 主がわたしたちのために作られたアクションプランであるキリストの教義は、モルモン書に最も明確に教えられています。¹⁷ これには以下のことが含まれます：

- 最初に、主を**信頼**してイエス・キリストへの信仰を**働かせ**、主の戒めを守り、主が助けてくださることを**知る**。¹⁸
- 2番目に、日々過ちを**悔い改め**、主が赦してくださることによる喜びと平安を**経験する**。¹⁹ 悔い改めるにはほかの人を**赦す**必要があり、²⁰ また悔い改めはわたしたちが前進できるよう助けます。救い主は、わたしたちが悔い改める度に赦すと約束してくださっています。²¹
- 3番目に、バプテスマなどの儀式を通して神と聖約を**交わし**、**守る**。これによって神へと続く聖約の道にとどまることができます。²²

- 4番目に、聖霊の賜物を受け。この賜物により、わたしたちを聖め、慰め、導いてくださる方が常に伴侶となります。²³
- 5番目に、日々キリストの言葉をよく**味わいながら力強く進み**、最後まで**堪え忍ぶ**。²⁴ モルモン書を味わい、その教えにしっかりとつかまることにより、生涯にわたって誘惑に打ち勝ち、導きと守りを受けることができます。²⁵

キリストの教義を常に生活に取り入れることによって、変化を妨げる惰性と、行動を阻む恐れを克服することでしょう。個人の啓示を受けるのは、聖霊が「あなたがなすべきことをすべてあなたに**示され**」るからであり、²⁶ 「キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて**告げる**」²⁷ からです。

ファン・ジュンコン(黄俊聰)兄弟は、20年間アルコール、タバコ、ギャンブルの依存に苦しんでいました。イエス・キリストとその回復された福音に出合ったとき、ファン兄弟は若い自分の家族のために変わることを望みました。最大のチャレンジは禁煙でした。かなりのヘビースモーカーだったため、これまで何度もやめようとしたが成功しませんでした。ある日、モルモン書の「誠心誠意」²⁸ という言葉が心にとどまりました。今までの挑戦は失敗しましたが、天の御父とイエス・キリストの助けがあれば変わるかもしれないと感じたのです。

専任宣教師が彼と信仰を合わせ、祈りと神の言葉の研究という大量の薬とともに

に、治療のためのアクションプランを作成しました。誠心誠意、ファン兄弟は信仰深い決意をもって取り組みました。モルモン書の研究など、身につけたいと思っている新しい習慣にもっと集中すると、これまでの習慣にあまり気持ちがいかなくなることが分かりました。

15年前の経験を振り返り、こう述べています。「はっきりといつタバコをやめたかは思い出せませんが、自分の生活に主の御霊を招くためにする必要があると分かったことを行い、それを続けていると、タバコを吸いたいと思わなくなり、それから吸っていないのです。」モルモン書の教えを取り入れることによって、ファン兄弟の生活は変わり、より良い夫、より良い父親になりました。

ラッセル・M・ネルソン大管長はこう約束しています。「毎日、祈りの気持ちでモルモン書を研究するならば、皆さんは毎日、さらに良い決断を下すようになるでしょう。研究したことについて深く考えるならば、天の窓が開いて、自分自身の疑問の答えを授かり、自分自身の生活の中で導きを受けるようになります。毎日モルモン書をよく学び、味わうならば、疫病のようなボルノグラフィーのわなや、感覚をまひさせるその他の依存症など、今日の悪から守られることを約束します。」²⁹

親愛なる友人の皆さん、モルモン書は神の言葉であり、それを学ぶことで、わたしたちはより神に近づきます。³⁰ その言葉を試してみると、それが真実であるという証を得ることでしょう。³¹ 常にその教えを守って生活するとき、「もう二度と悪を行いたいとは思わな[い]」でしょう。³² わたしたちの心や顔の表情、性質が変わり、³³ もっと救い主に似た者となります。確かにイエスがキリストであり、救い主、贖い主、友人であることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■



アメリカ合衆国、ニューヨーク州ニューヨーク・シティ

注

1. マルコ 2:17 参照
2. 詩篇 147:3; イザヤ 53:4; マタイ 8:17 参照
3. 2 ニーファイ 25:23; モルモン書ヤコブ 4:7; エテル 12:27 参照
4. マタイ 19:21; マルコ 10:21; ルカ 18:22; 2 ニーファイ 31:10 参照
5. 教義と聖約 19:23 参照
6. イザヤ 41:10 参照
7. モーサヤ 2:41; 3:19; 5:2 参照
8. 2 ニーファイ 25:8, 21-22; モロナイ 7:1; 8:35 参照
9. 2 ニーファイ 25:7; 31:2-3 参照
10. 2 ニーファイ 2:25; アルマ 40 章参照
11. イザヤ 29:4, 11-18; エゼキエル 37:16-21; 2 コリント 13:1; 1 ニーファイ 13:38-42; 2 ニーファイ 3:12; 25:26 参照
12. アルマ 32:26-43 参照
13. モロナイ 10:3-5 参照
14. モルモン書序文参照
15. デビッド・A・ベドナー「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号, 109
16. ヤコブ 1:22
17. 2 ニーファイ 31 章; 3 ニーファイ 11:31-40; 27:13-22 参照
18. 1 ニーファイ 3:7; モロナイ 7:33 参照
19. モーサヤ 4:3 参照
20. マタイ 18:21-35; マルコ 11:25-26; ルカ 6:37; 3 ニーファイ 13:14-15; 教義と聖約 64:10; 82:1 参照
21. モーサヤ 26:30; モロナイ 6:8 参照
22. 2 ニーファイ 31:17-18 参照
23. 1 ニーファイ 10:19; 2 ニーファイ 33:1; 3 ニーファイ 11:32; 28:11; モロナイ 6:4

参照

24. 2 ニーファイ 31:20 参照
25. 1 ニーファイ 15:24 参照
26. 2 ニーファイ 32:5, 強調付加
27. 2 ニーファイ 32:3, 強調付加
28. モロナイ 10:4
29. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書—この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号, 62-63
30. 預言者ジョセフ・スミスはモルモン書についてこう語っている。「人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」(モルモン書序文)
31. モルモン書ヤコブ 6:7; アルマ 32:26-43 参照
32. アルマ 19:33
33. 2 コリント 5:17; モーサヤ 3:19; 5:2; アルマ 5:14, 19 参照



十二使徒定員会
ゲアリー・E・スティープンソン長老

未来に備えて よい土台を

これからの数年間、ソルトレーク神殿に加えられる改良が、わたしたちの心を動かし動機づけますように。

ソルトレーク神殿の歴史

これから1847年7月24日の暑い午後2時ごろに戻ってみたいと思います。当時の十二使徒定員会会長であったブリガム・ヤングは、西部に向かう最初の一団を構成する148名の教会員との、111日間の苦難の旅の後、病気になる、高山熱で体が弱っていながらも、ソルトレーク盆地に入りました。

二日後、ブリガム・ヤングは病み上がりの体で、十二使徒定員会の数名とそのほかの人々を率いて探索に出ました。ウィリアム・クレートンはこう記録しています。「野営地から北方におよそ4分の3マイル（約1.2キロ）進んだ所で、西向きにきれいに傾斜している、美しい平坦な台地に到着した。」¹

一行とともにその場所を調査していたときに、ブリガム・ヤングは突如立ち止まると、杖を地面に突き立てて叫びました。「ここに、わたしたちの神の神殿が建ちます」と。同行者の一人であったウィルフォード・ウッドラフ長老は、その言葉が「電光のように〔自分を〕貫いた」と述べています。そして彼は、ヤング会長が杖で印を付けた所に木の枝を打ち込みました。神殿のために40エーカー（約16ヘクタール）が選定され、町は、神殿を中心として

「東西南北に真四角に」設計されることとなりました。²

1851年4月の総大会で、教会員は、「主の名のために」神殿を建てるという動議を全会一致で支持しました。³ 2年後の1853年2月14日に、用地は、公開の式典でヒーバー・C・キンボールにより奉獻されました。その式典には数千人の聖

徒が出席し、ソルトレーク神殿の土台を据える鋤入れが行われました。数か月後の4月6日、式典で神殿の巨大な隅石が据えられ、奉獻されました。その入念に計画された式典には、旗手や楽団が参加し、教会の指導者たちを先頭にして、旧タバナクルから神殿用地まで行進があり、用地では4つのそれぞれの石のそばで話がされ、祈りがささげられました。⁴

鋤入れ式で、ヤング大管長は、盆地を調査するため初めてその地に足を踏み入れたときに示現を見たことを回想し、こう述べました。「わたしは〔そのときに〕、今知っているのとまったく同じように、ここが神殿を建てる地点であることを知りました。それがわたしの前にあったのです。」⁵

10年後に1863年10月の総大会で、ブリガム・ヤングは、次のような預言者としての洞察を与えています。「わたしは、福千年の間も耐えられる方法で建てられる神殿を見たいです。わたしたちが建てる神殿はこれだけではありません。数百の神殿が建てられて、主に奉獻されるで



しょう。この神殿は、末日聖徒によって、もろもろの山に建てられる最初の神殿として知られるでしょう。……もろもろの山における神の聖徒たちの信仰と忍耐と勤勉さの輝かしい記念物として、神殿が立ち続けることを願っています。」⁶

この歴史を短く振り返り、わたしは、ブリガム・ヤングの聖見者の職に畏敬の念を抱きました。第1に、彼が、可能な範囲で、当時その地で利用可能な建築法を用いて、福千年の間中も耐えられる方法でソルトレーク神殿を建てようとしたこと、そして第2に、将来世界各地に神殿が増え、**実にその数が数百に達すると**預言したことです。

ソルトレーク神殿の改修

ブリガム・ヤングと同様、今日の預言者も、ソルトレーク神殿やそのほかすべての神殿を細心の注意を払って見えています。何年にもわたって、大管長会は、ソルトレーク神殿の土台を強固にするよう管理ビショップリックに時々助言しました。わたしが管理ビショップリックで務めを果たしていたとき、大管長会の要請を受けて、わたしたちはソルトレーク神殿の全体的な施設の点検を行いました。それには、耐震設計と施工法に関する最先端技術の評価が含まれていました。

そのときに大管長会に提出された点検



「ここに、わたしたちの神の神殿が建ちます」と、ブリガム・ヤング大管長は宣言した。



ソルトレーク神殿の改修は、福千年の間中も耐えられる神殿を立てるというブリガム・ヤングの願いの成就に資する。

報告にはこうあります。「ソルトレーク神殿の設計と建設では、最善の工学技術、熟練労働者、建設資材、調度品、そのほか当時利用可能なリソースが用いられました。1893年の奉獻以降、神殿はしっかりと立っており、信仰と希望のかがり火として、また民への光としての役割を果たしてきました。神殿を良い状態で運営し、清潔にし、維持管理するために、細心の注意が払われてきました。花崗岩の外装と内部の床用根太と支柱梁の状態は良好です。最近の研究により、ブリガム・ヤングが神殿のために選んだ場所は非常に良い土壌で、圧密特性が優れていることが確認されました。」⁷

その点検報告は、通常の修理と、外部のテラスや表面エリア、旧式のユーティリ

ティシステム、バプテスマエリアなど、神殿を最新の状態にする改良が必要であるという言葉で結ばれています。しかし、それとは別に、神殿の土台から上部に至るまでさらに大規模な耐震補強を考慮することも推奨されました。

神殿の土台

思い起こせば、ブリガム・ヤング大管長自身が、最初の神殿の土台の設置にきわめて深くかかわっています。それが127年前の完成以降、神殿をしっかりと支えてきました。新たに提案された神殿用耐震補強パッケージは、基礎免震技術を利用します。この技術は神殿の建設時にまったく想定されていませんでした。これは最高の最先端耐震技術を考慮したものです。

最近開発されたこの技術を、神殿の土台そのものから適用していきます。これで地震による損傷をしっかりと防ぎます。基本的に、その地と周辺で非常に大きな地震が起こっても、神殿は構造上強化されてしっかりと耐えられます。

この技術を用いる神殿の改修が、昨年大管長会から発表されました。作業は、管理ビショップリックの指示の下で、数か月前の2020年1月に開始されました。およそ4年で完了すると見込まれています。



1853年に、用地の鋸入れが行われた。



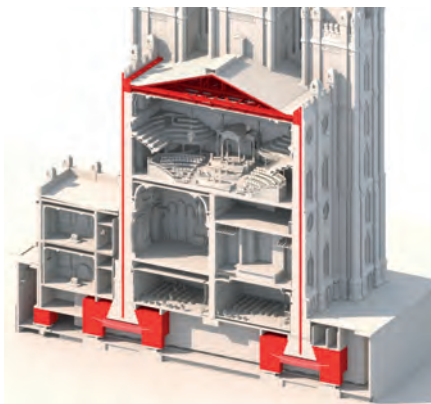
個人の土台を確かなものとする

わたしは、この美しく、壮大で、気高く、荘厳なソルトレーク神殿の今後4年間にについて考えるとき、それを閉館の期間としてではなく更新の期間として思い描きます。同様に、わたしたちはこう自分に問い掛けることができます。「ソルトレーク神殿のこの大規模な更新は、自分の霊的な**更新、再構築、再生、再活性化、あるいは回復**をどのように促しているだろうか」と。

自分を振り返ってみれば、わたしたちも家族も、何らかの必要なメンテナンスと改修作業を、また耐震補強さえも、実施することから益を得られることは明らかです。次のように問い掛けることでこのようなプロセスを開始できます。

「自分の土台はどのような状態だろうか。」

「証がその上に築かれる個人の土台の一部である、厚く、安定した、強固な隅石



ソルトレーク神殿に提案された免震構造は、最先端の地震対策とされている。

は、何だろうか。」

「自分と家族が確固として揺るぎなくあるようにする、また生涯の間に必ず起こる地震や動乱のきわめて重大な出来事にさえも耐えられるようにする、霊性と情緒の基本的な要素は何だろうか。」

地震と同じように、このような出来事は、しばしば予測が困難であり、様々な規模で起こります。例えば、様々な疑問や疑いと闘い、苦難や逆境に遭うこと、教会の指導者や会員、教義、方針に対する個人的なつまずきに対処することなどです。これらに対する最善の防御は、霊的な土台にあります。

どのようなものが個人や家族の生活の霊的な隅石となるのでしょうか。福音生活の簡潔で、明瞭で、貴重な原則が隅石となります。例えば、家族の祈り、聖文研究、神殿参入、モルモン書、『わたしに従ってきなさい』を用いる福音学習と家庭の夕べなどです。そのほか、霊的な土台を強化する有益なリソースとして、信仰箇条、家族の宣言、『生けるキリスト』もあります。

わたしにとって、神殿推薦状を受ける際に語り合う質問の中に含まれている原則は、霊的な土台の大きな要素となっています。特に、最初の4つの質問がそれです。わたしはそれらを霊的な隅石と見えています。

もちろん、その質問はよく知られています。ラッセル・M・ネルソン大管長が前回の総大会でそれの一つずつ読み上げたからです。

1. あなたは永遠の父なる神とその御子イ

エス・キリストと聖霊に対して、信仰と証を持っていますか。

2. イエス・キリストの贖罪と、あなたの救い主、贖い主としてのイエス・キリストの役割に対して、証を持っていますか。
3. イエス・キリストの福音の回復に対して、証を持っていますか。
4. 末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長を預言者、聖見者、啓示者として、また、すべての神権の鍵を行使する権限を託された、地上で唯一の人として支持していますか。⁸

これらの質問はどのような点で、個人の土台を築いて強化するのに有益な要素だと見なせるでしょうか。パウロはエペソ人に、教会は「使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長〔する〕」と教えました。⁹

わたしの生涯で最大の喜びの一つは、イエス・キリストと福音を信じる信仰の生きた模範である全世界の教会員と知り合い、鼓舞されることです。彼らは個人の土台を強固に築いているため、生活を揺るがすような出来事に遭って心痛や苦しみがあるときも、揺るぎない知識を持って耐えることができるのです。

わたしはもっと個人的なレベルでお話ししたいと思います。最近、美しく、明るい若い妻であり母親である女性(わたしたち家族の友人でもある人)の葬儀で話しました。彼女は、歯学生の夫に会って

結婚したとき、活動的なディビジョン1〔訳注—スポーツ競技における全米大学の区分け〕のサッカー選手でした。二人は、美しいおませな娘に恵まれました。彼女は、様々な種類の癌と6年間果敢に闘いました。絶えず付きまとう情緒的また肉体的苦悩を経験したにもかかわらず、愛にあふれる天の御父を信頼しました。彼女の言葉はソーシャルメディアのフォロワーによって広く引用されました。その有名な言葉がこれです。「神は細かいところまで見ておられます。〔訳注—英語では“God is in the details”〕」

彼女が書いたソーシャルメディアの投稿の一つに、ある人から次のように尋ねられたとあります。「苦しみに取り巻かれているのに、それでも信仰を持っているのはなぜですか。」彼女はきっぱりと次のように返答しました。「信仰がなければ、この暗い時を乗り越えられないからです。信仰があれば悪いことが何も起こらない、というわけではありません。信仰があれば、将来再び光があると信じることができます。そしてその光はさらに明るくなります。暗闇の中を歩いてきたからです。長年暗闇を目の当たりにしましたが、それ以上の光を目の当たりにしてきました。数々の奇跡を見てきました。天使たちを感じました。天の御父が支えてくださっていたことを知っています。人生が容易であったら、これらのことを経験できなかったでしょう。この先の人生については分からないかもしれませんが、自分の信仰はそうではありません。信仰を持たないという選をすれば、暗闇の中を歩くだけという選をすることになります。信仰がなければ、残されているのは暗闇だけだからです。」¹⁰

主イエス・キリストを信じる彼女の揺るぎない信仰の証、その言葉と行動に見られる証は、ほかの人々を鼓舞しました。たとえ体が弱まっても、人々を高め、さらに強くしたのです。

わたしは、ほかの大勢の教会員、この姉妹のような戦士たちについて考えています。彼らは日々信仰をもって歩み、救い主イエス・キリストの真の不屈の弟子になろうと努めています。キリストについて学び、キリストについて説き教えます。キリストに倣おうと努めます。日々の生活の状況が安定していようと不安定であろうと、自分の霊的な土台が強く不動であることを知っているのです。

これらの人は、「主のみ言葉は信仰の固き基」という歌詞の深い意味を理解している献身的な人々で、「主のみもとに逃れ行きし者〔たち〕」です。¹¹ 聖徒の名にふさわしい霊的な土台を備えてきた人々、強く確固としていて、人生の多くの混乱によく耐えている人々の中を歩めることを、わたしは計り知れないほど感謝しています。

個人の生活でこのような固い土台を据えることの大切さは、いくら言っても言い過ぎることはないと思います。初等協会の子供たちは、幼いときから、これがまことに真実であると歌で教えられます。

賢い人…… 岩の上に家を建て
雨が降って 水がわき……
雨が降って 洪水に
〔それでも〕家は 大丈夫¹²

聖文はこの基本的な教義を補強しています。救い主はアメリカ大陸の民にこう教えられました。

「あなたがたはいつもこれらのことを行うならば、わたしの岩の上に建てられているので、幸いである。

しかし、あなたがたの中で、これ以上のこと、あるいはこれに及ばないことを行う者は、わたしの岩の上に建てられておらず、砂の土台の上に建てられているのである。雨が降り、洪水が起り、風が吹いてこれらの者に打ちつけると、彼らは倒れてしまう。」¹³

ソルトレーク神殿の大幅な改修によっ



て、「福千年の間も耐えられる方法で建てられる神殿」を見たいというブリガム・ヤングの願いがかなえられるようにというのが、教会指導者たちの心からの望みです。これからの数年間、ソルトレーク神殿に加えられるこれらの改良が、わたしたち個人や家族の心を動かし動機づけ、わたしたちも、比喩的な意味で「福千年の間も耐えられる方法で建てられ」ますように。

「真のいのちを得るために、未来に備えてよい土台を自分のために築き上げるように」という使徒パウロの教えにこたえるときに、そうなります。¹⁴ わたしたちの霊的な土台が確かで確固としたものとなり、イエス・キリストの贖罪と、救い主、贖い主としての主の役割についての証がわたしたちの隅のかしら石になるよう、心から祈ります。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. William Clayton journal, July 26, 1847, Church History Library, Salt Lake City.
2. See “At the Tabernacle, Presidents Woodruff and Smith Address the Saints Yesterday Afternoon,” *Deseret Evening News*, Aug. 30, 1897, 5; “Pioneers’ Day,” *Deseret Evening News*, July 26, 1880, 2; Wilford Woodruff journal, July 28, 1847, Church History Library, Salt Lake City.
3. “Minutes of the General Conference of the Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, held at Great Salt Lake City, State of Deseret, April 6, 1851,” *Deseret News*, Apr. 19, 1851, 241.
4. See “The Temple,” *Deseret News*, Feb. 19, 1853, 130; “Minutes of the General Conference,” *Deseret News*, Apr. 16, 1853, 146; “Minutes of the General Conference,” *Deseret News*, Apr. 30, 1853, 150.



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

ホサナ、ハレルヤー 生けるイエス・キリスト： 回復と復活祭の中心

5. "Address by President Brigham Young," *Millennial Star*, Apr. 22, 1854, 241.
6. "Remarks by President Brigham Young," *Deseret News*, Oct. 14, 1863, 97.
7. 2015年10月, 大管長会へのソルトレーク神殿に関する管理ビショップリックのプレゼンテーション
8. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2019年11月号, 121
9. エペソ2:20-21
10. キム・オルセン・ホワイトによるソーシャルメディアの投稿
11. 「主のみ言葉は」『賛美歌』46番
12. 「かしこい人とおろか者」『子供の歌集』132
13. 3ニーファイ18:12-13, 強調付加
14. 1テモテ6:19, 強調付加

ホサナとハレルヤのこの時期に、「ハレルヤ」と歌いましょう。主が永遠に統治されるからです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは今なお続く回復と復活を記念するこの時期に、ホサナ、ハレルヤと声を上げて生けるイエス・キリストを祝います。完全な愛をもって、救い主はこう断言されました。「あなたがたはわたしにあって平安を得る……。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」¹

何年前か前、ゴング姉妹とわたしがある家族に会ったとき、彼らの幼い娘アイビーが恥ずかしそうにバイオリンケースを出してきました。彼女はバイオリンの弓を取り上げ、ピンと張って松やにをつけました。それから、弓をケースに戻すと、おじぎをして座りました。まだバイオリンを習い始めたばかりで、学んだことをすべて見せてくれたのです。数年

たった今、アイビーはバイオリンを美しく奏でています。

現世に生きるわたしたちは皆、アイビーと彼女のバイオリンに少し似ています。初めは初心者ですが、継続して練習することにより、進歩成長します。主の果樹園で主とともに働き、²主の聖約の道に従うとき、わたしたちは、時間の経過とともに、道徳的選択の自由とこの世での経験によって、さらに救い主に似た者となることができるのです。

この200周年記念を含め、記念祭はど

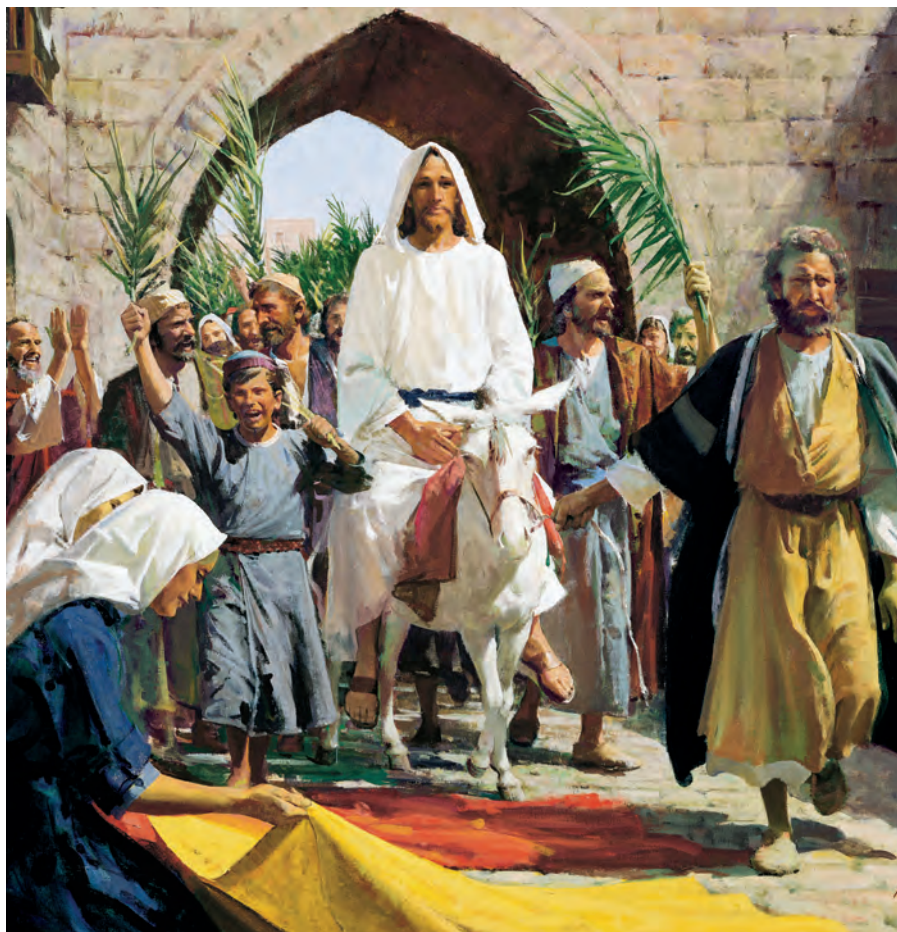


ノルウェー、オスロ

れも回復のパターンを強調しています。³わたしたちは、今なお続くイエス・キリストの福音の回復を祝いつつ復活祭の備えもします。福音の回復と復活祭は、どちらもイエス・キリストが戻られたことを喜びます。主は昔も今も、一部の人のためだけでなく、すべての人のために生きておられます。主は昔も今も、打ち砕かれた心を持つ者を癒し、囚人を解放し、盲人の目を開き、打ちひしがれている者に自由を下させてくださいます。⁴これはわたしたち一人一人のことです。主の贖いの約束は、わたしたちの過去や現在、あるいは自分の将来についての悩みにかわからず、適用されます。

明日は「しゅろの日」です。昔から、しゅろは主への喜びを表すための神聖な象徴です。キリストのエルサレムへの勝利の入城において、「大ぜいの群衆〔が〕……しゅろの枝を手に取り、迎えに出て行」きました。⁵（ハリー・アンダーソンの描いたこの絵の原画が、ラッセル・M・ネルソン大管長のオフィスで彼の机のすぐ後ろに掛けてあるのも興味深いことでしょう。）黙示録には、神と小羊を賛美する人々は「白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手を持〔つ〕」とあります。⁶カートランド神殿の奉献の祈りには、「義の衣」や「栄光の冠」とともに、しゅろを意味する「なつめやし」が含まれています。⁷

もちろん、「しゅろの日」が重要なのは、群衆がしゅろを持ってイエスを迎えたからだけではありません。イエスは「しゅろの日」に、預言が成就したと忠実な人が認識できる方法で、エルサレムに入城されました。ゼカリヤ⁸や詩篇の作者が予言したとおり、主は、群衆が「いと高き所に、ホサナ」⁹と叫ぶ中をロバに乗ってエルサレムに入城されたのです。ホサナとは、「今お救いください」という意味です。¹⁰ 当時も今も、わたしたちは「主のみ名によってはいる者はさいわいである」と喜びます。¹¹



「エルサレムへ勝利の入城をされるキリスト」ハリー・アンダーソン画

「しゅろの日」の1週間後が、復活祭の日曜日です。ラッセル・M・ネルソン大管長はこう教えています。イエス・キリストは「御自分のものではない負債を払うために来られました。それは、わたしたちが自分では支払うことのできない負債を負っていたからです。」¹² 確かに、すべての神の子供は、キリストの贖罪を通して、「福音の律法と儀式に従うことよって救われ得る」のです。¹³ 復活祭にわたしたちは「ハレルヤ」と歌います。ハレルヤとは「主なるエホバをほめたたえよ」という意味です。¹⁴ ヘンデルの『メサイア』の「ハレルヤ・コーラス」は、復活祭に当たりイエスが「王の王、主の主」であることを宣言する親しみ深い曲です。¹⁵

しゅろの日と復活祭の日曜日の間に起きた神聖な出来事は、ホサナとハレルヤの物語です。ホサナは、お救いくださいという神への嘆願です。ハレルヤは、救いと昇栄の希望を与えてくださった主への賛美を表しています。ホサナやハレルヤと叫ぶとき、わたしたちは生けるイエス・

キリストが復活祭と末日の回復の中心であられることを認めているのです。

末日の回復は、父なる神とその御子イエス・キリストが若き預言者ジョセフ・スミスに文字どおり現れられた、訪れに始まります。預言者ジョセフはこう述べています。「5分間じっと天を見詰めるなら、そのことについて書き記されたすべてを読むことによって得られるよりも、もっと多くのことが分かるでしょう。」¹⁶ 天が再び開かれたので、わたしたちは聖なる神会を成す「永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと、聖霊」を知っており、信じています。¹⁷

1836年4月3日、回復初期の復活祭の日曜日にカートランド神殿が奉献された後、生けるイエス・キリストが御姿を現されました。そこで主にお会いした人々は、炎と水という互いに補い合う対称的な言葉で主について証しました。「その目は燃える炎のようであり、その髪は清らかな雪のように白く、その顔は太陽の輝きに勝って光り輝いていた。また、その声、



アメリカ合衆国,ユタ州ウェストジョーダン

すなわちエホバの声は大水の奔流のどろろきのように[あっ]た。¹⁸

そのとき救い主はこう宣言されました。「わたしは最初であり、最後である。わたしは生きている者であり、殺された者である。わたしは父に対するあなたがたの弁護者である。」¹⁹ ここでも対称的な言葉、「最初」と「最後」、「生きている者」と「殺された者」が使われています。主はアルパでありオメガであり、初めてであり終わりであり、²⁰ 導き手であり完成者であられるのです。²¹

イエス・キリストに続いて、モーセ、エリヤス、エリヤも訪れました。神の指示により、これらの偉大ないしえの預言者たちは、神権の鍵と権能を回復しました。こうして、神のすべての子供たちを祝福するために、「この神権時代の鍵が」主の回復された教会にゆだねられたのです。²²

カートランド神殿へのエリヤの訪れにより、「主の大いなる恐るべき日が来る前に」²³ エリヤが戻って来るという、旧約聖書のマラキの預言も成就しました。それにより、エリヤの訪れは、偶然ではなく、ユダヤ人がエリヤの帰りを敬虔に待ちわびる過越の祭と重なることになりました。

多くの敬虔なユダヤ人の家族は、過越の祭の食卓にエリヤの席を用意します。エリヤを招いて歓迎するために、多くの人は杯を満たします。伝統的な過越の祭の儀式の間、エリヤが外で招かれるのを待っていないか確認するために、子供に見に行かせます。ドアを少し開けたまましておくこともあります。²⁴

預言の成就と約束された万物の回復の

一部として、²⁵ エリヤは約束どおり、復活祭と過越の祭の始めに訪れたのです。エリヤは、家族を地上と天で結ぶ結び固めの権能をもたらしました。モロナイが預言者ジョセフに教えたように、エリヤは「先祖に与えられた約束を子孫の心に植え、子孫の心はその先祖に向かう」のです。モロナイはこう続けています。「そうでなければ、主の来臨の時に、全地はことごとく荒廃するであろう。」²⁶ 聖霊の現れであるエリヤの霊により、わたしたちは過去、現在、未来の世代の家族を身近に感じ、家族の系図や歴史、神殿奉仕に心を向けているのです。

過越の祭の重要性についても、簡単に振り返ってみましょう。過越の祭は、イスラエルの民が400年の束縛から解放されたことを記念するものです。出エジプト記によれば、この解放は、かえる、ぶよ、あぶ、家畜の死、うみの出るはれもの、雹、火、いなご、濃い暗闇などの災いの後に実現しました。最後の災いは、国中の長子の命を脅かすものでしたが、イスラエルの民は、傷のない初子の小羊の血を入口のともい柱に塗るにより、それを免れられるというものでした。²⁷

死の天使は、象徴的に小羊の血を塗った家を通り越しました。²⁸ その過越は、最終的に死を克服されたイエス・キリストを象徴しています。実際、神の小羊の贖いの血は、あらゆる場所と環境にいる主の民を幕の両側の主の群れに集めるため、「良い羊飼ひ」に力を与えてくれるのです。

モルモン書は、復活祭の本質である

「キリストの力と復活」²⁹ を、二つの回復という観点から説明しています。

最初の回復には体が「手足と関節」、「髪の毛一筋さえも失われることなく、……本来の完全な造りに……[な]る」という身体的な回復が含まれます。³⁰ この約束は、体の不自由な人、つまり視力や聴力や歩行能力を失った人、また生活能力を奪う身体的および精神的疾患、その他の能力の低下に耐えてきた人に希望を与えます。主はわたしたちを見つけて、完全な状態にしてください。

復活祭と主の贖罪の二つ目の約束は、霊的な面で「すべてのもの[が]ふさわしい状態に回復され」ることです。³¹ この霊的な回復には、わたしたちの行いと願いが反映されます。それは水の上に投げられたパンのようであり、³² 「善」と、「義」、「公正」、「憐れみ」に回復するということです。³³ 預言者アルマが「回復」という言葉を22回使って³⁴ 「公正に振る舞い、義にかなって裁き、絶えず善を行いなさい」³⁵ と強く勧めたのも、驚くに当たりません。

「神は……御自分で世の罪の贖いをされるので」、³⁶ 主の贖罪は、以前の状態に戻すだけでなく、なるべき状態にしてくれるのです。主はわたしたちの「あらゆる苦痛と苦難と試練……と病」と誘惑を御存じです。³⁷ 主の心は憐れみで満たされており、わたしたちの弱さに応じて助けてくださいます。³⁸ 御自身が「完全で公正な神、憐れみ深い神」であられるので、神の憐れみの計画は「正義の要求を満たす」ことができるのです。³⁹ わたしたちは悔い改めて、できることをすべて行います。主は、わたしたちを「愛の御腕」で永遠に抱いてくださるのです。⁴⁰

わたしたちは今日、回復と復活を祝います。わたしは皆さんとともに、イエス・キリストの完全な福音の回復が引き続き進んでいることを喜びます。200年前の春に始まったときと同じように、光と啓示は

今も続いています。主の生ける預言者と、主の名を冠した主の教会、末日聖徒イエス・キリスト教会を通して、また貴い聖霊の賜物による個人の啓示と靈感を通して、引き続き与えられているのです。

この復活祭の時期に、わたしは皆さんとともに、永遠の父なる神とその愛する御子、生けるイエス・キリストについて証します。死すべき人間の中には、無残に処刑され、後に復活した人もいます。しかし、完全な体に復活された生けるイエス・キリストだけが、その手足と脇腹に十字架の傷跡をお持ちです。主だけがこう言えるのです。「わたしはあなたを、わたしの手のひらに彫り刻んだ。」⁴¹ 主だけがこう証できるのです。「わたしは上げられた者である。十字架につけられたイエスである。神の子である……。」⁴²

幼いアイビーと彼女のバイオリンのように、わたしたちはまだどこか初心者です。まさに、「目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備え」ておられます。⁴³ このような時期にわたしたちが主を求め、お互いに手を差し伸べようとするときに、わたしたちの中で神の愛が育ち、神の慈しみと自分の神聖な可能性について学ぶことができます。新しい方法、新しい場所で、教えに教え、優しさに優しさを個人と全体に加えて、わたしたちがほかの人を助け、それらのことを学ぶのです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、皆さんと会って一緒に学び、皆さんから教えられるとき、皆さんの信仰と善い行いが福音の旅路と感謝の気持ちでわたしを満たします。皆さんの証と福音の旅路は、わたしの証とわたしの福音の旅路を豊かにしてくれます。皆さんの心配や喜び、神の家族と聖徒の集まりに対する愛、実践することで得られた回復された真理と光への理解は、生けるイエス・キリストを中心とする回復された完全な福音に対するわたしの



理解を深めてくれます。わたしたちは皆、日が照るときも曇りのときも、主がともにおられると信頼します。⁴⁴ わたしたちは皆、主がわたしたちのことを気にかけておられるので、み恵みを数えあげることができます。⁴⁵ 日々の小さな簡単なことの中に、大いなることが成し遂げられるのを見ることができます。⁴⁶

「また、義人はすべての国の中から集められ、永遠の喜びの歌を歌いながらシオンに来る〔ことでしょう。〕」⁴⁷ ホサナとハレルヤのこの時期に、「ハレルヤ」と歌いましょう。主が永遠に統治されるからです。「神と小羊に、ホサナ」と声を上げてください。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ヨハネ 16:33
2. モルモン書ヤコブ 5 章参照
3. 聖典で預言されているように、人類の歴史では、背教または脱落と呼ばれる霊的な衰退の時代と、霊的な回復と呼ばれる新たな光の時代が繰り返されている。例として、2 テサロニケ 2:3 を参照
4. ルカ 4:18 参照
5. ヨハネ 12:12-13。マタイ 21:8-9; マルコ 11:8-10 も参照
6. 黙示 7:9
7. 教義と聖約 109:76 参照
8. ゼカリヤ 9:9 参照
9. マタイ 21:9
10. 『聖句ガイド』「ホサナ」の項参照。旧約聖書の時代から、「主よ、どうぞわれらをお救いください」という詠唱とともにしゅろの枝を振る行為は(詩篇 118:25)、「主よ、どうぞわれらをお救いください。主よ、どうぞわれらを榮えさせてください」というメシヤへの嘆願を表す伝統的な表現方法である。
11. 詩篇 118:26
12. Russell M. Nelson, in *Handel's Messiah: Debtor's Prison* (video), Church of Jesus Christ.org/media-library.
13. 信仰簡条 1:3
14. See Bible Dictionary, "Hallelujah."
15. ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル, *Messiah*, T・タータス・ノブル編 (1912 年) 第 8 番。黙示 17:14 も参照
16. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』419
17. 信仰簡条 1:1
18. 教義と聖約 110:3, 強調付加
19. 教義と聖約 110:4
20. 黙示 1:8; 3 ニーフай 9:18; 教義と聖約 19:1; 38:1; 45:7 参照
21. ヘブル 12:2; モロナイ 6:4 参照
22. 教義と聖約 110:16
23. マラキ 4:5
24. See Stephen D. Ricks, "The Appearance of Elijah and Moses in the Kirtland Temple and the Jewish Passover," *BYU Studies*, vol. 23, no. 4 (1986), 483-86, byu-studies.byu.edu.
25. 教義と聖約 86:10 参照。使徒 3:19-21 も参照
26. ジョセフ・スミス—歴史 1:39。近年、「その」〔訳注—英文では「their (彼らの)」〕という具体的な所有格を重要視している人が多い。
27. 出エジプト 7-12 章参照
28. 出エジプト 12:23 参照
29. アルマ 41:2
30. アルマ 40:23
31. アルマ 41:4
32. 伝道 11:1 参照
33. アルマ 41:13
34. 英文のアルマ 40:22-24 とアルマ 41 章に「restore (回復する), restored (回復された), restoration (回復)」という単語とその変形が 22 回現れ、肉体と霊の両方の回復が強調されている。
35. アルマ 41:14
36. アルマ 42:15
37. アルマ 7:11
38. アルマ 7:12 参照
39. アルマ 42:15
40. 2 ニーフай 1:15
41. 詩篇 118:26。3 ニーフай 11:17 も参照
42. 教義と聖約 45:52
43. 1 コリント 2:9
44. 「日は暮れ」『賛美歌』(英文) 166 番〔訳注—英語の賛美歌を和訳すると「曇りの時も晴れの時も、主よ、われと共におりたまえ」〕
45. 「み恵み数えあげ」『賛美歌』153 番参照
46. アルマ 37:6 参照
47. 教義と聖約 45:71



ユタ州プロボステーキ、スレイトキャニオン
第14ワード(スペイン語)の会員
ラウディ・ルース・カオク

神権は青少年を どのように祝福するか

神権を通じてわたしたちは高められます。この神権は世界に光をもたらします。

この場にいられることに感謝しています。今日皆さんとお話できる機会を持つると知ったとき、とても楽しみであると同時に、心底謙遜な気持ちになりました。何を分かち合えるだろうかとずっと考えてきましたが、わたしのメッセージを通して御霊が皆さんに直接語りかけてくださるようにと願っています。

モルモン書の中で、リーハイは亡くなる前、自らの持つ強さや永遠の可能性を理解する助けとなるよう、息子一人一人に祝福を授けました。わたしは8人きょうだいの末っ子ですが、ここ一年は実家で暮らしている子供が、初めてわたしだけになりました。きょうだいが身近におらず話し相手がいつもいるわけではないことは、わたしにとってつらく、ひどく孤独を感じた夜も幾度となくありました。わたしを助けようと精いっぱい努めてくれた両親に感謝しています。例えば、特につらかった時期に、慰めを得られるよう神権の祝福をしようかと父が提案してくれました。祝福の後、物事はすぐには変わらなかったものの、天の御父と父から平安と愛を感じることができました。リーハイが子供たちを祝福したときのように、いつでも必要なときに神権の祝福を授け、わたしが自

らの強さや永遠の可能性を理解できるように助けてくれるふさわしい父親がいることを祝福だと感じています。

皆さんがどんな状況にあっても、いつでも神権の祝福を受けることができます。家族や友人、ミニスタリングブラザーや神権指導者、そして決して皆さんをお見捨てにならない天の御父を通して、神権の祝福を受けることができますのです。ニール・L・アンダーセン長老は次のように述べています。「神権の祝福はその賜物を行使するよう求められている人よりも無限大に大きなものです。……わたしたちがふさわしくあれば、神権の儀式は……わたし

たちの生活[を]豊かなものとし……てくれます。』¹

特別に導きが必要なときは、ためらわずに祝福を求めてください。困難なときにこそ、わたしたちは御霊の助けが最も必要なのです。完璧な人はいませんし、皆、苦難を経験します。中には、不安、うつ病、依存症、あるいは「自分は十分ではない」という思いに苦しんでいる人もいるかもしれません。神権の祝福は、こうした試練を克服し、将来に向かって前進するうえで平安を得る助けとなります。わたしたちがそのような祝福を受けるにふさわしく生活できるようにと願っています。

神権を通して祝福を授かるもう一つの手段は、祝福師の祝福です。わたしは悲しみや孤独を感じる時にはいつでも、祝福師の祝福に心を向けられるようになりました。わたしの祝福文は、自らの可能性や神がわたしのために用意された特別な計画を理解するのに役立っています。慰めをもたらし、この世的な見方を超えて物事を見られるように助けてくれます。自分の賜物や、ふさわしく生活するならば受けるであろう祝福について思い起こさせてくれます。また、わたしが最も必要としているまさにそのときに、神が答えを与え、扉を開いてくださることを思い起こし、平安を感じられるように助けてくれるのです。



ブラジル、サンパウロ

祝福師の祝福は、天の御父のみもとに戻ってともに住むために自らを備えるうえで助けとなります。わたしは祝福師の祝福が神からもたらされ、弱さを強さに変える助けになるものであると知っています。これは古い師のお告げではなく、知っておくべき事柄を教えてくれる、一人一人にとってのリアホナのようなものなのです。神を第一にし、神を信じる信仰を持つならば、神は各々の荒れ野においてわたしたちを導いてくださいます。

神がジョセフ・スミスに神権を授けたことで福音の祝福が回復されたように、わたしたちも神権を通して自らの生活において福音の祝福を受けることができます。わたしたちには毎週、聖餐を受ける特権と機会が与えられています。この神権の儀式を通して、いつも御霊を受けることができ、汚れが取り除かれ、清められるのです。自分の生活から排除すべきものがあると感じたら、正しい道を歩めるよう力を貸してくれる、信頼できる指導者に助けを求めてください。皆さんの指導者は、イエス・キリストの贖罪の力に完全にあずかれるよう助けを与えてくれます。

神権のおかげで、わたしたちは神殿の儀式の祝福も受けることができます。神殿に参入できるようになって以来、わたしは定期的な参入を目標とし、優先してきました。時間を取り、聖なる宮で天の御父に近づくために必要な犠牲を払ったことで、これまでの人生において大いに助けとなった啓示や促しを授かってきました。

神権を通じてわたしたちは高められます。この神権は世界に光をもたらします。ロバート・D・ヘイルズ長老は次のように述べています。「神権の力がなければ『全地はことごとく荒廃する』(教義と聖約2:1-3参照)のです。光もなく、望みもなく、あるのは暗闇だけです。」²

神はわたしたちを励ましておられ、みもとに帰って来てほしいと願っておられます。神はわたしたちのことを個人的に



知っておられます。皆さんのことを御存じなのです。神はわたしたちを愛しておられます。常にわたしたちを心にかけて、自分がふさわしくないと感じるようなときでも祝福を与えてくださいます。神はわたしたちにいつ、どのような祝福が必要なのか御存じです。

「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」

すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。」(マタイ7:7-8)

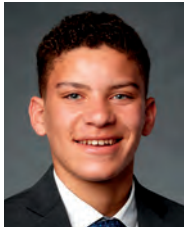
神権についての証がまだないのなら、自分で神権の力について知ることができるよう祈り求め、神の言葉を聞くために聖文を読むようお勧めします。生活の中で神の神権の力を体験できるように努めるなら、祝福を受けることができると知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ニール・L・アンダーセン「神権に宿る力」『リアホナ』2013年11月号, 92
2. ロバート・D・ヘイルズ「神権がもたらす祝福」『聖徒の道』1996年1月号, 35



リンダ・カーリー・クリステンセンとマイケル・マルム画
「わたしと同じ僕であるあなたがたに」



ユタ州プロボ・エッジモントステーク
メドーウッドワードの会員
エンツォ・セルゲ・ペテロ

神権は青少年を どのように祝福するか

わたしたちには天使のように仕え、教え導き、全地に福音を宣べ伝え、キリストのもとに来るよう人々を助ける機会が与えられています。

兄弟姉妹の皆さん、この歴史的な夕べに、神聖な神権の賜物とこの神権時代に青少年を祝福するために神権が持つ驚くべき力について、皆さんにお話しできることを心から感謝します。わたしは不完全ですが、御霊の助けを受けて真理を教えられるよう祈ります。

大管長会はアロン神権者たちに次のことを心に留めるよう呼びかけています。「あなたは大きな機会とチャレンジにあふれる時代、すなわち神権が回復されている時代に生きています。あなたはアロン神権の儀式を執り行う権能を持っています。その権能を祈りによって、またふさわしく使うときに、あなたは周りの人々の生活に大きな祝福を与えることでしょう。」¹ 教会の若い男性として、わたしたちはまた次のことを心に留めます。わたしたちは「神から愛されている息子です。神はわたし〔たち〕の行う業を備えておられます。」² わたしたちは「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」神の業を助けます（モーセ1：39）。

神権とは、救い主の福音の儀式と聖約にあずかるのにふさわしい人々のために儀式を執り行い、聖約を授ける権能です。

これらの神権の儀式と神聖な聖約を通して救い主の贖いの完全な祝福がもたらされ、わたしたちは各自の神聖な目的を達成できるようになるのです。

若者であったジョセフ・スミスは、イエス・キリストの福音を回復するために神から召されました。その目的のために神権が与えられ、それをを用いて全人類に祝福をもたらしたのです。教義と聖約第135章はジョセフがこの神権時代の青少年にもたらした祝福の多くについて、次のように述べています。「ジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の

人々の救いのために多くのことを成し遂げた。……彼は……『モルモン書』を出し、……完全な永遠の福音を地の四方に送り出し、……『教義と聖約』……を構成する数々の啓示と戒め……を出し、何千人もの末日聖徒を集め、……覆されることのあるあり得ない誉れと名声を残した。」（教義と聖約135：3）

ジョセフが行ったように効果的に仕えるためには、主の神権の力を用いるのにふさわしい者と認められなければなりません。モルモン書を翻訳していたとき、ジョセフとオリバー・カウドリはバプテスマを受けたいと思いましたが、彼らには正しい権能がありませんでした。1829年5月15日、ひざまずいて祈りをささげていたとき、二人はバプテスマのヨハネの訪れを受けました。ヨハネは彼らにアロン神権の鍵と権能を授け、次のように言いました。「わたしと同じ僕であるあなたに、メシヤの御名によって、わたしはアロンの神権を授ける。これは天使の働きと、悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。」（教義と聖約13：1）

わたしたちには天使のように仕え、教え導き、全地に福音を宣べ伝え、キリストのもとに来るよう人々を助ける機会が与えられています。この務めを果たすとき、わたしたちは、バプテスマのヨハネやモロナイ、ジョセフ・スミス、ラッセル・M・ネル



アメリカ合衆国、ユタ州イーグルマウンテン

ソン大管長、そのほかの勤勉な主の僕たちとともに同じ業に働く仲間となるのです。

主の神権の下に神権を用いて奉仕することで、主の教えに厳密に従って生活しようと尽力する人々が集まり一つとなります。青少年の様々な難題に直面するとき、主の教えに従って生活するのは容易でないことを、わたしは個人的に知っています。しかし、主の業を成し遂げるうえで仲間であるこれらの主の僕たちと結束することで、わたしたちは敵対する者の誘惑や欺きに立ち向かう強さを得られます。皆さんは自分に自信の持てないすべての人たちにとってのかがり火となることができます。皆さんの内にある光は強大な輝きを放ち、皆さんと交わるすべての人は、皆さんと一緒にいるだけで祝福を受けることでしょ。霊的な仲間がいることを常に覚えていることは難しいかもしれませんが、わたしは自分がキリストにさらに近づけるよう、ともに働くことができる忠実な神権定員会の一員であると知っていることに感謝しています。

友人や家族に加えて、聖霊はわたしたちの最も誠実で信頼できる仲間の御一人です。しかし聖霊を招き、絶えずともにいていただくためには、聖霊がとどまることを望まれるような状況や場所に身を置く必要があります。このことは、まず自分自身の家庭で始めることができます。家族として毎日の聖文研究と祈りに参加することによって、家庭を聖なる場所にするよう努めるのです。それにも増して大切なことは、個人で聖文を研究し、自分自身で祈ることです。

今年の初めに、胸躍る、それでいて謙遜な気持ちにさせられる機会を与えられました。妹のオセアンが、バプテスマを受けて日の栄えの王国に入るために定められた要件の一つを満たすようにとの招きを受け入れ、聖約の道を歩み始めるのを手助けしたのです。オセアンはわたしが



祭司に聖任されるまで、ひと月ほどバプテスマを先に延ばし、わたしに儀式を執行する特権を与えてくれました。それと同時に、ほかの妹たちもまた、神権の割り当ての下で証人を務める特権にあずかりました。わたしと妹がそれぞれバプテスマフォントの反対側に立ち、水に入る用意をしているとき、妹が胸を高鳴らせているのが分かりました。わたしも同じだったからです。妹が正しい決断をしている姿を目にし、一体感を覚えました。神権を行使するこの機会のおかげで、わたしは無頓着さをなくし、もっと注意深く福音に従った生活をするよう鼓舞されました。自身を備えるために、その週わたしは毎日神殿に行き、母と祖母と妹の手助けにより、死者のためのバプテスマを執行しました。

この経験から、わたしは神権と、またどうすればふさわしい状態で神権を行使できるかについて多くのことを学びました。ニーファイの模範に倣って「行って行う」(1ニーファイ 3:7 参照)なら、すべての神権者がわたしと同じ事柄を感じられると知っています。何もせずにただぼんやりと座っていながら、主がその大いなる業に自分を使ってくださいと期待することはできません。助けを必要としている人がわたしたちを捜し出すのを待ってはいけません。模範を示し、神の証人となることが、神権者であるわたしたちの義務なのです。もし自分の永遠の進歩を妨げるような決断をしているのなら、今、変

わる必要があります。単に楽しみを追い求めるこの世的な状態にわたしたちをとどめておこうと、サタンは全力を尽くして挑んでくるでしょう。しかし、わたしたちが自分をサポートしてくれる人たちを見つけ、毎日悔い改めるよう努めるならば、その結果与えられる祝福は信じがたいほど素晴らしいものとなるでしょう。聖約の道を力強く進むとき、わたしたちの生活は永遠に変わるでしょう。そのことをわたしは知っています。

この教会がわたしたちの救い主、イエス・キリストのまことの教会であり、主が神権の鍵を使徒たちにゆだねられたと知っています。彼らは、特にこの困難な日々にあってわたしたちを導き、主の再臨に世を備えるためにこの鍵を使うのです。

ジョセフ・スミスが回復の預言者であったこと、またネルソン大管長が今日わたしたちの生ける預言者であることを知っています。これらの偉大な神権者たちの生涯を研究し、日々自分自身を向上させるべく努めるよう皆さんにお勧めします。それによってわたしたちの造り主にお会いする用意ができますように。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 大管長会「神への務めを果たす」[小冊子, 2010], 5
2. Aaronic Priesthood quorum theme, in General Handbook: Serving in The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 10.1.2, ChurchofJesusChrist.org.



中央扶助協会会長
ジーン・B・ビンガム

一致して神の業を成し遂げる

神聖な可能性を全うする最も効果的な方法は、神権の力と権能による祝福を受け、力を合わせて働くことです。

すばらしい兄弟姉妹の皆さん、皆さんとともに集えることは大きな喜びです。どこで大会を聴いているかにかかわらず、姉妹たちにわたしからのハグと、兄弟たちにわたしからの握手を贈りたいと思います。わたしたちは主の業において一つです。

アダムとエバについて考えるとき、しばしば最初に思い浮かぶのはエデンの園での理想的な暮らしです。想像するに、天候は常に完璧で暑すぎず寒すぎず、近くにおいしい果物と野菜が豊富にあり、いつでも好きなときに取って食べることができたのではないかと思います。彼らにとっては新しい世界だったので発見もたくさんあり、動物と交わったり、美しい環境を探検したりと、毎日が興味深いものでした。また、従うべき戒めが与えられていましたが、その指示に対する取り組み方がそれぞれで異なったため、最初は多少の不安と混乱が生じました。¹しかし、二人は人生を永遠に変える決断を下すに当たり、協力して取り組むことを学び、彼ら自身とすべての神の子供たちのために神が定められた目的を成就させるために一致しました。

さて、現世にいるこの夫婦を想像してみてください。食物を得るために働かなければ

ならず、逆に彼らを食物とみなす動物もいる中で、ともに話し合い、祈ることでしか克服し得ない困難もありました。困難に対する取り組み方に関して意見が異なることがあったことと思います。しかし彼らは、墮落を通して、一致と愛をもって行動することが不可欠であると学んだのです。神聖な源から受けた個人的な指導の中で、二人は救いの計画と、それを可能にするイエス・キリストの福音の原則を教えられました。自分たちの地上での目的と永遠における目標が一致していることを理解していたので、愛と義をもってともに働くことに満足と成功を見いだしました。

子供たちが生まれると、アダムとエバは



天の使いから学んだことを家族に伝えました。彼らが焦点を当てたのは、子供たちも原則を理解して受け入れるよう助けることでした。それらの原則とは、この世で幸福を得るとともに、能力を増して神への従順を示し、天の両親のもとへ戻る備えをするためのものでした。アダムとエバはその過程で、それぞれの持つ異なる強みに感謝し、永遠にわたる意義深い業において互いに助け合うようになりました。²

何百年、何千年と時が過ぎ去る中で、靈感あふれ、助け合いをもたらしていた男女それぞれの貢献の明瞭さは、誤った情報と理解によって曖昧になりました。エデンの園におけるすばらしい始まりから現在までの間に、敵対する者はわたしたちの魂を勝ち取るため、男女を対立させるという目標において大きな成功を収めてきています。ルシフェルは、男女の一致を損なわせ、わたしたちの神聖な価値と聖約の義務について混乱させることができれば、永遠の中で不可欠な単位である家族の破壊に成功すると知っているのです。

サタンは、男女が生まれながらに持つ違いが神から与えられたもので、等しく価値があるという永遠の真理を隠し、比較によって優劣の感情を作り出すようあおり立てます。家族と社会への女性の貢献の価値をおとしめ、周囲を高める女性の影響力を永久に衰えさせようとしているのです。男女に互いを補完させ、一致をもたらす独自の貢献をたたえ合うことよりも、勢力争いを助長させることがサタンの目標です。

年月を経て世界では、神が定められた相互依存、そして男女の異なる貢献と責任への完全な理解はほとんど消えてしまいました。多くの社会において女性は、男性と同等のパートナーではなく従属的になり、活動は狭い範囲に限られるようになりました。暗黒の時代に霊的な成長は遅くなりました。実に、優越性という伝統に浸り切った思いと心には、霊的な光は



ほとんど差し込むことができなかつたのです。

そして、1820年の春に父なる神とその御子イエス・キリストが、ニューヨーク州北部の神聖な森で若きジョセフ・スミスに現れられたとき、福音の回復という光が「太陽の輝きにも勝って」³輝いたのです。この出来事は、現代に天から注がれる啓示の始まりとなりました。キリストの初期の教会の要素で回復されたものの一つは、神の神権の権能でした。回復が広がり続けるにつれ、男女はこの神聖な業において神から承認され指示されたパートナーとして協力することの重要性と可能性を改めて認識し始めました。

1842年、設立後間もない教会の女性たちが業を助けるために正式な団体を作りたいと望んだとき、預言者ジョセフ・スミスは、「神権の権能の下に、神権の規範に倣って」組織するよう靈感を受けました。⁴彼はこう述べています。「わたしは今、神の名によって皆さんのために鍵を回します。……明るい未来が今始まったのです。」⁵その鍵が回されて以来、世界中で、教育的、政治的、経済的な機会が徐々に女性に広がっていきました。⁶

扶助協会と名付けられたこの女性のための新しい教会の組織は、当時存在したどのような女性の組織とも異なっていました。女性に権限と神聖な責任、そして正式な地位を与える神権の権能を通して、教会の構造の外ではなく構造内で、預言者により組織されたからです。⁷

ジョセフ・スミスの時代から今日までな

お続いている万物の回復は、男女両方が神から任された責任を果たすのを助けるうえで、神権の権能と力が必要であるという悟りをもたらしました。最近わたしたちは、神権の鍵を持つ者の指示の下に任命された女性は、**神権の権能**によって召しを行うということを学びました。⁸

2019年10月、ラッセル・M・ネルソン大管長は、神殿でエンダウメントを受けた女性は、神と交わした聖約を神聖に守っているならば、自分の人生や家庭において**神権の力**が与えられていると教えました。⁹このように説明しています。「交わした神権の聖約から流れ込む神の力によってエンダウメントを受けている**女性**には、神権を持つ男性と同じように、天が開かれています。」そしてすべての姉妹にこう勧めました。「愛する家族やほかの人々を助ける際に、救い主の力に思う存分頼る権利が皆さんにはあります。」¹⁰

これは皆さんやわたしにとって、何を意味するのでしょうか。神権の権能と力を理解することは、わたしたちの生活をどのように変えるのでしょうか。ここで鍵となる事柄の一つは、男女が力を合わせるとき、

別々に取り組むよりもはるかに多くを成し遂げられると理解することです。¹¹わたしたちが果たす役割は、競争し合うものではなく補完し合うものなのです。女性は神権の職に聖任されることはありませんが、前に述べたように、聖約を守るならば神権の力によって祝福され、召しを受けて任命されたときには神権の権能によってそれをを行うのです。

天気の良い8月のある日、ペンシルベニア州ハーモニーにある再建されたジョセフとエマ・スミス夫妻の家で、ラッセル・M・ネルソン大管長と話をすることがありました。そこは、末日にアロン神権が回復された場所の近くです。会話の中でネルソン大管長は、回復において女性が果たした重要な役割について話しました。

ネルソン大管長：「わたしが神権の回復された場所に来て再認識する最も重要な側面の一つは、回復において女性が果たした重要な役割です。

ジョセフが最初にモルモン書の翻訳を始めたとき、書き留めたのはだれだったでしょうか。ジョセフも書きましたが、少しだけでした。エマが書き留めたのです。



アメリカ合衆国、ユタ州シラキューズ

それからわたしは、ジョセフがニューヨーク州パルマイラにある家の近くの森に祈りに行ったことについて考えます。ジョセフはどこへ行きましたか。聖なる森です。なぜそこへ行ったのでしょうか。そこは彼の母親が祈りたいときに向かう場所だったからです。

彼女たちは、神権の回復と教会の回復において重要な役割を果たした女性たちのうちの二人に過ぎません。彼女たちが当時重要だったのと同じくらい、わたしたちの妻も重要だと言えるのは疑う余地ありません。当然ながらわたしたちの妻も重要なのです。」

エマールシー、ジョセフのように、喜んで互いから学ぼうとし、イエス・キリストの弟子になるという目的の下に一致し、助け合ってその道を歩むのが最も効果的です。

わたしたちは次のように教えられています。「神権の権能は数え切れない方法で神の子供たちに恩恵をもたらします。……教会の召し、神殿の儀式、家族関係、そして、目立たない個々の働きにおいて、末日聖徒の女性と男性は神権の力と権能を身にまとい、前進するのです。神の力を通じて神の業を達成するうえで男女が互いを必要とすることは、預言者ジョセフ・スミスを通して回復されたイエス・キリストの福音の中心となるものです。」¹²

一致は、わたしたちが特権にあずかり召されて携わる神の業には不可欠ですが、何もせずに起きるものではありません。よく話し合い、互いに耳を傾け、相手の視点を理解し、経験を分かち合うことには努力と時間が必要ですが、その過程が、さらに靈感を受けた決定へとつながるのです。家庭でも教会の責任においても、神聖な可能性を全うする最も効果的な方法は、異なっているながらも補完し合う役割を果たすために神権の力と権能による祝福を受け、力を合わせて働くことです。

今日、聖約の女性の生活においてパートナーシップとはどのようなものでしょうか。一つの例を挙げましょう。

アリソンとジョンのパートナーシップは独特なものでした。彼らは二人乗り自転車で、長距離および短距離競技に参加しました。その競技で成功するには、二人の選手が調和している必要があります。二人は正しいタイミングで同じ方向に体を傾けなければなりません。片方が優位に立つことは不可能であり、しっかりとコミュニケーションを取りそれぞれの役割を果たす必要があるのです。前方にいるパイロットと呼ばれる人は、ブレーキを掛けたり立ち上がったたりするタイミングをコントロールします。後方にいるストーカーと呼ばれる人は、そのときの状況に注意を払い、ほかの自転車との距離が開けば力を込めてペダルを漕ぎ、近づき過ぎれば力を緩めます。前進し、ゴールに到達するために互いをサポートしなければならないのです。

アリソンはこう説明しています。「最初、パイロットの人が、立つ必要があるときは『立つよ』と言い、漕ぐのをやめる必要があるときは『ブレーキ』と言います。少したつとストーカーは、パイロットが立ったり座ったりするタイミングが分かるようになり、掛け声は必要なくなります。

わたしたちは互いの行動に波長を合わせ、相手が苦勞しているときには気が付いてその不振を補えるようになりました。それはすべて、信頼し、協力して行うということにほかなりません。」¹³

二人は自転車を漕ぐときだけでなく、結婚生活においても一致していました。互いに、自分の幸せよりも相手の幸せを望みました。相手の良い面を見つけ、自分のあまり良くない部分を克服するよう努力しました。交互に導き、相手が苦しんでいるときはより多くを与える側に回りました。相手の貢献を尊重し、各自の能力や持っているものを合わせることで、試練に対するより良い解決策を見つけました。キリストのような愛によって、互いに真に結びついたのでした。

「自分優先」というメッセージに囲まれている今日、一致して働くという神から与えられた規範とより調和することは非常に重要です。女性には神から独特な賜物が与えられており、¹⁴ 特有の責任がありますが、それらが男性に与えられた賜物や責任と比べ、より重要だったりあまり重要でないということはありません。すべては、天の御父の神聖な計画をもたらすために用意され、必要とされています。この計画は、神がその子供たちに、神聖な可能性を全うする最高の機会を与えるため



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ



わたしたち一人一人が、
 主の業を前進させるために、
 主の靈感あふれる方法で
 一致することを選びたいと
 願っています。わたしたちの
 愛する救い主イエス・キリス
 トの御名により、アーメン。■

に立てられたものです。

今日、「母なるエバの勇気とビジョンを持った女性が必要」です。¹⁵ それは、兄弟たちと一致して人々をキリストのもとに連れて来るためなのです。¹⁶ 男性は、自分だけに責任があると思ったり、やるべきことの多くを女性が行う中でパートナー「のように」振る舞ったりするのではなく、真のパートナーとなる必要があります。女性は、自分だけで行く必要があると思ったり、指示を待ったりするのではなく、¹⁷ パートナーとして「前に踏み出し、」……本来果たすべき役割を果たす必要があります。¹⁸

女性を極めて重要な参加者と考えることは、「同格」を作り出すということではなく、教義的な真理を理解するということです。その実現に向けたプログラムを確立するよりも、救いと昇栄の業に不可欠なパートナーとして、神がなさるように、積極的に女性を尊重するよう取り組むことができます。

準備はできていますか。文化的な偏見を克服し、代わりに神の規範と基本的な教義に基づいた実践を受け入れるよう努力しますか。ネルソン大管長は、「ともに手を携へ……主の再臨に世を備える助けをする」¹⁹ よう招いています。そうするとき、各個人の貢献を尊重し、神から与えられた役割をより効果的に果たせるようになります。今までに経験したことがないほどの大きな喜びを感じることでしょ

注

1. 創世 3 : 1 - 18 ; モーセ 4 : 1 - 19 参照
2. モーセ 5 : 1 - 12 参照。これらの節はアダムとエバの真のパートナーシップを教えている：ともに子供をもうけた (2 節) ; 自分たちと家族に必要なものを得るためともに働いた (1 節) ; ともに祈った (4 節) ; ともに神の戒めに従い、犠牲をささげた (5 節) ; ともにイエス・キリストの福音を学び (4 節, および 6 - 11 節), 子供たちに教えた (12 節)
3. ジョセフ・スミス—歴史 1 : 16
4. Joseph Smith, in Sarah M. Kimball, "Auto-Biography," *Woman's Exponent*, Sept. 1, 1883, 51 ; 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』(2007 年) 451 も参照
5. Joseph Smith, in "Nauvoo Relief Society Minute Book," 40, josephsmithpapers.org.
6. See George Albert Smith, "Address to the Members of the Relief Society," *Relief Society Magazine*, Dec. 1945, 717.
7. See John Taylor, in Nauvoo Relief Society Minutes, Mar. 17, 1842, available at churchhistorianspress.org. エライザ・R・スノーによると、ジョセフ・スミスは、以前の神権時代にも女性の組織があったと教えた (see Eliza R. Snow, "Female Relief Society," *Deseret News*, Apr. 22, 1868, 1 ; 『わたしの王国の娘—扶助協会の歴史と業』1 - 7 参照)。
8. ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014 年 5 月号, 49 - 52 参照
9. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」『リアホナ』2019 年 11 月号, 78, 79 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」77
11. 「しかし回復された福音は、夫と妻は互いに助け合うべきだという永遠の概念を教えています。二人は対等であり、パートナーなのです。」(ブルース・C・ヘーフェン, マリー・K・ヘーフェン「人生の波を乗り越えて対等なパートナーになる」『リアホナ』2007 年 8 月号, 28)
12. 福音のテーマ「神権, 神殿および女性についてのジョセフ・スミスの教え」の項, topics.ChurchofJesusChrist.org
13. 個人的な書簡
14. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015 年 11 月号, 95 - 97 参照
15. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」

97

16. See *General Handbook: Serving in The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 1.4, ChurchofJesusChrist.org.

17. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」97

18. 「愛する姉妹の皆さん、皆さんの召しは何であれ、皆さんの置かれた環境がどうであれ、わたしたちには皆さんの考えや、洞察、靈感が必要です。ワードヤステークの評議会で、気兼ねなく率直に意見を述べてください。伴侶と協力して家族を管理するときに、献身的かつ全面的な協力者として口を開いてください。既婚の姉妹も、独身の姉妹も、神の賜物として与えられた独特な能力と特別な直感力があります。皆さんの比類ない影響力は、わたしたち兄弟にはまねのできないものです。……わたしたちは皆さんの力を必要としています。」(ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」97)

19. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」97

末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹部と中央役員

大管長会



第一顧問
ダリン・H・オークス



大管長
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問
ヘンリー・B・アイング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェアリー・R・ホランド



ディーター・F・ウークトドリフ



デビッド・A・ベドナー



クエンテイン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・スティープソン



テール・G・レノンランド



ゲレット・W・ゴング



ウリセス・ソアレス

七十人会長会



L・ホイットニー・ニュート



ブレント・L・ウィック



カール・B・クック



ロバート・C・テイ



テレンス・M・ピテンソン



ジョセフ・A・テイセラ



カルロス・A・ゴトイ



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

主はわたしたちの 前を行き

主が主の福音と主の教会の回復を導いておられます。主は将来のことをすべて御存じで、皆さんをこの業に招いておられます。

愛する兄弟姉妹、皆さんとともに末日聖徒イエス・キリスト教会の総大会に参加でき感謝します。ラッセル・M・ネルソン大管長は、最後の神権時代における主の教会の回復が自分と愛する人々にどんな祝福をもたらしてきたか深く考えるようにという勧めの中で、その経験は記念になるだけでなく記憶に残るものになると約

束しました。

わたしの経験は記念となっていますし、皆さんの経験もそうでしょう。それが記憶に残る経験になるかどうかは、わたしたち次第です。わたしにとっては、この大会に備えるという経験によって自分が変わり、そのような変化が続くことを望んでいるので、記憶に残ることが重要な

です。どういう意味か説明しましょう。

この大会への備えとしてわたしは、ある回復の出来事についての記録を読みました。この出来事についてはそれまでに何度も読んだことがありましたが、それはわたしにとって常に、回復の預言者ジョセフ・スミスが関わる重要な集会の報告書でしかありませんでした。しかし今回は、主が弟子であるわたしたちを教会で導かれる方法がその記録から見て取れたのです。わたしたち人間が、過去、現在、未来のすべてを御存じである世の救い主、創造主に導かれるとはどういうことなのか分かりました。主は段階を追って教え導いてくださり、決して強制されることはありません。

わたしが話そうとしているこの集会は、回復においてきわめて重要な瞬間でした。それは、1836年4月3日、奉獻されて7日後のオハイオ州カートランド神殿で開かれた安息日の集会です。ジョセフ・スミスは、世界の歴史上重要なこの出来事を、平易な言葉で説明しました。このときジョセフが語った言葉の多くは、教義と聖約第110章に記録されています。

「午後、わたしは、この日に聖卓での務めを果たす特権を与えられた十二使徒から主の晩餐を受けた後、管長たちを手伝って、それを教会員に配った。わたしは兄弟たちのためにこの務めをなし終えた後、オリバー・カウドリとともに教壇に退いて、幕を下ろし、身をかがめて厳粛に無言の祈りをささげた。そして、祈りを終えて立ち上がると、わたしたち二人に次の示現が開かれた。」¹

「わたしたちの心から幕が取り去られ、理解の目が開かれた。

わたしたちは、主がわたしたちに面して教壇の手すりの上に立っておられるのを見た。その足の下には、こはくのような色の純金の床があった。

その目は燃える炎のようであり、その頭髪は清らかな雪のように白く、その顔は太



「預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに御姿を現されるイエス・キリスト」
ウォルター・レーン画



陽の輝きに勝って光り輝いていた。また、その声、すなわちエホバの声は大水の奔流のとどろきのようで、このように言われた。

『わたしは最初であり、最後である。わたしは生きている者であり、殺された者である。わたしは父に対するあなたがたの弁護者である。』

見よ、あなたがたの罪は赦されており、あなたがたはわたしの前に清い。それゆえ、頭を上げて喜びなさい。

あなたがたの兄弟たちの心を喜ばせ、わたしのすべての民の心を喜ばせなさい。彼らは力を尽くしてわたしの名のためにこの家を建てた人々である。

見よ、わたしはこの家を受け入れた。そして、わたしの名はここにあるであろう。わたしは憐れみをもってこの家でわたしの民にわたし自身を現すであろう。

まことに、わたしの民がわたしの戒めを守り、この聖なる家を汚さなければ、わたしは僕たちに現れて、わたし自身の声をもって彼らに語るであろう。

まことに、幾千幾万の人の心が、注がれる数々の祝福と、この家で僕たちに授けられるエンダウメントのゆえに、大いに喜

ぶであろう。

そして、この家の名声は諸外国に広まるであろう。これはわたしの民の頭に注がれる祝福の初めである。まことにそのとおりである。アーメン。』

この示現が閉じた後、天が再びわたしたちに開かれた。そして、モーセがわたしたちの前に現れ、地の四方からのイスラエルの集合と北の地からの十部族の導きの鍵をわたしたちにゆだねた。

この後、エライアスが現れ、わたしたちと子孫によってわたしたちの後の時代のすべての者が祝福を受けるであろうと述べて、アブラハムの福音の神権時代をゆだねた。

この示現が閉じた後、もう一つの大きな栄えある示現が突如わたしたちに開かれた。死を味わうことなく天に取り去られた預言者エリヤが、わたしたちの前に立って言った。

『見よ、マラキの口を通して語られた時がまさに来た。』マラキとは、主の大なる恐るべき日が来る前に彼〔エリヤ〕が遣わされ、

先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ、全地がのろいをもって打たれることのないようにする、と証した人である。

『それゆえ、この神権時代の鍵はあなたがたの手にゆだねられている。これによってあなたがたは、主の大なる恐るべき日が近く、まさに戸口にあるのを知ることができる。』²

さて、わたしはこの記録を過去に何度も読んでおり、その記述が真実であるという証を聖霊から受けていました。しかし、この大会の準備のために研究しているうちに、主の業において弟子たちを細部にわたって導かれる主の力が、さらにはっきりと理解できるようになった

のです。

カートランド神殿でモーセがイスラエルの集合の鍵をジョセフにゆだねる7年前、「ジョセフは、その目的が『イスラエルの家の残りの者に、……彼らはとこしえに捨てられないという主の聖約を、彼らに分かるように示す』ことであることを、モルモン書のタイトルページから知ります。1831年、主はジョセフに、イスラエルの集合はカートランドで始まり、『そしてそこ〔カートランド〕から、わたしの望む者がすべての国民の中に出て行くであろう。……イスラエルは救われ、わたしは……彼らを導く』と言われました。』³

伝道活動はイスラエルの集合のために必要だったものの、主は指導者らに靈感をお与えになり、教会初期に宣教師となった十二使徒たちにごう教えられました。「自身のエンダウメントを受けるまで、あなたがたは他の国々に行ってはならないことを覚えておきなさい。』⁴

カートランド神殿は段階を追った主の計画にとって、少なくとも次の二つの理由で重要だったようです。第一の理由は、神殿が完成してイスラエルの集合の鍵が回復できるようになるまでモーセが待っていたことであり、第二の理由は、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長による次の教えでした。「主は聖徒たちに神殿〔カートランド神殿〕を建てるように命じられた。それは神殿で権能の鍵を明らかにし、使徒たちにエンダウメントを与えて、ぶどう園の最後の刈り込みをする備え



ブラジル、サンパウロ



をさせるためであった。』⁵ カートランド神殿では今日わたしたちが知る神殿のエンダウメントは行われていませんでしたが、預言の成就として、備えの神殿の儀式が導入され始めていました。それとともに、ほとぼしするような霊的な現れがあり、伝道に召された者たちはエンダウメントに約束された「高い所から[の]力」⁶を受けて武装しました。その結果、伝道活動を通して大いなる集合が行われたのです。

イスラエルの集合の鍵がジョセフにゆだねられた後、主は十二使徒の会員を伝道に送り出すよう預言者ジョセフに靈感をお与えになりました。わたしが研究を進める中で、十二使徒が海外で伝道する方法を、主が事細かに用意しておられたということが明確になりました。海外には、十二使徒を信じ支持する備えのできた人々がいたのです。やがて何千もの人々が、十二使徒を通して主の回復された教会に入って来るようになります。

教会の記録によると、2度にわたった十二使徒によるイギリス諸島での伝道で、推定7,500人から8,000人がバプテスマを受けています。これがヨーロッパでの伝道の基盤となったのです。19世紀末までにアメリカに集合した9万もの人々の大半が、イギリス諸島とスカンジナビアから来ました。⁷ 主は、行って刈り入れを行うよう、ジョセフとこの忠実な宣教師たちに靈感を与えられました。当時この刈り入れは途方もないことに思えたはずですが、しかし、将来を完全に見通して準備しておられた主が、それを可能にされました。

皆さんは、教義と聖約第110章にある、一見簡潔で、まるで詩のような言葉を覚え

ているでしょう。

『「見よ、マラキの口を通して語られた時がまさに来た。』マラキとは、主の大いなる恐るべき日が来る前に彼〔エリヤ〕が遣わされ、

先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ、全地がのろいをもって打たれることのないようにする、と証した人である。

『それゆえ、この神権時代の鍵はあなたがたの手にゆだねられている。これによってあなたがたは、主の大いなる恐るべき日が近く、まさに戸口にあるのを知ることができる。』⁸

主がはるか先の未来を見通され、末日に主の目的を成し遂げる助けをさせるためにわたしたちをどう導けばよいのか御存じだったことを、わたしは証します。

以前わたしは、管理ビショップリックで奉仕していたときに、ファミリーサーチと名付けたものを構築する設計・開発グループを監督する責任を受けました。わたしは、その構築を「指示した」とは言わず「監督した」とあえて言うように気をつけています。多くの優秀な人たちが、自分の仕事を離れて、主の望まれたものを築くために集まりました。

大管長会は、儀式の重複を減らすという目標を掲げていました。ある人の儀式がすでに行われているかどうかをわたしたちが確認できないというのが大きな懸案事項だったのです。「いつになったら終わりますか」と、大管長会から長年、または長い年月に思える期間、聞かれました。

高い能力を持つ人たちの祈りと努力と個人的な犠牲のおかげで、この目標は達

成されました。作業は段階を追って進んでいったのです。最初に行ったのは、ファミリーサーチをコンピューターの苦手な人にとって使いやすいものにすることでした。様々な変更がありましたし、今後もあることでしょう。というのは、靈感を受けて問題が一つ解決する度に、次の扉が開いてさらに啓示が降り、同等かそれ以上に重要でありながらこれまでは見えていなかった進歩への道が示されるからです。今日でもファミリーサーチは、重複を避けるという目的以外でも、回復の業の一部として主が必要としておられるものとなっています。

主がこの改善をわたしたちにさせられた目的は、人々が先祖に親しみを感じ、さらには愛を持てるようになり、先祖のために神殿の儀式を行うようにさせるためでした。さて、主が間違いなく御存じだったように、今や若者たちが親やワードの会員たちのコンピューターの相談に乗ってくれるようになっていきます。この奉仕に、皆が喜びを感じています。

エリヤの霊が、若い者や年老いた者、子供や親、孫や祖父母の心を変えています。神殿は間もなく再び、喜んでバプテスマやその他の神聖な儀式のスケジュールを組むようになるでしょう。自分の先祖に仕えたいという望みと、親子の結びつきは強くなっています。

こうなることを、主はすべて御存じでした。主は、教会のその他の変更と同じく、この変化のために計画を立て、段階を追って準備されたのです。難しいことを自ら進んで首尾よく成し遂げる忠実な人々を育て、備えておられます。主はわたしたちが「教えに教え、訓戒に訓戒を加えて」学べるよう、⁹常に愛をもって忍耐強く助けてくださいます。主は確かに御心をなし遂げられるタイミングと順序をお持ちであり、しばしば犠牲から思わぬ祝福が継続してもたらされるようにしてください。

主への感謝を述べてこの話を閉じます。



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

メルキゼデク神権と その鍵

主はネルソン大管長に靈感をお与えになり、大管長は犠牲を払ってこの大会に備えるようにと勧めました。わたしは準備する間、どんなときでも、祈る度に祝福を頂きました。

このメッセージを聞くすべての人、読むすべての人にお勧めします。主の福音と主の教会の回復を主が導いておられることを信じてください。主はわたしたちの前を歩き、将来のことをすべて御存じで、皆さんをこの業に招き、この業において皆さんとともに働き、皆さんが行う奉仕の計画を整えておられます。そして、人々が立ち上がり主の再臨に備えるのを助けるとき、たとえ犠牲を払おうとも、皆さんは喜びを感じることでしょう。

天の御父が生きておられることを証します。イエスはキリストであります。この教会はキリストの教会です。主は皆さんを御存じで、愛してくださっています。皆さんを導き、皆さんのために道を備えてくださったのです。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 110 章見出し。 see also Joseph Smith, "History, 1838-1856, volume B-1 [1 September 1834-2 November 1838]," Apr. 3, 1836, 727, josephsmithpapers.org.
2. 教義と聖約 110 : 1 - 16
3. Karl Ricks Anderson, *The Savior in Kirtland: Personal Accounts of Divine Manifestations* (2012), 276; 教義と聖約 38 : 33
4. オリバー・カウドリが使徒として召しを果たす際に与えられた, in "Minute Book 1," Feb. 21, 1835, 162, josephsmithpapers.org.
5. Joseph Fielding Smith, *Doctrines of Salvation*, comp. Bruce R. McConkie (1955), 2:234.
6. 教義と聖約 38 : 32
7. See James B. Allen, Ronald K. Esplin, and David J. Whittaker, *Men with a Mission: The Quorum of the Twelve Apostles in the British Isles, 1837-1841* (1992), 53, 302; Brandon S. Plewe, ed., *Mapping Mormonism: An Atlas of Latter-day Saint History* (2012), 104.
8. 教義と聖約 110 : 14 - 16
9. 2 ニーファイ 28 : 30

教会では、神権の権能はその神権の鍵を持つ神権指導者の指示の下に行使されます。

神の神権についてさらにお話することにします。すでに3人の話者がこのテーマについてお話しし、神権がどのように女性や若い女性、そして若い男性の生活に祝福をもたらすかについて教えてくださいました。

神権は、すべての神の子供たちの益となるよう神の御業のために用いられるという信頼の下保持されている神の力と権能です。神権とは、神権の職に聖任された人や、その権能を行使する人のことではありません。神権を保持する男性は神権ではありません。聖任された男性を神権と呼ぶべきではありませんが、神権を保持する人、すなわち神権者と呼ぶことは適切です。

神権の力は、教会と家族という組織のどちらにも存在します。しかし、教会における神権の力と神権の権能は、家族の中とは異なる方法で機能します。これらはすべて、主が定められた原則にのっとっています。神の計画の目的は、神の子供たちを永遠の命へ導くことです。現世の家族は、この計画に不可欠です。教会が存在する目的は、家族関係を永続させるために必要な教義と権能と儀式を提供することです。このように、家族という組織と

イエス・キリストの教会は、互いに強め合う関係にあります。神権の祝福は、男性にも女性にも同様に授けられます。例えば、完全な福音、バプテスマと確認、聖霊の賜物を受けること、神殿のエンダウメン



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ

ト、永遠の結婚などがそうです。¹

ここで述べる神権とは、福音の回復の初期に回復されたメルキゼデク神権のことです。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネにより聖任されました。3人は「王国の鍵と時満ちる神権時代の鍵を持っている」と自ら宣言しました（教義と聖約128：20）。この前任使徒たちは救い主御自身からこの権能を授かりました。そのほかすべての神権の権能や職は、メルキゼデク神権に付属するものです（教義と聖約107：5参照）。なぜなら、それは「管理する権利を有し、この世のあらゆる時代に、教会におけるすべての職を管理〔する〕……力と権能を持つ」からです（教義と聖約107：8）。

教会において、大神権、すなわちメルキゼデク神権の権能、および小神権、すなわちアロン神権の権能は、ビショップや会長といった、その神権の鍵を持つ神権指導者の指示の下に行使されます。教会における神権の権能の行使について理解するには、神権の鍵の原則を理解しなければなりません。

王国のメルキゼデク神権の鍵は、ペテロ、ヤコブ、ヨハネによって授けられましたが、それによって神権の鍵の回復が完了したわけではありませんでした。神権の鍵の幾つかは後に授けられました。先ほどアイリング管長が見事に説明したように、オハイオ州カートランドに建てられた、この神権時代の最初の神殿の奉献の後に、3人の預言者、モーセ、エライアス、エリヤが「この神権時代の鍵」を回復しました。それには、イスラエルの集合と主の神殿の業に関する鍵が含まれていました（教義と聖約110章参照）。

最もなじみのある鍵の機能の例は、神権の儀式の執行です。儀式とは、聖約を交わし、祝福を約束することを示す厳粛な行為です。教会において、すべての儀式はその儀式の鍵を持つ神権指導者の

権能の下に執行されます。

儀式は、最も一般的には、神権の鍵を持つ人の指示の下に、神権の職に聖任されている人によって執行されます。例えば、アロン神権の様々な職を保持する人々は、アロン神権の鍵を持つビショップの鍵と指示の下に聖餐を執り行います。同じ原則が、神殿で女性が執り行う神権の儀式にも適用されます。女性は神権の職に就いてはいませんが、神殿儀式の鍵を持つ神殿会長の権能の下に神聖な神殿儀式を執行します。

鍵を持つ人の指示の下で神権の権能を行使するもう一つの例は、福音を教えるよう召された男女が、ホームワードや伝道地でクラスを教えることです。その他の例としては、ワードで指導的立場にある人々です。彼らはワードやステークで鍵を保持する神権指導者の按手任命と指示の下、召しを受けた指導者として神権の権能を行使します。末日聖徒イエス・キリスト教会では、神権の権能と力はこのように行使され、享受されています。²

神権の権能は末日聖徒の家族の中でも行使され、その祝福が現実のものとなっています。ここで言う家族とは、神権を持つ男性と結婚している女性、そしてその子供たちのことです。死別や離婚により理想的な家族関係が変化した形態も含まれます。

神権の権能はその働きの鍵を持つ者の

指示の下でしか行使できないという原則は、教会において基礎となるものですが、これは家族については当てはまりません。例えば父親は、その人が持つ神権の権能により家族の中で管理し、神権を行使します。父親は、家族における様々な父親としての役割を果たすために、神権の鍵を持つ人の指示や承認を必要としません。例えば、家族に助言し、家族の集まりを持ち、妻や子供に神権の祝福を授け、家族やほかの人に癒しの祝福を施すことなどがこれに含まれます。³ 教会の指導者は家族を教えますが、家族における神権の権能の行使を指示することはありません。

同様の原則は、父親がおらず母親が家族の導き手である場合にも当てはまります。母親は家庭を管理し、神殿のエンゲウメントと結び固めを通して神権の力と祝福を家族にもたらす担い手となります。母親は、神権の特定の職にある人にしか授けることのできない神権の祝福を授ける権能は持っていませんが、家族の導き手としてそのほかすべての機能を果たすことができます。そうすることにより、家族の導き手という立場で管理する子供たちの益となるよう、神権の力を行使するのです。⁴

父親たちが自分の家族の中で神権を尊んで大いなるものとするならば、ほかに行うことと同様に教会の使命に貢献することになります。メルキゼデク神権を持



つ父親は、「説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により」権能を行使するべきです（教義と聖約 121:41）。あらゆる神権の権能の行使に関するこの高い標準は、家族の中で最も大切です。神権者は戒めを守る必要もあります。そうすることで、家族に祝福を授けるために必要な神権の力を持つようになるのです。また、家族が父親に祝福を求めて来るようになるために、愛に満ちた家族関係を培う必要があります。両親は家族がさらに神権の祝福を受けられるよう励ますべきです。⁵

この大会を構成する集会において、衝撃的なパンデミックに対するこの世の不安からの避け所を求めるときに、永遠の大いなる原則が教えられてきています。わたしたちの目が「正しく」見えるようにし永遠の真理を受け入れるよう、皆さん一人一人にお勧めします。そうするならば、わたしたちの体に「光が満ちる」でしょう（3 ニーファイ 13:22）。

聖書とモルモン書に記録されている群衆への説教の中で、救い主は死すべき体が光に満たされることも、暗闇に満ちることもあると教えられました。もちろん、わたしたちは光に満たされたいと望んでいます。救い主はそれを実現させる方法を教えられました。わたしたちは、永遠の真理に関するメッセージに耳を傾けるべきです。救い主は目を例に取って、目を通して光を肉体に取り入れることを教えられました。「目が正しく見ていれば」、つまり、光と理解を得ることに集中するならば、「全身に光が満ちる」と主は説明されました（3 ニーファイ 13:22。マタイ 6:22も参照）。しかし、「目が悪を見ていれば」、つまり悪に目を向けてそれを体に取り入れるならば、「全身に暗闇が及ぶ」と主は警告されました（3 ニーファイ 13:23）。言い換えると、体内に光があるか暗闇があるかは、教えられる永遠の真理にどのように目を向けるか、また受け入れるかによ



るのです。

わたしたちは、永遠の真理を理解するために探し求めるようにという救い主の招きに従うべきです。天の御父はすべての人に、彼らが求める真理を惜しみなく教えてくださいと、主は約束しておられるのです（3 ニーファイ 14:8 参照）。もしもそれを望み、真理を受けるためわたしたちの目が正しく見えるようにするならば、永遠の真理は「開かれるであろう」と約束しておられます（3 ニーファイ 14:7-8 参照）。

対照的に、サタンはわたしたちの考えを混乱させ、神の神権の働きといった重要な事柄についてわたしたちを迷わせようと躍起になっています。救い主は、そのような「偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである」と警告されました（3 ニーファイ 14:15）。主は、わたしたちが、混乱をもたらす様々な教えの中から真理を選び取ることができるよう、この試しを与えられました。「あなたがたは、その実によって彼らを見分けるであろう」と教えておられます（3 ニーファイ 14:16）。「良い木が悪い実を結ぶことはないし、悪い木が良い実を結ぶこともあり得ない。」（18 節）したがって、わたしたちは、教えられている原則と、それらを教えている人の結果、すなわち「実」に目を向けなければなりません。それは、教会やその教義、方針、指導者に対する多くの反対への最良の答えです。救い主が教えられた試しに従いましょう。実、すなわち結果に目を向けま

しょう。

福音と回復されたイエス・キリストの教会の実について考えてみると、現在の会員が生きている間に、アメリカ西部の山岳部に位置する地域の教会から、1,600万人を超える会員の半数以上がアメリカ国外に住む教会へと拡大したことに喜びを覚えます。その成長により、会員を支援するという教会の能力が増していることを実感しています。わたしたちは、戒めを守り、回復された福音を宣べ伝える責任を全うし、イスラエルを集合させ、世界中に神殿を建てるということを支援しています。

わたしたちは預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長に導かれています。主は預言者の指導力をお使いになり、わたしたちが実感してきたこの進歩を2年を超える大管長の在任期間で成し遂げられました。今晚わたしたちは、このチャレンジに満ちた時代に、この回復されたイエス・キリストの教会でわたしたちがさらに進歩する方法を教えるネルソン大管長に耳を傾ける機会に恵まれています。

これらのことが真実であることを証します。また、これから話をする預言者のために皆さんとともに祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ダリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」『リアホナ』2005年11月号、24-27 参照
2. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」『リアホナ』2019年11月号、76-79；ダリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」24-27；ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年4月号、49-52 参照
3. ダリン・H・オークス「神権の力」『リアホナ』2018年5月号、65-68 参照



末日聖徒イエス・キリスト教会 大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

4. ラッセル・M・ネルソン「霊の宝」76 - 79
5. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 68 - 75; ダリン・H・オークス「神権の力」65 - 68 参照

助けを求めて 天を開かん

主イエス・キリストに対する信仰を、行動へと移そうではありませんか！

何とすばらしく、特別な部会だったことでしょう。愛するラウディとエンツォに感謝します。お二人はまさしく、教会における高貴な若い女性、若い男性を代表してくれました。

愛する兄弟姉妹、わたしたちは今日、教会の回復について多くを耳にしてきました。わたしたちの救い主イエス・キリストが地上における教導の業の中で設立された、まさにその教会です。回復は200年前、今のような春の時期に、父なる神とその御子イエス・キリストが若きジョセフ・スミスに御姿を現されたところから始まります。

この並外れた示現から10年後、預言者ジョセフ・スミスとほかの5人の者たちが、主の回復された教会の創設メンバーとして召されました。

1830年4月6日に集まったその小さな集団が、1,600万人以上の会員を擁する世界規模の組織となったのです。人々の苦しみを和らげ、人類を高めようと、この教会が世界各国で行っている善い取り組みについては広く知られています。しかしながら、その第一の目的は、男性、女性、および子供が皆、主イエス・キリストに従うよう助けることです。人々が主の戒めを守り、最も大いなる祝福、すなわち神

と愛する人々とともに住む永遠の命を受けるにふさわしい者となれるよう手を差し伸べることなのです。¹

1820年に始まった出来事を祝うに当たり、ジョセフ・スミスを神の預言者としてたたえつつ、これがジョセフ・スミスの教会でも、モルモンの教会でもないことを心に留めておくことは重要です。この教会は、イエス・キリストの教会なのです。主は確かに、御自分の教会がどのように呼ばれるべきかを定められました。「わたしの教会は、終わりの時にこのように、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない。」²

わたしは以前、教会の名称に言及する方法に関して、軌道修正が必要だとお話ししました。³ それ以降、この修正を果たすべく多くの働きがなされてきました。M・ラッセル・バラード会長をはじめ、十二使徒定員会の全員に心から感謝しています。彼らはこうした働きのほか、今後これから発表する新たな取り組みにかかわる働きについても実によく導いてくれました。

教会指導者をはじめ教会の各部門、関連団体、また何百万もの会員やそのほかの人々が、今では教会の正しい名称を使っ

ています。表記に関する教会の公式ガイドラインに調整が加えられました。現在、教会の公式なウェブサイトは Church of Jesus Christ.org となっています。メールアドレスやドメイン名、またソーシャルメディアの各アカウントについても更新が行われました。愛すべき聖歌隊は、今や「テンプルスクウェア・タバナクル合唱団」と呼ばれています。

わたしたちがこうした途方もない取り組みを進めてきたのには理由があります。わたしたちは主の御名を主の教会の名称から外すとき、気づかないうちに礼拝および人生の中心から主を外してしまっているのです。バプテスマにより救い主の御名を受けるとき、わたしたちは言葉と意思と行いを通してイエスがキリストであられることを証すると決意しています。⁴

わたしたちが「主の教会の正しい名称を回復するために全力を尽くすならば」、主は「末日聖徒の頭に、わたしたちが今まで見たことのないような力と祝福を注いでくださる」と、わたしは以前に約束しまし

た。⁵ 今日、その約束を新たにしたいと思

います。わたしたちが主を覚えるうえで助けとなるように、また末日聖徒イエス・キリスト教会が主の教会であることを明らかにするために、喜びをもって新たなシンボルをご紹介します。主の教会にあって、イエス・キリストがその中心におられることを表すものです。

このシンボルでは、隅石の中に教会の名称が示されています。イエス・キリストは隅のかしら石であられます。⁶

シンボルの中心に位置するのは、トルバルセンが創作した大理石のクリスタス像の絵です。御自分のもとに来るすべての人を受け入れようと手を差し伸べておられる、復活された生ける主を表現しています。

象徴的に、イエス・キリストはアーチの下に立っておられます。このアーチは、十字架上で亡くなられた後、3日目に墓から御姿を現し、復活された救い主を思い起こさせてくれます。

多くの人は、このシンボルに親しみを感じ

ることでしょう。なぜならわたしたちは、復活された生けるキリストこそ、回復された福音そのものだとずっと識別してきたからです。

今後、このシンボルが用いられることで、教会公式の文献やお知らせ、各種イベントを視覚的に見分けられるようになるでしょう。⁷ このシンボルは、これが救い主の教会であることを皆に連想させるものであり、また主の教会の会員として、わたしたちのあらゆる行いがイエス・キリストとその福音を中心としていることを思い起こさせてくれるものです。

さて愛する兄弟姉妹の皆さん、先ほどゴング長老が力強く教えたように、明日はしゅろの日であり、その最後を飾る復活祭を前に、特別な1週間が始まります。新型コロナウイルスによるパンデミックにより、世界全体が混乱に陥っているさなかに生きているわたしたちは、イエス・キリストに従う者として、ただキリストのことを話し、キリストのことを説教し、キリストを表すシンボルを用いるにとどまることのないようにしましょう。

主イエス・キリストに対する信仰を、行動へと移そうではありませんか！

御存じのとおり、教会の会員は月に1度断食の律法を守っています。

断食の教義は古代から存在し、初めから聖書の英雄たちが実践してきました。モーセ、ダビデ、エズラ、ネヘミヤ、エステル、イザヤ、ダニエル、ヨエルをはじめとする多くの人々は、断食し、また断食を説き勧めてきたのです。⁸ イザヤの記録において、主は次のように語られました。「わたしが選ぶところの断食は、悪のなわをほどこき、くびきのひもを解き、しえ上げられる者を放ち去らせ……るなどの事ではないか。」⁹

使徒パウロはコリントの聖徒たちに「断食と祈りに専心する」よう勧告しました。¹⁰ 救い主御自身、ある類のものは「祈りと断食とによらなければ、追い出すことは



できない」と宣言されました。¹¹

わたしはつい先日、ソーシャルメディア上の動画において、「医師、外科医として、昼夜を問わず新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために働いている医療従事者、研究者、その他尽力されているすべての方に深く感謝[する]」と述べました。¹²

さて、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長およびイエス・キリストの使徒として、わたしは次のことを確かに知っています。神は「一切の権威とあらゆる知恵、あらゆる理解を備えておられる。神はすべてのことを悟っておられる。神は憐れみ深い御方であり、悔い改めて神の御名を信じる人々に救いを与えてくださる。」¹³

ですから、病がパンデミックの段階に至り、ひどい苦悩が見られるこの状況下において、天の御父とその御子、すなわち偉大な癒し主に呼び求め、御二方がその驚くべき力を示し、地上の人々を祝福して下さるよう行動することは、わたしたちにとってごく自然なことなのです。

動画によるメッセージの中で、わたしは2020年3月29日の日曜日に断食へ参加して下さるよう皆さんをお招きしました。多くの方が動画を視聴し、断食して下さった一方、参加されなかった方もおられることでしょう。わたしたちは今なお、天からの助けを必要としています。

ですから、しばしば断食し、祈りをささげていたモーサヤの息子たちの精神に



のっとして、¹⁴また2020年4月総大会の一環として、今晚わたしは愛する兄弟姉妹の皆さんに、今一度世界規模の断食を呼びかけたいと思います。健康上の制限がないすべての方々に、再び断食し、祈り、信仰を一つにさせていただきたいと思えます。祈りをもって、この世界規模のパンデミックからの救済を願い求めようではありませんか。

異なる信仰をお持ちの方々を含め、わたしはすべての人に向けて、4月10日の聖金曜日〔訳注—復活祭前の金曜日を指す〕に、現在直面しているパンデミックが抑制され、世話をする人々が守られ、経済が強化され、通常の生活が戻ってくるように断食し、祈りをささげるようお招きします。

どのように断食しますか。2食分、24時間飲食を断つのが通常のやり方です。しかしながら、救い主が自分のためにささげてくださった究極の犠牲を思い起こしながら、自分がささげるにふさわしい犠牲を各自で決めるようにします。世界中での癒しを願い求めるに当たって、一致しようではありませんか。

聖金曜日こそ、天の御父と御子にわたしたちの声を聞いていただくのにふさわしい日です。

愛する兄弟姉妹、わたしたちが携わっているのは神による業であることを証するとともに、皆さんに対するわたしの深い愛をお伝えします。これこそが末日聖徒イエス・キリスト教会です。その頭に立っておられるのは主であり、何をするにおい

てもわたしたちを導いてくださいます。主が御自分の民の嘆願にこたえてくださることを知っています。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 14:7 参照
2. 教義と聖約 115:4
3. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」『リアホナ』2018年11月号、87-89 参照
4. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」88 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」89
6. エベ2:20 参照
7. 教会のシンボルが持つ神聖な特性に配慮し、また法的保護を維持する目的で、教会の公式シンボルは大管長会および十二使徒定員会から承認を受けた場合にかぎり使用されるものとする。詳しい情報については、教会の知的財産事務所 (cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org) に問い合わせるとよい。
8. 出エジプト34:28; サムエル下12:16; エズラ10:6; ネヘミヤ1:4; エステル4:16; イザヤ58:3; ダニエル9:3; ヨエル2:12 参照
9. イザヤ58:6, 強調付加
10. 欽定訳〔英文〕1コリント7:5 から和訳
11. マタイ17:21, 強調付加
12. ラッセル・M・ネルソン「大管長、新型コロナウイルス感染からの緩和のため世界の人々に断食と祈りを呼びかける」2020年3月27日, newsroom.ChurchofJesusChrist.org
13. アルマ26:35
14. アルマ17:3 参照



イギリス、ロンドン



十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

預言の成就

イエス・キリストの完全な福音が回復されたことで成就した預言は数多くあります。

愛する兄弟姉妹の皆さん、ジョセフ・スミスが父なる神とその御子イエス・キリストにまみえた最初の示現を記念する、この歴史的な総大会でお話してできることを光栄に思います。まぎれもなくそれは、聖なる森で起こりました。この示現によって、モルモン書から神権の権能と鍵の回復、主のまことの教会の組織、神の神殿、この末日に主の業を導く預言者や使徒たちに至るまで、福音の回復とそれにより明らかにされたあらゆる事柄の壮大な幕が切って落とされたのです。

神聖な計らいにより、神の古代の預言者たちは聖霊に感じたときに、回復や、時満ちる最後の神権時代であるこの現代に起こる事柄について預言しました。まさにこの業が、過去の聖見者たちの「心を燃え立たせた」のです。¹ 幾世代にもわたって、預言者たちはイザヤが「不思議な驚くべき業」²と呼んだ、地上における神の王国の未来を予告し、夢に見、思い描き、預言してきました。

イエス・キリストの完全な福音が回復されたことで成就した預言は数多くあります。その一つが末日聖徒イエス・キリスト教会についての預言です。今日^{きょう}はしかし、わたしの好きな、成就した預言をほんの一部だけご紹介しましょう。わたしの愛する初等協会の教師や、天使のような母の膝の上で教わったものです。

ダニエルは、主イエス・キリストを信じる自らの信仰と神に仕える天使たちの執り成しによって、ライオンの攻撃から免れ、

示現でわたしたちの時代を目にしました。バビロニアの王ネブカデネザルの夢を解き明かしたダニエルは、小さな石が「人手によらずに山から切り出され」たように、主の教会が終わりの日に出現することを預言しました。³ 「人手によらずに」とは、神の介入によって、主の教会が全地に満ちるまで規模を拡大し、「いつまでも減びることがなく、……[かえって]立って永遠に至る」ことを表しています。⁴

今日こうして世界中の教会員がこの大会を視聴しているということ自体が、ダニエルの言葉の成就であると考え、これは何と意味深い証でしょうか。

献身的な使徒であったペテロは、「昔から[の]……万物更新の時」について述べました。⁵ また使徒パウロは、時満ちる時代に、神が「[すべての]ものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ」、⁶

「キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である」⁷と記しています。イタリア・ローマ神殿の奉獻式に参加したとき、これらの預言が成就しつつあることを非常に強く感じました。預言者と使徒全員がその場に集まり、ペテロやパウロが行ったように、世の贖い主であるイエス・キリストについて証を述べたのです。兄弟姉妹の皆さん、この教会はその更新の生ける一例であり、わたしたちの会員は、はるか昔になされたそれらの神聖な預言の証人なのです。

エジプトのヨセフは、末日に「主なるわたしの神は、一人の聖見者を立てられる。それは、わたしの腰から出た者のためのえり抜き⁸の聖見者である。」⁸ 「彼は[主の]業を行う[からである]」⁹と預言しました。この聖見者とは、回復の預言者であるジョセフ・スミスのことを指しています。

黙示者ヨハネは、全能者の御使いがこの回復の重要な要素を結び合わせる様子を次のような言葉で預言しました。「わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきた。」¹⁰ この御使いとは、モロナイのことです。モルモン書に記されているように、ヨハネはわたしたちの時代を見たのです。モロナイは何度も姿を現し、『モルモン書—イエス・キリストについてのもう一つの証』の翻訳をはじめとする務めに、ジョセフ・スミスを備えさせました。



アメリカ合衆国、ユタ州ノースソルトレーク



ほかの預言者たちも、わたしたちの時代について預言しています。マラキは、エリヤが「父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる」ことについて話しました。¹¹ エリヤが来たことにより、今日地上に168の神殿が点在しており、各神殿は、自分や亡くなった先祖のために、神聖な聖約を交わし、祝福された儀式を受けるにふさわしい会員によって活用されています。マラキが述べたこの神聖な業は、「神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すもの」なのです。¹²

わたしたちは預言されてきたこの時代に生きており、イエス・キリストの再臨の到来を告げる責任を負っています。わたしたちには、永遠の福音の真理と聖約、約束を聞いて受け入れる神の子供たちを集める責任があるのです。ネルソン大管長はこの責任を「今日地上における**最も大いなるチャレンジ、最も大いなる大義、最も大いなる業**」と呼んでいます。¹³ この業における奇跡について証したいと思います。

今年の2月、ラッセル・M・ネルソン大管長からの割り当てを受けて、わたしは南アフリカ・ダーバン神殿を奉獻しました。その日のことを、一生忘れることはないでしょう。エレミヤがはるか昔に預言していたように、わたしは「町からひとり、氏族からふたり」と、福音を受け入れた会員たちとともにいたのです。¹⁴ イエス・キリストの教義は、世界中にいるわたしたち全員を、神の息子娘として、また福音の兄弟姉妹として一つに結びつけてくれます。見た目や服装にかかわらず、わたしたちは同じ御父を天に持つ一つの民であ

り、御父の計画は初めから、また今も、神殿で神聖な聖約を交わし守ることによって、家族が再会できるようにするためのものでした。

1834年、オハイオ州カートランドにある校舎で行われた神権者の小さな集まりに向かって、預言者ジョセフは次のように預言しました。「今夜ここで皆さんが見ているのは、わずか一握りの神権者だけです。この教会は南北アメリカを満たし、世界を満たすでしょう。」¹⁵

ここ数年、わたしは教会員と会うために世界中を旅してきました。十二使徒定員会の兄弟たちにも同様の割り当てが与えられています。それでも、だれが愛する預言者であるネルソン大管長のスケジュールについていくことができるでしょう。教会の大管長として過ごした最初の2年間に、「32か所の国やアメリカ合衆国の地域」¹⁶ にいる聖徒たちのもとを訪れ、生けるキリストについて証してきたのです。

若いころ伝道の召しを受けたときのことを思い出します。わたしは父や兄、義理の兄のようにドイツで伝道したいと思っていました。みんなの帰宅を待たずに郵便受けに急ぐと、召しの手紙を開きました。ところが手紙を読むと、召されたのはニューヨーク市に本部を置く東部諸州伝道部だったのです。気落ちして家に入ったわたしは、慰めを求めて聖文を開き、教義と聖約を読み始めました。「見よ、見よ、この場所に、また周りの地域に、わたしの民が大勢いる。この東の地における周りの地域で、効果的な門が開かれるであろう。」¹⁷ 1833年に預言者ジョセフ・スミスに与えられたこの預言が、わたしへの啓示となりました。そのとき、主がわたし

に働くよう望んでおられる、まさにその伝道部に召されたと分かったのです。わたしは回復とその劇的な始まりについて教えました。それは、天の御父がジョセフ・スミスに語りかけ、「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい」と言われたときに始まったのです。¹⁸

教会全体にとって非常に重要な預言は、イエス・キリストが誕生する700年以上前になされたイザヤの預言です。「終りの日に次のことが起る。主の家の山は、もろもろの山のかしらとして堅く立ち、……すべて国はこれに流れて〔来る。〕」¹⁹

今日わたしは、テレビやインターネット、その他の手段を通じて、電子的にこの大会につながっている何百万人もの会員や友人の皆さんの姿を心に思い浮かべています。わたしたちはまるでともに「もろもろの山のかしら」にいるかのように座しています。²⁰ プリガム・ヤングは、「まさにこの地である」という預言的な言葉を語りました。²¹ わたし自身の開拓者の先祖も含め、聖徒たちは「地のもろもろの国々を支配する主の意のまま、思いのままに」ロッキー山脈にシオンを築くために働いたのです。²²

わたしは今日、何百万人もの訪問者を引き付けてきた神聖な地に立っています。2002年、ソルトレーク・シティーは冬季オリンピックを主催しました。タバナクル合唱団は開会式で歌い、教会は多くの国々からの来賓者と参加者のためにコンサートやプログラムを提供しました。世界中で毎晩流れるニュース放送の背景に、神殿が写っていた様子をいつまでも忘れることはないでしょう。

長年にわたって、アメリカ合衆国の大統領

領や、国王、裁判官、首相、大使、多くの国々からの役人がソルトレーク・シティーを訪れ、教会指導者たちと会談してきました。ネルソン大管長は、人種による差別のない、平等な権利の実現に尽力しているアメリカ合衆国の組織、National Association for the Advancement of Colored People (全米黒人地位向上協会)の指導者たちをもてなしました。ネルソン大管長が共に「世界における礼節と人種間の調和」を呼び掛けた際に、これらの指導者や友人たちと肩を並べたことが記憶に残ります。²³

さらに多くの人々がテンプルスクエアを訪れ、教会の指導者たちと会合を持ちました。例えば、ほんの数例となりますが、ここ1年でわたしたちはニューヨーク市以外では初めて、国際的な会議である United Nations 68th Civil Society Conference (第68回国連市民社会会議)

を迎えました。また、Vietnam's Committee for Religious Affairs (ベトナム宗教委員会) や、キューバ、フィリピン、アルゼンチン、ルーマニア、スーダン、カタール、サウジアラビアの大使たちと会談し、Muslim World League (ムスリム世界連盟)の事務総長をもてなしました。

わたしが今説明しているのは、終わりの日に国々が「主の家の山」²⁴に流れて来るといふイザヤの預言の成就を示すもので、壮大なソルトレーク神殿は、その尊厳と栄光の中心に立っています。

神殿を取り巻く環境は壮麗ですが、人々を引き付けているのは景観ではありません。末日聖徒イエス・キリスト教会と教会の人々の精神、成長、善良さ、寛大さに表れている清い信心の本質、また神のように愛するわたしたちの愛や、ジョセフ・スミスが「キリストの大義」²⁵と呼んだ、より崇高な大義へのわたしたちの献身が人々を引き付けるのです。

救い主がいつ戻られるかはわたしたちには分かりませんが、このことは確かに分かります。わたしたちは心と思いを備え、主を受け入れるにふさわしくなり、はるか昔より預言されてきたすべてのことの一部を担えることを誇りに思う必要があります。

ラッセル・M・ネルソン大管長が地上における主の預言者であり、大管長の傍らには、神により召され、預言者、聖見者、啓示者として支持を受けた使徒たちがいることを証します。そして、愛する兄弟姉妹の皆さん、回復は続いていきます。

ジョセフ・スミスの預言でわたしの話を締めくくります。わたしが証す

る言葉は真実です。「いかなる汚れた者の手も、この御業の発展を止めることはできません。迫害は威を振るい、暴徒は連合し、軍隊は集合し、中傷の風が吹き荒れるかもしれませんが。しかし神の真理は大胆かつ気高く、悠然と出で立ち、あらゆる大陸を貫き、あらゆる地方に至り、あらゆる国に広まり、あらゆる者の耳に達し、神の目的は成し遂げられるでしょう。かくして、大いなるエホバは、御業は成ったと告げられることでしょう。」²⁶ ジョセフ・スミスのこれらの預言が成就しつつあることを証します。

愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長、その顧問、使徒、その他の教会指導者の靈感に満ちた勧告に従い、わたしたちの時代について預言した古代の預言者に注意を払うなら、心と魂の奥底から、御霊と回復の業に満たされると約束します。生活の中で神の御手を目にし、神の促しを聞き、神の愛を感じられるようになる約束します。主の類ない愛の証拠として、主の福音と教会が回復されたことに感謝を込めて、イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』515
2. イザヤ 29:14
3. ダニエル 2:45。教義と聖約 65:2も参照
4. ダニエル 2:44
5. 使徒 3:21
6. エペソ 1:10
7. エペソ 2:20
8. 2ニーファイ 3:6
9. 2ニーファイ 3:8
10. 黙示 14:7
11. マラキ 4:6
12. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145
13. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(青少年対象のワールドワイド・ディボーション、2018年6月3日) HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org
14. エレミヤ 3:14
15. ジョセフ・スミスの言葉、『歴代大管長の教え—ウィルフォード・ウッドラフ』で引用、26
16. See Valerie Johnson, "President Nelson Became the Prophet 2 Years Ago. What Has Happened Since Then?" *Church News*, Jan. 13, 2020, thechurchnews.com. 参照
17. 教義と聖約 100:3
18. ジョセフ・スミス—歴史 1:17



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ



中央若い女性会長
ボニー・H・コードン

- 19. イザヤ 2:2。ミカ 4:1-2 も参照
- 20. イザヤ 2:2
- 21. 「まさにこの地である」という言葉は、1880 年 7 月の開拓者記念祭でのウィルフォード・ウッドラフの話の中でブリガム・ヤングの言葉として初めて引用された (see "Pioneers' Day," *Deseret Evening News*, July 26, 1880, 2)。
- 22. Brigham Young, Mar. 31, 1861, Historian's Office reports of speeches, 1845-1885, Church History Library, Salt Lake City.
- 23. 「大管長会と NAACP 指導者らが礼節と人種間の調和を求め」2018 年 5 月 17 日, newsroom.ChurchofJesusChrist.org 参照
- 24. イザヤ 2:2。ミカ 4:1-2 も参照
- 25. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 352
- 26. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 142

彼らにも見えるように

人々がイエス・キリストへと続く道を見いだせるよう、皆さんの光を輝かせる機会を祈り求めてください。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの心はこの総大会を通して感じた御霊により祝福され、新たにされました。

200 年前のこと、森で一人の青年の上に光の柱がとどまりました。その光の中、ジョセフ・スミスは父なる神とその御子、イエス・キリストにまみえたのです。御二方の光は地上を覆っていた霊的な暗闇を追い払い、ジョセフ・スミス、そしてわたしたち全員が進むべき道を示しました。その日にもたらされた光のおかげで、わたしたちは救い主、イエス・キリストの贖罪を通じて得られる祝福のすべてを受けることができます。

主の福音の回復により、わたしたちは救い主の光に満たされることができます。しかしながら、その光は皆さんやわたしのためだけに向けられたものではありません。イエス・キリストは、わたしたちにこう呼びかけられました。「あなたがたの光をこの民の前に輝かせて、この民があなたがたの善い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」¹ 「この民が……〔見〕るようにしなさい」という表現が気に入っています。これは、道を見だし、それに

よってキリストのもとに向かえるよう人々を助けることに関して、さらに意識を高めるようにという主の心からの招きなのです。

わたしが 10 歳のころです。我が家はわたしの地元で割り当てを果たしていた十二使徒定員会の L・トム・ペリー長老を迎える機会に恵まれました。

日も暮れ、わたしたち家族とペリー家族は居間に腰を下ろし、母の作ったおいしいアップルパイを味わっていました。ペリー長老は世界中の聖徒たちについて話してくれ、わたしはすっかり夢中になっていました。

もう遅い時刻になってきていましたが、母はわたしを台所に呼び寄せると、あっさりと尋ねました。「ボニー、ニワトリにえさはあげた?」

わたしの心は沈みました。まだ終えていなかったのです。主の使徒のそばから離れたくなかったわたしは、ニワトリたちは



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ



アメリカ合衆国、ユタ州プリガムシティ

朝まで断食できるのではと提案しました。

ところが母は、「だめよ」とはっきり答えました。ちょうどその時、ペリー長老が台所に入って来ました。そして、よく響く熱意にあふれたその声で、こう尋ねたのです。「ニワトリにえさをやる必要があるみたいだね。息子とわたしもお供していいかな?」

何ということでしょう。もはや、ニワトリのえさやりが楽しみで仕方ありません。わたしは駆け足で、大きな黄色い懐中電灯を取りに行きました。わたしは弾む気持ちで道を案内し、ニワトリ小屋へと続くお決まりの道を急ぎました。わたしが手に持った懐中電灯を揺らす中、皆でトウモロコシ畑を横切り、小麦畑を通り抜けました。

行く手を横切る狭い用水路に差しかかると、これまで幾晩もしてきたように、わたしは無意識に溝を飛び越えました。ペリー長老が、暗く、慣れない道を遅れず付いてくるのに苦勞していることには考えがおよびませんでした。わたしの手もとで揺れ動いていた光は役に立たず、ペリー長老は用水路に気がつきませんでした。行く先を照らす安定した光がなかったために、そのまま水に足を踏み入れてしまったペリー長老は大きなうめき声を上げました。うろたえたわたしが振り返って見

ると、この新たな友人はずぶぬれになった足を水路から引き抜き、重くなった革靴から水を振り切っているところでした。

水につかったびしょぬれの靴を履いたまま、ペリー長老はニワトリのえさやりを手伝ってくれました。えさやりが終わると、ペリー長老は愛を込めてこう教えてくれました。「ボニー、わたしも道を見なくてはね。自分の歩いている場所を照らす光が必要なんだよ。」

わたしは光を照らしていましたが、ペリー長老の助けにはなっていなかったのです。こうして、ペリー長老が道を安全に進むにはわたしの光が必要であることを理解したわたしは、ペリー長老の足もとのすぐ先を懐中電灯で照らし、わたしたちは確かな足取りで家路に就くことができたのでした。

愛する兄弟姉妹、わたしは何年も、ペリー長老から学んだ原則について深く考えてきました。わたしたちの光を輝かせるようにという主の招きは、無作為に光線を振りかざし、この世を全体的に明るくするという意味にとどまりません。キリストへと続く道が人々に見えるよう、わたしたちの光の焦点を定めるという意味があります。それこそが、幕のこちら側におけるイスラエルの集合です。すなわち神と

聖約を交わし、守ることににおいて、進むべき次のステップが見えるよう人々を助けることなのです。²

救い主はこのように証しておられます。「見よ、わたしは光である。わたしはあなたがたのために模範を示した。」³ 主の模範の一つから考えてみましょう。

井戸にいた女性はイエス・キリストを知らないサマリア人であり、社会では多くの人からのけ者と見なされていました。イエスは彼女に合わせた形で会話の口火を切られました。主は水を話題に彼女に話しかけ、それから、さらなる光へと彼女を導くと、御自分が「生ける水」⁴であることを明らかにされました。

キリストは思いやりの気持で彼女のことを理解し、必要を知っていました。彼女を理解に合わせ、身近なものについて話すことから始められました。主が会話の内容をそこでとどめておられたなら、楽しい交流で終わっていたことでしょう。しかしながら、彼女が町へ行き、次のように声を上げることはなかったことでしょう。「さあ、見にきてごらん下さい。もしかしたら、この人がキリストかも知れません。」⁵ 次第に、会話を通じて、彼女はイエス・キリストを見いだしました。過去の行いにかかわらず、彼女は光を伝える道具となり、人々が見えるように道を照らしたのです。⁶

今度は、光を分かち合う救い主の模範に倣った二人の人について考えてみましょう。つい先日のこと、友人のケ빈は夕食時にある会社の重役の隣の席に着いていました。2時間も何を話そうかと気をもんでいたケ빈でしたが、促しに従い、こう尋ねました。「ご家族の話を開かせていただけますか。ご出身はどちらでしょう。」

その紳士は、自分が先祖から受け継いだものについてあまり知らないようでした。そこでケ빈は携帯を取り出すと、こう言ったのです。「人々を先祖につなげてくれるアプリがあるんです。何が見つかるか、やってみましょう。」

長い時間語り合った後、ケ빈の新たな友人はこう尋ねました。「君の教会では、なぜ家族がそれほど大切なんだい。」

ケ빈は簡潔にこう答えました。「わた



したちは死後も生き続けることを信じています。先祖を見つけて、神殿と呼ばれる神聖な場所に名前を持って行くと、死んだ後も家族と一緒にいられるようになる、結婚の儀式を行うことができるんです。」⁷

ケ빈は、自分とこの新たな友人に共通の話題から始めました。その結果として、救い主の光と愛を証する道を見いだしたのです。

二つ目は、大学でバスケットボールの選手をしているエラの経験です。家を離れて学校に通う中、伝道の召しを受けた時点から、彼女の模範は始まります。彼女はチームメイトの前で、召しの手紙を開くことにしたのです。チームメイトはイエス・キリストの教会についてほとんど何も知りませんし、伝道に対するエラの思いも理解していません。チームメイトが御霊を感じられるような方法で伝道の召しを説明するためにはどうすれば良いかを知ろうと、彼女は繰り返し祈りをささげました。どのような答えを受けたのでしょうか。

エラはこう話しています。「わたしはパワーポイントを作りました。我ながらのナイスアイデアでした。」彼女はチームメイトに向けて、400を上回る伝道部のいずれかで働く可能性があり、新たに言語を学ぶ場合もあることを伝えました。また、すでに奉仕している何千という宣教師たちについても紹介しました。エラは最後に救い主の絵を映すと、短くこう証しました。「バスケットは、わたしの人生でいちばん大切なものの一つです。ここに

いるコートの下、このチームでプレーするために、家を離れて遠くに移り住んできました。それでも二つだけ、わたしにとってバスケットよりも大切なものがあります。それは信仰と家族です。」⁸

「今聞いたのは明るい1,000ワットぐらいの話だけど、わたしの光は20ワットくらいだ」と考えている方がいるかもしれませんが、救い主がこのように証されたのを覚えていてください。「あなたがたの掲げる光とは、わたしである。」⁹ わたしたちがただ人々を主に向かわせれば、主御自身が光をもたらしてくださることを思い起こさせる言葉です。

皆さんもわたしも、今すぐ分かち合うのに十分な光を持っています。わたしたちは、だれかがイエス・キリストに近づくのを助けるうえで、次の一步を照らすことができます。そうして次の一步、また次の一步と照らしていくのです。

こう自問してみてください。「見えてこない、歩むべき道を見つけるため、わたしの持っている光を必要とする人はだれだろうか。」

愛する友人の皆さん、光を輝かせることがそれほど重要なのはなぜでしょうか。主はわたしたちに、「地上……には、……見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる多くの人がいる」と語られました。¹⁰ わたしたちは力になることができます。わたしたちは人々にも見えるように、自分の光を意識的に輝かせることができるのです。わたしたちは招く

ことができます。¹¹ どんなにたどたどしくても、わたしたちは救い主に向かって歩みを進めている人々と旅路を共にすることができます。イスラエルの集合を助けることができます。

わたしは、ささやかな努力のすべてを主が大いなるものとしてくださることを証します。聖霊はわたしたちを促して、何を語り、行うべきか分かるようにしてください。そのように努力する中で、居心地のよい状況を離れることを求められるとしても、わたしたちは光を輝かすうえで主が助けてくださることを確信できます。

救い主の光にどれほど感謝していることでしょうか。啓示を通して、この教会を絶えず導いておられるのです。

皆さん一人一人に、イエス・キリストの模範に従い、思いやりをもって周りの人々に関心を向けるようお招きします。人々がイエス・キリストへと続く道を見いだせるよう、皆さんの光を輝かせる機会を祈り求めてください。主の約束は偉大なものです。「わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう。」¹² わたしたちの救い主、イエス・キリストは、この世にあって道であり、真理であり、命であり、光であり、愛であることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

- 3 ニーファイ 12:16
- ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・デイポーショナル)、<https://www.churchofjesuschrist.org/broadcasts/face-to-face/nelson?lang=jpn> 参照
- 3 ニーファイ 18:16
- ヨハネ 4:9-30 参照
- ヨハネ 4:29
- ロバート・ランド、マリー・ランド「女性に対する救い主の敬意」『リアホナ』2015年3月号参照
- 個人的な書簡
- 個人的な書簡
- 3 ニーファイ 18:24
- 教義と聖約 123:12
- ディーター・F・ウークトドルフ「伝道活動—心の中にあることを伝える」『リアホナ』2019年5月号、15-18
- ヨハネ 8:12



十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホランド長老

完全な希望の輝き

回復により、神がこの世にあって働かれるという根本的な真理が再確認されたので、わたしたちはまったく乗り越えられないように思える状況にあっても希望を抱くことができますし、また抱くべきなのです。

昨年10月、ラッセル・M・ネルソン大管長は、各自がそれぞれの方法で振り返り、イエス・キリストの福音の回復における威厳ある神の御手を確認することで、この2020年4月の総大会を見据えて備えるようわたしたちを招きました。ホランド姉妹とわたしは、預言者からのこの招きを真剣に受け止めました。1800年代初頭に生きる自分たちを想像してみたのです。それから、当時の数ある宗教的信条を検討し、次のように自問しました。「ここには何が欠けているのだろうか。何があったらと願うだろう。自分たちの霊的な切望にこたえて、神が何をもたらしてく

ださるよう希望を抱くだろうか。」

その結果、わたしたちは2世紀前に自分たちが心から望んだであろう、あるものに気がつきました。それは当時の人々の多くが抱いていたものに比べて、より正しく、より神聖な神についての概念の回復です。神はたいいてい、何世紀にも及んだ神学上の誤りと聖職者による誤解の陰におられるかのようで、姿が見えなかったのです。当時の著名な聖職者、ウィリアム・エラリー・チャニングの言葉を借りれば、わたしたちは「神の親としての性質」を見いだせるよう求めただろうと思います。チャニングはそれを、「キリスト教における

第一の偉大な教義」であると考えていました。¹ そのような教義によれば、神は容赦なき正義を行使する厳しい裁判官、あるいはかつて地上の事柄に携わっていたものの、今は宇宙のどこか別の場所に掛かり切りの不在地主としてではなく、思いやりある天の父親として認識されていたことでしょう。

そうです、1820年に生きるわたしたちは過去と同じように今なお包み隠さず語り、導いてくださる神、真の父親、つまりその言葉が示すとおりに果てしなく愛の深い御方を見いだせるよう望んだはずです。神は確かに、選ばれし少数の者が救われるよう運命づけ、残りの人類については地獄に追いやるような、冷たく気まぐれな独裁者ではなかったでしょう。そうです。神は自ら宣言されたように、「世〔とそこに住むすべての人々〕を愛しておられ〔ます〕。」そして、それが故に「世のために」すべてを行われます。² そのような愛こそ、神が御自分の独り子であるイエス・キリストを地上に遣わされた最たる理由だと言えます。³

イエスについて言えば、わたしたちが19世紀初めの数年に暮らしていたとすると、キリスト教世界にあって、救い主の生涯および復活の現実性に対する疑念が大いにはびこり始めていることを、深い懸念とともに悟ったことでしょう。ですから、わたしたちはイエスこそがキリストであり、文字どおり神の息子であり、アルパでありオメガであり、この世が知り得る唯一の救い主であられるという、聖書の証を裏付けるような証拠が全世界にもたらされることを望んだでしょう。切なる希望の一つとして、聖文によるさらなる証拠が明らかになることが挙げられていたはずでした。イエス・キリストについてのもう一つの証となり、主の奇跡的な降誕と驚くべき教導の業、贖いの犠牲、栄えある復活に関する知識を増し加え、広げてくれるものです。そのような文書は、まさしく「天から〔下る〕義……地から〔出る〕真理」となることでしょう。⁴

その当時のキリスト教世界を見詰めたなら、わたしたちはバプテスマを施し、聖霊の賜物を授け、昇栄に必要なすべての福音の儀式を執行することのできる、確かな神権の権能を備えた、神により承認された人物を見いだしたいと望んだことでしょう。1820年に生きていたなら、わたしたちは壮大な主の宮が再びもたらされることに関して、イザヤ、ミカ、そのほか古代の預言者たちの雄々しい約束が果たされ



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ

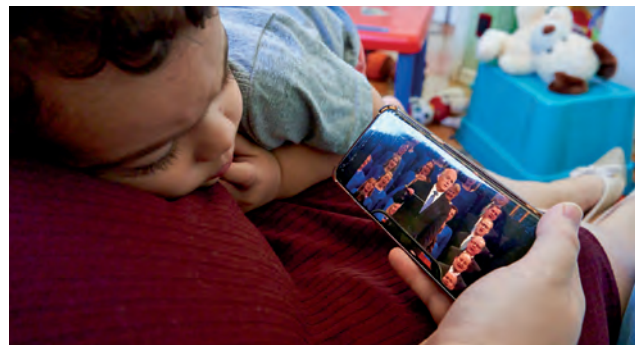


るのを目にしたいと望んだことでしょう。⁵ 永遠の真理を教え、個々の傷を癒し、家族を永遠にともに結ぶうえで必要な御霊と儀式、力と権能とともに、聖なる神殿の栄光が再び確立されるのを目にしたいと胸を高鳴らせたことでしょう。「死が二人を別つまで」という、ついて離れぬ不幸の言葉を耳にすることも、誓いを強いられることもなく、わたしと愛するパトリシアに向かって、当時の状況下で行われた二人の結婚がこの世においても永遠の世においても結ばれるものであると告げる権限を与えられた人物を、どこまでも、どこへでも探し求めたことでしょう。「[わたしたちの]父の家には、すまいがたくさんある」⁶ ことを知っていますが、個人的な見解としては、もしわたしがその住まいの一つを受け継ぐような幸運に恵まれたとしても、その受け継ぎを分かち合うパトリシアと子供たちがいないのなら、そこはわたしにとって、崩れかけた掘っ建て小屋にすぎないとも言えるのです。またわたしたちの先祖、一部は遠い昔にイエス・キリストの名を耳にすることさえないまま生き、亡くなった人々のために、わたしたちは聖書の中で最も公正かつ憐れみに満ちた教

え、すなわち、亡くなった親族の代わりに生者が救いの儀式を提供するという働きが回復されるのを望んだことでしょう。⁷ いつの時代に生き、どこで亡くなっていたとしても、愛ある神が地上の子供たちを一人残らず気にかけておられることをこれほど見事に示している働きは、このほか考えつきません。

さて、1820年に生きるわたしたちの希望リストはまだまだ挙げられますが、このような希望の数々が実を結ばなかったわけではないということが、恐らく最も重要な回復のメッセージでしょう。聖なる森に始まり、今日まで途切れることなく、こうした願いの数々は現実味を帯び始めています。使徒パウロをはじめとする人々が教えたように、希望はしっかりとした不動の、真の心の錨となるのです。⁸ かつては望むことしかできなかった事柄が、今では歴史の一部となっています。

わたしたちはこのように、200年にわたり神が世を慈しんでこられたことを振り返りました。それでは、先を見据えてみるとどうでしょうか。わたしたちには、まだかなえられていない多くの希望があります。こうして語っている間にも、わたしたちは「総力を挙げて」COVID-19との闘いを繰り広げています。砂粒の1,000分の1¹⁰に満たない大きさのウイルス⁹が、全人類と世界経済を服従させ得ることをうそ偽りなく思い起こさせるものです。この現代の病の内に愛する人々を失った方々、また現在感染している方々のために祈ります。また、もちろんすばらしい医療を提供してくださっている方々のためにも祈ります。わたしたちがこの問題に打ち勝つとき—そのときにわたしたちが、飢えというウイルスが存在しない世界、貧困というウイルスから解放された地域や国家を目にするための同様の決意を持っていることができますように。生徒たちが銃撃におびえることなく教えを受けられる学校、また、いかなる形であれ、人種的、民族的、あるいは文化的偏見により損なわれることのない、神のあらゆる子供たちに対する個人の尊厳という賜物を待ち望んでいます。これらすべての基盤となっているのは、あらゆる戒めの中で最も大切な二つの戒めに対する献身の度合いを高めたいという絶えることなき希望、すなわち主の勧告を心に留めることにより神を愛し、また親切と思いやり、忍耐と赦しをもって隣人を愛することなのです。¹¹ これら二つの神による戒めは、今でも、ま



ブラジル、サンパウロ、タボアン・ダ・セーバ

たこれからもずっと、わたしたちが抱くたった一つの心からの希望です。すなわち、今知っているこの世界に比べてもっと良い世界を子供たちに伝えたいと望んでいるのです。¹²

こうした世界規模の願いに加えて、今日視聴してくださっている皆さんの多くが、きわめて個人的な希望を抱いています。結婚生活を改善したい、あるいは時にただ結婚したいという望み、依存症を克服したい、道をそれた子供に戻ってきてほしいという望み、あらゆる類の肉体的、情緒的苦痛がなくなるようにという望みです。回復により、神がこの世にあって働かれるという根本的な真理が再確認されました。ですから、わたしたちはまったく乗り越えられないように思える状況にあっても希望を抱くことができますし、また抱くべきなのです。それこそ、アブラハムが望み得ないのになお望むことができたという聖句の意味するところです。¹³ すなわち、アブラハムとサラは子供を授かるということがどうも不可能と思える状況であったのにそれを信じることができたということです。ですから、こうお尋ねします。「1820年に抱いたであろうわたしたちの希望の多くが、ニューヨーク州北部に位置する森の中、ひざまずくたった一人の少年にもたらされた神の光の輝きとともにかなえられ始めているとするなら、すべての希望の神が今なお驚くべき、奇跡的な方法で、義にかなった願いやキリストのような望みにこたえてくださるという希望を抱くべきでない理由は何でしょうか。」わたしたちは皆、義にかなって願う事柄がいつの日か、どうにか、何らかの方法でまだかなえられると信じる必要があるのです。

兄弟姉妹、わたしたちは19世紀初頭の宗教に欠けていたものの幾らかを理解しています。さらには、今なお飢えた人々をほうっておき、希望の一部を果たさないままに、今日における宗教の至らない部分についても多少は承知しています。こうした様々な不満により、一部の人々が伝統的なキリスト教団体から遠ざかっていることも知っています。わたしたちはそ



のほか、失望したあるライターがつづけているように、この減少傾向に対処するに当たり「[現代の] 宗教指導者の多くはお手上げ状態のように思える」ことを理解しています。世界がさらに多くを求める時代、若い世代がさらに多くを受けるにふさわしいこの時代にあつて、「セラピー理論という食欲のそそるぬ薄いかかゆに、価値なき表面上の現状改革主義、慎重に説かれる矛盾に満ちた信条、[また時には単に] 退屈で無意味な言葉」といった類のものを提供することで応じているのです。¹⁴ イエスの時代には、主がずっと多くのものを提供してくださいました。キリストの弟子として、現代に生きるわたしたちは、「われわれの骨は枯れ、われわれの望みは尽き」と嘆いた古代のイスラエル人の状態から抜け出すことができます。¹⁵ 実際のところ、わたしたちがいよいよ希望を失えば、自分が持てる究極の支えを失ってしまうことになるのです。ダンテはまさに地獄の門を越えようとしているすべての旅人に向けて、自身の詩、『神曲』においてこのように警告しています。「この門をくぐる者は、一切の希望を捨てよ。」¹⁶ 実に希望が尽きるとき、わたしたちのもとに残るのは、四方八方で勢いを増す地獄の炎なのです。

ですから、追い詰められ、賛美歌にあるように「慰めも助けなき」¹⁷ と思うとき、最も欠くことのできない徳の一つは、この希望という貴い賜物であり、希望はわたしたちが抱く神への信仰、また人々へ抱く慈愛と密接にかかわっています。

この200周年に当たり、与えられてきたあらゆるものを振り返り、非常に多くの希望がかなえられてきたことに気づいて喜ぶとき、わたしは数か月前、ヨハネスブルク

で出会った美しく若き帰還宣教師の姉妹と同じ思いを抱きます。彼女はわたしたちにこう言いました。「ここまで来たのは、ただここまで来るためではありません。」¹⁸

聖文に記されている中で最も胸を打つ別れの言葉の一つを置き換えて、預言者ニーファイと、先ほどの若き姉妹と口をそろえて述べたいと思います。

「わたしの愛する[兄弟姉妹]よ、わたしは尋ねたい。あなたがたが[回復によるこれら最初の実を受け取った]ならば、それですべて終わりであろうか。見よ、わたしはそうではないと言う。……

……あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、**完全な希望の輝きを持ち**、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。……[そうする]ならば、……御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」¹⁹

この最後の、最も偉大な神権時代、すなわちイエス・キリストの回復された福音が存在する神権時代に与えられてきた、すべてのものに感謝しています。この福音からもたらされる賜物と祝福は、わたしにとってのすべて、ほんとうに大切なものです。ですから天の御父にその感謝をささげようと努めるに当たり、わたしには「果たすべき約束があり、眠りに就く前に長い、長い道のりを行かねばならない」のです。²⁰ わたしたちが心に愛を抱き、「希望の輝き」²¹ の中を力強く進むことができますように。希望は、わたしたちが今や200年の間歩んできた、聖なる願いの道のりを照らしてくれます。わたしは過去と同じように、奇跡に満ちた、祝福あふれる未来が待ち受けていることを証します。わたしたちは、すでに受けてきたものにも増して大いなる祝福の数々を望むのに十



十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

分な根拠があります。なぜならば、これは全能の神の業であり、絶えざる啓示を受ける教会であり、限りなき恵みと慈善の福音だからです。これらすべての真理とそのほかの真理について、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. "The Essence of the Christian Religion," in *The Works of William E. Channing* (1888), 1004.
2. 2ニーファイ 26:24
3. ヨハネ 3:16 - 17 参照
4. モーセ 7:62
5. イザヤ 2:1 - 3; エゼキエル 37:26; ミカ 4:1 - 3; マラキ 3:1 参照
6. ヨハネ 14:2
7. 1コリント 15:29; 教義と聖約 128:15 - 17 参照
8. ヘブル 6:19; エテル 12:4 参照
9. See Na Zhu and others, "A Novel Coronavirus from Patients with Pneumonia in China, 2019," *New England Journal of Medicine*, Feb. 20, 2020, 727-33.
10. See "Examination and Description of Soil Profiles," in *Soil Survey Manual*, ed. C. Ditzler, K. Scheffe, and H. C. Monger (2017), nracs.usda.gov.
11. マタイ 22:36 - 40; マルコ 12:29 - 33 参照。レビ 19:18; 申命 6:1 - 6 も参照
12. エテル 12:4 参照
13. ローマ 4:18 参照
14. R. J. Snell, "Quiet Hope: A New Year's Resolution," *Public Discourse: The Journal of the Witherspoon Institute*, Dec. 31, 2019, thepublicdiscourse.com.
15. エゼキエル 37:11
16. 一般にはこのような言い回しで訳されることが多いが、より直訳的にすると次のようになる。「すべての希望を捨てよ、ここから入る者たちよ。」(Dante Alighieri, "The Vision of Hell," in *Divine Comedy*, trans. Henry Francis Cary [1892], canto III, line 9).
17. 「日は暮れ」『賛美歌』92 番
18. Judith Mahlangu (multistake conference near Johannesburg, South Africa, Nov. 10, 2019), in Sydney Walker, "Elder Holland Visits Southeast Africa during 'Remarkable Time of Growth,'" *Church News*, Nov. 27, 2019, thechurchnews.com.
19. 2ニーファイ 31:19 - 20, 強調付加
20. "Stopping by Woods on a Snowy Evening," lines 14-16, in *The Poetry of Robert Frost: The Collected Poems*, ed. Edward Connery Lathem (1969), 225.
21. 2ニーファイ 31:20

わたしの名のために この家を建てなさい

(教義と聖約 124:40)

神殿で受ける聖約と執行される儀式は、わたしたちの心を聖め、神の息子と娘が最終的に昇栄を得るために不可欠なのです。

200年前に聖なる森で、少年ジョセフ・スミスは、永遠の父なる神とその御子イエス・キリストにまみえて、言葉を交わしました。末日の「時満ちる神権時代」の到来を告げるこの崇高な示現により、¹ジョセフは、この御二方から、神会の属性と啓示が続くことを学びました。

およそ3年後、1823年9月21日の夜の熱烈な祈りへの答えとして、ジョセフの寝室は光で満たされ、ついには「真昼の時よりも明るく」になりました。²一人の方がベッドのそばに現れ、少年ジョセフの名を呼び、「自分は神の前から遣わされた使者であり、その名はモロナイであること」を告げました。³そして、モルモン書が世に出されることをジョセフに教えました。

それからモロナイは、旧約聖書のマラキ書から引用し、欽定訳聖書に書かれている言葉を少し変えてこう述べました。

「見よ、主の大いな

る恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤの手によってあなたがたに神権を現そう。

彼は先祖に与えられた約束を子孫の心に植え、子孫の心はその先祖に向かうであろう。そうでなければ、主の来臨の時に、全地はことごとく荒廃するであろう。」⁴

重要なことは、モロナイがジョセフ・スミスへ告げた、エリヤの使命に関する教えが、末日における神殿と家族歴史活動の始まりであり、「神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた」万物更新における一つの重要な要素で



アメリカ合衆国、アイダホ州レックスバーク

あったということです。⁵

末日聖徒イエス・キリスト教会の神殿で得られる聖約、儀式、ならびに祝福について共に学ぶ中で、聖霊の助けがあるよう祈っています。

エリヤの帰還

まず基本的なことを質問します。「エリヤが戻って来ることが、なぜ重要だったのでしょうか。」

わたしたちは、「エリヤがメルキゼデク神権の結び固めの力を持つ預言者であり」⁶ イエス・キリスト以前の時代にこの力を持っていた最後の預言者であったことを、末日の啓示から知っています。⁷

預言者ジョセフ・スミスはこう説明しています。「エリヤの霊と力と召しとは、……皆さんには……鍵を持つ力があるということです。それは、メルキゼデク神権……のすべてに関わるものです。それは、神の王国に属するすべての儀式を受け……るためのものであり、先祖の心を子孫に、先祖すなわち天にいる人々に子孫の心を向けるためのものです。」⁸

この神聖な結び固めの権能は、「あなたが地上でつなぐこと〔が〕、天でもつなわれ、あなたが地上で解くこと〔が〕天でも解かれる」ために必要です。⁹

ジョセフはさらにこう明らかにしました。「神はどのようにしてこの時代の人々を救い出されるのでしょうか。神は預言者エリヤを遣わされるでしょう。……エリヤは先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に結び固めるための聖約を明らかにするでしょう。」¹⁰

エリヤは変貌の山にモーセとともに現れ、ペテロとヤコブとヨハネにこの権能を授けました。¹¹ 1836年4月3日にもモーセやエライアスとともにカートランド神殿に現れ、その同じ神権の鍵をジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに授けました。¹²

エリヤが結び固めの権能を1836年に回復したことは、世界を救い主の再臨に備えるために必要で、それにより家族歴史の探求に対する関心が世界中で非常に高まりました。



「神権の結び固めの力の鍵を回復するエリヤ」ロバート・T・パレット画

心を変え、方向づけ、清める

「心」という言葉は、標準聖典の中で1,000回以上使われています。この簡潔かつ重要な言葉は、しばしば個人の内なる感情を表します。願望や愛情、意志、動機、考え方、これらの総称とも言えるわたしたちの心は、自分が何者であることを定義づけ、どのような者になるかを定めます。そして、主の御業の本質は、福音の聖約と神権の儀式によって心を変え、方向づけ、清めることなのです。

心に残る個人や家族の経験を得るためだけに聖なる神殿を築き、参入するものではありません。そうではなく、神殿で受ける聖約と執行される儀式は、わたしたちの心を聖め、神の息子と娘が最終的に昇栄を得るために不可欠なのです。

先祖—さらに言えば、アブラハム、イサク、ヤコブ—に与えられた約束を子孫の心に植えること、子孫の心を先祖に向かわせること、家族歴史の探求を行うこと、代理の神殿儀式を執行すること、これらの働きは、幕の両側にいる人々に祝福をもたらします。わたしたちがこの神聖な業に熱心に携わるとき、神と隣人を愛して彼

らに仕えるようにという戒めに従っていることとなります。¹³ このような無私の奉仕は、わたしたちが、「彼に聞きなさい」¹⁴ 救い主のもとにきなさい¹⁵ という指示に誠実に従うための助けとなります。

最も神聖な聖約と神権の儀式は、神殿—主の宮—でのみ受けることができるのです。神殿で学ぶことと、神殿で行われるすべてのことは、イエス・キリストの神性と、天の御父の偉大な幸福の計画におけるイエス・キリストの役割を強調しています。

心の内側から外側に向けて

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、贖い主が「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」¹⁶ ために用いられる重要なパターンについて次のように述べています。「主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが、この世は外側から内側に向けて働きかけます。この世は貧民街から人々を連れ出そうとしますが、キリストは人々から悪や汚れを取り去り、自分自身で貧民街から抜け出られるようにされます。この世は環境を変えることによって人間



を形成しようとしませんが、キリストは人々を変え、それによって彼らが自らの手で環境を変えられるようになります。この世は人の行動を変えようとしませんが、キリストは人の性質を変えることがおできになるのです。」¹⁷

聖約と神権の儀式は、継続的な霊的再生と改心のプロセスの中心をなすもので、心の内側から外側に向けて主が一人一人に働きかけられる手段です。聖約を確固として尊び、常に心に留め、「生ける神の霊によって……心の板に」書き記すことにより、¹⁸ 目的を持ち、現世と永遠の世で祝福を受ける確信を得られます。ふさわしい状態で儀式を受け、それを絶えず心に留めることで、天の窓が開かれ、神性の力がわたしたちの生活に注がれるのです。

わたしたちは世の悪から身を隠し、逃避するために神殿に参入するものではありません。そうではなく、悪の世に打ち勝つために神殿に参入するのです。神権の儀式を受け、神聖な聖約を交わして守ることによって、自分の生活の中に「神性の力」を招くとき、¹⁹ 自分が持つ以上の力を天より受けて、²⁰ 死すべき世の様々な誘惑と問題に打ち勝ち、善を行って善い人になることができます。

この家の名声は広まる

この神権時代の最初の神殿は、オハイオ州カートランドに建設され、1836年3月27日に奉獻されました。

奉獻から1週間後に、預言者ジョセフ・スミスへの啓示の中で、主はこう宣言されました。

「わたしのすべての民の心を喜ばせなさい。彼らは力を尽くしてわたしの名のためにこの家を建てた人々である。……

まことに、幾千幾万の人の心が、注がれる数々の祝福と、この家で僕たちに授けられるエンダウメントのゆえに、大いに喜ぶであろう。

そして、この家の名声は諸外国に広まるであろう。これはわたしの民の頭に注がれる祝福の初めである。」²¹

どうか、幾千幾万の人の心が……大いに喜ぶという言葉と、この家の名声は諸外国に広まるという言葉に注目してください。これは、教会員がほんの少数で、神殿が一つだけだった1836年4月における驚くべき宣言です。

2020年の今日、稼働中の神殿は168あります。ほかに49の神殿が、建設中または発表済みです。主の宮が、「海の島々」に、²² またかつて神殿は認められそうにないと多くの人から思われていた国や場所に建設されつつあります。

エンダウメントの儀式は、現在88の言語で行われており、より多くの神の子供たちを祝福するために神殿が建てられるのに応じて、さらに多くの言語で行われるようになるでしょう。これから先の15年で、神殿儀式が行われる言語の数は、恐らく倍になるでしょう。

今年は、18の神殿で鋳入れ式が行われ、建設が開始されます。一方、最初の18の神殿が建つには、150年かかりました。1830年の教会の設立から、1980年のスペンサー・W・キンボール大管長による日本東京神殿の奉獻までの期間

です。

ラッセル・M・ネルソン大管長の生涯における神殿活動の急速な進展を見てみましょう。ネルソン大管長が1924年9月9日に生まれたとき、教会には稼働中の神殿が6つありました。

60年後、1984年4月7日に使徒に聖任されたとき、26の神殿が稼働中でした。60年間で神殿が20増えました。

ネルソン大管長が大管長として支持されたとき、159の神殿が稼働中で、十二使徒定員会会員を務めた34年間に133の神殿が増えました。

ネルソン大管長は、2018年1月14日に教会の大管長になって以来、35の新しい神殿の発表をしました。

現在ある神殿の96パーセントが、ネルソン大管長の生涯に奉獻され、その内の84%は使徒に聖任されてから奉獻されました。

最も重要なことに常に焦点を当てる

主の回復された教会の会員であるわたしたちは、末日における主の御業が加速しながら進み続けていることにただ驚くばかりです。そして、さらに多くの神殿が建つでしょう。

ブリガム・ヤング大管長はこう預言しました。「この業を成し遂げるには、たった一つの神殿だけではなく、何千という神殿が必要になります。そして、何千、何万という人々が、主が示して下さるところまでさかのぼり、かつて生きていた人々のために神殿に参入し、儀式を受けるようになります。」²³

当然のことながら、新しい神殿の発表の一つ一つが大きな喜びであり、主に感謝すべきことです。しかし、最も焦点を当てるべき対象は、聖約と儀式です。それによって、心を変え、救い主への献身を深めることができます。建物の場所や美しさだけではないのです。

主の回復された教会の会員として、わたしたちが負っている基本的な義務は、(1)「彼に聞き」、²⁴ 聖約と儀式によって心を変えること、また(2)幕の両側の全人類に神殿の祝福を提供するという神から託さ

れた責任を喜んで果たすことです。主からの指示と助けを受けて、実際にこれらの神聖な務めを果たすのです。

シオンを築き上げる

預言者ジョセフ・スミスはこう断言しました。

『シオンを築き上げることは、あらゆる時代の神の民が関心を寄せてきた大義であり、預言者たち、祭司たち、王たちが、特別な喜びをもって語ってきたテーマです。彼らはわたしたちが生きている時代を、喜びに満ちた期待をもって待ち望み、すばらしい喜びに満ちた期待に胸を高鳴らせながら、このわたしたちの時代について歌い、書き記し、預言しました。しかし彼らはわたしたちの時代の出来事を見ることなく世を去って行きました。わたしたちは……末日の栄光を見て、それに加わり、その前進に貢献するという務めを任されているのです。』²⁵

これらの偉大な目的を達するために、天の神権者たちと地上の神権者たちは一つになるでしょう……神と天使たちが幾多の世代にわたって喜びを込めて思いをはせてきた業、昔の族長たちや預言者たちの心を燃え立たせた業、暗闇の力を減ぼし、地球を更新し、神の栄光と人類家族の救いを回復する業です。』²⁶

わたしは厳粛に証します。御父と御子はジョセフ・スミスに御姿を現され、エリヤは結び固めの権能を回復しました。わたしたちが「彼に聞き」、²⁷自分の生活の中で神性の力を受けるときに、神聖な神殿の聖約と儀式はわたしたちを強め、心を清めます。わたしは証します。この末日の業は、闇の力を減ぼし、人類家族の救いをもたらします。これらの真理を、喜びをもって主イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■



注

1. エペソ 1:10
2. ジョセフ・スミス—歴史 1:30
3. ジョセフ・スミス—歴史 1:33
4. ジョセフ・スミス—歴史 1:38 - 39
5. 使徒 3:21
6. Bible Dictionary, "Elijah."
7. 『聖句ガイド』「エリヤ」の項
8. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 311, 強調付加
9. マタイ 16:19。マタイ 18:18; ヒラマン 10:7; 教義と聖約 124:93; 132:46 も参照
10. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 313
11. マタイ 17:3 参照
12. 教義と聖約 110:13 - 16 参照
13. マタイ 22:34 - 40 参照
14. ジョセフ・スミス—歴史 1:17
15. オムナイ 1:26; モロナイ 10:30, 32 参照
16. モーセ 1:39
17. エズラ・タフト・ベンソン「神によって生まれる」『聖徒の道』1985年10月号, 6
18. 2コリント 3:3
19. 教義と聖約 84:20 - 21 参照
20. 「われ主を愛して」『賛美歌』134 番参照
21. 教義と聖約 110:6, 9 - 10
22. 2ニーファイ 29:7
23. 『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』, 310
24. ジョセフ・スミス—歴史 1:17
25. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 186
26. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 514 - 515
27. ジョセフ・スミス—歴史 1:17



末日聖徒イエス・キリスト教会 大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

彼に聞きなさい

わたしたちが不安と恐怖に取り囲まれるとき、その大半の人に助けとなるのが御子に聞くことだと、御父は御存じです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、テクノロジーを利用して、この日曜の朝に、ともに集って礼拝できることを心から感謝しています。イエス・キリストの福音が地上に回復されたのを知っているということは、何という祝福でしょう。

この数週間、わたしたちのほとんどが個人の生活の中で混乱を経験しました。地震、火災、洪水、疫病、またそれらの影響が、日常生活を混乱させ、食料品や生活必需品、預貯金の不足を引き起こしました。

こうしたあらゆる状況の中で、総大会とともに参加し、この混乱のときに主の言葉を聞くことを選んでいる皆さんを、わたしは称賛し、皆さんに感謝します。苦難に伴う暗闇が深まると、イエス・キリストの光がさらに明るく輝きます。世界的な大混乱の今、一人一人が行うのが望ましいことについて考えてみましょう。救い主に対する皆さんの愛と信仰は、ほかの人がイエス・キリストの完全な福音の回復について知るのに、とてもよいきっかけを与えるかもしれません。

これまでの2年間、ネルソン姉妹とわたしは、世界の方々と大勢の人に会ってきました。戸外の会場やホテルのホールで皆さんに会いました。それぞれの場所で、わたしは、自分が主の選民の前におり、イスラエルの集合が目の前で起こっているのを目にしていると感じました。

わたしたちは「先祖が切なる期待を

もって待ち望んできた」時代に生活しています。¹ わたしたちは最前列の席で、預言者ニーファイが示現だけで見た出来事を生で目撃しているのです。ニーファイはこう述べています。「神の小羊の力」は「地の全面に散っている……主の聖約の民のうえに下る……。彼らは義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装していた。」²

皆さん、兄弟姉妹の皆さんは、ニーファイが見たその男女子供たちの中にいるのです。そのことを考えてみてください。

あなたがどこに住んでいるか、どのような状況にあるかにかかわらず、主イエス・キリストはあなたの救い主です。そして、神の預言者ジョセフ・スミスはあなたの預言者です。彼はこの最後の神権時代の預言者になるように、この地の基が据えられる前に予任されました。聖徒から「何事も隠されることのない」神権時代です。³ 回復が進行しているこの過程の中で、啓示が主から与えられ続けています。

イエス・キリストの福音が地上に回復されたことは、あなたにとってどのような意味があるのでしょうか。

それは、あなたと家族が永遠の結び固めを受けることができるということです。それは、イエス・キリストからの権能を持っている人によってバプテスマを受け、主の教会の会員として確認されたので、常に聖霊を伴侶とすることができるということです。聖霊が導き、守ってくださいます。それは、慰めを得られない状態や、神の力による助けを得るすべのないままにされることはないということです。それは、必須の儀式を受け、神と聖約を交わして聖約を守るときに、神権の力により祝福を得られるということです。これらの真理は、わたしたちの心にとっての錨なので



アメリカ合衆国、ニューヨーク州ニューヨークシティ

す。暴風雨が荒れ狂っているこの時期には、特にそうです。

モルモン書には、昔の二つの主要な文明の繁栄と滅亡が記録されています。その歴史が示しているように、民の大多数はたやすく神を忘れ、主の預言者の警告を拒絶し、権力と人気と肉体的な快樂を求めます。⁴ 過去の預言者たちは、繰り返し、「数々の大いなる驚くべきことを民に」宣言しましたが、彼らは「それらのことを……信じ」ませんでした。⁵

現代もそれはまったく変わりません。長年、世界各地の奉献された説教台から数々の大いなる驚くべきことが語られてきました。しかし、ほとんどの人がこれらの真理を受け入れません。—なぜなら、真理を探す場所を知らないためか、⁶ 真理のすべては持っていない人の話を聴いているためか、世俗的なことを求めて真理を受け入れてこなかったためです。

サタンは巧妙です。何千年の間、善を悪に見えるようにし、悪を善に見えるようにしてきました。⁷ サタンのメッセージは、けたたましく、派手で、誇らしげです。

しかし、天の御父からのメッセージはまったく違います。御父は簡潔に、静かに、わたしたちが誤解しようのないように驚くほど分かりやすく伝えてくださいます。⁸

例えば、御父は独り子をこの世の人に紹介されるときはいつでも、ごく短い言葉でそれを行われました。変貌の山で、ペテロとヤコブとヨハネに、「これはわたしの愛する子である。これに聞け」と言われました。⁹ 古代のパウンティフルでのニーファイ人への御言葉はこうです。「わたしの愛する子を見なさい。わたしの心にかなう者である。わたしは彼によって、わたしの名に栄光を加えた。彼に聞きなさい。」¹⁰ また、この神権時代が開かれるに至った深遠な宣言では、ジョセフ・スミスにこう簡潔に述べられました。「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい。」¹¹

さて、愛する兄弟姉妹の皆さん、今述べたこの3つの出来事では、御父が御子を紹介される直前に、その場にいた人たちは、恐れとある程度まで切羽詰まった状態にあったという事実を考えてみてください。



「西半球に御姿を現されたキリスト」アーノルド・フリーバーグ画

使徒たちは変貌の山で雲に囲まれたイエス・キリストを目にしたときに、恐れしました。ニーファイ人は、数日間の破壊と暗闇を経験していたので、恐れしました。

ジョセフ・スミスは、天が開かれる直前に闇の力に捕らえられていました。

わたしたちが不安と恐怖に取り囲まれるとき、最も助けとなるのが御子に聞くことだと、御父は御存じです。

御子に聞こう—心から聞こう—とするときに、どのような状況でも行うべきことを知るように導かれるからです。

教義と聖約の冒頭の言葉は「**聴きなさい**」です。¹² 従う意図をもって耳を傾けることを意味します。¹³ 聴くことは、「御子に聞く」こと、すなわち、救い主の言われることを**聞き**、その後、救い主の勧告を心に留めることを意味します。「彼に聞きなさい」という言葉で、神は、現世における成功と幸せと喜びの規範を与えておられます。わたしたちは主の言葉を**聞き**、それらに**耳を傾け**、主から告げられた事柄を

心に留めなければなりません。

イエス・キリストの弟子となるよう努めるとき、**主の声を聞く**ことができるように、これまで以上に意識的に努力する必要があります。日々の生活を主の言葉と教えと真理で満たすために、意識して絶えず努力することが必要です。

ソーシャルメディアで偶然目にした情報を信頼することはできないのです。オンライン上のおびただしい数の言葉や、サタンの騒々しい悪辣な働きに侵されている商取引中心の世界で、わたしたちはどこへ行けば主にお聞きできるのでしょうか。

聖典に行くことができます。聖典は、イエス・キリストとその福音、主の贖罪の重要性、御父の幸福と贖いの偉大な計画について教えています。毎日神の言葉に浸ることが、この増大する混乱の日々に、特に靈的に生き延びるためにきわめて重要です。わたしたちが毎日キリストの言葉をよく味わうとき、キリストの言葉は、自分が直面するとは思ひもしなかった困難に

対処する方法をわたしたちに告げます。

また、わたしたちは神殿でも主にお聞きすることができます。主の宮は学びの家です。そこで、主は御自身の方法で教えられます。そこで、それぞれの儀式により救い主について教えられます。そこで、わたしたちは、とばりを分けてもっとはっきりと天と交流する方法を学びます。そこで、サタンを叱責し、主の神権の力を用いて自分と自分の愛する人々を強める方法を学びます。わたしたちはそれぞれ、どれほど熱心にそこを避け所とすべきでしょうか。

この一時的な新型コロナウイルス感染症による制限が解除されたら、どうか、定期的にスケジュールを組んで、神殿で礼拝し奉仕するようにしてください。そのときのひと時ひと時が、ほかでは決してできない方法であなたと家族に祝福をもたらすことでしょ。そこにいるときに聞き、感じる事柄について、時間を取って深く考えてみてください。あなたの生活と、あなたが愛し仕える人々の生活に祝福をもたらすために、天を開く方法を教えてください。よう主に求めてください。

神殿で礼拝することは現在できませんが、その間に、家族歴史の探求と索引作成など家族歴史に携わる機会を増やすよう、お勧めします。わたしは約束します。あなたが神殿と家族歴史活動にかかる時間を増やすときに、主の声を聞く能力は増して強化されます。

また、聖霊のささやきに気づく能力に磨きをかけるとき、もっと明瞭に主の声を聞くことになります。今は、かつてなく、御霊がどのように語りかけるかを知る必要のある時です。聖霊は神会における使者です。聖霊は、御父と御子があなたに伝えたいと思っておられる考えをあなたの思いに伝えてくださいます。聖霊は慰め主です。あなたの心に安らかな気持ちを与えてくださいます。あなたが主の言葉を聞き、読むとき、聖霊は真理について証し、真実である事柄を確認させていただきます。

改めて皆さんをお願いします。個人の啓示を受ける霊的な能力を増すために必要なことを何でも行ってください。

それを行うことは、人生で成長する方法や、危機の際になすべきこと、誘惑やサタンの欺きを識別して避ける方法を知るのに役立つでしょう。

そして最後に、預言者、聖見者、啓示者の言葉を心に留めるとき、わたしたちは主の声を聞いていることになります。聖任されたイエス・キリストの使徒たちは、常に主について証します。わたしたちが現世の経験の痛ましい迷路を通り抜けるに当たって、使徒たちはその順路を示します。

救い主が述べられたことや、預言者を通して今語っておられることを、皆さんがもっと意識的に聞き、耳を傾け、心に留めるときに、どのようなことが起こるでしょうか。わたしは約束します。誘惑や困難や弱さに対処する力を祝福として加えられるでしょう。わたしは約束します。あなたの結婚生活、家族との関係、日々の働きに奇跡があるでしょう。わたしは約束します。たとえ人生で混乱が増しても、喜びを感じる能力が増すでしょう。

この2020年4月の総大会は、この世を変えた出来事を記念すべきものです。

ジョセフ・スミスが受けた最初の示現から200周年を迎えるに当たり、わたしたち大管長会と十二使徒評議会は、この比類ない出来事を適切に記念するために何ができるかよく検討しました。

神が現れてからイエス・キリストの福音の回復が始まり、時満ちる神権時代が到来したのです。

わたしたちは記念碑を建てるべきかどうか考えました。しかし、その比類ない最初の示現の歴史的、国際的影響を考慮したときに、言葉を「石の板」に刻むのではなく、厳粛かつ神聖な宣言という形で、「心の板」に刻み込むことのできる言葉の記念碑を設けるよう強い促しを感じたのです。¹⁴

教会が組織されてから発表された宣言は、5つだけであり、前回の宣言は、1995年にゴードン・B・ヒンクレー大管長によって発表された「家族—世界への宣言」でした。

さて、世界の歴史におけるこの時期の重要さと、イエス・キリストの再臨に備えてイスラエルを集合させるようにとの主から課せられた務めについて深く考え、わた



したち大管長会と十二使徒評議会は、2020年4月、「イエス・キリストの完全な福音の回復—200周年の世界への宣言」と題した次の宣言を発表します。この宣言は末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会および十二使徒評議会により作成されました。今日のためにジョセフ・スミスが天父と御子に最初にまみえた聖なる森においてこの宣言を録画しました。

「わたしたちは厳粛に宣言します。神は世界のすべての国にいる御自分の子供たちを愛しておられます。父なる神は、愛する御子イエス・キリストの降誕と、その比類ない生涯と無限の贖いの犠牲を、わたしたちのために備えてくださいました。御父の力によって、イエスはよみがえり、死に対して勝利を得られました。イエスはわたしたちの救い主であり、模範であり、贖い主です。

200年前、1820年の美しい春の朝に、少年ジョセフ・スミスは、どの教会に加わるべきか知りたいたいと思い、アメリカ合衆国ニューヨーク州北部の自宅近くの森へ行き、祈りました。自分の魂の救いについて尋ねたいことがあり、神が導いてくださると信じていたのです。

わたしたちは、父なる神とその御子イエス・キリストが、ジョセフ・スミスの祈りにこたえて彼に御姿を現し、聖書で予告されているように『万物更新』を開始されたことをへりくだり宣言します（使徒行伝3章21節）。この示現によって、ジョセフは、新約聖書の時代にあったキリストの教会が最初の使徒たちの死後に地上から失われたことを知りました。ジョセフは、その回復に貢献する者となるのです。

御父と御子の指示の下、天の使者がジョセフを訪れ、イエス・キリストの教会を再び設立するために指示を与えたことを、わたしたちは断言します。復活したバプテスマのヨハネが、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマを施す権能を回復しました。さらに、最初の12人の使徒のうちの3人、ペテロ、ヤコブ、ヨハネが、使徒職と神権の権能の鍵を回復しました。そのほかに訪れた使者の中には、死を超えて永続する関係を持てるよう家族を一つにつなぐ権能



アメリカ合衆国、ユタ州エルクリッジ

を回復したエリヤもいました。

さらにわたしたちは、古代の記録である『モルモン書—イエス・キリストについてのもう一つの証』を翻訳するために、ジョセフ・スミスに神の賜物と力が与えられたことを証します。この神聖な書物には、復活後間もないイエス・キリストが西半球の民の間で親しく務めを果たされたことについても記されています。またこの聖典は、人生の目的を教え、その目的の中核を成すキリストの教義を説明しています。聖書と対を成す聖典として、モルモン書は、すべての人が愛にあふれた天の御父の息子や娘であること、御父がわたしたちの人生について神聖な計画をお持ちであること、そして御子イエス・キリストが昔と同様に今日も語りかけておられることを証しています。

わたしたちは宣言します。1830年4月6日に組織された末日聖徒イエス・キリスト教会は、新約聖書の時代にあったキリストの教会が回復されたものです。この教会は、隅のかしら石であるイエス・キリストの完全な生涯と、主の無限の贖罪と文字どおりの復活をその基盤としています。イエス・キリストは再び使徒たちを召して、神権の権能を与えられました。そして、御自分のもとに来て、御自分の教会を訪れ、聖霊と救いの儀式を受け、永続する喜びを得るよう、わたしたち全員を招いておられます。

父なる神と愛する御子イエス・キリストによってこの回復が始まってから、現在200年が経過しました。世界中で何百万もの人が、これらの預言されていた出来事を知り、受け入れてきました。

わたしたちは喜んで宣言します。約束された回復は、絶えざる啓示によって進められていきます。神が「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ」られるので（エペソ人への手紙1章10節）、地は決して再び前の状態に戻ることはありません。

敬虔の念と感謝をもって、わたしたちは主の使徒として、天が開かれていることを—わたしたちと同じように—知ってくださるよう、すべての人にお勧めします。わたしたちは、神が御自分の愛する息子たちや娘たちに対する御心を明らかにしておられると断言します。祈りをもって回復のメッセージを研究し、信仰により行動する人には、回復が神の御心であり、その目的がわたしたちの救い主である主イエス・キリストの約束された再臨のために世を備えることにあるとの確信が授けられることを証します。」¹⁵

愛する兄弟姉妹、これがイエス・キリストの福音の完全な回復200周年におけるわたしたちの世界への宣言です。12の言語に翻訳されています。他の言語はすぐに続くでしょう。教会のウェブサイトからすぐに入手することができます。個人的に、また家族や友人と研究してください。

ホサナ斉唱

末日聖徒イエス・キリスト教会 大管長

ラッセル・M・ネルソン大管長による指揮

真実について思い巡らし、主に聞き、耳を傾け、それに付随する戒めや聖約に従うことであなたの人生に及ぶ影響について考えてください。

ジョセフ・スミスは予任された預言者で、この最後の神権時代を開始するように主から選ばれた人であることを、わたしは知っています。彼によって、主の教会は地上に回復されました。ジョセフは自分の血で証を結び固めました。わたしは心から彼を愛しており、たたえます。

神は生きておられます。イエスはキリストです。主の教会は回復されました。主とその御父、わたしたちの天の御父はわたしたちを見守っておられます。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 121:27
2. 1ニーファイ 14:14
3. 教義と聖約 121:28
4. 1ニーファイ 22:23 参照
5. エテル 12:5
6. 教義と聖約 123:12 参照
7. イザヤ 5:20; 2ニーファイ 15:20 参照
8. 2ニーファイ 25:4; アルマ 5:43 参照
9. マルコ 9:7; ルカ 9:35
10. 3ニーファイ 11:7
11. ジョセフ・スミス—歴史 1:17
12. 教義と聖約 1:1 参照
13. 欽定訳旧約聖書の中の“hearken”のヘブライ語は“shama”(字訳)で、この言葉は「従う意図をもって耳を傾ける」ことを意味する強変化動詞である。“hearken”は聖典に繰り返し出てくる言葉で、教義と聖約では40の章に見られる〔訳注—“hearken”は日本語訳教義と聖約では「聴く」「耳を傾ける」と訳出されている〕。
14. 2コリント 3:3 参照
15. この翻訳は暫定的なものです。宣言の公式翻訳は、今後数か月以内に利用可能になります。

さて、愛する兄弟姉妹の皆さん、御父と御子についてのジョセフ・スミスの最初の示現を記念するに当たって、わたしたちはホサナ斉唱を行うことで喜びを共有するのがふさわしいと思います。

この神聖な斉唱がこの神権時代で初めて行われたのは、1836年3月27日、カートランド神殿の奉献のときでした。現在は、各神殿の奉献の際に行われます。これは御父と御子への神聖な賛辞で、救い主がエルサレムに勝利の入城をされたときの群衆の対応を象徴しています。また、少年ジョセフが聖なる森でその日に経験したことを再確認するものでもあります。—すなわち、御父と御子は栄光ある御二方であり、わたしたちはその御二方を礼拝し、たたえるのです。



アメリカ合衆国、ユタ州バウンティフル

これから、ホサナ斉唱を行う方法について説明します。わたしが行うときに、メディアの方々は、尊厳と敬意をもってこの非常に神聖な慣例に対応してください。

参加する人はそれぞれ、白いハンカチの片すみを持って、ハンカチを振りながら、声をそろえてこう言います。「ホサナ、ホサナ、ホサナ、神と小羊に。」3度繰り返した後、こう言います。「アーメン、アーメン、アーメン。」白いハンカチを持っていなければ、手を振るだけで結構です。

兄弟姉妹の皆さん、それでは立ち上がって、ホサナ斉唱に参加してください。その後、ホサナ賛歌と「主のみたまは火のごと燃え」¹を歌います。

指揮者の合図に従って、一緒に「主のみたまは火のごと燃え」を歌ってください。

ホサナ、ホサナ 神と小羊に
ホサナ、ホサナ 神と小羊に
ホサナ、ホサナ 神と小羊に
アーメン、アーメン、アーメン。■

注

1. 「賛美歌」3番



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

偉大な計画

神の計画を知っており、それに携わる聖約を交わしているわたしたちには、これらの真理を教えるという明確な責任があります。

まれに見る試練と問題のさなかにあっても、わたしたちは実に祝福されています。この総大会を通して、イエス・キリストの福音の回復という財産とその喜びが豊かに注がれています。わたしたちは、回復の幕開けとなった御父と御子の示現を喜んでいます。また、イエス・キリストとその教義を証することをおもな目的とするモルモン書が世に出た奇跡に思いをはせています。預言者と各個人に実際に啓示が与えられることに、改めて喜びを感じています。わたしたちは、イエス・キリストの無限の贖罪と、主の文字どおりの復活に対する貴い証を聞きました。また、ジョセフ・スミスに明らかにされた完全な主の福音のほかの真理についても学びました。新たに預言者として召されたジョセフに、父なる神はこう宣言されました。「こ

れはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい。」(ジョセフ・スミス—歴史1:17)。

わたしたちは、神権とその鍵の回復について、知識の再確認をしました。また、主の回復された教会を、末日聖徒イエス・キリスト教会という正しい名称で知ってもらうという決意を新たにしました。そして、破壊的な世界規模のパンデミックの現在および将来の影響を最小限にとどめるために、ともに断食して祈るようという依頼を受けました。今朝、わたしたちは主の生ける預言者から発せられた、回復についての歴史的な宣言から靈感を受けました。わたしたちは次の宣言を支持します。「祈りをもって回復のメッセージを研究し、信仰により行動する人には、回復が神の御心であり、その目的がわたしたちの救い主である主イエス・キリストの約束された再臨のために世を備えることにあるとの確信が授けられることを証します。」¹



アメリカ合衆国、ユタ州プロボ

が昇栄し、神のようになれることを目的とする神の計画の一部です。聖典の中で「偉大な幸福の計画」「贖いの計画」「救いの計画」と呼ばれ(アルマ42:8, 11, 5)、回復の過程で明らかにされたこの計画は、天上の大会議で始まりました。霊であったわたしたちは、天の両親が享受しておられた永遠の命を手に入れることを望みました。わたしたちは、肉体を得て現世で暮らすという経験はしていない中、その時点でできるかぎりの進歩を遂げていました。父なる神はその経験をさせるために、この地球の創造を計画されました。計画に組み込まれているこの現世の生涯で、わたしたちは霊的な成長に必要な逆境を経験する中で、罪を犯して汚れることとなります。また、肉体の死も及びます。わたしたちを死と罪から救うため、天の御父の計画では救い主が遣わされました。主の復活によってすべての人が死から贖われ、主の贖いの犠牲によってすべての人が、進歩を促す一定の条件の下に罪から清められるのです。このイエス・キリストの贖罪は、御父の計画の中心です。

天上の大会議で、すべての神の霊の子供たちに御父の計画が紹介されました。現世の生活の結果や試練、天の助けと栄えある行く末についても知らされました。わたしたちは、初めから終わりまで見ました。この地上に生を受けてきた無数の人々は、御父の計画を選び、続いて起こった天上の戦いでそのために戦いました。また、多くの人は、この世で行う事柄について御父と聖約も交わしました。まだ明らかにされてはいませんが、前世でのわたしたちの行動は、現世で置かれる状況に影響を与えています。

現世と霊界

これから、御父の計画の主要な要素を、幾つか簡単に説明します。それらは、現世の旅路でも、その後の霊界でもわたしたちに影響を与えるからです。

計画

これらはすべて、神の子供たち



現世の生涯と、それに続く次の世での成長の目的は、神の子供たちが神のようになることです。これは、天の御父が御自分のすべての子供たちに望んでおられることです。この喜びに満ちた行く末に到達するため、永遠の律法によると、わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通じて清められた者にならなければ、御父と御子の御前で暮らし、昇栄の祝福を享受することはできません。モルモン書が教えているとおりです。「主は、御自分のもとに来て主の慈しみにあずかるように、すべての人を招かれる。したがって主は、黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も、主のもとに来る者を決して拒めない。主は異教徒さえも心にかけてくれる。ユダヤ人も異邦人も、すべての人が神にとって等しい存在なのである。」(2ニーファイ 26 : 33。アルマ 5 : 49 も参照)

わたしたちを本来なるべき者にするために作られた神の計画で、わたしたちは、神の戒めと計画に反する行動をとるよう人を誘惑する悪を拒むことを選ばなければ

なりません。また、この計画ではその他の不利な状況に置かれることも余儀なくされるため、ほかの人の罪の結果を被ったり、欠陥を持って生まれたりすることがあります。必要な成長を遂げるためには心地よい環境や穏やかな生活よりも、苦労や逆境がある方がいい場合があるのです。それに、もしわたしたちが神の介入により現世のあらゆる不条理な結果を免れるならば、この現世に起こり得る逆境がその永遠の目的を達することは、決してありません。

この計画は、わたしたちの永遠の行く末や、現世の旅路の目的と条件、受けることになる天の助けを明らかにしています。神の戒めは、わたしたちが危険な状況に陥らないようにするための警告です。また、靈感を受けた指導者の教えは、わたしたちの行く手を導く指針であり、永遠の旅路を自信をもって進むための助けになります。

神の計画には、現世の旅路の助けとなる、非常に確かな4つの事柄があります。

この4つはすべて、この計画の中心であるイエス・キリストの贖罪を通して与えられます。**第1**の確かな事柄は、わたしたちが悔い改める罪のために主が苦しまれたことにより、わたしたちは罪から清められる、ということです。このようにして清められると、慈悲深い最後の裁き主は「もうそれを思い起こさ [れません]。」「(教義と聖約 58 : 42)

第2に、救い主は贖罪の中で、ほかのすべての人としての弱さを引き受けてくださいました。このおかげでわたしたちは、免れることのできない現世の重荷、戦争や疫病などから来る個人的および一般的な重荷に耐えられるよう、神の助けと強さが与えられます。モルモン書は、この重要な贖罪の力について最も明確に述べている聖典です。救い主は、「御自分の民の苦痛と病 [と弱さ] を」御自身に受けられました。また、「肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられ」ます (アルマ 7 : 11 - 12)。

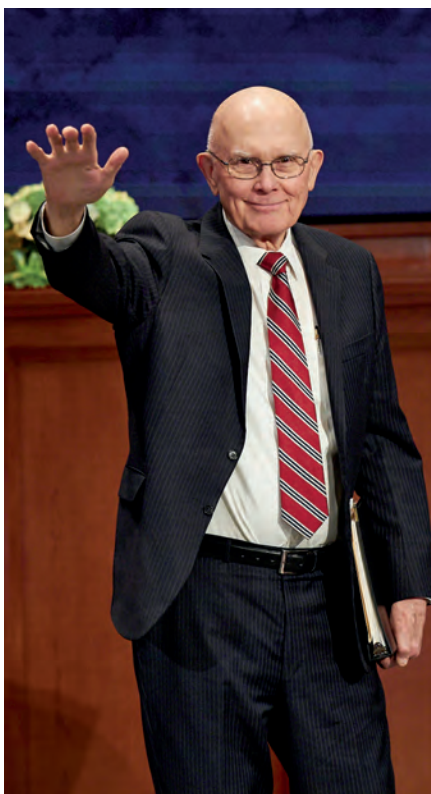
第3に、救い主はその無限の贖罪を通して、すべてを終わらせる死を無効にし、すべての人は復活するという、喜びに満ちた確信を与えてくださっています。モルモン書はこう教えています。「この復活は、老いた人にも若い人にも、束縛された人にも自由な人にも、男にも女にも、悪人にも義人にも、すべての人に与えられる。そして、髪の毛一筋さえも失われることはなく、すべてのものが……その完全な造りに……回復される。」(アルマ 11 : 44)

わたしたちはこの復活祭の季節に、復活が実際に起こったという事実を祝います。この事実を知ると物の見方が変わって力が湧きます。そして、先天的または後天的に受ける肉体的、精神的、情緒的障害など、自分や愛する者のだれもが現世で経験する試練に耐えることができるよ

うになります。復活があるのならばそのような障害はほんの一時的なものだということが分かるからです。

回復された福音は、復活することにより家族とともに暮らす機会が与えられると断言しています。つまり、夫や妻、子供、親とともに暮らすことができるのです。これは、現世で家族としての責任を果たすうえで大きな励みになります。それは、次の世での喜びの再会と交わりを楽しみにしながら、この世でもともに愛をもって生活することができるようになるからです。

第4に、現代の啓示は、現世の終わりとともに進歩が終わる必要はないと教えています。この重要な事柄については、多くのことが明らかにされていません。わたしたちは、この世の生涯は、神にお会いする用意をする時期であり、悔い改めを引き延ばすべきではないと言われています(アルマ 34:32 - 33 参照)。それでも、わたし



たちが教えられていることによれば、福音は「悪人や真理を拒んだ不従順な者」にも霊界で宣べ伝えられ(教義と聖約 138:29)、そ

こで教えを受けた人々は、最後の裁きに先立って悔い改めることができます(31 - 34, 57 - 59 節参照)。

天の御父の計画について、その他の基本的なことを紹介します。

イエス・キリストの回復された福音は、純潔や結婚、子供をもうけることについて、独特な見方をしています。神の計画ののっとった結婚は神の計画の目的を達成するために必要で、神が定められた環境に人が生まれることを可能にし、永遠の命を受ける備えを家族にさせると教えているのです。主は言われました。「結婚は人のために神によって定められている……。……。これは……。地がその創造の目的にかなうためである[る]。」(教義と聖約 49:15 - 16) この点において、神の計画は当然ながら、法律や習慣など、この世で働く強い力に逆行する場合があります。

この世に生命を送り出す能力は神がその子供たちに賜った至高の力です。この力を使うことは、アダムとエバに最初に与えられた戒めで命じられましたが、誤った使い方をするを禁じるために、別の大切な戒めも与えられました。結婚というきずなの外でこの創造の力を使うことは、程度の差はあれど、男女に与えられた最も神聖な力の貴さを見くびり、ゆがめる罪深い行為です。回復された福音の中で純潔の律法が重んじられているのは、神の計画を成し遂げるうえで生殖の力が重要な目的を有しているからなのです。



チリ、マルガ・マルガ・オルム工

次に何が起こるか

回復の幕開けとなった最初の示現の200周年である本年、わたしたちは神の計画を知り、主の回復された教会を通して2世紀にわたって受けてきた祝福に励まされています。2020年である今年、わたしたちは過去の出来事に対して、いわゆる「正常視力」を持っています[訳注—正常視力と見なされる視力1.0を英語で20/20 visionと言い、2020年とかけている]。

しかし、将来を見通すわたしたちの視力はかなり乏しいものになります。回復から2世紀たった今、現世で経験を積んだ大勢の働き手が霊界で教えを宣べ伝える業を果たしていることを、わたしたちは知っています。また、現在神殿がますます増えているのは、幕の両側で悔い改めて主の福音を受け入れる人のために永遠の儀式を執行するためだということも知っています。これはすべて、天の御父の計画を前進させます。神の愛はとても深いため、神はあえて滅びの子となる少数の人々を除くすべての子供たちに、栄えある行く末を備えておられるのです(教義と聖約 76:43 参照)。

わたしたちは、救い主が再臨して千年の間平和に統治し、神の計画の現世の部分の総仕上げをされることを知っています。また、義人とそうでない人の復活は異なり、だれもが必ず復活の後に最後の裁きを受けることも、知っています。

わたしたちは、行いと心の望み、身につけた人格によって裁かれます。この裁き



十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

により、神のすべての子供たちは、その人の従順さにふさわしく、本人にとって心地よい、栄光の王国に入ります。このすべてを裁かれるのは救い主イエス・キリストです（ヨハネ 5：22；2 ニーファイ 9：41 参照）。全知の神は、悔い改めていない人であろうと悔い改めた人であろうと、つまり変化を遂げていない人であろうと義人であろうと、すべての行いと望みを御存じです。そのため、主の裁きの後、だれもが「神の裁き〔は〕公正〔だ〕」と告白するでしょう（モーサヤ 16：1）。

最後に、多くの手紙を読み、除名または背教の後に教会に戻りたいと求める多くの要請を吟味することから得た確信をお伝えします。この教会の会員の多くは、救いの計画を十分に理解していません。救いの計画は、回復された教会の教義と靈感を受けた指針に関するほとんどの疑問に答えています。神の計画を知っており、それに携わる聖約を交わしているわたしたちには、これらの真理を教え、人々のために神の計画を進めるために、現世で自分の置かれている状況の中でできるかぎりのことをするという明確な責任があります。救い主、贖い主であるイエス・キリストがすべてを可能にしてくださることを、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。



注

1. 「イエス・キリストの完全な福音の回復：200周年の世界への宣言」2020年4月、ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年5月号、91

人生を導く、預言者への絶え間ない啓示と個人の啓示の祝福

主は、御自身が定められた経路を通して絶え間ない啓示をこれまで授けてこられ、今なお授けておられます。

今日、人生を導く、預言者への絶え間ない啓示と個人の啓示の祝福について話します。

わたしたちは時折、主の目的が理解できないときでさえ啓示を受けます。1994年6月にジェフリー・R・ホランド長老が使徒に召される少し前、わたしはホランド長老が召されるであろうという啓示を受ける素晴らしい経験をしました。地区代表だったわたしにそれが知らされる理由がまったく分かりませんでした。

しかし、わたしたちは1960年代初頭にイングランドで若い宣教師として奉仕していたときの同僚であり、彼を深く愛していました。その伝道の経験は主から賜った深い憐れみだと考えていました。近年わたしは、若い宣教師だったときに自分のすばらしい後輩同僚だった十二使徒の後輩となるよう、主はわたしを備えておられたのだろうかと考えています。¹ 時折若い宣教師たちに、後輩同僚に優しくするようにと注意します。後輩同僚がいつ自分の先



チリ、サンティアゴ、サンベルナルド

輩同僚になるか分からないからです。

この回復された教会は救い主イエス・キリストによって導かれているという、確固とした証をわたしは持っています。主は、主の使徒としてだれをどの順序で召すべきかを御存じです。また、前任使徒を預言者と教会の大管長として備える方法も御存じです。

わたしたちは今朝恵まれて、愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長が世界に向けて、イエス・キリストの完全な福音の回復の200周年を祝う深遠な宣言を敬意をもって発表するのを聞きました。² ネルソン大管長のこの重要な宣言は、イエス・キリスト教会が、その起源と存在と将来への方向性とを、絶え間ない啓示の原則に負っていることを明確にしました。この新たな宣言は、愛に満ちた御父からその子供たちへのメッセージです。

以前、スペンサー・W・キンボール大管長は、今日わたしが感じていることを次のように表現しました。「あらゆる事柄の中で、わたしたちが……最も感謝しなければならないのは、まことに天が開かれていて、回復されたイエス・キリストの教会が啓示という岩を土台として築かれていることです。絶えることのない啓示こそ、生ける主なる救い主イエス・キリストの福音の活力源です。」³

預言者エノクはわたしたちが生きているこの時代を予見しました。主はエノクに大きな悪事が蔓延することを知らせ、起ころであらう「ひどい艱難」について預言されました。にもかかわらず、主はこのように約束されました。「[だ]が、わたしは自分の民を守ろう。」⁴「また、わたしは天から義を下そう。また、地から真理を出して、わたしの独り子……について証しよう。」⁵

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、モルモン書、すなわちわたしたちの宗教のかなめ石が、エノクに対する主の御言葉が成就される形で地から出てきたことを

力強く教えました。預言者ジョセフ・スミスに御姿を現された御父と御子、そして天使と預言者たちは、「神の導きにより王国に必要な権能を回復しました。」⁶

預言者ジョセフ・スミスは、次から次へと神から啓示を受けました。その一部はこの大会中に言及されました。預言者ジョセフが受けた多くの啓示はわたしたちのために教義と聖約に収められています。教会のすべての標準聖典には、この最後の神権時代に生きるわたしたちのための主の思いと御心が含まれています。⁷

基本となるこれらの偉大な聖典に加え、わたしたちは生ける預言者への絶え間ない啓示にも恵まれています。預言者は「主に代わって語る権能を与えられた、主の代理人」です。⁸

啓示の中には、きわめて重要なものもあれば、欠くことのできない神聖な真理に対するわたしたちの理解を深め、現代のための導きとなるものもあります。⁹

わたしたちは、1978年6月にスペンサー・W・キンボール大管長が受けた啓示に非常に感謝しています。神権と神殿の祝福がすべてのふさわしい男性会員に授けられる、という啓示です。¹⁰

わたしは、その貴い啓示が授けられた当時に在任し、携わった十二使徒の多くとともに奉仕をしたことがあります。彼らとの個人的な会話の中で、それぞれの使徒がキンボール大管長とともに力強く一致した霊的な導きを確かに受けたと言っていました。多くの十二使徒は、後にも先にもあの時ほど力強い啓示を受けたことはない、と言いました。¹¹

現在十二使徒定員会で奉仕しているわたしたちは、最近の預言者たちを通して



重要な啓示が与えられるこの時代において祝福を受けています。¹² ラッセル・M・ネルソン大管長は主の代理人です。特に、家族が家庭で信仰の聖域を築くの助け、幕の両側の散らされたイスラエルを集め、神聖な神殿の儀式においてエンダウメントを受けた会員を祝福するための啓示について主の代理を務めています。

2018年10月の総大会で、家庭に祝福をもたらす重要な変更が発表されたとき、わたしはこのように証しました。「大管長会と十二使徒定員会の評議会が神殿で審議し、……愛する預言者が主に啓示を願い求めた後に、強い確信を全員が受けました。」¹³

当時、神聖な神殿の儀式に関連するその他の啓示がすでに与えられていましたが、発表や実施はされませんでした。¹⁴ この導きは、まず預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長への個人的な啓示として与えられた後に、この過程に携わる人々に優しく力強い確認が与えられました。ネルソン大管長は、特に扶助協会、若い女性、初等協会の組織を管理する姉妹たちにこの過程に携わるよう求めました。神殿において大管長会と十二使徒定員会に最終的に与えられた導きは、きわめて霊的で力強いものでした。一人一人が、主の思いと御心を知り、主の声を聞いたことを悟りました。¹⁵

主が定められた経路を通して絶え間ない啓示をこれまでも授けてこられたこと、



また今なお授けておられることを厳粛に宣言します。今朝ネルソン大管長が発表した新たな宣言は、すべての人々に祝福をもたらす啓示であることを証します。

わたしたちは、主の食卓でごちそうをいただくようすべての人を招きます

わたしたちはまた、なかなか自分の証を持ってない人やあまり活発でない人、また教会記録から除名された人々と再び結ばれることを心から願っていることをお伝えします。皆さんとともに主の食卓で「キリストの言葉を」よく味わい、自分のなすべきことをすべて学べるよう望んでいます。¹⁶ わたしたちには皆さんが必要です。教会も、皆さんを必要としています。主は皆さんを必要としておられるのです。わたしたちの心からの祈りは、皆さんとともに世の救い主を礼拝することです。中には、傷つけられたり、不親切にされたり、そのほかキリストがなさらないような行為を受けた人があるかもしれません。また、完全に感謝できず、理解しがたく、解決できないような信仰の試しを受けている人がいるかもしれません。

最も確固とした、忠実な会員の中にも、しばらくの間、信仰の試しを受けたことのある人がいます。W・W・フェルプスの実話が好きです。彼は教会を見放し、ミ

ズーリの裁判所で預言者ジョセフ・スミスに不利な証言をしました。ウィリアムは悔い改めた後、このようにジョセフに書き送っています。「わたしは自分の置かれている状況を知っています。あなたも、神もそれを御存じです。もし友人たちが助けてくれるなら、わたしは救いを得たいのです。」¹⁷ ジョセフはウィリアムを赦し、再び奉仕の業に就かせ、愛を込めてこのように書きました。「初めに友であった者たちが、ついに再び友となった。」¹⁸

兄弟姉妹、皆さんの状況がどうであれ、教会と会員は皆さんが戻って来るのを歓迎することを覚えておいてください。

わたしたちの人生を導く個人の啓示

個人の啓示は、謙虚に主の導きを求めるすべての人に与えられます。それは、預言者の啓示と同様に重要です。霊的な個人の啓示を聖霊から受けた結果、何百万もの人がバプテスマを受けて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認されるために必要な証を受けました。

個人の啓示は、バプテスマを受けて「聖霊を受けて聖められ」た後に授かる深遠な祝福です。¹⁹ わたしは、15歳のときに受けた特別な、霊的な啓示を覚えています。当時、わたしのかけがえのない兄は、伝道に出ることをよく思っていなかつ

た愛する父にどのように対処すればよいか、主の導きを求めていました。わたしも誠心誠意祈り、福音が真実であるという個人の啓示を受けました。

聖霊の役割

個人の啓示は、聖霊から授かる霊的な真理に基づいています。²⁰ 聖霊は、あらゆる真理、特に救い主についての真理を明らかにし、証されます。聖霊なしに、わたし

たちはイエスがキリストであられることを真に知ることはできません。聖霊の重要な役割は、御父と御子および御二方の称号と栄光について証することです。

聖霊は、すべての人に強い影響を与えることがおできになります。²¹ この影響力は、バプテスマを受けて聖霊の賜物を受けないかぎり、常に受けることはできません。聖霊は、悔い改めと赦しの過程において清めの役割も果たされます。

御霊は驚くべき方法により思いを伝えられます。主はこのように美しく表現されています。

「あなたに降^{くだ}ってあなたの心の中にとどまる聖霊によって、わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。

さて見よ、これは啓示の霊である。」²²

その影響力は非常に強いものの、多くの場合、それは静かな細い声で穏やかにもたらされます。²³ 聖文には、御霊がわたしたちの思いに働きかけられる例が幾つも載っています。例えば、心に平安を告げたり、²⁴ 心を占めたり、²⁵ 思いを照らしたり、²⁶ さらに声はわたしたちの思いに告げることもあります。²⁷

啓示を受ける備えとなる原則を紹介します。

- 霊的な導きを求めて祈る。わたしたち

は敬虔かつ謙遜に、求め、尋ね、²⁸ 忍耐強く、従順である必要があります。²⁹

- 靈感を受けるために備える。そのためには、主の教えと調和し、主の戒めに従うことが求められます。
- ふさわしい状態で聖餐を取る。そうするときに、主の聖なる御子の御名を受け、主を覚え、主の戒めを守ることを証明し、神と聖約を交わします。

これらの原則に従うことにより、わたしたちは聖霊の促しと導きを受け、認識し、従う備えができます。これには、「平和をもたらす事柄、すなわち喜び〔と〕永遠の命をもたらすもの」が含まれます。³⁰

霊的な備えは、定期的に聖文と福音の真理を研究し、自分が求める導きについて思い巡らせるときに、大いに深まります。しかし、忍耐強くあり、主のタイミングを信頼することを忘れないでください。導きは、全知の主が「わたしたちに訓練を施そうと思われる」ときに与えられるのです。³¹

召しや割り当てにおける啓示

聖霊は、わたしたちの召しや割り当てにおいても啓示を授けてくださいます。わたしの経験上、重要な霊的な導きが最も



よく与えられるのは、人を祝福しようとして責任を果たすときです。

若いビショップだったころに、取り引きのために飛行機に乗る少し前に、ある夫婦から助けを求める電話がかかってきたのを覚えています。彼らが到着する前に、わたしは彼らに祝福をもたらす方法が分かるよう、主に懇願しました。すると、問題の性質と取るべき対応が明らかにされました。この啓示による導きにより、時間が限られていたにもかかわらず、ビショップとしての召しにまつわる神聖な責任を果たすことができました。世界中のビショップが、わたしと同じような経験をしています。ステーキ会長のときには、重要な啓示を受けるだけでなく、主の目的を成し遂げるために必要な修正を個人的に受けました。

主のぶどう園で謙遜に働くときに、だれもが必ず啓示による導きを受けることが

できると断言します。導きの多くは、聖霊からもたらされます。時折、何らかの目的のために、主から直接与えられることもあります。それが真実であることを個人的に証します。教会全体に対する導きは、大管長会、すなわち教会の預言者に与えられます。

現代の使徒であるわたしたちは、現在の預言者であるネルソン大管長とともに奉仕し、旅する特権に預かっています。ウィルフォード・ウッドラフ大管長が預言者ジョセフ・スミスについて述べたことは、ネルソン大管長についても言えます。わたしは、「神の御霊が預言者に働きかけるのを目の当たりに〔し〕……さらにイエス・キリストの啓示が〔預言者〕に与えられて、成就するのを」目にしていました。³²

わたしたち一人一人が、救い主イエス・キリストの御名により父なる神を礼拝するときに、人生を導く絶え間ない啓示を求め、御霊に従えるよう、へりくだり祈ります。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. 1960年に若い男性宣教師の奉仕の年齢が20歳から19歳に引き下げられたとき、わたしは最後の20歳の宣教師の一人だった。ジェフリー・R・ホルランド長老は、最初の19歳の宣教師の一人だった。
2. 「イエス・キリストの完全な福音の回復：200周年の世界への宣言」2020年4月、ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」「リアホナ」2020年5月号、91。この宣言は、大管長会および十二使徒定員会により、この神権時代に与えられたほかの5つの宣言に加えられる。
3. 『歴代大管長の教え—スベンサー・W・キンボール』243。マタイ16:13-19も参照
4. モーセ7:61
5. モーセ7:62。主はこのように続けられた。



アメリカ合衆国、アイダホ州レックスバーク



- アホナ』2005年5月号、8-14も参照
22. 教義と聖約 8:2-3
 23. ヒラマン 5:30; 教義と聖約 85:6 参照
 24. 教義と聖約 6:23 参照
 25. 教義と聖約 128:1 参照
 26. 教義と聖約 11:13 参照
 27. エノス 1:10 参照
 28. マタイ 7:7-8 参照
 29. モーサヤ 3:19 参照
 30. 教義と聖約 42:61
 31. Neal A. Maxwell, *All These Things Shall Give Thee Experience* (2007), 31
 32. ウィルフォード・ウッドラフの言葉、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』283より

- 「そして、わたしは義と真理が洪水のごとくに地を満たすようにし、……地の四方からわたしの選民を集めよう。」(モーセ 7:62。詩篇 85:11も参照)
6. エズラ・タフト・ベンソン「現在の啓示の賜物」『聖徒の道』1987年1月号、86
 7. エズラ・タフト・ベンソン「現在の啓示の賜物」86
 8. Hugh B. Brown, “Joseph Smith among the Prophets” (Sixteenth Annual Joseph Smith Memorial Sermon, Logan Institute of Religion, Dec. 7, 1958), 7.
 9. See Hugh B. Brown, “Joseph Smith among the Prophets,” 7. どの場合についても、啓示はこれまでの預言者たちに与えられた神の言葉と調和する。
 10. 公式の宣言 2 参照。2 ニーファイ 26:33 も参照。この啓示には、「黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も」含めて、「すべての人が神にとって等しい存在」であるという(2 ニーファイ 26:33)、モルモン書の中で定められた教義が組み込まれていた。この並外れた啓示は、ソルトレーク神殿の階上の神聖な広間で、大管長会および十二使徒定員会で構成される評議会で授けられ、確認された。
 11. 多くの使徒たちは、その啓示があまりに力強く神聖だったため、どのような言葉を使ってもそれを十分に表現することはできず、その啓示の深遠さや力強さを弱めてしまうことを示唆した。
 12. 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145 参照。この宣言は、1995年9月23日、ユタ州ソルトレーク・シティーで開催された中央扶助協会集会において、ゴードン・B・ヒンクレー大管長により発表されたものである。トーマス・S・モンソン「大会へようこそ」『リアホナ』2012年11月号、4-5 参

- 照。モンソン大管長は、宣教師の奉仕の要件となる年齢の引き下げを発表した。
13. クエンティン・L・クック「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」『リアホナ』2018年11月号、11
 14. 神聖な神殿儀式に関する啓示は、2019年1月1日よりすべての神殿で実施された。神殿儀式に関する具体的な詳細は、神殿内でのみ話すことができることを理解することは重要である。しかし、原則は教えられる。デビッド・A・ベドナー長老は、神殿の聖約と儀式の重要性と、それらを通してどのように「神性の力がわたしたちの生活に注がれる」かを見事に教えている(「わたしの名のためにこの家を建てなさい」『リアホナ』2020年5月号、86)。
 15. この過程と集会は、2018年1月、2月、3月、4月にソルトレーク神殿で起り、開催された。大管長会および十二使徒定員会に最後に啓示が授けられたのは、2018年4月26日である。
 16. 2 ニーファイ 32:3 参照
 17. 『聖徒たち—末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻「真理の旗」1815-1846年、397
 18. 『聖徒たち』第1巻、397
 19. 3 ニーファイ 27:20
 20. 聖霊は神会の一員であられる(1ヨハネ 5:7; 教義と聖約 20:28 参照) 聖霊は、人に似た形の霊の体を持っておられる(教義と聖約 130:22 参照)。聖霊の影響はどこにでも存在する。聖霊は、目的において天の御父と救い主イエス・キリストと一致しておられる。
 21. キリストの光について、キリストの光と聖霊の違いを包括的に理解したければ、2 ニーファイ 32; 教義と聖約 88:7, 11-13; 『聖句ガイド』「光; キリストの光」を参照ください。ボイド・K・バックー「キリストの光」『リ



七十人
リカルド・P・ヒメネス長老

人生の嵐の避け所を見つける

人生にどのような嵐が打ちつけようとも、イエス・キリストと主の贖いはわたしたちが皆必要としている避け所です。

90年代半ば、大学生であったとき、チリのサンティアゴ消防署第四分隊に所属していました。そこに務めている間、夜勤をするために消防署で生活していました。その年の暮れが近づいたころ、大晦日は消防署に待機していなければならないことを伝えられました。大晦日はいつも何か緊急事態が発生するからということでした。驚いて、「ほんとうですか?」と答えただけです。

さて、真夜中にサンティアゴ市内で花火の打ち上げが始まったとき、わたしは同僚たちとともに待機していたことを覚えています。わたしたちは新年を祝ってハグをしていました。すると突然、消防署のベルが鳴り始め、緊急事態が発生したことが知らされました。装備をして消防車に飛び乗りました。緊急事態発生現場に向かう途中で新年を祝う人々の群れを通り過ぎた際、ほとんどの人は無頓着で心配する様子もないことに気づきました。彼らはくつろいで暖かい夏の夜を楽しんでいました。それでもどこか近くで、わたしたちが救助に向かっている人々は深刻な状況に見舞われていたのです。

この経験を通して、人生は比較的順調なときもあるが、予期せぬ困難や嵐に遭遇

し、耐えられる限界まで試されるときがわたしたち一人一人にやって来るということを知りました。身体的、精神的、家族および雇用に関する困難、自然災害、その他生死にかかわる問題も、わたしたちがこの世で直面する嵐の例に過ぎません。

こうした嵐に直面すると、絶望感や恐怖感を体験することがよくあります。ラッセル・M・ネルソン大管長は、「信仰は恐怖に対する解毒剤」であると述べていて、その信仰とは主イエス・キリストへの信仰を指しています（『信仰を表す』『リアホナ』2014年5月号, 29）。わたしは人の人生に影響を与える嵐を見てきて、次のような結論にたどり着きました。たとえどのような嵐がわたしたちを打ちのめそうとも、その嵐に対する解決策があるか、嵐の終わりが見えているかにかかわらず、共通して唯一の避け所があります。天の御父が与えてくださったこの唯一の避け所は、主イエス・キリストとその贖いです。

こうした嵐に直面することを免除されている人はだれもいません。モルモン書の預言者であったヒラマンはわたしたちに次のように教えました。「覚えておきなさい。あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければならないことを覚えておきなさい。そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の雷と大嵐があなたたちを打つときにも、それが不幸と無窮の苦悩の淵にあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」（ヒラマン5:12）

自ら嵐を堪え忍ぶ経験をしてきたロバート・D・ヘイルズ長老は次のように述べました。「苦しみはだれにもあります。しかしそれにどう対処するかは一人一人の問題です。苦しみに遭ったとき、わたしたちは二つの道のどちらかを取ります。一方の道は信仰と相まって強められ清められる道、もう一方は、主の贖いの犠牲に信仰を持たずに人生を破滅させる道です。」（『憂いは喜びに変わる』『聖徒の道』1984年1月号, 117参照）

イエス・キリストとその贖いが与えてくださる避け所を享受するためには、イエス・キリストに対する信仰を持たなければなりません。それは、限られたこの世



ノルウェー、オスロ

的な視点における苦痛をすべて乗り越えることを可能してくれる信仰です。主は、わたしたちが行うあらゆることにおいて主のもとに来るならば、重荷を軽くしてくださいと約束してくださっています。

主は次のように言われました。「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」(マタイ 11:28 - 30。モーサヤ 24:14 - 15も参照)

次のような言葉があります。「信仰のある人には、説明は必要ありません。信仰のない人には、どのような説明も不可能です。」(トマス・アクィナスの言葉ですが、直接的な引用ではなく、彼が教えたことの大まかな要約です。)しかしながら、わたしたちはこの世で起きる事柄に関して理解できることは限られており、なぜという疑問への答えがないことがよくあります。なぜこれが起こっているのだろうか。なぜ自分にこんなことが起こるのだろうか。何を学ぶべきなのだろうか。答えが見つからないとき、リバティの牢獄にいた預言

者ジョセフ・スミスに救い主が語られた言葉が全面的に当てはまります。

「息子よ、あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。

その後、あなたがそれをよく堪え忍ぶならば、神はあなたを高い所に上げるであろう。」(教義と聖約 121:7 - 8)

多くの人が確かにイエス・キリストを信じていますが、鍵となる質問はわたしたちがイエス・キリストを信賴しているかどうか、そして、主がわたしたちに行うよう教え、求めておられる事柄を信じているかどうかということです。恐らく次のように考える人もいるでしょう。「自分の身に起きていることについてイエス・キリストは何を御存じだろうか。」「わたしが幸福になるために何が必要かをイエス・キリストは御存じなのだろうか。」実際、預言者イザヤが次のように述べたとき、わたしたちの贖い主、仲保者のことを述べていました。

「彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。……

まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。……

しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけ

て、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」(イザヤ 53:3 - 5)

また、使徒ペテロも救い主についてわたしたちに教え、次のように述べています。「さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。」(1ペテロ 2:24)

ペテロ自身の殉教の時が近づいていましたが、彼の言葉には恐れや悲観に満ちたものではありません。むしろ、彼は聖徒たちに、たとえ「さまざまな試練で悩まねばならない[状況]」にあったとしても、「喜[ぶ]」ように教えました。ペテロはわたしたちに、「[わたしたちの]信仰はためられて、火で精練され」、「イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれ」と「たましいの救[い]」に導かれることを心に留めるように勧告しました(1ペテロ 1:6 - 7, 9)。

ペテロはさらに続けています。

「愛する者たちよ。あなたがたを試みるために降りかかって来る火のような試練を、何か思いがけないことが起ったかのように驚きあやしむことなく、

むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜ぶがよい。それは、キリ



Christ In Gethsemane (「ゲッセマネのキリスト」)・
マイケルト・マルム画

ストの栄光が現れる際に、よろこびにあふれるためである。」(1ペテロ4:12-13)

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「聖徒とは、あらゆる状況において幸せでいられる人々なのです。……生活の中心を神の救いの計画とイエス・キリスト、主の福音に向けるなら、人生で何が起こっても、起こらなくても、喜びを感じることができます。喜びは主から始まり、もたらされるものです。主はすべての喜びの源であります。」(「喜び—霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号, 82参照)

もちろん、嵐に遭遇していないときにこのように言うことは、嵐の中でこれらを実行し応用することに比べて簡単です。しかしわたしは皆さんの兄弟として、人生にどのような嵐が打ちつけようとも、イエス・キリストとその贖いはわたしたちが皆必要としている避け所であるということ、そしてそれを知っていることにどれほど価値があるのかを、分かち合いたいと心から願っています。その気持ちを皆さんが感じることができるよう願っています。

わたしたちは皆神の子供であること、神がわたしたちを愛しておられること、そして、わたしたちは独りではないことをわたしは知っています。主が皆さんの重荷を軽くしてくださり、皆さんが求めている避け所となってくださることを、来て見るようお勧めします。ほかの人々が切望している避け所を見つけられるよう、来て助けてください。わたしたちとともにこの避け所に来てとどまってください。その避け所は人生の嵐に耐える助けとなります。もし皆さんが来るならば、皆さんは見だし、助け、とどまることに、わたしは何の疑いもありません。

預言者アルマは息子ヒラマンに次のように証しています。「神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中であって支えられ、また終わりの日に高く上げられるということをわたしは知っているからである。」(アルマ36:3)



救い主御自身はこう教えられました。「心に慰めを得なさい。すべての肉なるものはわたしの手の内にあるからである。安らかにしていて、わたしが神であることを知りなさい。

それゆえ、死に至るまでも恐れてはならない。この世ではあなたがたの喜びは満たされないが、わたしにあってあなたがたの喜びは満たされるからである。」(教義と聖約101:16, 36)

賛美歌“Be Still, My Soul”(「静まりなさい、わたしの魂よ」)は何度もわたしの心に触れてきましたが、わたしたちの魂に安らぎを与えるメッセージです。歌詞は次のとおりです。

「静まりなさい、わたしの魂よ。時は速まっている。
主と永遠に住める時が、
失望、悲しみ、恐れがなくなる時が、

悲しみを忘れ、愛の純粋な喜びを取り戻す時が。
静まりなさい、わたしの魂よ。変化と涙が過ぎ去ったとき、
最後には、皆が守られ祝福され、顔を合わせるだろう。」(Hymns, no. 124) [英文を和訳]

人生の嵐に直面する際、わたしたちが最善を尽くして避け所であるイエス・キリストとその贖いに頼るならば、わたしたちが求めている安堵や慰め、力、節制、および平安という祝福を受けることでしょう。それとともに、地上での生活を終える際には、救い主の次の言葉を聞くという確信を心に持てることをわたしは知っています。「良い忠実な僕よ、よくやった。……主人と一緒に喜んでくれ」(マタイ25:21)。イエス・キリストの御名により、アーメン。



チリ、マルガマルガ、オルムエ



十二使徒定員会
ディーター・F・ウークトドルフ長老

来て一員となる

わたしたちは世界中のすべての神の子供たちに、この偉大な御業に加わるようお勧めします。

愛する兄弟姉妹、友人の皆さん、毎週、世界中の末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、宇宙の神であり王である愛する天の御父と、その愛子イエス・キリストを礼拝しています。わたしたちは、この世に生きた唯一の罪のない存在であり、汚れのない神の小羊であるイエス・キリストの生涯と教えに思いをはせ、状況が許す限り頻繁に、イエス・キリストの犠牲の記念に聖餐を受け、イエス・キリストがわたしたちの人生の中心であられることを確認します。

わたしたちは主を愛し、主を敬います。イエス・キリストはその深い永遠の愛のために、皆さんとわたしのために苦しみ、亡くなりました。主は死の門をこじ開け、友人や愛する人たちを隔てる障壁を打ち砕かれました。¹ そして、希望を失った人々に希望をもたらし、病人を癒し、囚人を開放してくださったのです。²

わたしたちは主に心をささげ、人生をささげ、日々の献身をささげます。だからこそ、「どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるため〔に〕」、「キリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言〔する〕」のです。³

弟子になる練習をする

けれども、イエス・キリストの弟子であることは、キリストについて話したり、説

教したりするだけではありません。わたしたちがより主のようになるための道を歩むのを助けるため、救い主御自身が自らの教会を回復されたのです。末日聖徒イエス・キリスト教会は、弟子としての基本を練習する機会を提供するように構成されています。教会に参加することによって、わたしたちは聖霊の促しに気づいて、それに従って行動することを学びます。また、思いやりと優しさをもって人に手を差し伸べる性質を身につけます。

これは一生をかけた取り組みであり、練習が必要です。

優秀なスポーツ選手は、そのスポーツの基礎練習に数えられないほどの時間を費やします。看護師やネットワーク、原子力技師、また、妻ハリエットのキッチン

で自負心を持って趣味の料理をしているわたしも、それぞれの能力や技術は、専門技能を勤勉に練習することによってのみ習得することができました。

航空会社の機長として、わたしはしばしばフライトシミュレーター（模擬操縦装置）を使ってパイロットを訓練しました。シミュレーターはパイロットが操縦の基礎を学ぶのに役立つだけではありません。実際の航空機を操縦するときに遭遇する可能性のある予期せぬ出来事を体験し対応する練習もできます。

イエス・キリストの弟子たちにも同じ原則を適用することができます。

イエス・キリストの教会と教会が提供する様々な機会に積極的に参加することにより、生活がどれだけ深刻な状況に変わっても対応できるよう、よりよく備えることができます。教会員として、わたしたちは古代の預言者と現代の預言者から与えられる神の言葉を熱心に学ぶよう勧められています。天の御父への誠実で謙虚な祈りを通して、わたしたちは聖霊の声を認識できるようになります。また、奉仕をし、教え、計画し、ミニスターリングを行い、管理する召しを受け入れます。これらの機会を通して、霊的に、精神的に、人格的に成長することができます。

また、現世と来世で祝福をもたらす神



アメリカ合衆国、ユタ州ミルクリーク

聖な聖約を交わし、それを守るよう備えるのに役立ちます。

ともに集みましょう

わたしたちは世界中のすべての神の子供たちに、この偉大な御業に加わるようお勧めします。来て、見てください。新型コロナウイルスによるこの困難な時期にも、オンラインでともに集ってください。オンラインで宣教師たちと会ってください。この教会がどのような教会かを、自分の目で確かめてください。この困難な時期が過ぎ去ったら、わたしたちの家庭や集会所で会いましょう。

来て助けてください！ 来て一緒に奉仕し、神の子供たちに仕え、救い主の足跡をたどって、この世界をより良いものにしていきましょう。

来て一員となる皆さんはわたしたちを強めます。そして、皆さん自身も、より良く、より優しく、より幸せになるでしょう。皆さんの信仰は深まり、よりしなやかで強い、人生の嵐や予期せぬ試練に耐えられるものになるでしょう。

それでは、どう始めればよいのでしょうか。いろいろな方法が考えられます。

まず、モルモン書を読むようお勧めします。モルモン書がなければ、Church of Jesus Christ.org⁴で読むこともできますし、モルモン書アプリをダウンロードすることもできます。モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証であり、旧約および新約の聖書と対をなすものです。わたしたちはこれらの聖典をすべて愛し、そこから学んでいます。

ComeuntoChrist.orgにアクセスし、教会員がどのようなことを教え、信じているのかを調べるようお勧めします。

オンラインで、あるいは可能な地域では自宅のプライバシーの中で、訪問するように宣教師たちを招待してください。彼らは希望と癒しのメッセージを携えています。宣教師は、自分の時間とお金を使っ



て世界中の様々な場所で奉仕している、わたしたちの大切な息子や娘です。

イエス・キリストの教会には、皆さんとあまり変わらない人々があります。あなたの助けを必要とし、あなたが最高の自分、つまり、神があなたになってほしいと望んで造られた人物になろうと努力するときに、助けたいと願う人々です。

救い主の抱擁はすべての人に及ぶ

あなたはこう思っているかもしれません。「自分は人生で間違いを犯してきた。イエス・キリストの教会になじめるかどうか自信がないし、神が自分のような人間に関心をお持ちになるとは思えない。」

キリストであられるイエスは、「王の王」⁵、メシア、「生ける神の子」⁶でありながら、神の子供一人一人に深い関心を寄せておられます。救い主は、貧しい人も豊かな人も、不完全な人も実績のある人も、その人の立場に関係なく気にかけておられます。現世におられたとき、救い主はすべての人に奉仕されました。幸せて成功した人、傷つき失われた人、希望をなくした人にもです。多くの場合、救い主が仕え教え導いた人々は、有名な人でも、美しい人でも裕福な人でもありませんでした。救い主が引き上げられた人々は、多くの場合、感謝と謙虚な心、信仰を持ちたいという願望以外は、主にお返しできるものを持ち合わせていませんでした。

イエスが「最も小さい者」⁷に仕えてこの世の生涯を過ごされたのなら、今日もそのような人を愛しておられると思いま

るか。主の教会には、すべての神の子供たちのために居場所があるではありませんか。ふさわしくないとか、忘れられているとか、独りぼっちだと感じている人々のためにもです。

神の恵みを受けるために、達成しなければならない完璧さの基準はありません。大きな声で雄弁に正しい文法で祈らなければ、祈りが天に届かないということなどありません。

実際、神は人のかたよりみない御方です。⁸ この世の価値観は神にとって何の意味もありません。御父はあなたの心を御存じで、肩書きや財務上の純資産、インスタグラムのフォロワー数に関係なく、あなたを愛しておられるのです。

わたしたちが心を天の御父に向けて御父に近づけば、御父がわたしたちに近づいてくださるのを感じることができるでしょう。⁹

わたしたちは皆、御父の愛する子供です。

神を拒む人たちもそうです。

頑固で手に負えない子供のように、神と神の教会に腹を立て、絶対戻って来るものかと荷物をまとめて勢いよく飛び出して行った人たちも、そうです。

家出する子供は、心配して窓から見ている親に気づかないかもしれません。親は、大切な子供がこの悲痛な経験から何かを学び、新たな観点から人生を見直し、やがて家に戻って来ることを願って、出て行く息子や娘を優しく見守っています。

愛に満ちた天の御父も同じです。わた

したちが戻って来るのを待っておられるのです。

皆さんの救い主は、目に愛と思いやりの涙のため、皆さんが戻って来るのを待っておられます。あなたが神から遠くにいると感じているときも、神はあなたを見ておられます。あなたを哀れみ、走り寄ってあなたを抱き締められることでしょう。¹⁰

来て一員となってください。

神は私たちが過ちから学ぶことを許される

わたしたちは、人生の意義と究極の真実を求めて現世を歩む巡礼者です。多くの場合、わたしたちに見えているのは目の前の道だけで、曲がり角の先にあるものは見えません。愛情深い天の御父は、わたしたちにすべての答えを与えてくださっているわけではありません。御父は、わたしたちが自分で多くの答えを見つけ出し、信じるのが難しいときも信じるよう期待しておられるのです。

わたしたちが背筋を伸ばし、少しの決意と気骨をもって、さらに一歩前進することを期待しておられます。

そのようにしてわたしたちは学び、成長するのです。

すべてを事細かく説明してほしいと、ほんとうに思いますか。すべての疑問に対する答えが、ほんとうに欲しいですか。すべての目的地への計画を綿密に立ててほしいですか。

ほとんどの人は、そのような天国からのマイクロマネジメントがすぐに嫌になってしまうとわたしは思います。わたしたちは経験を通して人生の重要な教訓を学びます。自分の過ちから学ぶのです。悔い改めて、「悪事は決して幸福を生じたことがない」ことに自分で気づくことによって、学ぶのです。¹¹

神の御子イエス・キリストは、わたしたちが過ちによって罪に定められ、進歩が永遠に妨げられないよう亡くなられたのです。イエス・キリストのおかげで悔い改

めることができ、過ちはより大きな栄光への足がかりとなることができます。

この道を一人で歩む必要はありません。天の御父はわたしたちを暗闇に取り残して迷うがままにはなさいません。

だからこそ、1820年の春に、御父が御子イエス・キリストとともに少年ジョセフ・スミスに姿を現されたのです。

そのことを少し考えてみてください。宇宙の神が人間に現れたのです。

ジョセフは神やほかの天の存在と何度も出会うこととなりますが、これが最初の出会いでした。これらの聖なる方々が彼に語った言葉の多くは、末日聖徒イエス・キリスト教会の聖典に記録されています。これらの聖典は簡単にアクセスすることができます。だれでも読むことができ、神が現代のわたしたちに与えているメッセージを自分自身で学ぶことができます。

ご自分で学んでみるようお勧めします。

ジョセフ・スミスがこれらの啓示を受けたのは、まだ若いときでした。ほとんどの啓示は彼が30歳になる前に授けられたものです。¹² まだ経験不足で、ある人たちにとっては、主の預言者としての資質に欠けているように見えたかもしれません。

それでも主は彼を召しました。これは聖典のあらゆる箇所で見受けられるパターンです。

神は御自身の福音を回復するのに完璧な人間を見つけるまで待とうとはなさいませんでした。

もしそうしていたら、いまだに待っておられるかもしれません。

ジョセフは皆さんやわたしによく似ていました。ジョセフは過ちを犯しましたが、神は偉大な目的を達成するために彼をお使いになったのです。

トーマス・S・モンソン大管長は、「主から召される人は、主によって適格なものとされる」と

繰り返し助言しています。¹³

使徒パウロはコリントの聖徒たちに道筋を立てて話しました。「兄弟〔姉妹〕たちよ。あなたがたが召された時のことを考えてみるがよい。人間的には、知恵のある者が多くはなく、権力のある者も多くはなく、身分の高い者も多くはいな〔かった〕。』¹⁴

御自身の目的を達成するために、神は弱い者や素朴な者たちをお使いになります。この事実が、地上における御父の業を成し遂げるのは人間の力でなく、神の力であることを証しているのです。¹⁵

主に聞き、主に従いなさい

神はジョセフ・スミスに御姿を現されると、御子イエス・キリストを紹介し、「彼に聞きなさい」と言われました。¹⁶

ジョセフ・スミスは主に聞き、それに従うことに残りの生涯を費やしました。

ジョセフと同様に、わたしたちの弟子としての務めも、救い主イエス・キリストに聞いて従うと決心するところから始まります。

主に従いたいと望むならば、信仰を奮い立たせて主の十字架を負いましょう。

そうすれば、自分が確かに主の教会に属していることが分かるでしょう。そこは温かく、歓迎してくれる場所—ともに弟子としての務めと幸福を追求できる場所です。

この最初の示現から200年の節目の年にイエス・キリスト教会の回復について深



ノルウェー、オスロ



七十人会長会
L・ホイットニー・クレートン長老

く考え、学ぶ中で、それが単なる歴史的な出来事ではないことに気づけるよう願っています。皆さんもわたしも、これからも続いていくこの偉大な物語の中で重要な役割を果たしているのです。

それでは、わたしたちの役割は何でしょうか。

それは、イエス・キリストについて学び、主の言葉を学ぶことです。この偉大な業に積極的に参加することによって、主に聞き、主に従うことです。来て一員となるようお招きします。

完璧である必要はありません。信仰を育てて日々主に近づきたいという願いがあればいいのです。

わたしたちの役割は、神を愛して仕えることと、神の子供たちを愛して仕えることです。

そうすれば、神は皆さんを愛と喜びで包み込み、最も深刻な状況にあっても、この世の人生を通じて確かな導きを与え、次の世へと続きます。

そのことを証し、皆さんへの深い感謝と愛を込めて祝福を残します。わたしたちの主、救い主イエス・キリストの神聖な御名により、アーメン。■

注

1. エペソ 2:13 - 14 参照
2. ルカ 4:18 参照
3. 2 ニーファイ 25:26
4. モルモン書はこちらからご覧になれます
<https://www.churchofjesuschrist.org/study/scriptures/bofm?lang=jpn>
5. 1 テモテ 6:15
6. マタイ 16:15-17 参照
7. マタイ 25:40
8. 使徒行伝 10:34 参照
9. 教義と聖約 88:63 参照
10. ルカ 15:20 にある放蕩息子が戻って来たのを見た父親の反応を参照
11. アルマ 41:10
12. 例を挙げると、教義と聖約の 138 章のうち、ジョセフ・スミスの 30 歳の誕生日である 1835 年 12 月 23 日以前に受けた啓示は、100 以上に上る。
13. トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996 年 7 月号、52
14. 1 コリント 1:26
15. 1 コリント 1:128 - 29; 2 コリント 4:7 参照
16. ジョセフ・スミス—歴史 1:17

最高級の家

救い主は、完全な技師、建築士、インテリアデザイナーです。主のプロジェクトはわたしたちを完全に、永遠の喜びを与えることです。

つい先日、ソルトレーク・シティーで、一つの広告掲示板が目にとまりました。家具・インテリアデザインの会社の広告で、そこには、簡潔に「ソルトレーク・シティーで最高級の家をお届けします」と書かれていました。

印象深い言葉でした。「最高級の家」とは何でしょうか。この問いについて考えている自分に気づきました。特に、妻のキャシーとわたしが育てた子供たちと、その子供たちが現在育てている子供たちについて考えていたのです。世界中の親と同様、わたしたちは家族のことを心配し、家族のために祈りました。今もそうです。家族に最高のものを得てほしいと心から願っています。どうすれば子供たちと孫

たちが最高級の家で生活できるでしょうか。これまでキャシーと一緒に訪問してきた教会員の家について考えました。わたしたちは韓国やケニア、フィリピンやペルー、ラオスやラトビアで、様々な家に招かれました。すばらしい家について気づいたことを 4 つお話します。

第 1 に、主の目から見て、最高級の家を築くことは、そこに住んでいる人々の個人の特質と大いに関係があります。これらの家を重要な意味で長きにわたってすばらしいものにするのは、家具でもなければ、家の所有者の資産や社会的地位でもありません。どの家でも最もすばらしい特徴は、その家に住んでいる人に見られるキリストの面影です。重要なのは、家に



住む人たちの心のインテリアデザインであって、建物そのものではないのです。

キリストの特質は、聖約の道を意識して歩み「時がたって」¹いく中で身につくものです。キリストのような特質は、善良な生活を送ろうと努める人々の人生を美しく飾ります。床が土であろうと大理石であろうと、家を福音の光で満たします。たとえば「これらのことを尋ね求める」²ようにという指示に従う人が家族の中で皆さん一人だけであるとしても、それでも家に霊的な家具を整えるのに貢献できるのです。

わたしたちは、「自らを組織しなさい。すべての必要なものを用意しなさい。一つの家……を建てなさい」という主の勧告に、不動産ではなく、霊的な生活を整え、用意し、築き上げることによって従います。忍耐強く救い主の聖約の道を歩み続けるとき、わたしたちの家は、「栄光の家、秩序の家、神の家」³になります。

第2に、最高級の家に住む人は、毎日、聖文と生ける預言者の言葉を研究する時間を取ります。ラッセル・M・ネルソン大管長は、福音学習によって家庭を「変える」ように、また「改める」ようにわたしたちを招いています。⁴ 大管長の招きから分かるように、すばらしい家では、個人が成長し、弱さを改めるといふ、細やかな配慮が求められる重要な取り組みが行われます。日々の悔い改めは人が変わるための道具であって、それによってわたしたちは、もう少し親切で、もっと愛の深い、もっと思いやりのある人になれます。聖文を研究することで、もっと救い主に近づき、救い主の惜しめない愛と恵みに助けられて、成長していきます。

聖書とモルモン書、高価な真珠には家族の話が幾つも記されています。ですからこれらの神聖な書物が最高級の家を築くための比類のない手引きであることは、驚くに当たりません。そこには、親が抱く心配、誘惑に潜む危険、義がもたらす勝利、飢饉と豊かさが招く試練、戦争の恐

怖と平和の報いが記録されています。聖文には、義にかなった生活を送ることで家族がどのようにうまくいき、そのほかの道を進むことでどのように弱っていくかが、繰り返して示されています。

第3に、すばらしい家は、主の最高級の家である神殿のために主が用意された設計図に従います。神殿の建設は、木や石を取り除いて土地を平らにするという、基本的な段階から始まります。用地の準備をするこの最初の取り組みは、基本的な戒めを守ることと対比できるでしょう。戒めは、主の弟子としての生活を築くための土台なのです。弟子として地道に歩み続けることで、わたしたちは、神殿のスチール製の構造物のように、堅く、確固として、揺るぎない人になります。⁵ この確固とした構造物を築くとき、主は御霊を送ってわたしたちの心を変えてくださるのです。⁶ 心に大きな変化を経験することは、神殿の内装に様々な美しいものを加えるのに似ています。

わたしたちが信仰を持続するときに、主はわたしたちを徐々に変えてくださいます。わたしたちは顔に主の面影を受け、主の特質である愛と麗しさを反映するようになるのです。⁷ より主のようになるときに、わたしたちは主の家で安らぎを感じ、主はわたしたちの家で安らいでくださることでしよう。

神殿推薦状を持つにふさわしくあり、状況の許すかぎり頻繁にそれを用いることで、自分の家と主の家のつながりを密接に保つことができます。そうするときに、主の宮の聖さがわたしたちの家にも及びます。

すぐ近くに壮麗なソルトレーク神殿があります。簡素な道具と地元の資材、絶え間ない重労働によって開拓者が築いた神殿は、建設に1853年から1893年までの期間を要しました。初期の教会員が提供できた最高の工学技術、建築、インテリアデザインが、現在大勢の人が認めている

最高の建造物を生み出したのです。

神殿が奉獻されてから、130年ほどたちます。ゲアリー・E・ステイーブンソン長老が昨日お話ししたように、神殿の設計に用いられた工学原理は、より新しく、より安全な基準に変更されています。神殿の工学技術を高めて構造的に弱い部分を補修することを怠れば、開拓者の信頼を裏切ることになります。彼らはできることをすべて行い、神殿の手入れを後世に託したのです。

教会は神殿の構造と耐震の強度を高めるために、4年の改修プロジェクトを開始しました。⁸ 基礎と床と壁が強化されます。現在利用可能な最高の工学知識で、神殿を現代の基準にまで引き上げます。構造上の変化は人の目には見えませんが、その効果は確かであり、重要なものとなります。この作業のすべてにおいて、神殿の美しいインテリアデザインの特徴は維持されます。

わたしたちはソルトレーク神殿の改修が示している模範に倣って、時間を取って自分の霊的な耐震性を評価し、それを最新の状態にすべきです。「ほかに何が足りないのでしょうか」と主に問いかげながら、⁹ 定期的に自己評価することが、最高級の家を築く助けとなります。

第4に、最高級の家は、人生の嵐からの避け所です。神の戒めを守る人は「地で栄える」と、主は約束しておられます。¹⁰ 神の繁栄とは、人生の諸問題があるにもかかわらず力強く進む力です。

2002年に問題というものについての大切な教訓を学びました。パラグアイのアスンシオンで、その地のステーキ会長たちと集会を持ちました。当時、パラグアイはひどい経済危機に直面しており、多くの教会員が苦しんでいて、家計をやりくりできずにいました。わたしが南アメリカに行ったのは伝道以来であり、パラグアイを訪れたことは一度もありませんでした。地域会長会で務めを果たし始めてわずか

数週間のことです。自分にこのステーキ会長たちを指導できるだろうかと心配しながら、わたしは彼らに、各ステーキでうまくいっていることだけを話してもらいました。最初のステーキ会長が、うまくいっている事柄を幾つか話しました。次のステーキ会長は、うまくいっている事柄と少しの問題点を述べました。最後のステーキ会長の順番になるころには、厄介な問題ばかりが続きました。ステーキ会長たちが状況の深刻さについて説明したとき、わたしは何を語るべきかますます心配になり、ほとんど絶望的になりました。

最後のステーキ会長が話を終えようとしているときに、このような思いが浮かびました。「クレートン長老、彼らにこう尋ねなさい。『会長の皆さん、皆さんのステーキで、什分の一を完全に納め、断食献金を惜しみなく納め、教会の召しを尊んで大いなるものとし、毎月ホームティーチャーや訪問教師として実際に家族を訪問し、¹¹ 家庭の夕べを開き、聖文を研究し、毎日家族の祈りをを行っている会員の中で、教会が介入して解決しなければ自分では対処できない問題を抱えている人は何人いますか。』」

わたしは受けた印象に従って、ステーキ会長たちにその質問をしました。

彼らは驚き、沈黙してわたしに注目し、それから、「プエス、ニングノ」と言いました。「そうですね、一人もいません」という意味です。それから、それらの事柄をすべて行っている会員で、自分で解決できない問題を抱えている人は一人もいないと、ステーキ会長たちは言いました。なぜでしょうか。彼らは最高級の家で生活していたからです。忠実に生活することで、置かれた環境の中で経済的混乱に必要な強さと、洞察力と、天の助けを与えられたのです。

だからといって、義人は病にならず、事故に遭わず、ビジネスの破綻を経験せず、人生におけるそのほか数多くの苦難



チリ、マルガ・マルガ、オサムエ

に直面しないということではありません。現世には常に様々な問題があります。しかし、戒めに従うように努める人々が祝福されて平安と希望をもって進む道を見いだすのを、何度も見てきました。それらの祝福はだれでも得ることができます。¹²

ダビデはこう述べています。「主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなし。」「¹³ どこに住んでいようと、どのような外観の家であろうと、家族構成がどうであろうと、皆さんは家族のために最高級の家を築く助けができます。イエス・キリストの回復された福音は、その家のための設計図を提供しています。救い主は、完全な技師、建築士、インテリアデザイナーです。主のプロジェクトはわたしたちを完全にし、永遠の喜びを与えることです。主の愛にあふれた助けを受けて、皆さんは主から望まれている者になれます。なれる限りの最高の自分になり、最高級の家を確立しそこに住む備えをすることができます。」

わたしは感謝を込めて証します。わたしたち全員の御父である神は生きておられます。その御子、主イエス・キリストは全人類の救い主、贖い主です。御二方はわたしたちを完全に愛しておられます。末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上における主の王国です。生ける預言者と使徒

が、今日、教会を導いています。モルモン書は真実です。イエス・キリストの回復された福音は、最高級の家を築くための完璧な設計図です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. モーセ7:21
2. 信仰簡条1:13
3. 教義と聖約88:119
4. ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号, 113参照
5. 1ニーフай2:10; モーサヤ5:15:3ニーフай6:14参照
6. モーサヤ5:2; アルマ5:7参照
7. アルマ5:14, 19参照
8. 2020年3月18日の地震は、プロジェクトに着手する必要があることを十分に示している。
9. マタイ19:20
10. モーサヤ2:22
11. 2018年にホームティーチングと家庭訪問は終了し、ミニスターリングが実施されるようになった(ラッセル・M・ネルソン『ミニスターリング』「リアホナ」2018年5月号, 100参照)。
12. 戒めに従って生活しないことを選べば、ある程度、主の祝福は取り上げられる。この繰り返しが見られ、これは時折、義と悪のサイクルと呼ばれる(『モルモン書生徒用資料』[教会教育システム手引き, 2009年] 414, ChurchofJesusChrist.org参照)
13. 詩篇127:1



十二使徒定員会
D・トッド・クリストファーソン長老

回復と復活のメッセージを分かち合う

回復は世界にかかわるものであり、そのメッセージは現代にあってとりわけ差し迫ったものとなっています。

この総大会を通して、わたしたちは遠い昔に預言された「万物更新」¹の成就について、喜びをもって語り、歌ってきました。「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ」²ることについて、また、わたしたちが「回復」という言葉で表現するすべての事柄、すなわち完全な福音、神権、およびイエス・キリストの教会が地上に再び戻されたことについて取り上げてきたのです。

ただし、回復は、今日それを喜んでいる人々のためだけにあるものではありません。最初の示現による啓示はジョセフ・スミスのためだけでなく、「知恵に不足している」あらゆる人に向けた光と真理としてもたらされたのです。³ モルモン書は人類にとっての財産です。救いと昇栄のための神権の儀式は、もはや現世にはいない人々を含め、一人一人のために備えられました。末日聖徒イエス・キリスト教会とその祝福は、それを求めるすべての人のためのものです。聖霊の賜物は、あらゆる人のためのものです。回復は全人類にかかわるものであり、そのメッセージは現代にあってとりわけ差し迫ったものとなっています。

「したがって、これらのことを地に住む者に知らせて、聖なるメシヤの功德と憐れみと恵みによらなければ、だれも神の御前に住める者がいないことに気づかせるのは、何と大切なことであろうか。聖なるメシヤは、肉において御自分の命を一度捨て、そして、死者の復活をもたらすために御霊の力によって再びそれを得……られる。」⁴

預言者の弟、サミュエル・スミスが刷り

上がったばかりのモルモン書をかばんに詰め込み、真新しい聖典を分かち合おうと歩き始めた日から、聖徒たちは「これらのことを地に住む者に知らせ〔る〕」ために絶え間なく働いてきました。

1920年、当時十二使徒定員会の会員であったデビッド・O・マッケイ長老は、1年がかりで教会の伝道部を巡回しました。1921年5月には、サモアのファガリイの小さな墓地にある、手入れの行き届いた墓の前に立っていました。トーマス・ヒルトンとサラ・ヒルトンの3人の幼い子供たち、娘1人と息子2人の墓です。3歳に満たないこの幼い子供たちは、1800年代の終わり、トーマスとサラが若き夫婦宣教師として奉仕する中で亡くなりました。

マッケイ長老はユタを離れる前、夫に先立たれていたサラに約束しました。サラが一度も戻ることでできていない、サモアにある子供たちの墓を訪れると約束したのです。マッケイ長老は、サラにこのような返事をつづっています。「ヒルトン姉妹、眠っている3人の幼子は、30年近く前にお二人が始められた尊い伝道の業を、現在も静かに、雄々しく……推し進めています。」マッケイ長老は自作の詩を書



アメリカ合衆国、ユタ州ブラフデール

き加えました。

死にゆく目を閉じたのは、愛にあふれた
手
その小さき体を納めたのは、愛にあふ
れた手
簡素な墓を飾ったのは、異国の手
彼らをたたえ、その死を悼んだのは、見
知らぬ人々なのだ⁵

これは、回復のメッセージを分かち合う
うえで過去200年にわたりささげられて
きた時間と財産と命を物語る、何千、何万
もの話の一つにすぎません。あらゆる国民、
部族、国語の民、民族に手を差し伸べ
るというわたしたちの心からの願いは、今
日も衰えてはいません。その証拠に、現
在何万人もの若い男女や夫婦が専任宣
教師の召しを受けて奉仕しています。また、
多くの教会員はピリポと同じように、来
て見るようにと招いていますし、⁶世界中に
おけるその取り組みを支えるべく、毎年数
百万ドルが費やされています。

わたしたちの招きは人を強制するもの
ではありませんが、人々が説得力を感じる
ようにと願っています。そのためには、少
なくとも3つのことが求められると思いま
す。第1に愛、第2に模範、第3にモル
モン書を活用することです。

わたしたちの招きは、利己心から生じる
ものではなく、無私な愛を現すものでな
ければなりません。⁷ 慈愛として知られる
この愛、すなわちキリストの純粹な愛は、
求める者に与えられます。わたしたちは、
「この愛で満たされるように……熱意を
込めて御父に祈る」よう招かれ、命じ
られてさえます。⁸

例として、現在サモア・アピア伝道部を
管理する夫のフランシス・ホー・チン会長
とともに奉仕しているラネット・ホー・チン
姉妹にまつわる経験を紹介します。ホー・
チン姉妹はこうに語っています。

「何年も前、幼い子供を抱えるわたした



ち家族は、ハワイのライエにある小さな家
に引っ越しました。家の車庫はワンルーム
アパートに改装されており、そこにジョナ
サンという男性が住んでいました。ジョ
ナサンは別の場所でも近所に暮らしてい
た人で、主がわたしたちを引き合わせてく
ださったのは偶然ではないと感じたので、
教会での活動や教会員であることにつ
いて、彼にもっと包み隠さず話すことにしま
した。ジョナサンはわたしたち家族との
つきあいを楽しみ、一緒に過ごす時間を
喜んでくれました。福音について学ぶの
は好きだったものの、教会に入ることに
ついては興味がないようでした。

やがて、我が家の子供たちは彼を
『ジョナサンおじさん』と呼ぶまでになり
ました。わたしたちの家族が大きくなる
につれ、ジョナサンも我が家での出来事
に大きな関心を寄せるようになりました。
わたしたちは、祝日のパーティーや誕生日
会、学校行事、教会の活動だけでなく、家
庭の夕べや子供たちのバプテスマ会にも
彼を招待するようになったのです。

そんなある日、ジョナサンから電話がか
かってきました。ジョナサンは助けを求め
ていました。彼は糖尿病を患っていたの
ですが、重い感染症にかかった足を切断
する必要が生じたのです。わたしたち家
族と近隣のワード会員は、その試練の間、
彼と歩みました。交代で病院に行き、神
権の祝福を受けました。ジョナサンのリ
ハビリ中には、扶助協会の姉妹たちの助
けを借りて彼のアパートを掃除しました。
神権者の兄弟たちは玄関にスロープを、
浴室には手すりを備え付けました。家に
戻ったジョナサンは、胸がいっぱいになり
ました。

そうして再び宣教師のレッスンを受け
始めたジョナサンは、正月の前の週に電
話をかけてきて、こう尋ねました。『大み
そかの予定は決まっているかい。』恒例の
パーティーがあると告げると、彼はこう答
えました。『ほくのバプテスマ会に来てほ
しいんだ。今度の新年は良いスタートを
切りたいと思ってね。』20年の間、『来て
見る』ように、『来て助ける』ように、『来



てとどまる』ようにと招いた結果、このかけがえのない人はバプテスマを受ける備えができたのです。

2018年、わたしたちが伝道部会長夫妻として召されたとき、ジョナサンの健康状態は悪化していました。わたしたちは、帰還するまで元気で待っていてほしいとジョナサンに頼みました。ジョナサンは1年ほど生き長らえましたが、主は御自分のもとに戻るようジョナサンを備えておられたのです。2019年4月、ジョナサンは安らかに亡くなりました。娘たちは『ジョナサンおじさん』の葬儀に参列し、彼のバプテスマのときに歌ったのと同じ歌を歌いました。』

回復のメッセージを実りある形で分かち合うことに求められる第2の事柄について、次の質問を使って紹介します。魅力的な招きだと人に感じさせるものは何でしょうか。それはあなた自身、すなわちあなたの生活による模範ではないでしょうか。回復のメッセージを聞き、受け入れた人々の多くは、初めにイエス・キリストの教会に属する一人または複数の会員を通して感じたものに引かれています。会員の人々への接し方、話す、あるいは話さない事柄、困難な状況にあって示す安定感、または単に顔つき、といったものです。⁹

何であれ、わたしたちの招きを魅力的なものとするには、回復された福音の原則を理解し、それに従って生活するべく最善を尽くす必要があるという事実から逃れるこ

とはできません。今日、しばしば「信びよう性」と呼ばれるものです。キリストの愛が内に宿っていれば、人々はわたしたちの愛が心からのものだと分かるでしょう。聖なる御霊の光がわたしたちの内に輝いているならば、人々の内にあるキリストの光に再び火がともることでしょう。¹⁰ 来て、イエス・キリストの完全な福音の喜びを味わうようにという招きに信びよう性を与えるのは、あなた自身なのです。

第3に求められているのは、この最後の福音の神権時代のために神が備えられた改心の道具、すなわちモルモン書を十分に活用することです。モルモン書は、ジョセフ・スミスが預言者として召されていたことの明白な証拠であり、イエス・キリストの神性と復活の説得力ある証拠でもあります。モルモン書ほど、天の御父の贖いの計画を克明に説明している書物はほかにありません。モルモン書を分かち合うことは、回復について分かち合うことなのです。

ジェーン・オルソンは10代のころ、クリスチャンとなることについて、家族をはじめとする人々から度々釘を刺されていました。しかし、彼には末日聖徒イエス・キリスト教会の会員である二人の親友がおり、彼らとしばしば宗教について意見を交わしていました。友人のシーとデーブは、イエス・キリストへの信仰に反対する人々がジェーンに示した根拠に対して、丁重に反論しました。とうとう、二人はジェーン

にモルモン書を渡し、こう言いました。「この本が君の疑問に答えてくれるよ。ぜひ読んでみて。」ジェーンはしぶしぶ本を受け取ってリュックに入れると、そのまま数か月入れたままにしておきました。家族に見られる可能性がある家に置いておきたくはありませんでしたが、シーとデーブに返して二人をがっかりさせたくもなかったのです。ついに、ジェーンは本を燃やすという解決策を取ることにしました。

ある晩、片手にライターを、もう一方の手にモルモン書を持ち、まさに火を付けようとしたとき、頭の中で声が聞こえました。「わたしの書物を焼いてはならない。」ジェーンは驚いて手を止めたのですが、間もなく幻聴だと思い直し、もう一度ライターの火を付けようと思いました。するとまたしても、頭に声が聞こえてくるのです。「部屋に行ってわたしの書物を読みなさい。」ジェーンはライターをしまい、寝室に歩いて引き返すと、モルモン書を開いて読み始めました。ジェーンは来る日も来る日も、しばしば早朝まで読み続けました。間もなく読み終えるというところで祈ったジェーンは、このように記しています。「頭のでっぺんからつま先まで、御霊に満たされた。……光があふれるのを感じた。……人生でこれほど大きな喜びを味わったことはなかった。」ジェーンはバプテスマを受けることを望み、後に宣教師となったのです。

心からの愛を込めて誠実に回復のメッセージを分かち合ったとしても、ほとんどではないにしろ、多くの場合、わたしたちの招きが断られてしまうことは、恐らく言うまでもありません。しかし、覚えておいてください。すべての人には、そのように招きを受けるだけの価値があります。「すべての人が神にとって等しい存在」なのです。¹¹ 結果がどうであれ、主はわたしたちのあらゆる努力を喜ばれます。招きを断られたとしても、交流が途絶える理由にはなりません。今は関心がなくても、明日興味湧く日が来るかもしれません。いずれにせよ、わたしたちの愛が変わるこ



あり、その目的がわたしたちの救い主である主イエス・キリストの約束された再臨のために世を備えることにあるとの確信が授けられることを証します」。¹⁵ キリストの復活により、主の約束は確かなものとなりました。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 使徒 3:21
2. エペソ 1:10
3. ヤコブの手紙 1:5
4. 2ニーファイ 2:8
5. David O. McKay, letter to Sarah M. Hilton, June 3, 1921, Church History Library, Salt Lake City.
6. ヨハネ 1:46
7. 1ヨハネ 4:18 参照
8. モロナイ 7:48
9. デビッド・O・マッケイ大管長はこのように述べている。「この世に生を受けた人は皆、善きにつけ悪しきにつけ、周囲に影響を与えています。言葉や行いだけが影響を与えるものではありません。その人の全人格が影響を及ぼすのです。すべての人は自分自身の光を照らし【ています】。」「(『歴代大管長の教えーデビッド・O・マッケイ』 227)
10. ヨハネ 1:9; 教義と聖約 88:6 - 13:93:2 参照
11. 2ニーファイ 26:33
12. マタイ 16:19:18:18; 教義と聖約 110:14 - 16:132:19, 46 参照
13. Gordon B. Hinckley, "As One Who Loves the Prophet," in Susan Easton Black and Charles D. Tate Jr., eds., *Joseph Smith: The Prophet, the Man* (1993), 6.
14. 教義と聖約 76:22 - 24 参照
15. 「イエス・キリストの完全な福音の回復: 200周年の世界への宣言」 2020年4月5日, ラッセル・M・ネルソン「彼に聞きなさい」『リアホナ』 2020年5月号, 91

とはないのです。

回復は非常に厳しい試練と犠牲を経てもたらされたことを、忘れないようにしましょう。これについてはまた別の機会に語りましょう。わたしたちは今日、回復の実を喜んでます。最もすばらしいものの一つ、再び地上と天でつなぐための力です。¹² 何年も前にゴードン・B・ヒンクレイ大管長が述べたように、「回復にまつわるあらゆる悲しみと苦悩と苦痛により得られたものが、家族を永遠にともに結ぶ、聖なる神権による結び固めの力だけであったとしても、求められた犠牲すべてに匹敵するほどの価値があったと言えるでしょう。」¹³

回復による究極の約束は、イエス・キリストを通して贖われることです。イエス・キリストの復活は、主が、御自分のもとに来るすべての人を実際に贖う力を持っておられるという証拠です。悲しみや不公平、後悔、罪、さらには死からも贖う力です。今日はしゅろの日で、1週間後は復活祭です。わたしたちは、キリストがわたしたちの罪を贖うために苦しみ、亡くなられたことを思い起こし、常に記憶にとどめます。

また、主が死からよみがえられた最もすばらしい日曜日、すなわち主の日を祝います。イエス・キリストの復活のおかげで、回復は意味を持ちます。わたしたちの死すべき人生に意味があり、究極的にはわたしたちの存在そのものに意味があるのです。

回復の偉大な預言者、ジョセフ・スミスは、わたしたちの時代のために、復活されたキリストについて最も重要な証を述べています。「子羊は生きておられる。わたしたちはまことに神の右に子羊を見たからである。」¹⁴ ジョセフと、ジョセフに先立つ使徒と預言者、またその後を継いできた使徒と預言者の証に、へりくだり、わたしの証を加えます。ナザレのイエスは約束されたメシヤであり、神の独り子であり、復活した全人類の贖い主であります。

「祈りをもって回復のメッセージを研究し、信仰により行動する人には、回復が神の御心で



アメリカ合衆国、ユタ州サンディー



末日聖徒イエス・キリスト教会 大管長
ラッセル・M・ネルソン大管長

信仰をもって前進する

平安があり、主を信じる信仰が増すように、皆さんを祝福します。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この歴史的な大会を終えるに当たり、主に感謝します。音楽は荘厳で、メッセージは霊を鼓舞するものでした。

この大会では、注目すべき大切な事柄がたくさんありました。この200周年を記念する日に、わたしたちは、イエス・キリストの完全な福音が実際に回復したことを言明する、世界への宣言を発表しました。

わたしたちは、ホサナ斉唱で回復を祝いました。

また、主イエス・キリストを信じる信仰を示すものとして、また公式の教会の情報と資料を一目で認識できるように、新たなシンボルを発表しました。

また、全世界で断食と祈りを行う日を設け、現在のパンデミックが制御可能になり、医療従事者が守られ、経済が強められ、生活が正常化されることを祈るよう呼びかけました。この断食は、聖金曜日の4月10日に行われます。すばらしい金曜日になることでしょう。

次の日曜日は復活祭の日曜日で、わたしたちは再び、主イエス・キリストの贖罪と復活を祝います。主の贖罪のおかげで、主の復活の賜物は、これまでに生を受けたすべての人々に及びます。また、主の永遠の命の賜物は、主の聖なる神殿で執行される儀式と聖約に忠実であることにより資格を得るすべての人に及びます。

2020年4月のこの総大会の多くの霊

的な諸要素と、これから始まる神聖な一週間は、「彼に聞きなさい」という神の言葉にまとめられるでしょう。¹ 皆さんがこの言葉を述べられた天の御父と御子イエス・キリストに心に向けた思い出が、どの出来事にも増して皆さんの記憶に深く刻まれるよう祈ります。また、皆さんが改めて救い主の言葉を聞き、耳を傾け、心に留めることを、心を込めて行うよう祈ります。² そうするときに、恐れは薄れ、信仰は増すと約束します。

家庭を、主の御霊のとどまる真の信仰の聖所にしたいと望んでくださり、ありがとうございます。福音学習課程「わたしに従ってきなさい」は、引き続き皆さんの生活に祝福をもたらすでしょう。自分が特に成功しているように思えないときも含め、この取り組みを一貫して行うことによ

り、皆さんの生活と家族と世界が変わるでしょう。わたしたちは、さらにいっそう雄々しい主の弟子となり、どこにいても主のために立ち上がり、声を上げるときに、強められるでしょう。

それでは、神殿について話しましょう。現在、世界各地に168の奉献済みの神殿があります。ほかにも、計画と建設の様々な段階にある神殿があります。新しい神殿を建てる計画を発表するとき、それはわたしたちの神聖な歴史の一部となります。

すべての神殿が一時閉鎖しているときに、新たな神殿の発表をするのは奇妙に思えるかもしれません。

一世紀以上前に、ウィルフォード・ウッドラフ大管長は、今日の状況など様々な状況を予見していました。そのことは、1893年のソルトレーク神殿の奉献の祈りに記されています。この並外れた祈りの抜粋を、最近ソーシャルメディアで目にした人もいることでしょう。

神の力ある預言者のこの懇願をお聞きください。「あなたの民がこの聖なる宮に参入する機会を得られないとき、また抑圧され困難にあるとき、苦難に取り巻かれているときに、彼らがあなたの聖なる宮に顔を向け、解放や助けをあなたに願い求めるとき、また彼らのためにあなたの力を及ぼしてくださるようお願いするときに、ど



うぞあなたの聖なる住まいから憐れみの目で見下ろし、……彼らの叫びに耳を傾けてください。あるいは、あなたの民の子供たちが、将来、何らかの原因によりこの場所から離れなければならなくなり、……苦難と悲しみのただ中から救い出し解放して下さるようあなたに叫び求めるときに、どうぞ彼らの懇願を聴き、彼らの求める祝福を授けて下さるよう、へりくだり願ひ求めます。』³

兄弟姉妹の皆さん、この苦難の時に、神殿は閉館しています。それでも、聖約を尊ぶときに、神殿の聖約とエンダウメントの力を受けることができます。どうぞ、神殿が閉館しているこの時間を使って、引き続き神殿にふさわしい生活を送り、神殿にふさわしくなってください。

家族や友人と神殿について話してください。神殿内で行うすべてのことの中心はイエス・キリストであるため、神殿についてもっと考えるときに、主についてもっと考えるようになります。自分に授けられている、あるいはこれから授けられる、力と知識について、研究し、もっと学べるよう祈ってください。

今日、次の地に8つの神殿を新たに建設する計画を発表できることをうれしく思います。アルゼンチン、バイア・ブランカ；フロリダ州タラハシー；コンゴ民主共和国、ルブンバシ；ペンシルベニア州ピッツバーグ；ナイジェリア、ベニンシティ；ユタ州シラキューズ；アラブ首長国連邦、ドバイ；中華人民共和国、上海。

この8か所すべてにおいて、教会の建築家が地元の役人と協力し、神殿が各地域と調和し、美しさを加えられるように取り計らいます。

ドバイの神殿の計画は、同国の厚意ある誘致を受けて成されるもので、わたしたちは感謝をもってこれに応じます。

上海の計画に関する背景は非常に重要です。20年以上にわたり、神殿に参入するふさわしさを持った中華人民共和国の



会員は、中国香港神殿に参入してきました。しかし、2019年7月、香港神殿は長期にわたる、不可欠な改修のために閉館しました。

上海において、簡素な多目的集会所は、中国の会員が中華人民共和国で、自分と先祖の神殿の儀式に引き続き携わる手段を提供します。⁴

この教会は会員たちに各国で、法律を尊び、それに従い、支持するよう教えています。⁵ 家族の大切さと、よい親、模範的な市民であることの重要性を教えています。教会は、中華人民共和国の法律と規則を順守するため、伝道する宣教師をそこに送っていませんし、現在のところその予定もありません。

外国人と中国人は引き続き別々に集会を持ちます。中国における教会の法的立場は引き続き変わりません。施設利用の初期段階において、入館は完全予約制となります。他国からの観光客は上海の主の宮を訪問することはできません。

この8つの新しい神殿は、死の幕の両側にいる大勢の人の

人生に祝福をもたらすでしょう。神殿は、イエス・キリストの完全な福音の回復の頂点です。慈しみ深く寛大な神は、神殿の祝福を、あらゆる場所にいる神の子供たちにもっと近づけようとしておられます。

回復が続くに当たって、神は引き続き、この地上における神の王国に関する多くの偉大で重要な事柄を明らかにされることを知っています。⁶ その王国とは、まさに末日聖徒イエス・キリスト教会です。

兄弟姉妹、わたしからの皆さんへの愛をお伝えします。緊迫した不安定なこの時期に、わたしに授けられている権能を行使して、使徒としての祝福を皆さんに授けたいと思います。

平安があり、主を信じる信仰が増すように、皆さんを祝福します。⁷

悔い改めて、日々少しずつより主のよう



台湾、新北市

になりたいという望みを持てるよう皆さんを祝福します。⁸

預言者ジョセフ・スミスが完全なイエス・キリストの福音の回復の預言者であることを知ることができるよう皆さんを祝福します。

皆さんや皆さんの愛する人の中に病気の人がいれば、主の御心のままに癒されるよう祝福を残します。

このことを祝福し、皆さん一人一人への愛を改めてお伝えします。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ジョセフ・スミス—歴史 1:17。ルカ 9:35 も参照
2. ヨハネ 10:27; 黙示 3:20; モーサヤ 26:21, 28; 教義と聖約 29:7 参照
3. Wilford Woodruff, dedicatory prayer of the Salt Lake Temple, Apr. 6, 1893, ChurchofJesusChrist.org; emphasis added.
4. 何千年にもわたり、中国の人々は先祖代々の記録や系図を保存してきた。清明節（清明节）などの中国の伝道的な儀式は、先祖への敬意を示している。今年の清明節（清明节）は、4月4-5日に行われた。
5. 信仰箇条 1:12 参照
6. 信仰箇条 1:9 参照
7. ヨハネ 14:27 参照
8. 3 ニーファイ 27:27 参照

2019年度統計報告

教会員に情報を提供するために、大管長会は2019年12月31日現在の教会の発展と現状に関する以下の統計報告を発表しました。

教会のユニット数

ステーク	3,437
伝道部	399
地方部	542
ワードおよび支部	30,940

教会員数

会員総数	1,656万5,036
新たな記録上の子供	9万4,266
バプテスマを受けた改宗者	24万8,835

宣教師

専任宣教師	67,021
教会奉仕宣教師	31,333

神 殿

2019年に奉献された神殿（イタリア・ローマ、コンゴ民主共和国キンシャサ、ブラジル・フォルタレザ、ハイチ・ポルトープランス、ポルトガル・リスボン、ペルー・アレキバ）	6
2019年に再奉献された神殿（テネシー州メンフィス、オクラホマ州オクラホマシティー、カリフォルニア州オークランド、ノースカロライナ州ローリー、ドイツ・フランクフルト、パラグアイ・アスンシオン、ルイジアナ州バトンルーージュ）	7
年度末時点で儀式が執行されている神殿	167



ホルヘ・T・ベセラ長老

中央幹部七十人

ホルヘ・T・ベセラは、内気でもの静かな青年でしたが、人々を指導する責任を伝道部会長から与えられました。カリフォルニア州アルカディア伝道部から帰還したベセラ長老は、残りの生涯を主の業にささげたいと思いました。

指導者として働く機会は、思ったよりも早くやって来ました。27歳のときにビショップリックに、32歳のときにはビショップに召されたのです。問題を抱えた人がやって来ると、最初は自分が無力だと感じました。

彼は父親に「どうしたらよいか分かりません」と打ち明けました。

それに対する父親の答えから、彼は大きな教訓を学びました。父の言葉を聞いて、伝道部会長が自分を信じてくれたことを思い出しましたし、37歳でステーク会長に召されるなど、その後指導者の召しを歴任することになるのですが、そのときの父の言葉が、それらの召しに備える助けとなったのです。

「父から、『息子よ、聖霊は何歳なのかな?』と聞かれたのです。」ベセラ長老はそのときのことをこう言っています。「それはわたしにとって、すばらしい教えを受けた瞬間でした。主から求められることは何でもできると確信したのです。」

この教訓は、末日聖徒イエス・キリスト教会で長年心を込めて奉仕する間、いつもベセラ長老の心にありました。

ホルヘ・T・ベセラ長老は、1962年12月18日にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティで、フアレス・C・ベセラとセリア・T・ベセラのもとに生まれ、そこで成長しました。

専任宣教師として奉仕した後、ベセラ長老は1984年8月10日にソルトレーク神殿で、デビー・イレン・シュネベルガーと結婚しました。夫妻には4人の子供がいます。

ベセラ長老は、ユタ大学で一般教養を学び、ソルトレークコミュニティカレッジで会計学の準学士号を取得しました。また、フェニックス大学で経営学を学びました。1998年に、財務顧問サービス会社であるアリージャス・アドバイザー・グループ社の共同経営者になりました。中央幹部七十人の召しを受けたときは、インターマウンテン・ファイナンシャルパートナーズの投資アドバイザーを務めていました。

ベセラ長老は、ワード若い男性会長、伝道部会長会顧問、支部会長会顧問、セミナー教師、ビショップリック顧問、ビショップ、ステーク会長、カリフォルニア州アルカディア伝道部会長として奉仕しました。この召しを受けたときには、地域七十人として奉仕していました。■



マシュー・S・ホランド長老

中央幹部七十人

マシュー・S・ホランド長老は、中央幹部や総大会になじみのない人ではありません。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の息子として、多くの末日聖徒に知られています。1983年4月の総大会で当時17歳だったホランド長老が話したのを覚えている人もいるかもしれません。

「父と母がどんなことをしてきたのか、何に人生をささげてきたのか、何をしよう求められてきたのかを目にするというのは、人生でいちばんすばらしい経験でした」と、現在ノースカロライナ州ローリー伝道部の伝道部会長を務めるホランド長老は語ります。

「しかし、このように間近で見えてきたため、この召しについてあまりに知りすぎていて、召しを務める資格が備わっているとどうも思えません」とも言っています。「幸い、主は御自分の召した者をその召しにふさわしい者とされることも学びましたから、そこに信仰と慰めを大いに見いだしています。」

ホランド長老は、総大会で話すのは身のすくむような経験だったことを覚えています。メッセージの準備は、結局は「教えに教え、訓戒に訓戒」を加えて進んでいき(2ニーファイ28:30)、「主から割り当てを受けると主が助け、伝える必要のあることを考えや印象で与えてくださることが分かりました。こんな心強い祝福を、わたしは早い時期に受けたのです。」

マシュー・スコット・ホランドは、1966年6月7日、ジェフリー・R・ホランドとバトリシア・ホランドの息子として、アメリカ合衆国ユタ州プロボで生まれました。1996年5月20日、ユタ州セントジョージ神殿でページ・ベイトマンと結婚しました。夫妻には4人の子供がいます。

ホランド長老の教育に対する探究は、政治学における3つの学位の取得につながります。1991年にブリガム・ヤング大学で学士号を取得し、1997年の修士号と2001年の博士号はどちらもデューク大学で取得しています。

2009年、政治学の准教授としてBYUで働いていたときに(2001-2009年)、ユタバレー大学の学長に任命され、2018年に伝道部会長に召されるまで学長として働きました。

これまでビショップ、高等評議員、ビショップリック顧問、ワード若い男性アドバイザー、ワード伝道主任、日曜学校教師を務め、専任宣教師としてスコットランド・エディンバラ伝道部で奉仕しました。■



ウィリアム・K・ジャクソン長老

中央幹部七十人

アメリカ合衆国国務省で地域軍医として23年間働いた後、ウィリアム・K・ジャクソンは、最果ての地で暮らし働いた中でいちばん良かった20の経験を教えてくれないかと言われました。

引退式を前にこの問いについてじっくり考えたところ、「20の経験はすべて、教会または家族に関連していた」ことに気づいたと言っています。

ウィリアム・キング・ジャクソンは、1956年3月29日、アメリカ合衆国のワシントンD.C.で、E・ウィリアム・ジャクソンとロイス・アンドレイ・ジャクソンの間に生まれました。アメリカ合衆国カリフォルニア州オーハイで育ちましたが、両親のボランティア活動のため、ホンジュラスやアルジェリア、アフガニスタンでも学校教育を受けています。

ボリビア・ラ・パス伝道部で伝道した後、ジャクソン長老は1977年の夏にアン・ケスラーと出会います。

「わたしの一目ぼれでした」とジャクソン長老は言います。「わたしこそが運命の人だということを分かってもらうのに、その年の残りの夏を費やしました。」

二人は1977年12月29日にカリフォルニア州ロサンゼルス神殿で結婚しました。夫妻には8人の子供がおり、そのうち3人は、インド、ネパール、カンボジアからそれぞれ迎えた養子です。

ジャクソン長老はブリガム・ヤング大学に行き、学士号をカリフォルニア大学バークレー校で取得、1983年にはカリフォルニア大学サンフランシスコ校で医学博士号を取得しました。

研修医を経て、26年間海外で働きました。最近までアメリカ合衆国アイダホ州とオレゴン州で、バレー・ファミリー・ヘルスケアの医務ディレクターとして働いていました。

アメリカ合衆国以外の国に住んでいたとき、ジャクソン長老とジャクソン姉妹はほとんどの時間を第一世代の教会員と一緒に過ごしました。

「福音に対するわたしの証のいちばん大きな部分は、愛するこのような人たちに福音が与える影響を見ることによって育まれてきました。福音は彼らを変えているのです」とジャクソン長老は語ります。

ジャクソン長老はこれまで、地域七十人およびインド・ニューデリー伝道部の伝道部会長、支部若い男性会長、インスティテュート教師、福音の教義クラスの教師として奉仕してきました。中央幹部七十人に召されたときには、ビショップを務めていました。■



ジェレミー・R・ジャギ長老

中央幹部七十人

ジェレミー・R・ジャギ長老が10代のころ、7歳だった妹のクリステンが脳を襲う細菌に感染し、助からないだろうと医者から言われました。

若かったジェレミーはアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーにある家でベッドの横にひざまずき、なぜ妹がこんなに幼くして死ななければならないのか教えてくださるようと必死に祈りました。ところが妹は、神権の祝福を受けて助かったのです。

これがきっかけとなって17歳のジェレミーは「心を入れ替えて神に従う」ようになり、初めてモルモン書を真剣に読みました。後に彼は専任宣教師として、オハイオ州クリブランド伝道部で奉仕しています。

その後何年もたって、ジェレミーは再びひざまずいて祈りました。3人目を身ごもっていた妻エイミーに早発陣痛が起こったのです。「その瞬間、わたしはたとえようのない平安を感じました。その平安は、天の御父が愛の手を差し伸べて聖霊のぬくもりでわたしを包み込んでくださっているとしか言えないものでした」とジェレミーは語ります。

その平安のおかげで、その赤ん坊が短命だったことも次の妊娠が流産に終わって悲しんだ数か月も乗り越えることができました。「わたしたちは皆、それなりに試練に遭いますが、それでも救い主が平安と幸せを得る方法を与えてくださっていることは、『非常に喜ばしいことと思〔う〕』のです〔ヤコブの手紙1:2〕。」

ジェレミー・ロバート・ジャギは、1973年3月23日、ロバート・スタンレー・ジャギとジュディー・アン・ルースの間に生まれました。1995年6月12日、ソルトレーク神殿でエイミー・アン・ステュアートと結婚しています。夫妻には5人の子供がいます。

ジャギ長老はユタ大学で健康行動科学の学士号を、ペパーダイン大学で経営学修士(MBA)を取得しました。この召しを受けたときには、アルケルメス社の地区営業を統括し、HCA投資会社で商業不動産の管理をしていました。

ジャギ長老はこれまで地域七十人、ユタ州オグデン伝道部の伝道部会長、ステーク幹部書記補佐、ビショップ、長老定員会会長、セミナー教師、ワード若い男性会長会顧問、ステーク宣教師準備クラス教師、ワード伝道主任を務めました。■



ケリー・R・ジョンソン長老

中央幹部七十人

ケリー・R・ジョンソン長老は、31歳でビショップに召された日のことをよく覚えています。その同じ日に「ベルまひ」と診断されたのです。これは、顔の片側の筋肉がまひしたり、うまく動かなくなったりする病気です。

試練の時でした。それは、この症状が不快で恥ずかしいからだけでなく、負うべき新しい責任が多くあったからでした。しかし、その困難な時がかえって祝福となりました。

ジョンソン長老はこのように述べます。「この症状が長期にわたってどう推移していくのかわかりませんでした。わたしは残りの人生を共にする人たちに対する思いやりが深くなりました。人は自分ではどうすることもできないつらく悲しい出来事を経験し、それが自分の能力や気持ち、自信に大きな影響を与えるということがよく分かったのです。」

時々、主の教会で奉仕することが自分の都合に合わないことがあります。しかし、救い主の弟子たちが「すぐに網を捨てて」(マタイ4:20)主に従ったように、「わたしたちはどんなことを頼まれても、喜んでそれを行うのです」とジョンソン長老は言います。

主が自分や家族をどこに召されようと、自分の置かれた状況にかかわらず良いことを見つけながら、進んで行く心と精神で行くのです。

ケリー・レイ・ジョンソンは1963年1月16日、ユタ州プレザントビューで、ハロルド・レイモンド・ジョンソン・ジュニアとヘレン・クラガウン・ジョンソンの間に生まれました。ユタ州オグデンで育ち、1986年3月27日にソルトレーク神殿で、テレサ・リン・バートラムと結婚しました。夫妻には5人の子供がいます。

ジョンソン長老は1987年に会計学の学士号を取得してウィーバー州立大学を卒業し、1989年にはブリガム・ヤング大学で経営学修士(MBA)を取得しました。KPMG インターナショナルの法廷会計士として働いた経験を持ち、ごく最近まで、ノーマン・タウンセンド&ジョンソン社の法廷会計士兼共同経営者として働いていました。

この召しを受けたときに地域七十人として奉仕していたジョンソン長老は、専任宣教師として奉仕したタイ・バンコク伝道部の伝道部会長として、また、ステーク会長およびステーク会長会顧問、高等評議員、ビショップ、長老定員会会長、ワード伝道主任、ステーク宣教師準備クラス教師として、これまで奉仕してきました。■



ティエリー・K・ムトンボ長老

中央幹部七十人

若いころに伝道の召しを受けたとき、ティエリー・K・ムトンボ長老には強い証がありました。10歳のときに家族とともにバプテスマを受けたムトンボ長老は、福音が家族を変える力強い方法を目の当たりにしたのです。

しかし、コートジボワール・アビジャン伝道部で奉仕する備えをしていたときでさえ、モルモン書に対する強い証がありませんでした。今までモルモン書を読んだことがなかったのです。

ティエリーのビショップは靈感を受けて、伝道に出るまで毎日モルモン書を読むようチャレンジしました。落ち着いて勉強できるようにと、地元の教会の集会所の鍵まで渡してくれたのです。

ティエリーは3か月間、毎日モルモン書を読みました。任地に赴くころまでには、モルモン書の強い証を得ていたばかりでなく勉強する習慣も身につけ、伝道中とても役立ちました。

「人々を福音の光の下に導いて、散らされたイスラエルを集めるためのいちばんのツールは、モルモン書です」とムトンボ長老は言います。

ティエリー・カスアンギ・ムトンボ長老は、1976年1月31日にコンゴ民主共和国キンシャサで、アントニー・カスアンギ・ムトンボとマリー・テレーズ・マタンガ・ムトンボの間に生まれました。2002年11月29日に、ツシャイ・ナタリー・シンダと市民結婚しています。その後2004年11月19日に、南アフリカ・ヨハネスブルグ神殿で二人は結び固められました。夫妻には6人の子供がいます。

ムトンボ長老はセプロマ大学でビジネスマネージメントを学んで2010年に卒業し、2012年には人事管理の学士号を取得しています。コンゴ民主共和国にある教会の家族歴史部と人事部でマネージャーとして働き、資材管理部のスーパーバイザーとしても働きました。

中央幹部七十人に召されたとき、ムトンボ長老はメリーランド州バルティモア伝道部の伝道部会長を務めていました。これまでに、ステーク会長およびステーク会長会顧問、ワード伝道主任、日曜学校教師、ステーク幹部書記として奉仕しました。■



アデインカ・A・ オジェディラン長老

中央幹部七十人

アデインカ・A・オジェディラン長老にとって、2020年4月の総大会は「記憶に残る週末」となりました。

教会の改宗者が中央幹部七十人として支持されるのは、ナイジェリアおよび西アフリカの末日聖徒として初めてのことで、圧倒されるような感謝と喜びがさらに増したのは、ラッセル・M・ネルソン大管長がナイジェリアで3番目となる神殿がベニンシティに建設されることを発表したときでした。

「想像もしていませんでした。」オジェディラン長老は満面の笑みで述べます。「ナイジェリアにもう一つの神殿が建てられるという預言者の言葉を聞くのは、ほんとうにすばらしい経験でした。わたしにとって、それは主の業が速められているという確認でした。神の子供たちを御子の再臨に備えるために、わたしたちがしなければならぬことがたくさんあります。

アデインカ・アヨデジ・オジェディランは、1967年4月5日にナイジェリアのイバダンで、アモス・アデニとキャロリン・アニーケ・オジェディラン夫妻の間に生まれ、1991年にイロリン大学から植物学の学士号を受け、後にラドケ・アキントラ工科大学において経営学修士号を修得しました。専門の公認会計士として、財務および経営管理の分野でキャリアを積みました。中央幹部として召される前は、シェル・ナイジェリアの経営財務マネージャーとして働いていました。

バプテスマを受けて3年後に、彼は教会の活動でオルフンミラヨ・オモロラ・アキンベビジェと出会いました。二人は交際するようになりましたが、互いの職場が離れた町だったため、「電話で連絡を取り合う」関係でした。

最終的に二人は1998年に結婚し、2002年11月14日に南アフリカ・ヨハネスブルグ神殿で結び固めを受けました。オジェディラン夫妻には娘が一人います。

オジェディラン長老は、1990年に23歳で教会に入ってから受けてきたすべての教会の召しに感謝しています。教会におけるそれぞれの責任を通して成長し、ほかの人々が召しや義務を果たせるように彼らを助けるという神聖な機会が与えられてきたからです。

オジェディラン長老は中央幹部七十人に召されたときに、地域七十人の召しを受けていましたが、これまでに伝道部会長会顧問、ステーキ会長、ステーキ会長会顧問、ビショップ、ビショップリック顧問、支部会長として奉仕しました。■



シロ・シュマイル長老

中央幹部七十人

シロ・シュマイル長老は、特定の戒めの理由を理解できないときでも、主に対して常に従順であるよう努めてきました。そして次のことを学びました。「わたしたちが従順で、戒めを守る時、主は常に祝福してください。」

シュマイル長老は召しを果たす際に、従順のもたらす祝福を目にしました。ビショップやステーキ会長として奉仕しているとき、「人々が救い主とモルモン書に対する証によって生活を変えるのを見る」という多くの貴重な経験をしました。

シュマイル長老は、1971年4月16日にブラジルのパラナ州ボンタグロッサで生まれ、両親のブルーノ・シュマイルとエリカ・シュマイルは、教会への改宗者でした。ブラジルのクリチバで育ち、両親がブラジル・カンピナス伝道部を管理する召しを受けたころに、ユタ州オグデン伝道部で奉仕するために家を離れました。

ユタ大学在学中に、シュマイル長老はディボーショナルで、ブリガム・ヤング大学の学生、アレクサンドラ・マシャド・ロウザと出会いました。「初めて会ったとき、彼女はわたしを完全に無視しました。」とシュマイル長老は言いますが、長老にとって一目ぼれでした。

二人は1994年7月にブラジル・サンパウロ神殿で結婚し、アメリカ合衆国でそれぞれの学業を修了しました。それからブラジルに戻って20年暮らし、その後アメリカ合衆国のコロラド州、次にフロリダ州に転居しました。シュマイル夫妻には2人の子供がいます。

シュマイル長老は、1995年にユタ大学で建築学の学士号、そして2010年にオハイオ大学でエグゼクティブ経営学修士号(EMBA)を取得しました。そしてブラジルのウォールマート社で副社長および不動産開発ディレクターとして働き、スコベル社の最高執行責任者、シア・シティ社の総支配人も務めました。ごく最近ではJBS S.Aの不動産部門の責任者として働いています。

シュマイル長老は、これまでに地域七十人、ステーキ会長、ステーキ会長会顧問、ビショップ、長老定員会会長、支部会長として奉仕しました。■



モイセス・ビラヌエバ長老

中央幹部七十人

当時わずか10歳だったものの、モイセス・ビラヌエバ長老はメキシコのオアハカで宣教師が彼と家族に福音を教えたときに感じた気持ちを決して忘れていません。

「わたしは彼らが残していった御霊、すなわち心に感じた平安を忘れません」と語ります。

モイセスが4人のきょうだいとともにバプテスマを受けたとき、困難な状況下でモイセスと7人のきょうだいを女手一つで育てた母親が教会に戻り、活発に集うようになりました。

その後、18歳のモイセス青年が伝道の準備をしているころ、家族は引き続き経済的な問題に見舞われていました。家族を離れるという自身の決意を疑ったモイセスは、家に残って手伝いたいと母親に申し出ます。

母の答えはこうでした。「もしわたしをほんとうに助けたいと思うなら、行って主に仕えなさい。」

メキシコ・エルモシージョ伝道部での初日を終え、折り畳みベッドの傍らにひざまずいたモイセスは、主が彼の決意を喜んでくださっているのを感じました。伝道によって、回復された福音に対する証が強められました。

「この教会はわたしたちの救い主イエス・キリストによって導かれています」とビラヌエバ長老は述べます。「主はわたしたち一人一人を名前でも御存じです。わたしたちの必要や困難、心配事を御存じです。さらにわたしたちの強さや心の望みですら御存じなのです。」

モイセス・ビラヌエバ・ロペスは1966年12月13日、メキシコ・オアハカでルーベン・ビラヌエバ・プラタスとデルフィナ・ロペス・ドミンゲスのもとに生まれました。1995年6月30日、メキシコ・メキシコシティでレティシア・アバロス・ロザノと結婚しました。夫妻には3人の子供がいます。

ビラヌエバ長老は1997年にサウスイースト・リージョナル大学で経営管理学の学士号を、2011年にテクノロジコ・デ・モンテレーで経営改善イノベーション学の修士号を取得しました。最近まで、セルテクサ社という運送会社の最高経営責任者を務めていました。

この召しを受けたとき、ビラヌエバ長老はメキシコにおいて地域七十人として奉仕していました。カリフォルニア・アルカディア伝道部の伝道部長として奉仕したほか、高等評議員、ステーキ会長会顧問、ビショップ、広報ディレクターとしても奉仕しました。■



スティーブン・J・ランド

中央若い男性会長

新しい中央若い男性会長として、スティーブン・J・ランドは、全世界の教会に集う何十万人ものアロン神権の年代の青少年を助け導くという神聖な責任を受け入れました。

すべての青少年と一対一で会うことができるとしたら、ランド兄弟が言いたいのはまさに次のことです。「神の王国で成功した会員になるのは、複雑なことではありません。天の御父はあなたを愛しておられます。必要なのは、御父を愛することだけです。そうすれば、安全で幸せになれます。……人生は非常に大きな意味を持つようになるでしょう。」

教会と真剣に向き合うのは、日曜日だけではなく。それは毎日のことだと、弁護士から経営者に転身したランド兄弟は言います。

「聖文を読み、教会に出席し、道をそれたときはすぐに悔い改め、福音の模範を示すことこそが、天の御父の計画です」と言うのです。

ランド兄弟は1953年10月30日に、ジェイ・ランドとトイ・エレン・ランドのもとに生まれ、アメリカ合衆国のカリフォルニア州北部（サンタローザ）とカリフォルニア州南部（ロングビーチ）で育ちました。合衆国陸軍で兵役に就いたため、再びヨーロッパに行きました。オランダ・アムステルダム伝道部で伝道して以来愛するようになった大陸に戻ったのです。

兵役を終えると、ブリガム・ヤング大学に入学し、そこでドイツ駐屯中に知り合った若い女性、カレン・カークと再会しました。スティーブンとカレンはその後1980年8月8日に、ソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には4人の子供がいます。

BYUで法律の学位を取得した後、ランド兄弟は、最終的にニュースキンエンタープライズ社の社長兼最高経営責任者になるまで、弁護士として働きました。現在は、同社の取締役会会長を務めています。また、ユタ州高等教育システムの理事でもあります。

ランド兄弟はジョージア州アトランタ伝道部長として、またプロボ・シティセンター神殿奉獻委員会のコーディネーターとして奉仕しました。さらに、中央若い男性管理会の会員として、また地域七十人としても奉仕してきています。■



アーマド・S・コービット

中央若い男性会長会第一顧問

アーマド・S・コービットは現在 57 歳で、1962 年 8 月、ジェームズ・アール・コービットとアメリア・コービットの間に生まれました。貧しかった一家はアメリカ合衆国ペンシルベニア州フィラデルフィアにある公営住宅に住み、犯罪と犯罪組織の暴力に囲まれていました。隣近所を歩き来するのも安全ではありませんでした。

しかし、母親の靈感によって 10 人の子供は導かれ、危険な目に遭う者は一人もいませんでした。子供たちが外へ遊びに行ってもよいときと家から出るべきでないときが、母親には直感的に分かったのです。

この霊的な感受性が、後に末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師を家に招くこととなります。アーマドは少年時代と青少年時代のほとんどは家族と一緒にネーション・オブ・イスラムで礼拝し、後に洗礼を受けてプロテスタントになりました。しかし、地元の末日聖徒から愛されていると感じるようになります。

翌月、母親ときょうだいの何人かがバプテスマを受けました。1980 年 8 月 16 日、18 歳の誕生日に、アーマドもバプテスマの水に入ります。翌年、継父のヘンリー・ブラッドフォード・キャンベルが教会に入りました。

「自分たちのためではありませんでした」とアーマドは言います。「それは神のためであり、神がわたしにしてほしいと望んでおられる事柄が大切だったので。わたしたちが進んで謙遜になり、心を開くと、主は導いてくださいました。」

リックスカレッジを卒業後、プエルトリコ・サンファン伝道部で 1982 年から 1984 年まで奉仕し、ヤングシングルアダルトの神殿参入でジェイン・ジョスリンと出会いました。二人は 1985 年 8 月 24 日、ワシントン D.C. 神殿で結婚し、6 人の子供がいます。

結婚してから 9 年間、昼は働き、夜は学校に通う生活を続けて、リチャードストックトン大学ニュージャージー校とラトガーズ大学法科大学院で学位を取得しています。

これまでにステーク会長会顧問、ステーク会長、高等評議員、ドミニカ共和国サントドミンゴ東伝道部の伝道部会長を務めました。

コービット兄弟は、広報部の法廷弁護士として、また教会の広報国際関係部ニューヨーク事務所ディレクターとして働きました。現在は、教会の宣教師管理部で働いています。■



ブラッドリー・R・ウィルコックス

中央若い男性会長会第二顧問

カリフォルニアで行われたユースカンファレンスに参加したとき、ブラッドリー（ブラッド）・R・ウィルコックス兄弟は、それに参加しなかった一人の少年に出会いました。木陰で語らう 10 代の若人たちの仲間に入れてもらったところ、間もなく彼らは大好きな話題、スケートボードについて話し始めたのです。

ウィルコックス兄弟はその少年に、スケートボードの動きを幾つか見せてくれないかと頼みました。見事な動きに感動したウィルコックス兄弟は、夏の「エスペシャリー・フォー・ユース (efy)」でスケートボードの実演をするようお願いしたのです。その少年は嫌がりましたが、結局引き受けました。efy で、少年は人生が変わる経験をして、福音に対する証を見いだしました。

ウィルコックス兄弟はこう言っています。「彼は efy にスケートボードに乗ってやって来て、宣教師になって出て行ったのです。」

「わたしは、子供たちや 10 代の若人たちと一緒にこれまでの人生を過ごしてきました。青少年を愛しています。」

ブラッドリー・レイ・ウィルコックスは、1959 年 12 月 25 日にアメリカ合衆国ユタ州プロボで、レイ・T・ウィルコックスとバル・C・ウィルコックスの間に生まれました。その後、幼少期にエチオピアで過ごした数年を除き、プロボで成長しました。

チリ・ビニャデルマール伝道部で専任宣教師として伝道した後、ウィルコックス兄弟は、1982 年 10 月 7 日にユタ州プロボ神殿でデボラ・ガンネルと結婚しました。夫妻には 4 人の子供がいます。

ウィルコックス兄弟は、ブリガム・ヤング大学で教育学の学士号と修士号、ワイオミング大学で同じく教育学の博士号を取得しました。ウィルコックス兄弟は、教育における功労を称える賞を数回受けており、30 年以上にわたって BYU の「エスペシャリー・フォー・ユース」プログラムで献身的に働き、大学教育週間 (Campus Education Week) で講師を務めることを、こよなく愛してきました。

また、家族とともにニューゼalandとスペインに住んで、BYU の海外留学プログラムを指導しました。彼は数冊の本を著し、現在は BYU で古代聖文学部の教授を務めています。

ウィルコックス兄弟は、チリ・サンティアゴ東伝道部会長、中央日曜学校管理会会員、ステーク会長会顧問、ヤングシングルアダルトワードのビショップを歴任しました。この召しを受けたときには、高等評議員およびステーク若い男性会長として奉仕していました。■



大会の心に残る出来事

ラッセル・M・ネルソン大管長が約束したように、この総大会は多くの面で「記憶に残るもの」になりました。¹ 大会の心に残る出来事を少し紹介しましょう。

新しいシンボル

ネルソン大管長は、教会の新しいシンボルを発表しました（73 ページ参照）。このシンボルでは、隅のかしら石を表す長方形の枠の中に教会の名称が入っています。その上には、キリスト像がアーチの下に立ち、救い主と空になった墓を思い起こさせます。

200周年の宣言

ネルソン大管長は、「イエス・キリストの完全な福音の回復：200周年の世界への宣言」を読み上げました。宣言は世界中の人々に、新約聖書の中で語られたイエス・キリストの福音が現在再び地上にあることを知るようにと招いています。公式の翻訳は、12の言語の月号表紙裏に掲載されています。公式の翻訳がまだ発表されていない言語の会員は、ネルソン大管長の話（91 ページ参照）の中で宣言の仮翻訳を読むことができます。

聖会

最初の示現の200周年記念式典の一部として、日曜午前の部会で「聖会」が行われました。この神聖な集会で、ネルソン大管長は聖徒たちの「ホサナ斉唱」を指揮しました。「ホサナ斉唱」とは、皆で心をつにして行う賛美の表現であり、神殿の奉獻のような特別な行事で行われます（92 ページ参照）。

2度目の世界的な断食

ネルソン大管長は世界中の人々に、「現在直面しているパンデミックが抑制され、世話をする人々が守られ、経済が強化され、通常の生活が戻ってくる」ことを求めて、9日間で2度目の断食と祈りを行うようと呼びかけました（74 ページ参照）。この2度目の世界的な断食は、2020年4月10日の聖金曜日〔訳注—復活祭前の金曜日〕に行われました。

新しい神殿

ネルソン大管長は、全世界で8つの新たな神殿を建設する計画を発表しました（115 ページ参照）。現在、儀式が執行されている神殿は、世界に167あります。

青少年の話者

土曜夜の部会で二人の10代の若人、ラウディ・ルース・カオクとエンツォ・セルゲ・ペテロが、神権が青少年をいかに祝福するかについて話しました。青少年が総大会の話者になったのは、少なくとも20年ぶりです。

感動的な音楽

大会の音楽は、事前に録音されたものでした。世界中の聖徒たちが、ガーナ、ニュージーランド、メキシコシティ、韓国、ドイツ、ブラジルの聖歌隊と一緒に、「感謝を神に捧げん」を歌って大会を締めくくりました。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン大管長「結びの言葉」『リアホナ』2019年11月号、122

COVID-19に関して：導きと癒し、希望を与えるメッセージ

会員たちは、変化や不安や損失に満ちたこの状況の中でも主の御手を見たことを証しています。

編集者注：総大会が4月4日に始まったとき、静寂に包まれたカンファレンスセンターの映像が、わたしたちを取り巻くパンデミックを思い起こさせましたが、指導者からのメッセージは楽観的で希望に満ちています。ここ数週間で、世界中の教会員から信仰あふれる経験談が多く寄せられました。このコーナーでは皆さんから寄せられた経験談の抜粋を紹介するとともに、ほかのオンライン記事についての情報も掲載します。わたしたちはこのパンデミックの影響から癒されるために、キリストのような思いやりをもって、引き続き助け合うことができます。

御父は当時も、今も、わたしとともにおられる

わたしは自宅で座り込み、世界中で起こっていることに対する不安を静めようとしてきました。自分の日記を何気なく開いてみると、次の言葉が目にとまりました。「毎朝起きると、世界中には実に多くの心配の種があるが、福音の教えに信仰を持てば、一歩ずつ前に踏み出せる。……信仰は、常に恐れに打ち勝つ。」

数年前に書いた自分の日記を通して、天の御父がわたしに力強い個人的な啓示を与えてくださったことが分かりました。わたしは祝福されて、天の御父がその当時

も、今もすぐそばにおられることを知り、平安を感じたのです。

ダネット・グレイ（アメリカ合衆国、ユタ州）

聖霊はオンラインでも働かれる

わたしはグループビデオ通話を使ってセミナーのクラスを開くように霊的な導きを受けました。最初のオンラインレッスンを行ったのは、わたしたちの町が隔離地域に指定される2日前のことでした。

親たちも何人かクラスに参加し、中には会員でない親もいました。モーサヤ書の第2章と一緒に学んでいるとき、わたしは涙をこらえていました。人に仕えることが

神に仕えることでもあるという教えを学んだとき、全員が御霊を感じたのです。わたしは個人の啓示を受けることや認識することについて多くを学びました。聖霊は実に様々な方法によって福音の真理を明らかにしてください。世界で何が起ころうとも、神の子供たちに救いをもたらす天の御父の御業の進展を止められるものは何もないのです。

マリテス・ピネダ（フィリピン、ミンダナオ）

セミナーを1日も休みにしなかった

コロナウイルスによる様々な影響があっても、セミナーを1日も休みにしなかったと言うことができうれしいです。ビデオ通話でクラスを教えるのは困難が伴いますが、わたしたちの会話を生徒の両親や年下のきょうだいたちと一緒に聞いているのを見るのが大好きです。参加者の家族にとってそれが一定の習慣となっているのもすばらしいですが、イエス・キリストと主の愛について互いに証し合うことが引き続きできて、ほんとうにうれしいです。

マンディ・克蘭デル（グアム、ジーゴ）

幕の両側の人々に仕える

教会の集会が中止になってアパートでの自宅待機が始まったとき、わたしはミズーリ州インディペンデンス伝道部でシニア姉妹宣教師として奉仕していました。わたしたちは電話やパソコンを使って、会員と連絡を取り合い、わたしたちが働きかけている人で、教会に定期的に出席していなかった人に手を差し伸べました。

無駄なく時間を過ごすために、家族歴史をすることにしましたが、しばらくの間、新しい名前を見つけるのに苦労しました。ファミリーサーチにログインすると、だれかに関連付けられるのを待っている一つの記録についての通知がありました。その一つ



の記録から、わたしの家系につながる約70人の記録を見つけたのです。しかし5日後には、新しい名前が見つからなくなりました。その日の終わりに、わたしたち全員が解任されて帰還することを知りました。伝道地を離れるのは悲しかったのですが、この困難な状況の中で、幕の向こう側にいる家族に仕えることができたのは祝福だと感じました。

キム・ニールソン (アメリカ合衆国, オレゴン州)

主の業を進めるために自分の できることを行う

地域の宣教師たちがアパートにとどまるように勧告されたとき、わたしたちは自分ができることを行うように努め、ある友人に教会について学ぶように勧めました。宣教師たちは友人に電話でレッスンを教えてくれました。現代のテクノロジーのおかげで、わたしたちは自宅で御霊の力を感ずきました。世界中で様々な問題があっても、主の御業が前進していくのを見るのは、すばらしい経験でした。

エライナ・ライヒ (アメリカ合衆国, ワシントン州)

救い主はわたしたちの歌を 聞いておられる

わたしは、ウクライナ・キエフステークで「パスウェイコネクト」プログラムのための教会奉仕宣教師として奉仕しています。プログラムの指導者は、集会で直接生徒を指導していたわたしたち全員を訓練して、オンラインで集会を行うことに決めました。その翌日、政府がキエフにおける自宅待機の措置を発表しました。

わたしは「パスウェイコネクト」のためにみんなで集まる機会が大好きです。そして、日曜日に家に集まって礼拝し、賛美歌を歌うのも大好きです。「ふたりまたは三人が〔主〕の名によって集まっている所には、〔主〕もその中に〔おられる〕」という約束に感謝しています。キエフにおいて、どのくらいの期間自宅待機が続くかは分かりませんが、救い主がわたしたちの歌を聞いて



ておられることを知っています。

カテリナ・セルドゥーク (ウクライナ, キエフ)

「家族を連れ戻す時です」

新型コロナウイルスについてニュースで報道されたとき、過剰に反応しすぎだと感じました。日がたつにつれ、不安を感じ始め、この世界の将来を思ってパニック状態にさえなりました。

ある朝、再び眠りにつけなくて座り込み、何のためにこのようなことが起こっているのか考えていました。すると突然平安を感じました。御霊は、主がわたしに贈り物を下さったと教えてくれました。「家族を連れ戻す時です」とささやくのです。

わたしたちは毎日忙しすぎます。このパンデミックはわたしたちの家族に最も大切なことに目を向ける機会を与えてくれました。それはイエス・キリストの福音です。

この世の有害な影響を幾らか取り除いて、キリストに頼るよう子供たちに教えることに集中できるのです。天の御父は、いつもわたしたちのことを気にかけておられます。それを今ほど強く感じたことはありません。

メアリー・オスラー (アメリカ合衆国, ネブラスカ州)

主はこのためにわたしたちを 備えられた

教会の集会が一時的に中止されると最初に知ったとき、少し心配でした。しかし今は、主が預言者を通してわたしたちをこのために備えられたことが分かります。家庭中心の福音学習は、困難な状況を乗り切る助けとなります。今でも日曜日に聖餐を取り、預言者の言葉を聞くことができ感謝しています。再びみんなで集まれるようになるまで、同じ御霊を感じられることに慰めを感じます。

エマ・ヴァン・アス (南アフリカ共和国, ハウテン)

わたしたちは礼拝する方法を 教えられてきた

夫と初めて自宅での聖餐の儀式に参加したときに、御霊をあまりにも強く感じたので、自分たちで選んだ賛美歌を歌えなくなるほどでした。これまで70年以上も礼拝行事に参加してきましたが、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることや、活動に参加することから受けてきた祝福について、これほど深く感謝した経験はありませんでした。

わたしたちは、礼拝の方法や対象となる御方について教えられてきました。もちろん、同じ信仰を持つ聖徒たちに会えないのは寂しいですし、できるだけ早く「いつもどおり」に戻れたいのですが、「家庭中心で教会がサポートする」礼拝で預言者の勧告に従うときに、わたしたちが学んでいく教訓に感謝しています。

スーザン・ブリエター (アメリカ合衆国, モンタナ州)

平安と一致を見いだす

息子とわたしは、家庭の夕べを行うのを毎週楽しみにしています。これまではよく会員や友人、宣教師を我が家に招いていました。しかしパンデミックによって、状況が劇的に変化しました。今は電話を介して友人と家庭の夕べを行っています。この状況をともに乗り越えるために行っている様々なことを通して、お互いを近くに感じるようになりました。

すべての人に断食をするように招いてくださった愛する預言者にとっても感謝しています。この経験を通して、多くの人々が一致の力と平安を感じられたと思います。このような状況において、わたしたちに必要な平安は、救い主イエス・キリストからもたらされるのです。

ロシーン・マッケンジー（ジャマイカ、キングストン）

神はすべてを御存じです

わたしは2か月半前に伝道に出たばかりです。任地はメキシコのエルモシージョでした。毎日、回復された福音を受け入れる備えのできた素晴らしい人々と出会う機会がありました。自分が目的を果たし始めていると感じた途端、新型コロナウイルスの影響で伝道が中断されたのです。

心から愛する人々のもとを離れるのはつらかったですが、神がすべてを御存じであると知っていたので、心は穏やかで平安を感じることができました。このようなときにわたしたちを導いてくれる預言者や使徒がいることに感謝しています。世界中の多くの宣教師たちのように、わたしもこれで自分の伝道が終わるわけではないと確信しています。しばらくすれば、再び主の御業を推し進めるのを助け、主の御手に使われる道具となって多くの人々を悔い改めに導くことでしょう。

キャロライナ・ローマン（プエルトリコ）

インターネット上でほかの記事を読むことができます

会員たちが信仰と希望をもってパンデミックの影響に対処している方法について、さらに体験談を読んでみましょう。

希望が必要ですか？

- 世界中の会員たちが、神に見守られているという希望をどのようにして見いだしたか学んでください。
- 教会歴史において、聖餐会が開かれなくなったときに会員たちがどう行動したか読んでみましょう。

助けが必要ですか？

- 自分の内にある悲しみに気づく方法と、悲しんでいる人とともに悲しむ方法について学んでください。
- ほかの人たちが家庭での礼拝に慣れていった方法を見いだしてください。

アイデアが必要ですか？

- この特殊な状況において、どのようにミニスタリングを続けることができるのか、アイデアを得てください。
- ほかの専任宣教師たちが、割り当ての変更に応じてどのように適応したのか学んでください。

これらの話やほかの記事を読むには、『リアホナ』の「不安定な時期における特別なメッセージ」の特集コーナーを御覧ください。この特集は、ChurchofJesusChrist.orgの「福音ライブラリー」アプリまたはオンラインで「機関誌」を開くと閲覧できます。

両親のために役立つ追加リソース

- 「福音実践」アプリや『リアホナ』の青少年のページを開き、信仰をもって前進してユニークな奉仕の仕方を見つけた青少年の話を読んでください。
- 密閉された場所に一緒に閉じこもっているのは、困難なことかもしれません。 伴侶や家族との関係を強めるためのアイデアに関しては、以下の記事を御覧ください：
 - 「失った愛……取り戻すまでの苦闘」『リアホナ』2005年1月号。
 - 「持続する愛を養う」『リアホナ』2000年5月号。
 - 「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号。
 - 「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号。
 - 悲しいことに、このようなストレスの多い状況において、虐待を行う人がいるかもしれません。もしあなたが虐待を受けているなら、abuse.ChurchofJesusChrist.orgにあるリソースを調べて、助けを求めてください。あなたは守られて尊重されるに値する存在なのです。

さらに知るために

- COVID-19の影響に関する教会からの最新の情報は ChurchofJesusChrist.org を御覧ください。



わたしに従ってきなさい

総大会の メッセージから学ぶ

生ける預言者とそのほかの中央の教会指導者の教えは、わたしたちが主の業に加わりとうるときに靈感された導きを与えてくれます。毎月第2、第4日曜日のために、長老定員会と扶助協会の会長会が、会員の必要と御霊の導きに基づき、話し合う大会メッセージを選ぶことができます。場合によっては、ビショップやステーク会長がメッセージを提案してもよいでしょう。通常、指導者は大管長会と十二使徒定員会のメッセージに重点を置くべきですが、最近の大会からであれば、どれについて話し合ってもかまいません。

指導者と教師は、選んでおいたメッセージを集会の前に読んで来るよう会員に勧める方法を見つける必要があります。

詳しい情報については、『手引き 第2部——教会の管理運営』（2019年）の、長老定員会と扶助協会の集会に関する章を参照してください。



教える計画を立てる

総大会のメッセージを用いて教える計画を立てる際、以下の質問が教師の助けとなるでしょう。

1. 話者は何を理解してほしいと望んでいるでしょうか。福音のどの原則を教えているでしょうか。それらの原則を自分たちの定員会や扶助協会にどのように当てはめることができるでしょうか。
2. 話者はそのメッセージの裏付けとして、どの聖句を用いているでしょうか。理解を深めるために参照することのできる聖句はほかにあるでしょうか。（メッセージの注や聖句ガイドから幾つか見つけられるでしょう。）
3. そのメッセージについて会員が深く考えられるようにするには、どのような質問をするとよいでしょうか。自分たちの生活、家族、および主の業にどう関係しているのかを会員が理解するためにはどのような質問が助けとなるでしょうか。
4. 集会の中に御霊を招くために、ほかに何ができるでしょうか。話し合いをさらに良くするために、物語やたとえ、音楽、絵を含め、利用できるものはあるでしょうか。話者は何を利用しましたか。
5. 話者が勧めたことはありますか。その勧めに従って行動する望みを会員が持てるようにするには、どうしたらよいでしょうか。

活動のアイデア

会員が総大会メッセージから学ぶのを助ける方法はたくさんあります。以下に幾つかの例を示しますが、あなたの定員会や扶助協会において、もっと効果のあるアイデアがほかにもあるかもしれません。



- **グループで話し合う。**
参加者を小さなグループに分け、各グループに大会メッセージから別々の部分を割り当てて読んで話し合ってもらいます。その後、学んだ真理を各グループに発表してもらいます。または、それぞれ別の割り当て部分から学んだ人たちを一つのグループにして、学んだことを互いに分かち合ってもらうのもよいでしょう。
- **質問に答える。**
大会メッセージについて以下のような質問に答えるように勧めます。このメッセージから、どのような福音の真理を見つけましたか。これらの真理を当てはめるにはどうすればよいでしょうか。どのような勧めや約束された祝福が与えられているでしょうか。わたしたちが行うように神が望んでおられる業について、このメッセージは何を教えているでしょうか。
- **引用文を分かち合う。**
大会メッセージから、会員が救いの業における自分たちの責任を果たすように靈感を与えてくれる引用文を、分かち合ってもらいます。愛する人やミニスタリングを行う相手も含め、人々を祝福するために、それらの引用文をどのように分かち合うことができるかを考えるよう励まします。
- **物を使ったレッスンをする。**
前もって数人の会員に、大会メッセージの教えに関連した物を家から持って来るよう頼んでおきます。集会中に、それらの物がそのメッセージにどのように関連しているかを説明してもらいます。
- **家庭で教えるレッスンを準備する。**
会員二人に一組になってもらい、大会メッセージに基づいた家庭の夕べのレッスンを計画してもらいます。そのメッセージを自分の家族に関連付けるには、どうするとよいでしょうか。わたしたちがミニスタリングを行う相手と分かち合うには、どうすればよいでしょうか。
- **経験を分かち合う。**
大会メッセージの一部を一緒に読みます。その中にある教義を表したり、裏付けるような聖文や個人の経験を会員に分かち合ってもらいます。
- **聖文から学ぶ。**
大会メッセージの中の参照聖句の一つを読んでもらいます。そのメッセージの中の教えがどのように聖文をさらに理解する助けとなるかについて話し合ってもらいます。
- **答えを探す。**
前もって、大会メッセージを使って答えられる質問を幾つか作っておきます。深く考えさせたり福音の原則の応用を促すような質問をするようにします（『救い主の方法で教える』31 - 32 参照）。会員に質問を選んでもらい、メッセージの中から答えを見つけてもらいます。小さなグループに分かれ、自分たちの答えについて話し合ってもらいます。
- **言葉を見つける。**
大会メッセージを調べるように会員に勧め、自分にとって大切だと思う言葉を見つけて、学んだことを分かち合ってもらいます。その教えは主の業を成し遂げるうえで、どのような助けとなるでしょうか。
- **何かを作る。**
大会メッセージからの短い霊的なメッセージを入れたポスターやしおりを作成するように勧めます。作成したものを分かち合う機会を提供します。■



中心におられるのは救い主である

ラッセル・M・ネルソン大管長は末日聖徒イエス・キリスト教会を識別する新しいシンボルを発表しました(73ページ参照)。このエンブレムは、教会が行うすべてのことにおいて、イエス・キリストの御名と主の中心的な役割を強調するものです。隅石を表す長方形の中には教会の名称が載っています。教会は隅石の上に建てられており、イエス・キリストが隅のかしら石であります(エペソ2:19-21参照)。シンボルの中心に位置するのは、トルバルセンが創作した大理石のクリスタス像の絵です。シンボルは復活された主がアーチの下に立っておられる様子を表しており、主が亡くなられた後、3日目に墓から御姿を現されたことを思い起こさせるものです。

教会のシンボルが持つ神聖な特性に配慮し、また法的保護を維持する目的で、教会の公式シンボルは大管長会および十二使徒定員会から承認を受けた場合に限り使用されるものとします。



「イエス・キリストの福音が地上に回復されたことは、あなたにとってどのような意味があるでしょうか」とラッセル・M・ネルソン大管長は、第190回年次総大会で尋ねました。

「それは、あなたと家族が永遠の結び固めを受けることができるということです。それは、イエス・キリストからの権能を持っている人によってバプテスマを受け、主の教会の会員として確認されたので、常に聖霊を伴侶とすることができるということです……。それは、慰めを得られない状態や、神の力による助けを得るすべのないままにされることはないということです。それは、必須の儀式を受け、神と聖約を交わして聖約を守るときに、神権の力により祝福を得られるということです。これらの真理は、わたしたちの心にとっての錨なのです。暴風雨が荒れ狂っているこの時期には、特にそうです。」

